

筑紫野市障がい者実態調査
報 告 書

令和 5年 2月
筑 紫 野 市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の設計と回収状況	1
3. 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1. あなた自身のことについて	3
(1) 調査対象者の基本属性	3
(2) 身体障害者手帳の所持者	5
(3) 療育手帳の所持者	7
(4) 精神障害者保健福祉手帳の所持者	8
(5) その他	14
2. 生活状況について	18
3. 外出状況について	29
4. 日中の活動（仕事や就学）の状況について	36
(1) 現在の就労や就業等の状況について	36
(2) 今後の就業・就学等について	51
5. 日中の活動（スポーツや文化活動等）の状況について	58
6. 今後の生活について	65
7. 福祉サービスについて	74
(1) サービスの認知度	74
(2) サービスの利用の有無	78
(3) サービスの利用意向	82
8. 地域とのかかわりの状況について	86
9. 災害時について	93
10. 相談の状況について	96
11. 差別・虐待の状況について	102
12. 行政について	111
第3章 自由回答集	115
1. 困っていることについて	115
(1) 身体障がい者	115
(2) 知的障がい者	125
(3) 精神障がい者	128
(4) 重複障がい	133
(5) その他	135

2. その他の意見・要望	136
(1) 建物・道路等に関するご意見・ご要望.....	137
(2) 文化・スポーツ活動等に関するご意見・ご要望	137
(3) 医療・介護等に関するご意見・ご要望.....	138
(4) 相談に関するご意見・ご要望	139
(5) 将来のことに関するご意見・ご要望.....	139
(6) 情報提供・情報収集に関するご意見・ご要望	141
(7) 就労・雇用に関するご意見・ご要望.....	142
(8) サービス・施設等に関するご意見・ご要望	143
(9) 差別等に関するご意見・ご要望	145
(10) 災害に関するご意見・ご要望	146
(11) 交流等に関するご意見・ご要望.....	146
(12) 啓発に関するご意見・ご要望	147
(13) 経済的支援に関するご意見・ご要望.....	148
(14) 学校・教育等に関するご意見・ご要望	150
(15) 家族・介助者等に関するご意見・ご要望	151
(16) 外出・移動に関するご意見・ご要望.....	152
(17) アンケート調査に対するご意見・ご要望	154
(18) 市の施策や市役所窓口に関するご意見・ご要望	155
(19) その他のご意見・ご要望	158
第4章 調査票	162

第1章 調査の概要

1. 調査目的

心身に障がい（疾病）のある方々の生活の現状を把握や日常生活の要望等を把握し、「第4期筑紫野市障がい者福祉長期行動計画」策定の基礎資料を得る目的でアンケートを実施しました。

2. 調査の設計と回収状況

調査対象者	筑紫野市在住の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
発送数	3,000 票
有効回収数 (有効回収率)	1,753 票 (58.4%) ・ 身体障害者：1,142 票 ・ 知的障害者：178 票 ・ 精神障害者：254 票 ・ 重複：135 票 (身体・知的障害者：63 票) (身体・精神障害者：47 票) (知的・精神障害者：14 票) (身体・知的・精神障害者：11 票) ・ 不明：44 票
調査期間	令和4年11月21日(月)～令和4年12月9日(金) ※ただし、令和4年12月21日(水)までに返送された調査票を集計しています。

3. 報告書の見方

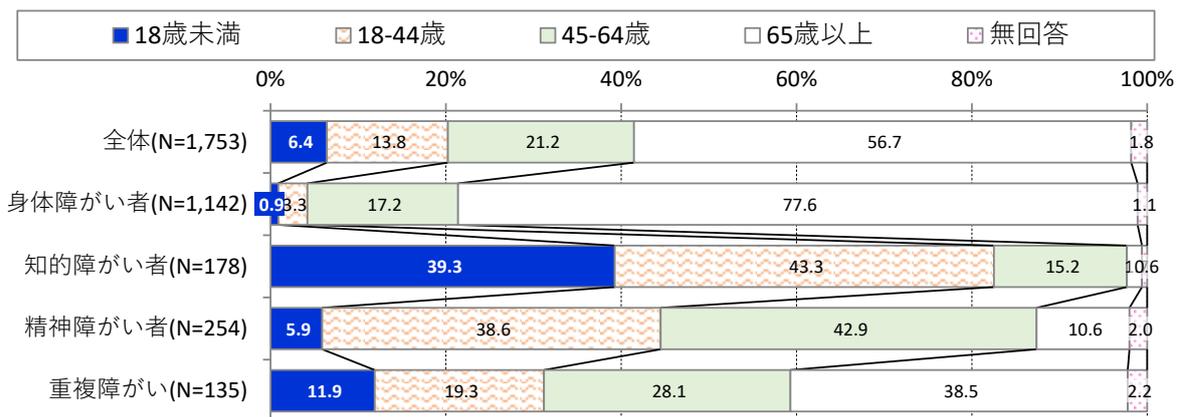
- 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。
- 小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。
- 図表において、回答選択肢等を簡略化して表記している場合があります。
- 調査結果のグラフやコメント欄では、便宜上、身体障害者手帳所持者を「身体障がい者」、療育手帳所持者を「知的障がい者」、精神障害者保健福祉手帳所持者を「精神障がい者」、2つ以上の手帳を所持している人を「重複障がい」としています。
- 重複障がいのうち、身体障害者手帳所持者を「重複障がい（身体）」、療育手帳所持者を「重複障がい（知的）」、精神障害者保健福祉手帳所持者を「重複障がい（精神）」として集計しています。
- 本報告書では、平成28年度に実施した前回調査との結果比較を第2章に掲載しています。回答者の基本属性等に係る設問については、分析するに資するものに限定しました。さらに、障がい者の意識をたずねる設問や差別に関する設問、制度・サービスの認知度等をたずねる設問、広報・啓発の取組結果が分かる設問について比較結果を掲載しています。

第2章 調査結果

1. あなた自身のことについて

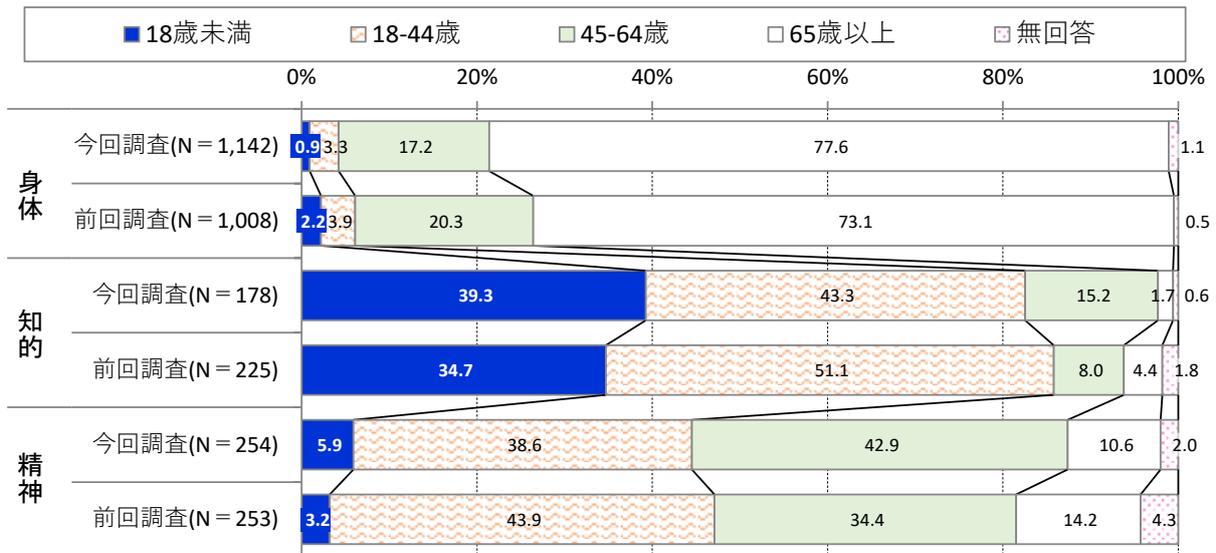
(1) 調査対象者の基本属性

問1 あなたの年齢は何歳ですか。(令和4年11月1日現在の満年齢)



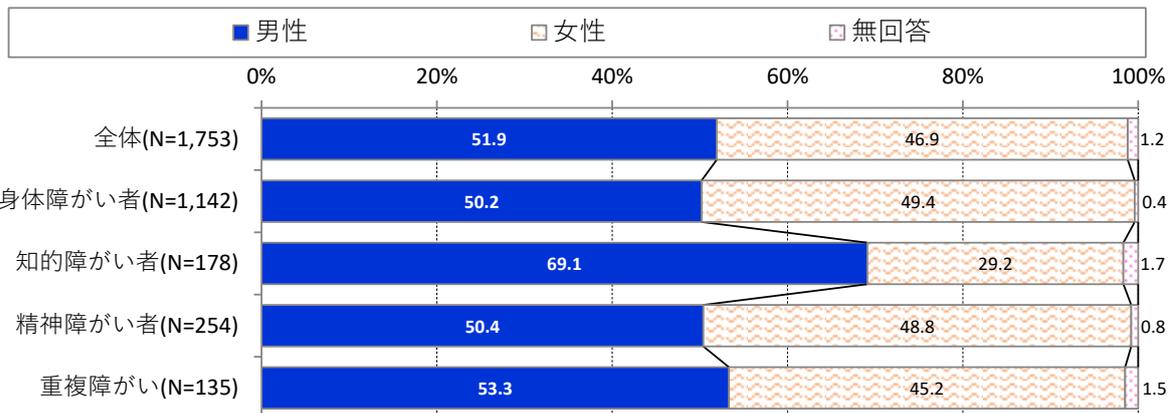
- 調査対象者の年齢をたずねたところ、6.4%が「18歳未満」、13.8%が「18-44歳」、21.2%が「45-64歳」、56.7%が「65歳以上」と回答しています。
- 身体障がい者では「65歳以上」が77.6%と、他の障がい種別と比較して高くなっています。
- 知的障がい者では「18歳未満」が39.3%。「18-44歳」が43.3%と、他の障がい種別と比較して高くなっています。
- 精神障がい者では「45-64歳」が42.9%と、他の障がい種別と比較して高くなっています。
- 重複障がいのうち、最も多いのは「65歳以上」(38.5%)で、次いで「45-64歳」(28.1%)、「18-44歳」(19.3%)となっています。

【前回調査との比較】



- 前回調査と、障がい種別ごとの回答者の年齢について比較しました。
- 身体障がい者では「65歳以上」の割合が4.5ポイント増加しています。
- 知的障がい者では、「45-64歳」の割合が7.2ポイント増加しています。
- 精神障がい者では、「45-64歳」の割合が8.5ポイント増加しています。

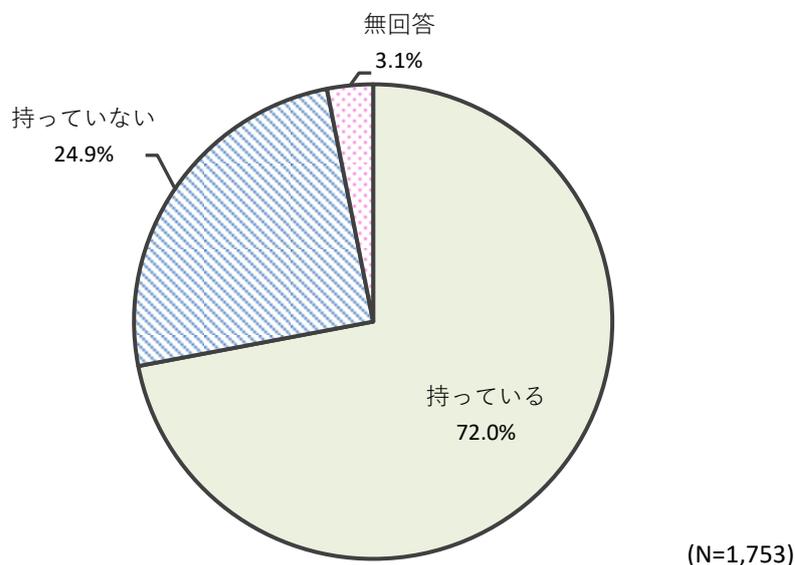
問2 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)



- 調査対象者の性別をたずねたところ、51.9%が「男性」、46.9%が「女性」と回答しています。
- 身体障がい者では「男性」が50.2%、「女性」が49.4%となっています。
- 知的障がい者では「男性」が69.1%、「女性」が29.2%となっています。
- 精神障がい者では「男性」が50.4%、「女性」が48.8%となっています。
- 重複障がいでは、「男性」が53.3%、「女性」が45.2%となっています。

(2) 身体障害者手帳の所持者

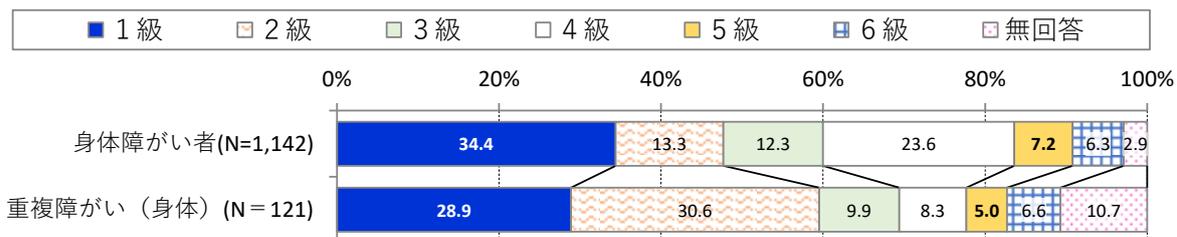
問3 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)



- 「持っている」が72.0%、「持っていない」が24.9%となっています。

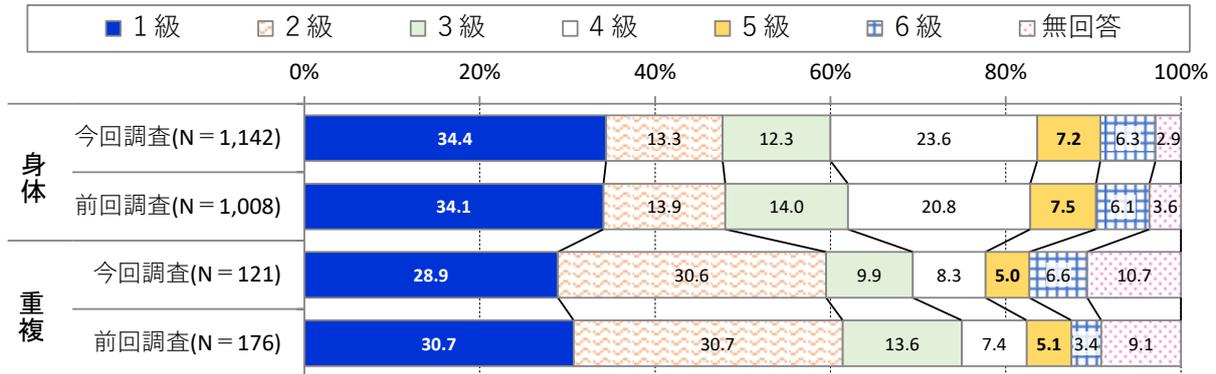
問3で「1 持っている」と回答した方におたずねします。

問4 あなたの身体障害者手帳の障害の等級はどれですか。(〇は1つだけ)



- 身体障害者では「1級」が34.4%で最も多く、次いで「4級」が23.6%、「2級」が13.3%と続きます。
- 身体障がいを含む重複障がいでは、「2級」が30.6%で最も多く、次いで「1級」が28.9%、「3級」が9.9%と続きます。

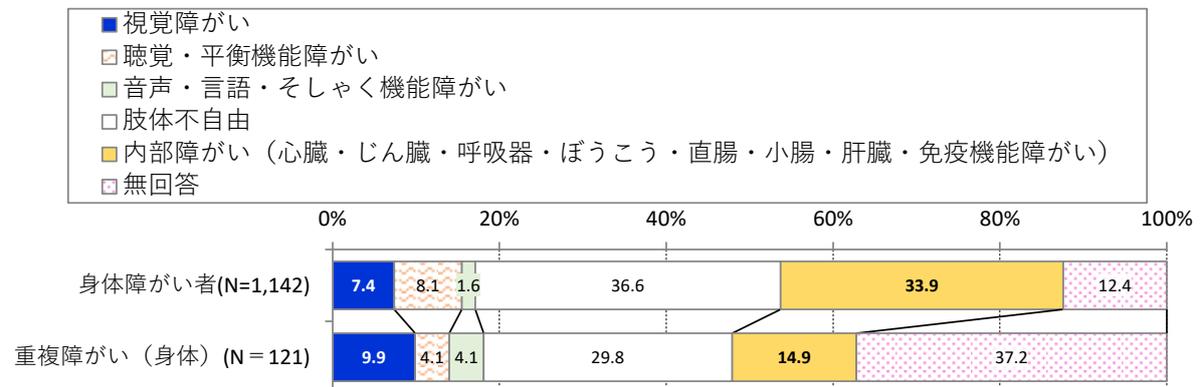
【前回調査との比較】



- 前回調査と、身体障害者手帳の障害の等級について比較しました。
- 身体障がい者、重複障がい者ともに前回調査と同様の傾向となっています。

問3で「1 持っている」と回答した方におたずねします。

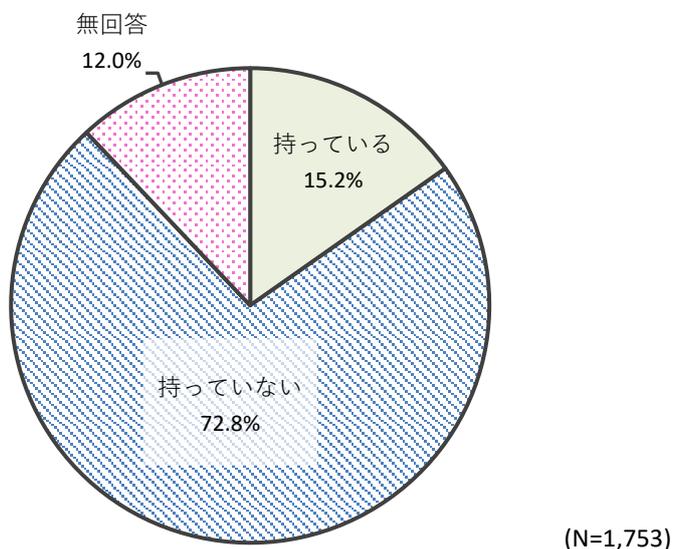
問5 あなたの身体障害者手帳に記載されている主な障害名はどれですか。(〇は1つだけ)



- 身体障がい者では「肢体不自由」が36.6%で最も多く、次いで「内部障がい」が33.9%、「聴覚・平衡機能障がい」が8.1%と続きます。
- 身体障がいを含む重複障がいでは、「肢体不自由」が29.8%で最も多く、次いで「内部障がい」が14.9%、「視覚障がい」が9.9%と続きます。

(3) 療育手帳の所持者

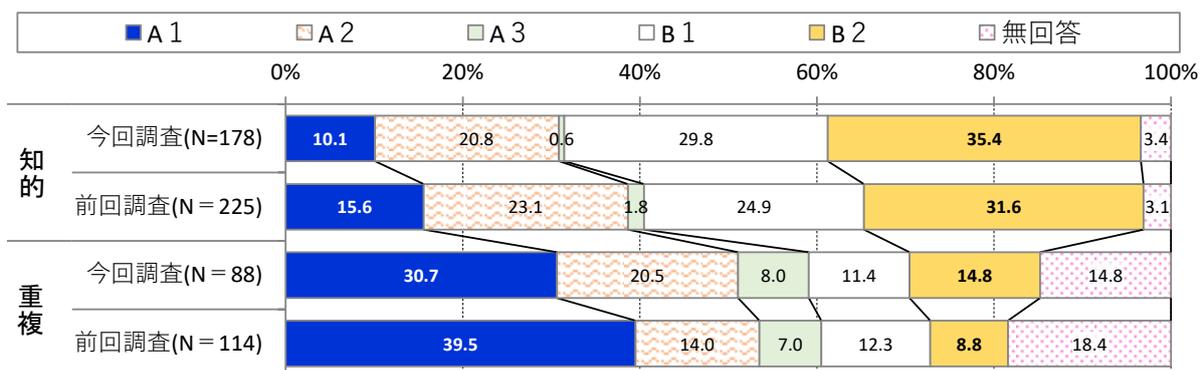
問6 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)



- 「持っている」が15.2%、「持っていない」が72.8%となっています。

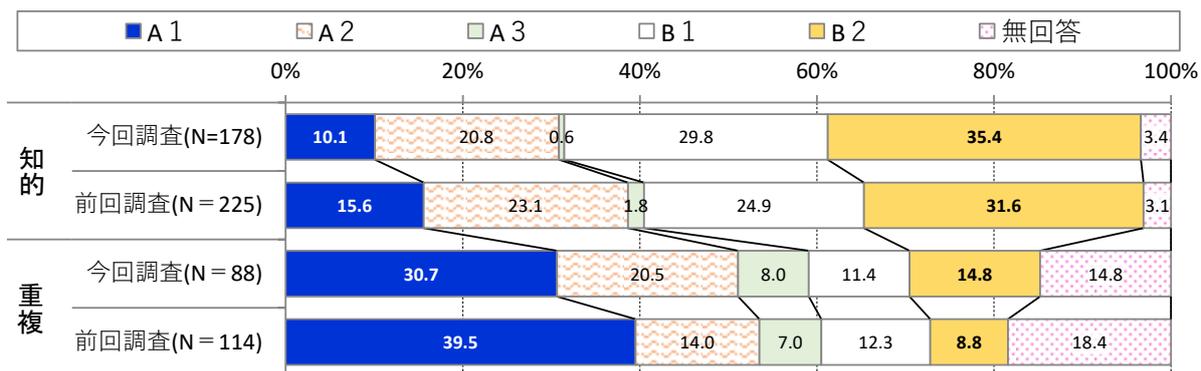
問6で「1 持っている」と回答した方におたずねします。

問7 あなたの療育手帳の障害程度はどれですか。(○は1つだけ)



- 知的障がい者では「B2」が35.4%で最も多く、次いで「B1」が29.8%、「A2」が20.8%と続きます。
- 重複障がいでは「A1」が30.7%で最も多く、次いで「A2」が20.5%、「B2」が14.8%と続きます。

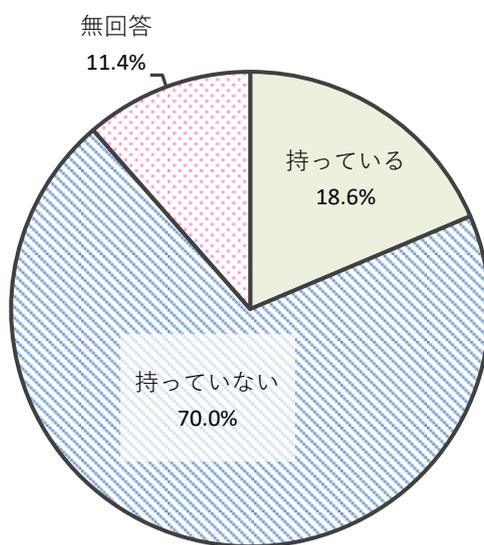
【前回調査との比較】



- 前回調査と、療育手帳の障害程度について比較しました。
- 知的障がい者では、「A1」が5.5ポイント減少し「B2」が3.8ポイント増加しています。
- 重複障がいでは、「A1」が8.8ポイント減少し、「A2」が6.5ポイント、「B2」が6.0ポイント増加しています。

(4) 精神障害者保健福祉手帳の所持者

問8 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

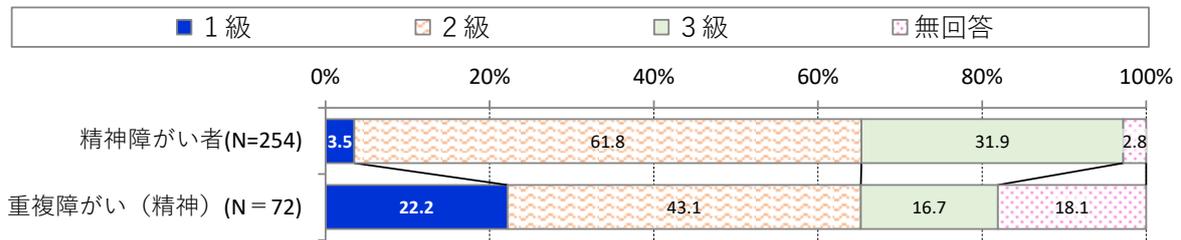


(N=1,753)

- 「持っている」が18.6%、「持っていない」が70.0%となっています。

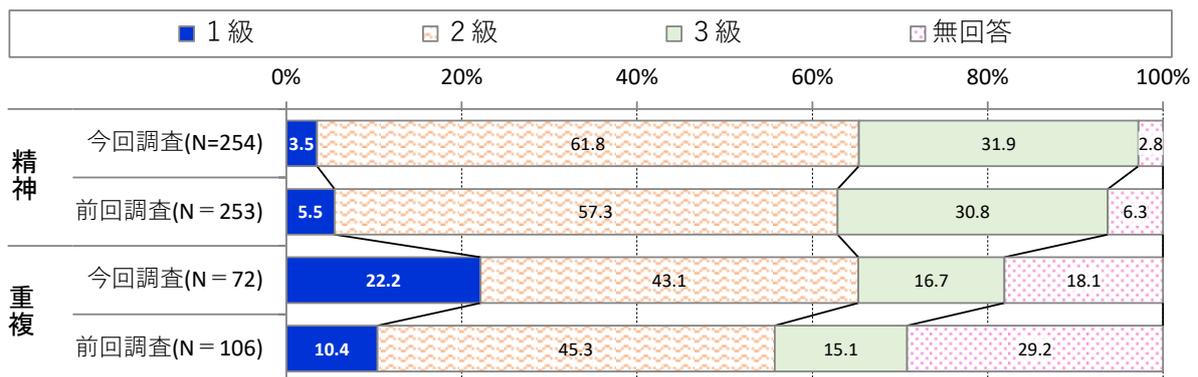
問8で「1 持っている」と回答した方におたずねします。

問9 あなたの精神障害者保健福祉手帳の障害の等級はどれですか。(〇は1つだけ)



- 精神障がい者では「2級」が61.8%で最も多く、次いで「3級」が31.9%、「1級」が3.5%と続きます。
- 重複障がいでは「2級」が43.1%で最も多く、次いで「1級」が22.2%、「3級」が16.7%と続きます。

【前回調査との比較】

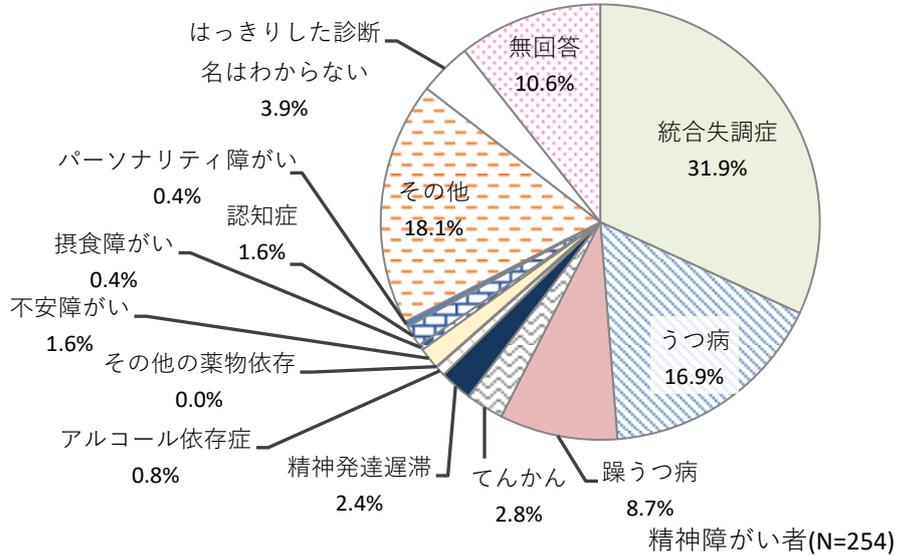


- 前回調査と、精神障害者保健福祉手帳の障がいの等級について比較しました。
- 精神障がい者では、おおむね前回調査と同様の傾向となっています。
- 重複障がいでは、「1級」が11.8ポイント増加しています。

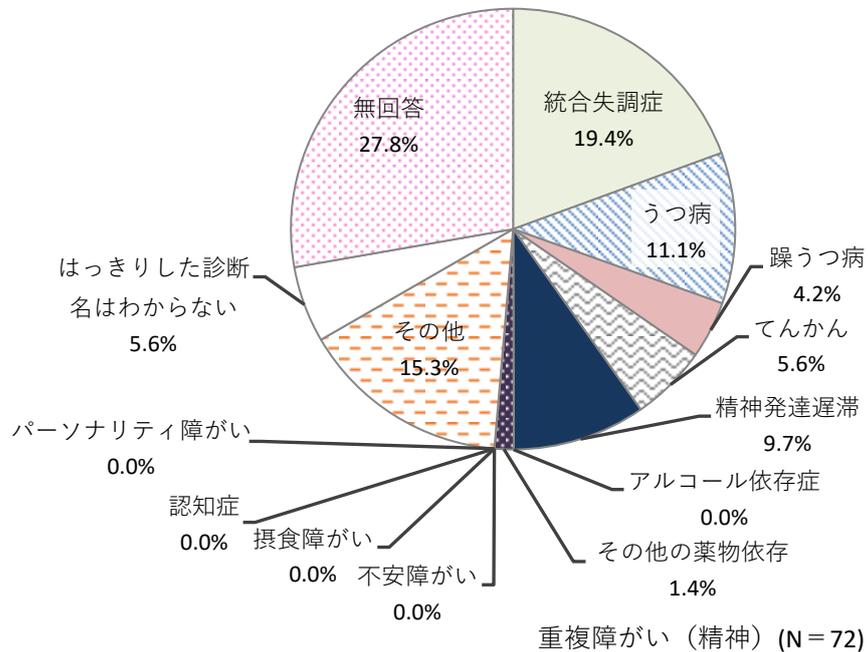
問8で「1 持っている」と回答した方におたずねします。

問10 あなたの主な診断名は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

【精神障がい者】



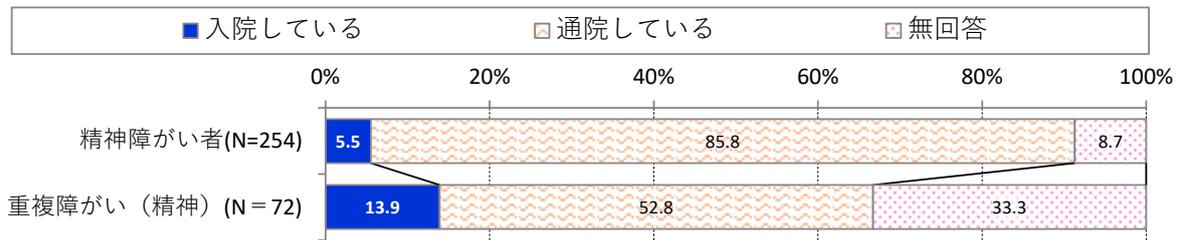
【重複障がい(精神)】



- 精神障がい者では「統合失調症」が31.9%と最も多く、次いで「うつ病」が16.9%、「躁うつ病」が8.7%と続きます。
- 重複障がいでは「統合失調症」が19.4%で最も多く、次いで「うつ病」が11.1%、「精神発達遅滞」が9.7%と続きます。

問8で「1 持っている」と回答した方におたずねします。

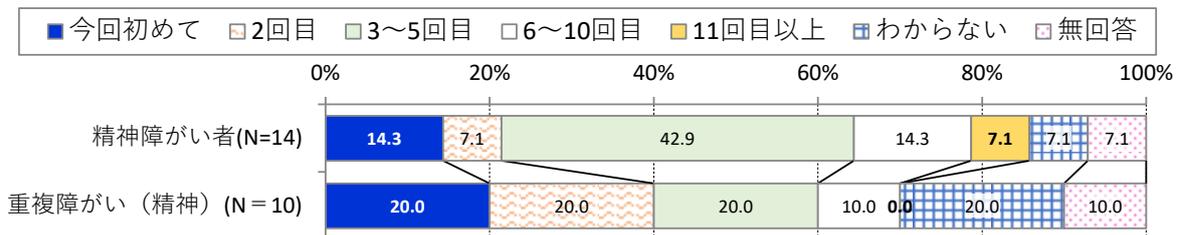
問11 あなたは、現在、精神科の病院の通院・入院していますか。(〇は1つだけ)



- 精神障がい者では「入院している」が5.5%、「通院している」が85.8%となっています。
- 重複障がいでは「入院している」が13.9%、「通院している」が52.8%となっています。

問11で「1 入院している」と回答した方におたずねします。

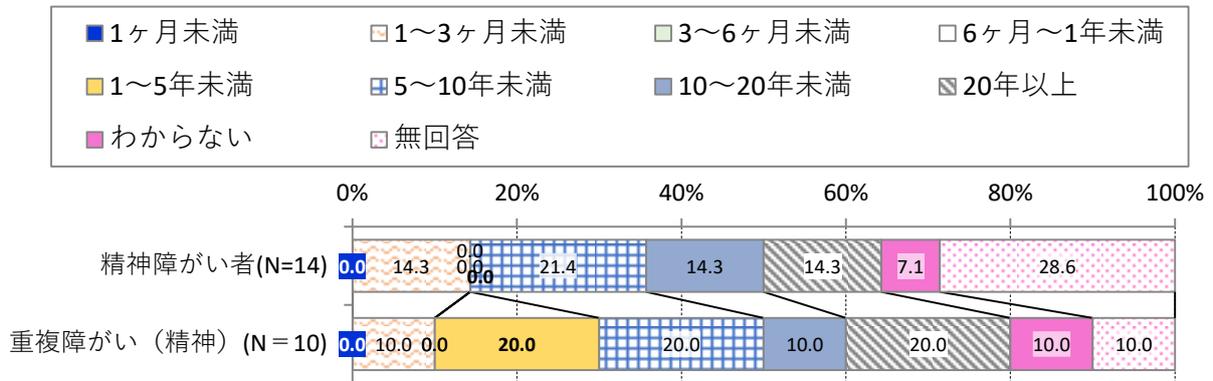
問12 あなたは今回で精神科への入院は何回目ですか。(〇は1つだけ)



- 精神障がい者では「3~5回目」が42.9%と最も多く、次いで「今回初めて」「6~10回目」が14.3%となっています。
- 重複障がいでは「今回初めて」「2回目」「3~5回目」で20.0%となっています。
- 回答者の母数が少ないため、標本誤差に留意する必要があります。

問 11 で「1 入院している」と回答した方におたずねします。

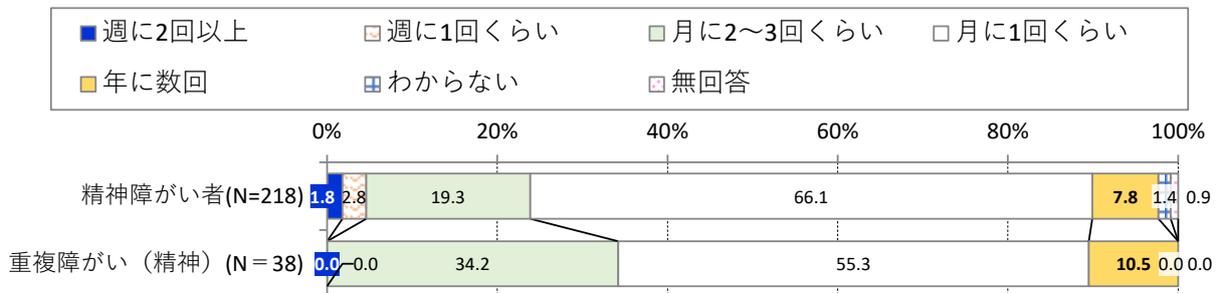
問 13 あなたの通算の入院期間はどれくらいになりますか。(〇は1つだけ)



- 精神障がい者では「5～10年未満」が21.4%と最も多くなっています。
- 重複障がいでは「1～5年未満」「5～10年未満」「20年以上」が20.0%と最も多くなっています。

問 11 で「2 通院している」と回答した方におたずねします。

問 14 あなたの現在の通院回数はどのくらいですか。(〇は1つだけ)

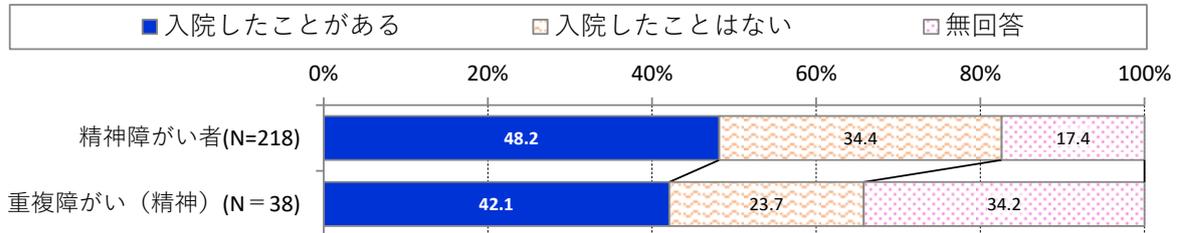


- 精神障がい者では「月に1回くらい」が66.1%で最も多く、次いで「月に2～3回くらい」が19.3%、「年に数回」が7.8%と続きます。
- 重複障がいでは「月に1回くらい」が55.3%で最も多く、次いで「月に2～3回くらい」が34.2%、「年に数回」が10.5%と続きます。

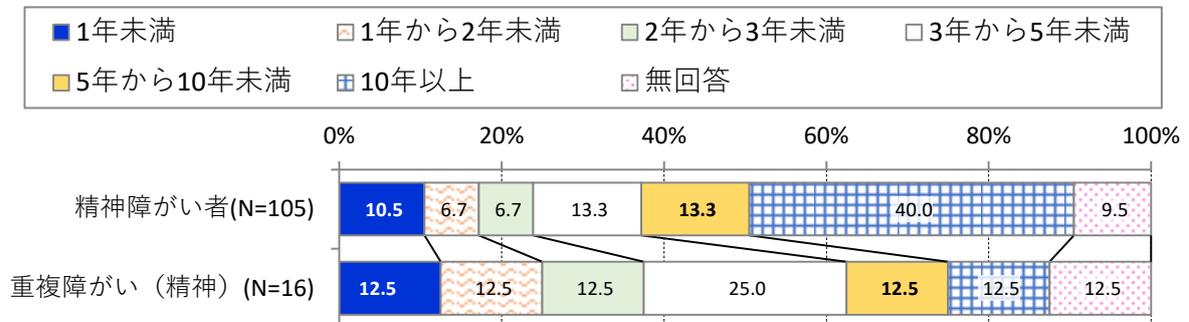
問 11 で「2 通院している」と回答した方におたずねします。

問 15 あなたはこれまでに精神科への入院経験はありますか。ある場合は最後に退院してどのくらいたちますか。(〇は1つだけ)

【入院の経験】



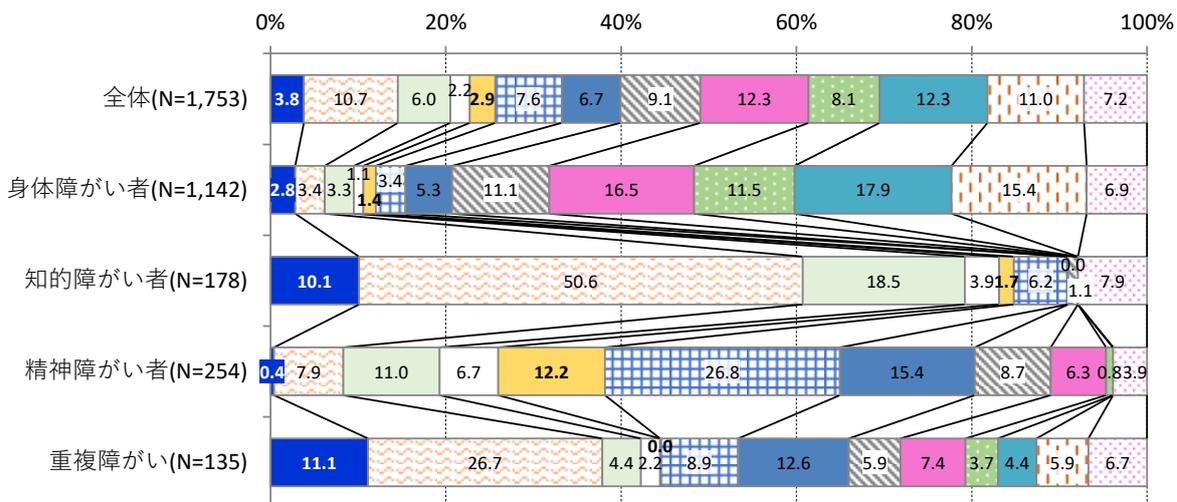
【退院してからの期間】



- 精神障がい者では「入院したことがある」が48.2%、「入院したことはない」が34.4%となっており、入院した人のうち、退院してからの期間について「10年以上」が40.0%と最も多くなっています。
- 重複障がいでは、「入院したことがある」が42.1%、「入院したことはない」が23.7%となっており、入院した人のうち、退院してからの期間について「3年から5年未満」が25.0%と最も多くなっています。

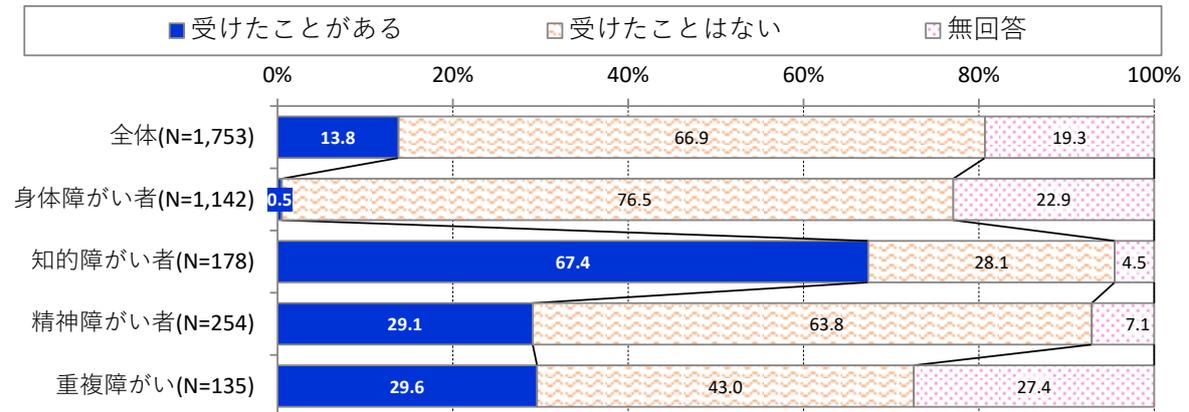
(5) その他

問 16 あなたが最初に障害により日常生活に支障を感じたのはいつごろですか。
(○は1つだけ)



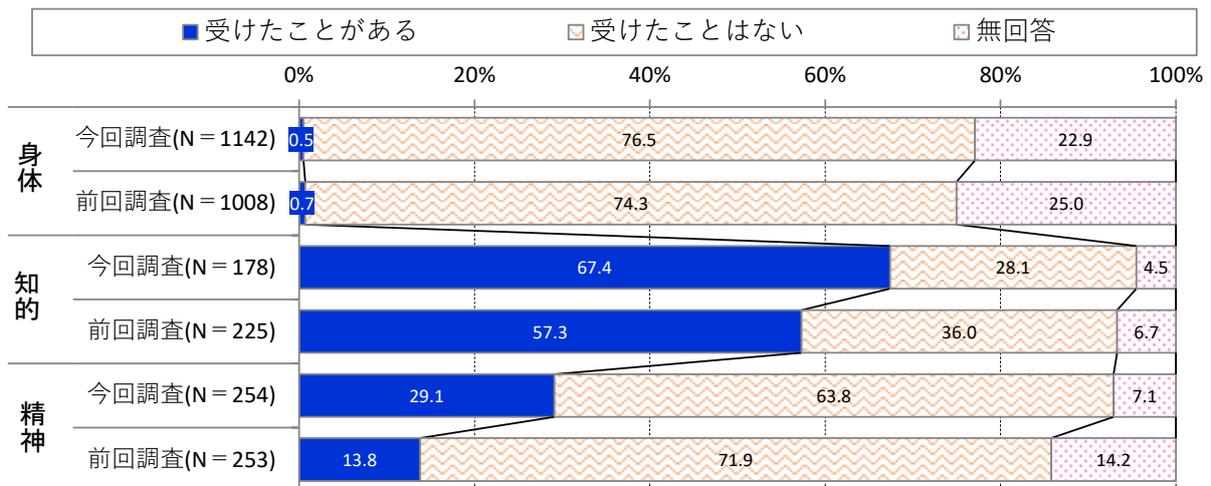
- 身体障がい者では「65～74歳」が17.9%と最も多く、次いで「50歳代」が16.5%、「75歳以上」が15.4%と続きます。
- 知的障がい者では「0～5歳」が50.6%と最も多く、次いで「6～12歳」が18.5%、「生まれたとき」が10.1%と続きます。
- 精神障がい者では「20歳代」が26.8%と最も多く、次いで「30歳代」が15.4%、「16～19歳」が12.2%と続きます。
- 重複障がいでは「0～5歳」が26.7%と最も多く、次いで「30歳代」が12.6%、「生まれたとき」が11.1%と続きます。

問 17 あなたは、発達障がいに関する診断を受けていますか。(○は1つだけ)



- 発達障がいに関する診断を受けたことがあるかをたずねたところ、「受けたことがある」が13.8%、「受けたことはない」が66.9%となっています。
- 身体障がい者では、「受けたことがある」が0.5%、「受けたことはない」が76.5%となっています。
- 知的障がい者では、「受けたことがある」が67.4%、「受けたことはない」が28.1%となっています。
- 精神障がい者では、「受けたことがある」が29.1%、「受けたことはない」が63.8%となっています。
- 重複障がいでは、「受けたことがある」が29.6%、「受けたことはない」が43.0%となっています。

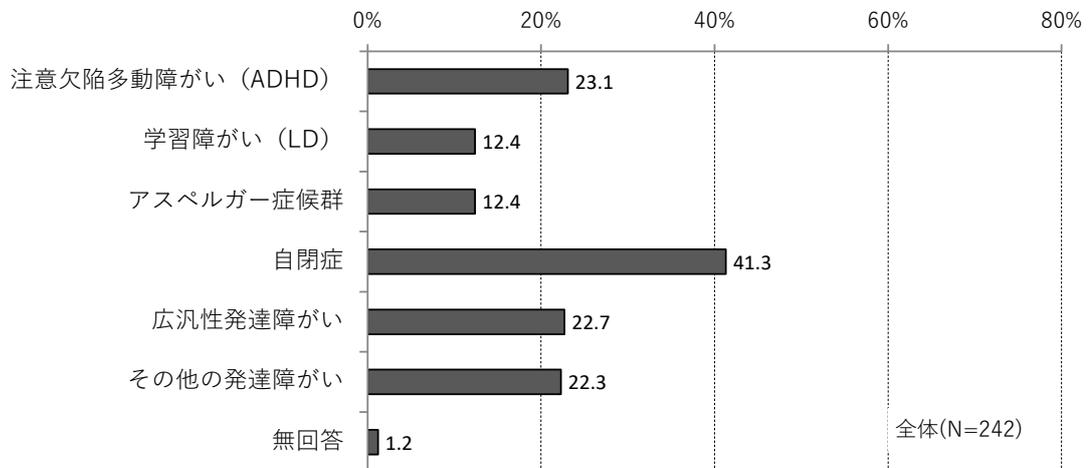
【前回調査との比較】



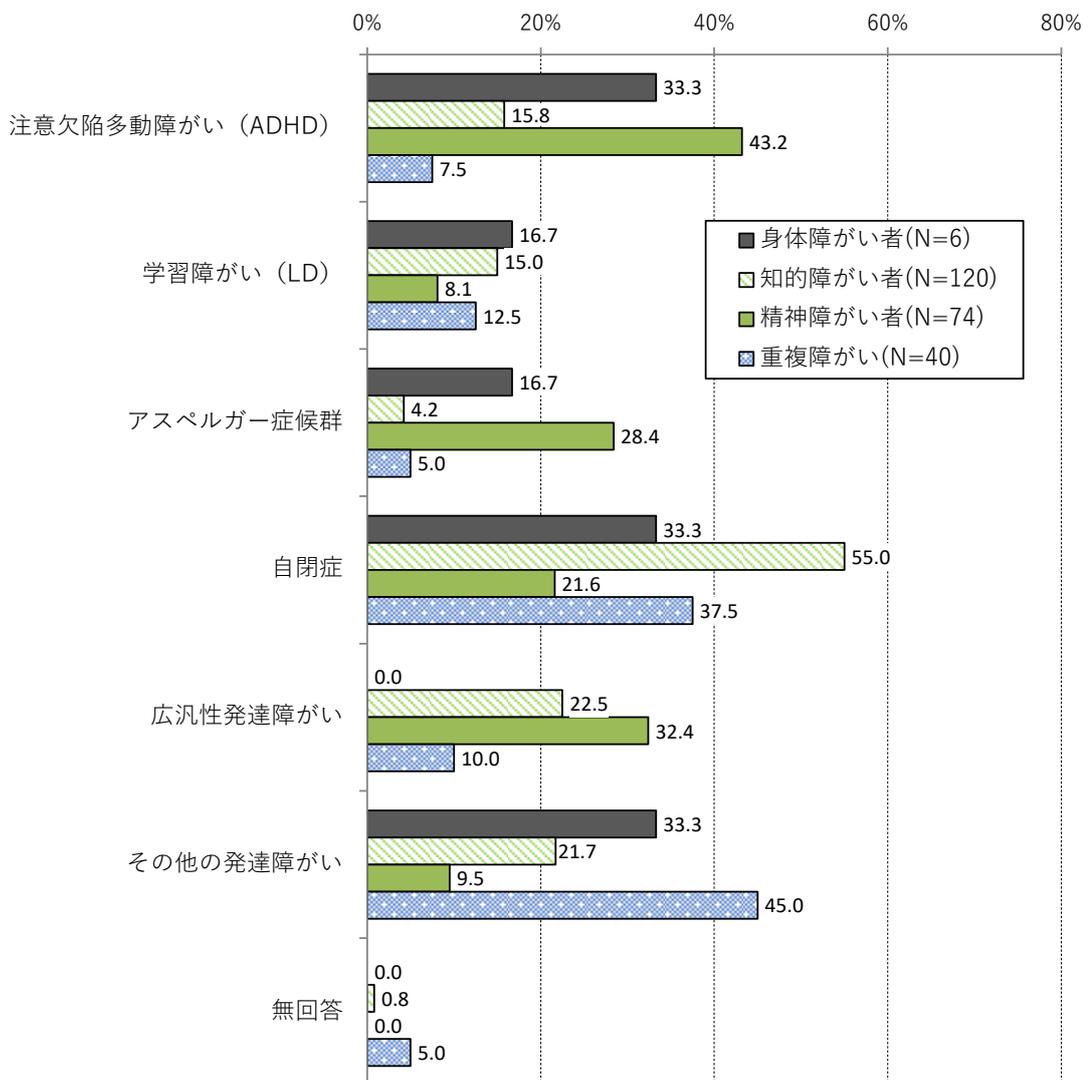
- 発達障がいの診断経験について、前回の調査結果と比較しました。知的障がい者、精神障がい者では、「受けたことがある」の割合が前回調査から10ポイント以上高くなっています。

問 17 で「1 受けたことがある」と回答した方におたずねします。

問 18 あなたはどのような診断を受けましたか。(〇はあてはまるものすべて)



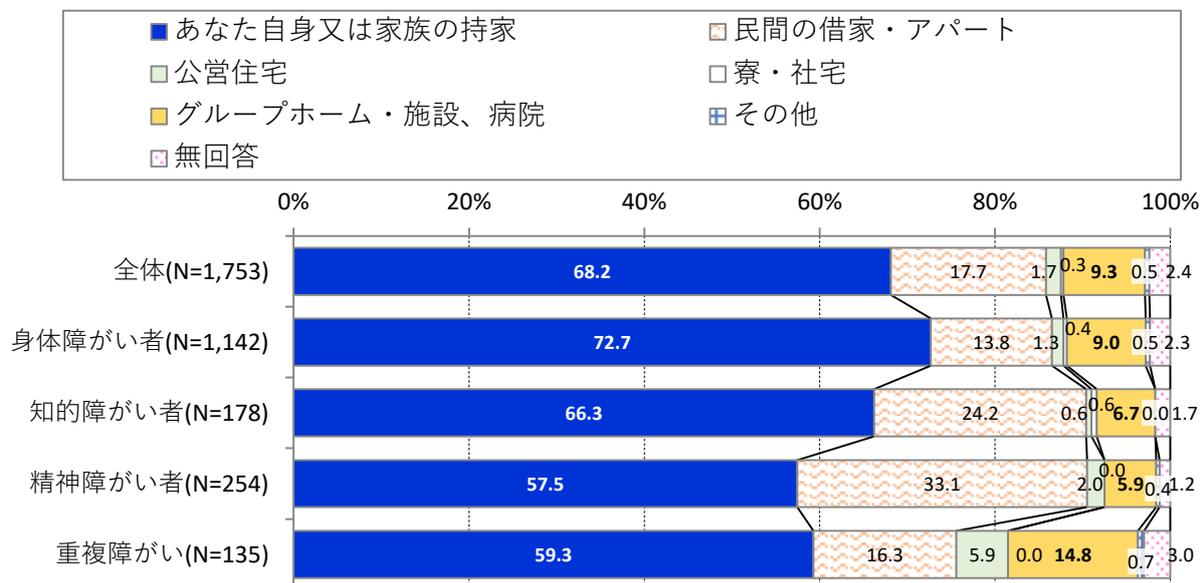
【発達障がいの診断名 (障がい種別)】



- 発達障害に関する診断の内容についてたずねたところ、「自閉症」の回答率が41.3%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「注意欠陥多動障がい (ADHD)」「自閉症」が33.3%で最も多く、次いで「学習障がい (LD)」「アスペルガー症候群」が16.7%と続きます。
- 知的障がい者では「自閉症」が55.0%で最も多く、次いで「広汎性発達障がい」が22.5%、「注意欠陥多動障がい (ADHD)」が15.8%と続きます。
- 精神障がい者では「注意欠陥多動障がい (ADHD)」が43.2%で最も多く、次いで「広汎性発達障がい」が32.4%、「アスペルガー症候群」が28.4%と続きます。
- 重複障がいでは「自閉症」が37.5%で最も多く、次いで「学習障がい (LD)」が12.5%、「広汎性発達障がい」が10.0%と続きます。
- 身体障がい者については、母数が少ないため、標本誤差に留意する必要があります。

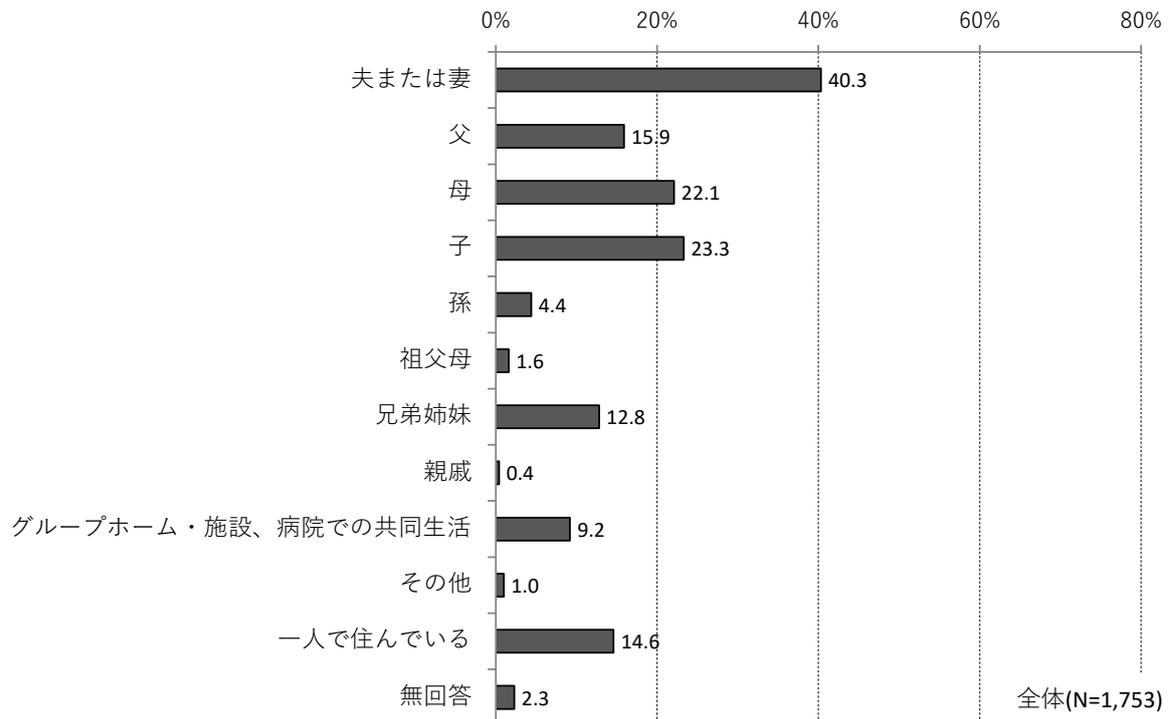
2. 生活状況について

問 19 あなたの現在のお住まいはどれですか。(〇は1つだけ)



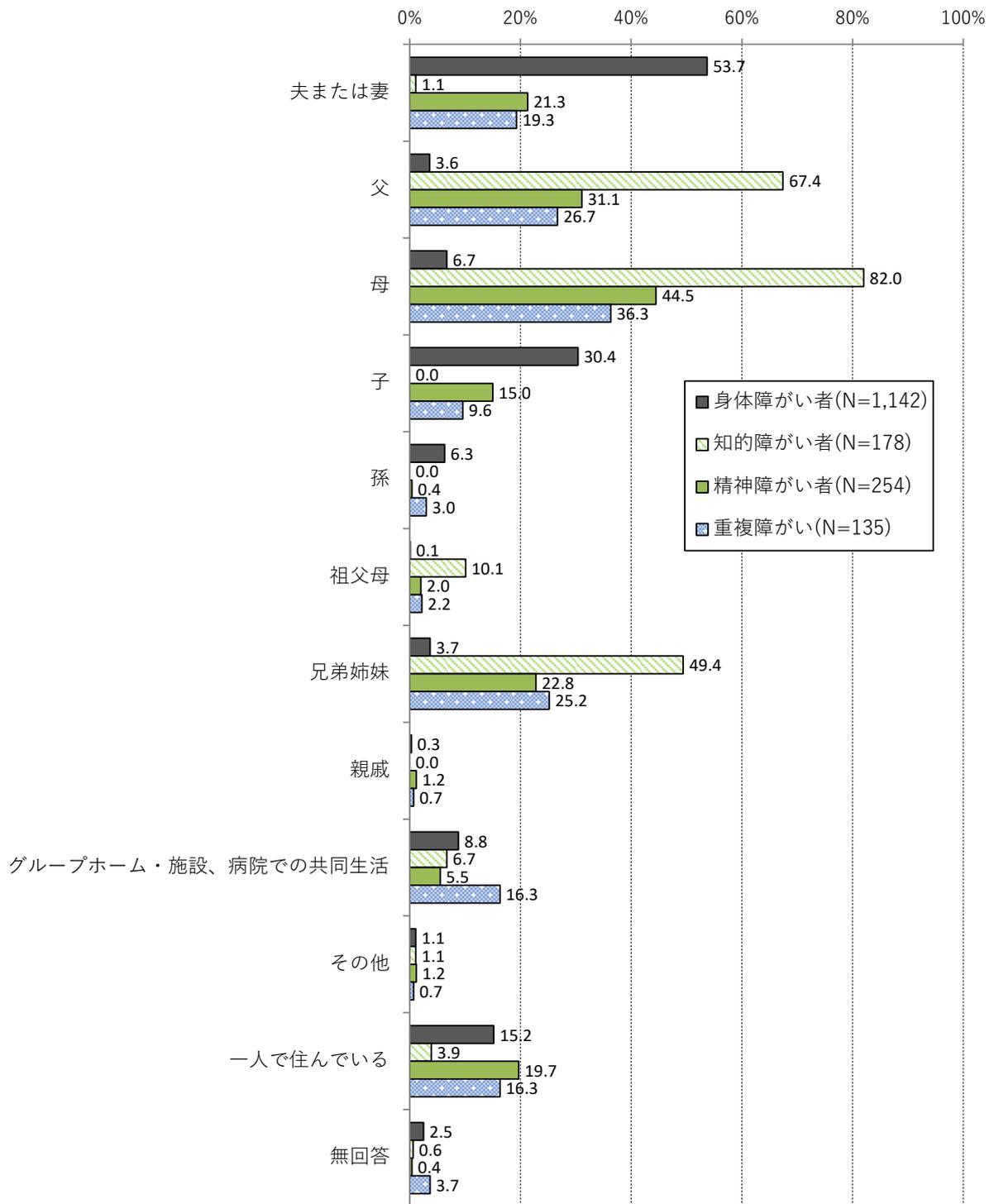
- 現在の住まいについてたずねたところ、「あなた自身又は家族の持ち家」の回答率が68.2%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「あなた自身又は家族の持ち家」が72.7%と最も多く、次いで「民間の借家・アパート」が13.8%、「グループホーム・施設、病院」が9.0%と続きます。
- 知的障がい者では「あなた自身又は家族の持ち家」が66.3%と最も多く、次いで「民間の借家・アパート」が24.2%、「グループホーム・施設、病院」が6.7%と続きます。
- 精神障がい者では「あなた自身又は家族の持ち家」が57.5%と最も多く、次いで「民間の借家・アパート」が33.1%、「グループホーム・施設、病院」が5.9%と続きます。
- 重複障がいでは「あなた自身又は家族の持ち家」が59.3%と最も多く、次いで「民間の借家・アパート」が16.3%、「グループホーム・施設、病院」が14.8%と続きます。

問 20 あなたはだれと一緒に住んでいますか。(〇はあてはまるものすべて)

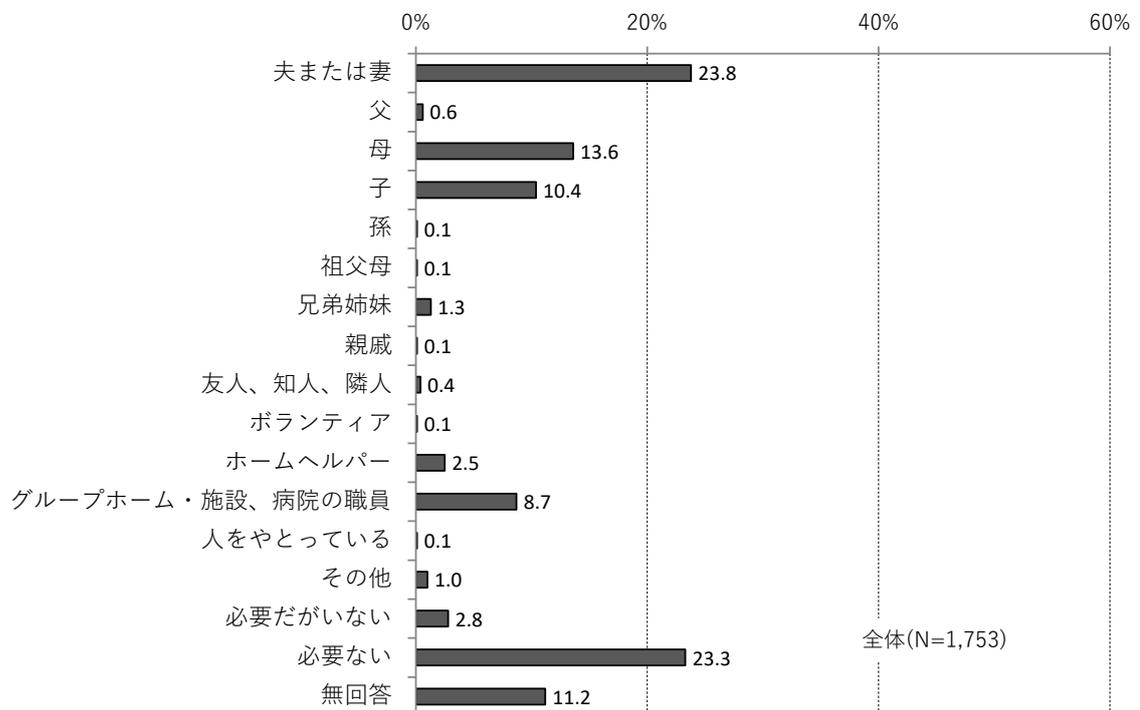


- 一緒に生活している人についてたずねたところ、「夫または妻」の回答率が 40.3%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「夫または妻」が最も多く 53.7%、次いで「子」が 30.4%、「一人で住んでいる」が 15.2%と続きます。
- 知的障がい者では「母」が最も多く 82.0%、次いで「父」が 67.4%、「兄弟姉妹」が 49.4%と続きます。
- 精神障がい者では「母」が最も多く 44.5%、次いで「父」が 31.1%、「兄弟姉妹」が 22.8%と続きます。
- 重複障がいでは「母」が最も多く 36.3%、次いで「父」が 26.7%、「兄弟姉妹」が 25.2%と続きます。

【一緒に住んでいる人（障がい種別）】

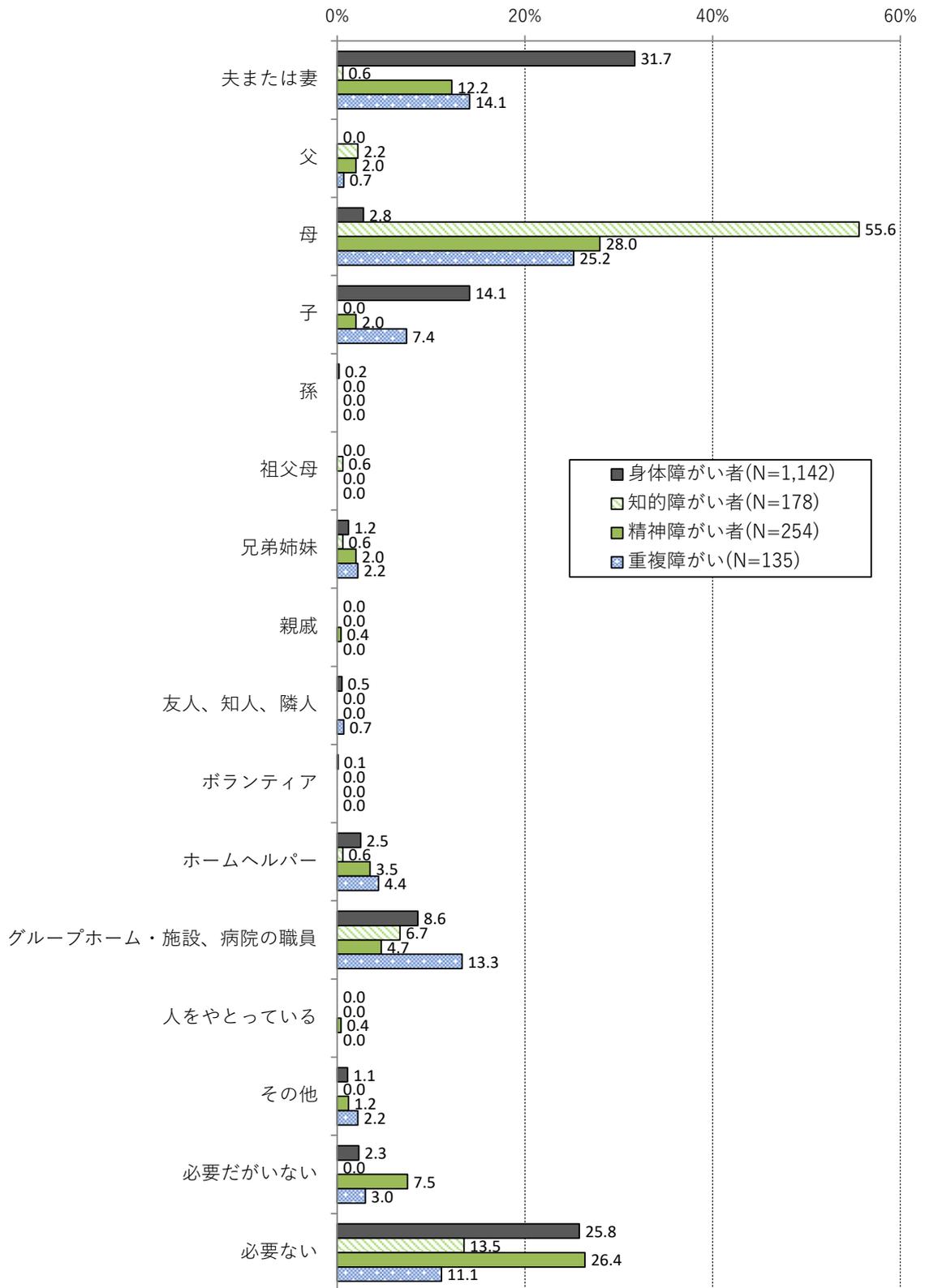


問 21 あなたの介助者（または、身の回りのお世話）をしているのは主にどなたですか。
（○は1つだけ）



- 主な介助者についてたずねたところ、「夫または妻」の回答率が 23.8%と最も高くなっています。また、「必要ない」の回答率は 23.3%となっています。
- 身体障がい者では「夫または妻」が最も多く 31.7%、次いで「子」が 14.1%、「グループホーム・施設、病院の職員」が 8.6%と続きます。
- 知的障がい者では「母」が最も多く 55.6%、次いで「グループホーム・施設、病院の職員」が 6.7%、「父」が 2.2%と続きます。
- 精神障がい者では「母」が最も多く 28.0%、次いで「夫または妻」が 12.2%、「必要だがいない」が 7.5%と続きます。
- 重複障がいでは「母」が最も多く 25.2%、次いで「夫または妻」が 14.1%、「グループホーム・施設、病院の職員」が 13.3%と続きます。

【主な介助者（障がい種別）】

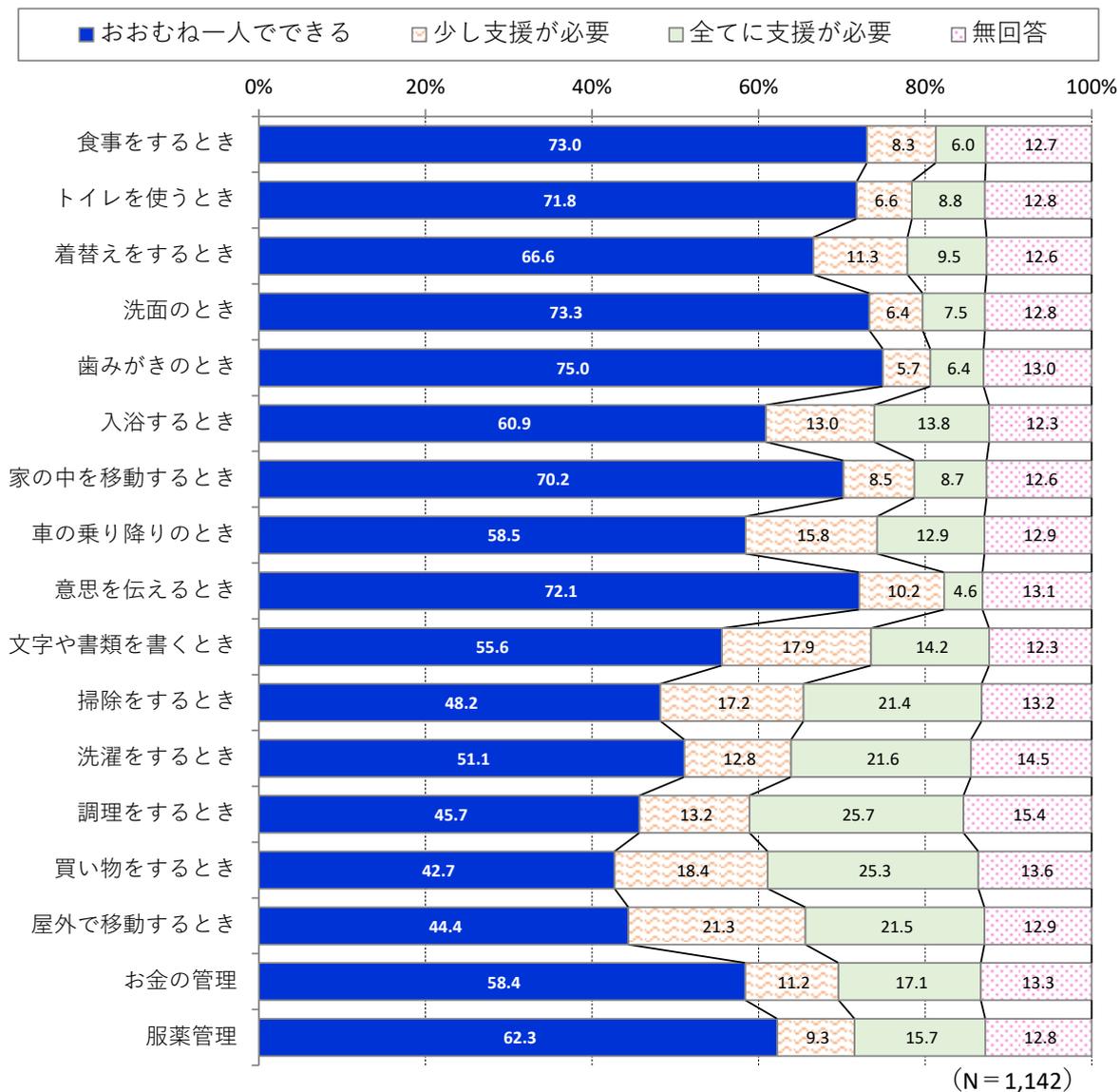


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
夫または妻	31.7	36.3	0.6	0.9	12.2	11.5
父	0.0	1.0	2.2	11.1	2.0	7.1
母	2.8	3.5	55.6	53.8	28.0	25.3
子	14.1	12.5	0.0	0.0	2.0	2.8
孫	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	0.0	0.0	0.6	0.9	0.0	0.0
兄弟姉妹	1.2	1.1	0.6	3.1	2.0	2.0
親戚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4
友人、知人、隣人	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	2.0
ボランティア	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	2.5	2.4	0.6	2.7	3.5	3.2
グループホーム・施設、病院の職員	8.6	12.4	6.7	11.6	4.7	12.6
人をやとっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
その他	1.1	1.1	0.0	0.0	1.2	0.8
必要だがいない	2.3	2.0	0.0	0.9	7.5	6.3
必要ない	25.8	21.7	13.5	10.2	26.4	24.5
無回答	9.2	4.9	19.7	4.9	9.8	1.6

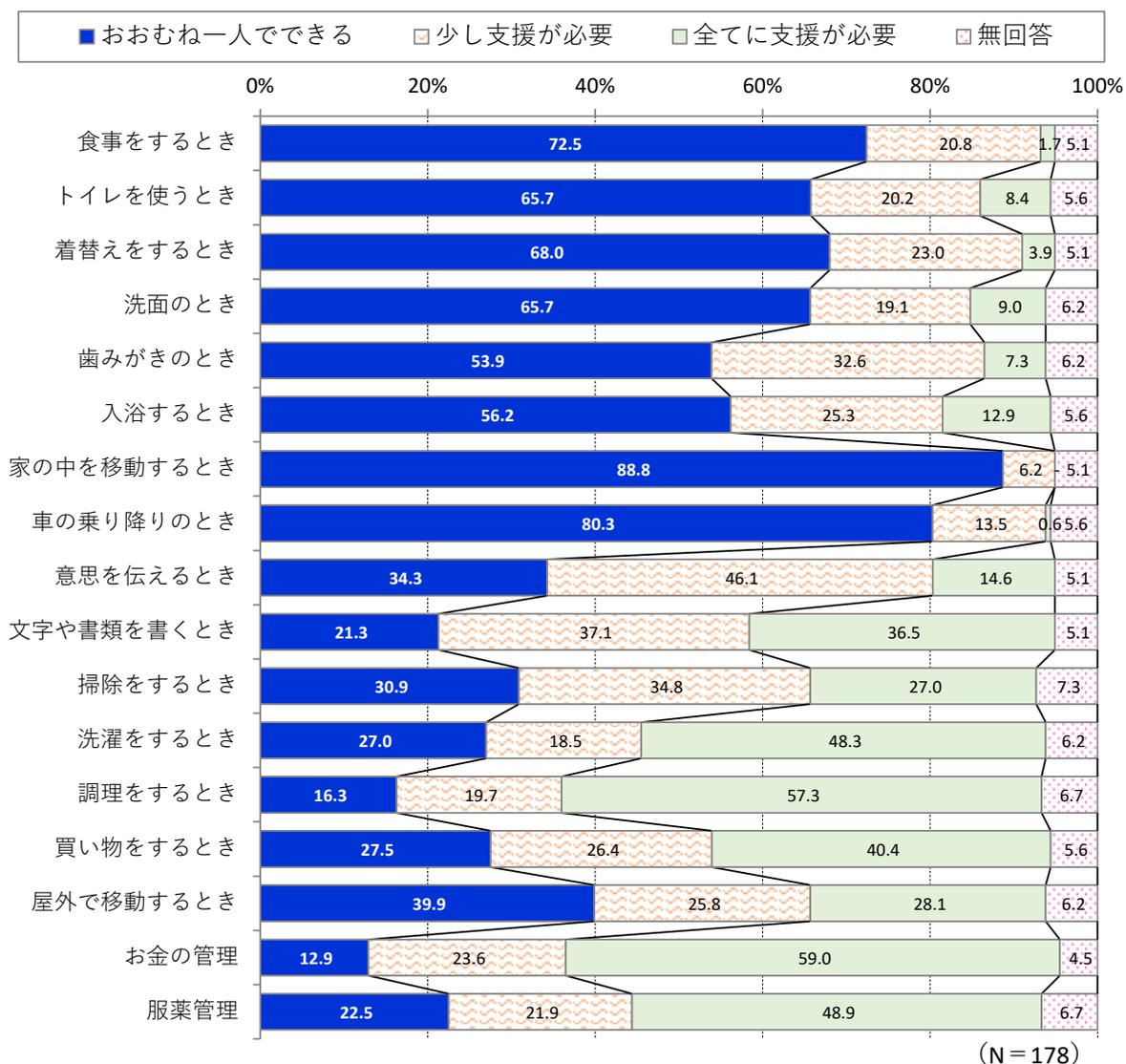
問 22 あなたは日常生活についてどれくらい支援が必要ですか。(それぞれ○は1つずつ)
 ※補装具を使用している方は使用した状態でお答えください。

1 身体障がい者



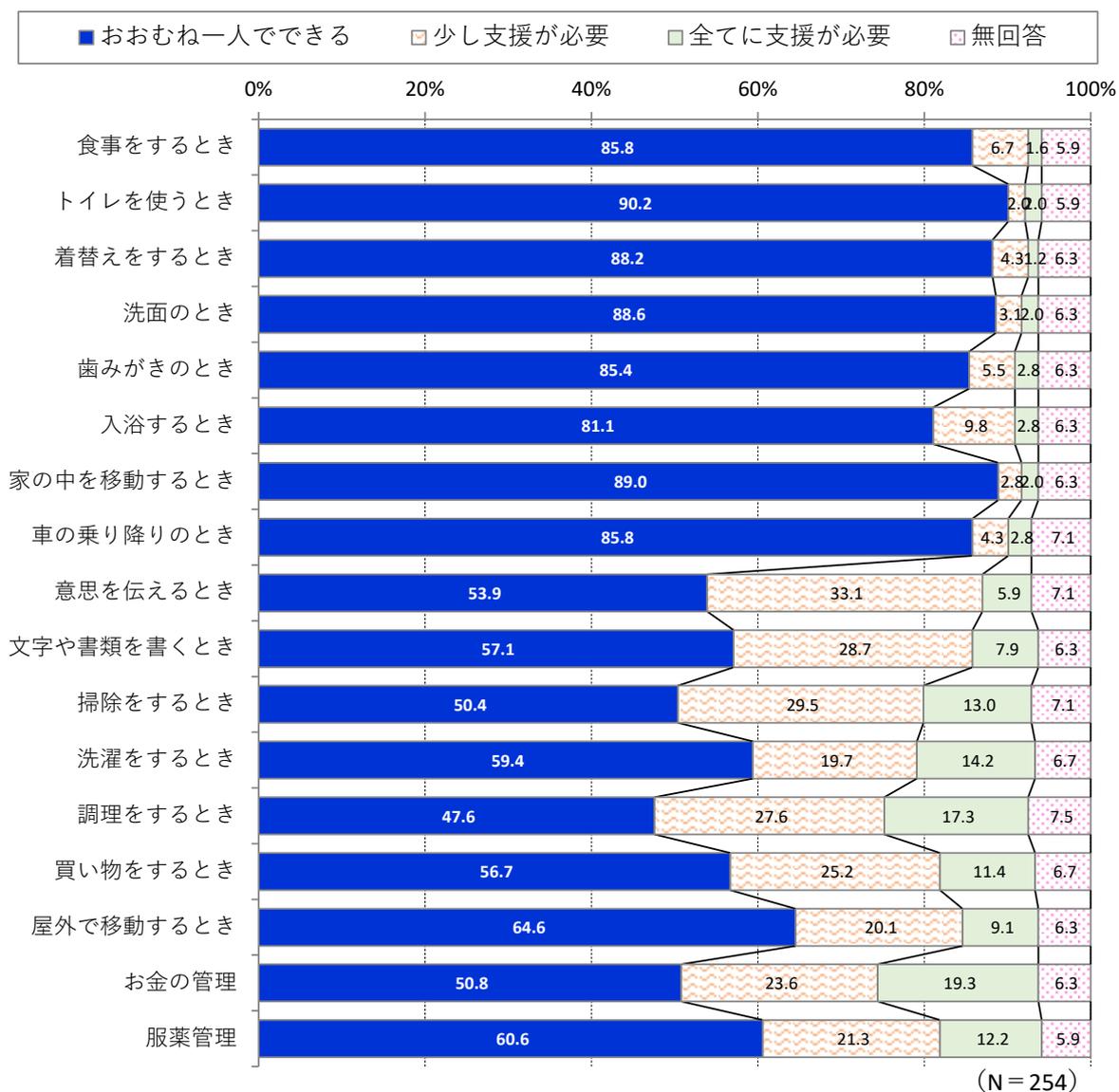
- 「全てに支援が必要」または「少し支援が必要」の回答率が最も高かったのは「買い物をするとき」で43.7%となっています。次いで、「屋外で移動するとき」が42.8%、「調理をするとき」が38.9%と続きます。
- 食事や排せつ、着替え等の基本的な日常の動作については「おおむね一人でできる」の回答率が比較的高くなっていますが、「着替えをするとき」「入浴するとき」に何らかの支援を必要とする人が多い傾向にあります。

2 知的障がい者



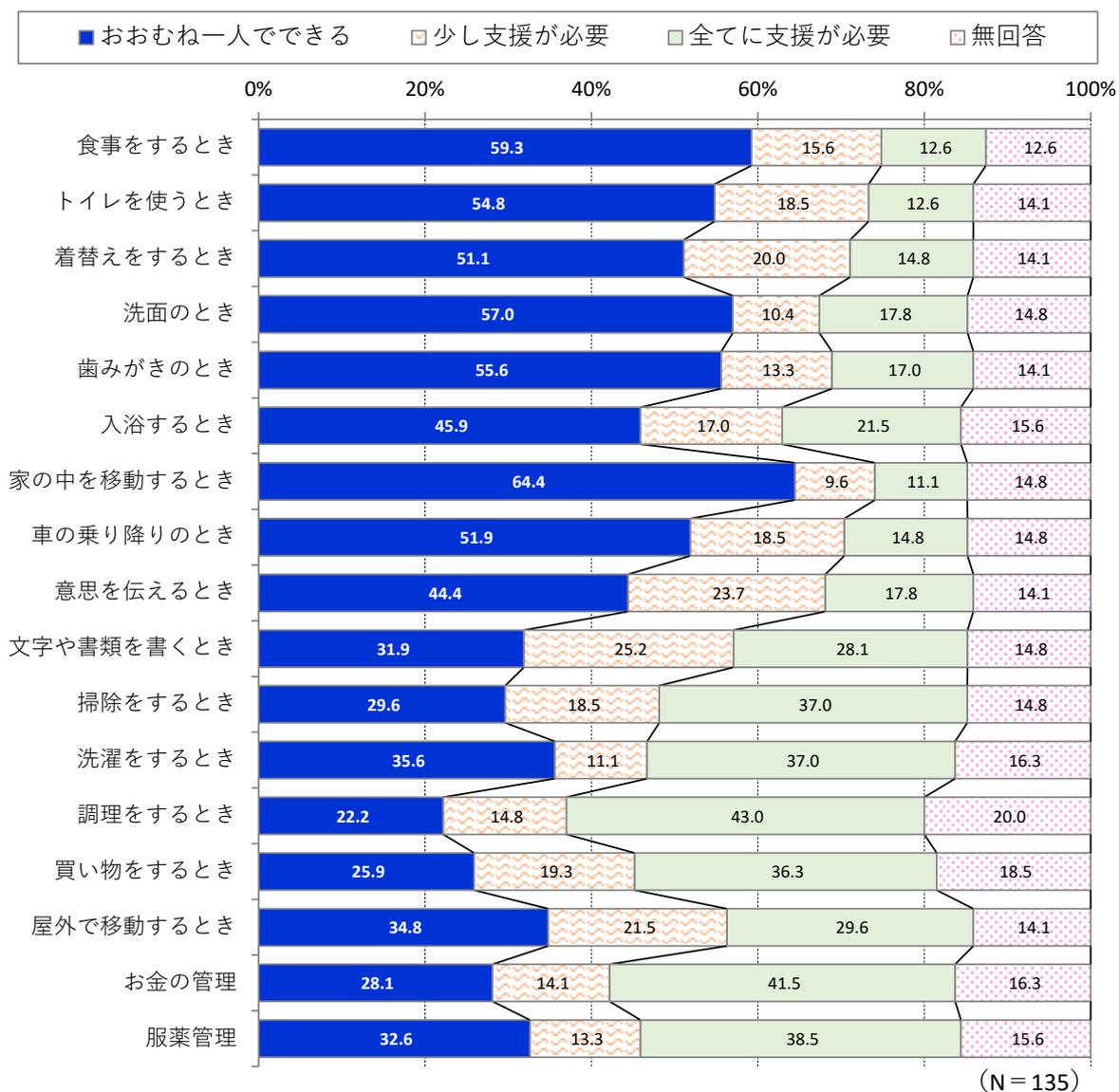
- 「全てに支援が必要」または「少し支援が必要」の回答率が最も高かったのは「お金の管理」で82.6%となっています。次いで、「調理をするとき」が77.0%、「文字や書類を書くとき」が73.6%と続きます。
- その他、「意思を伝えるとき」「掃除をするとき」「洗濯をするとき」「買い物をするとき」「屋外で移動するとき」「服薬管理」で何らかの支援が必要であると回答した人が半数を超えています。

3 精神障がい者



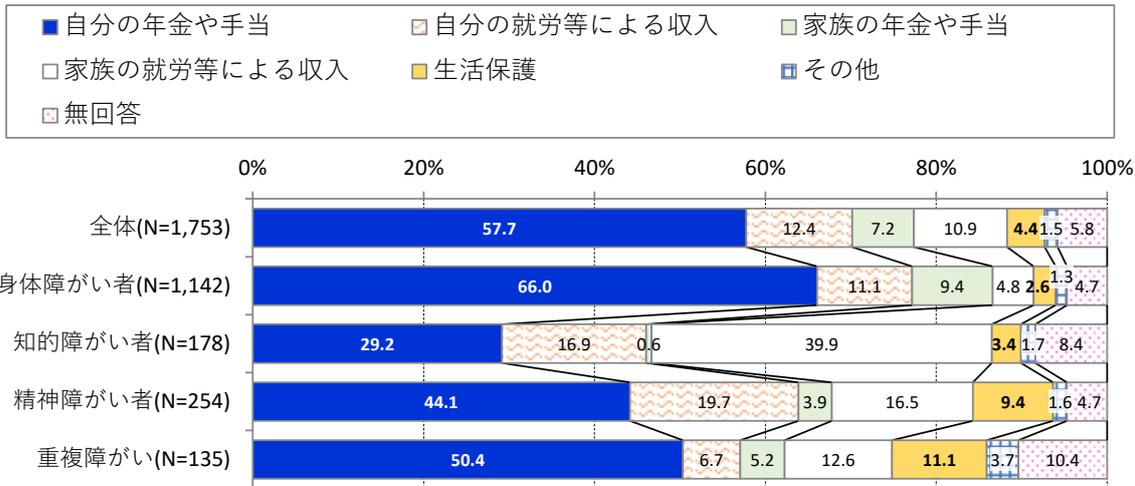
- 「全てに支援が必要」または「少し支援が必要」の回答率が最も高かったのは「調理をするとき」で44.9%となっています。次いで、「お金の管理」が42.9%、「掃除をするとき」が42.5%と続きます。
- 食事や排せつ、着替え等の基本的な日常の動作について何らかの支援が必要である人は、他の障がい種別と比較して少なくなっています。

4 重複障がい



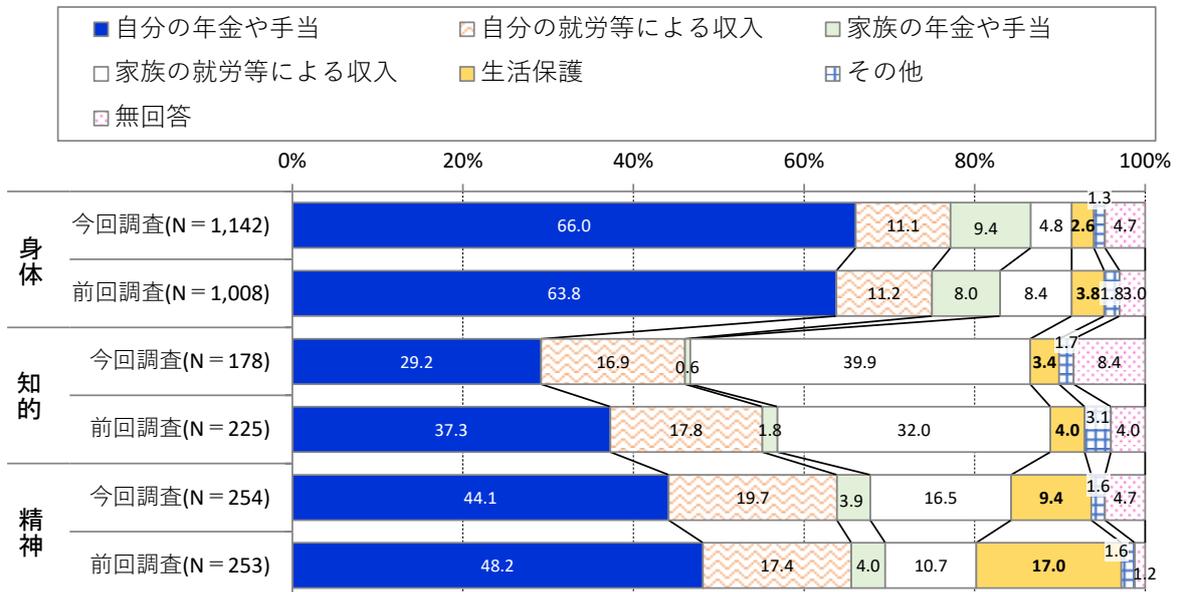
- 「全てに支援が必要」または「少し支援が必要」の回答率が最も高かったのは「調理をするとき」で 57.8%となっています。次いで、「買い物をするとき」「お金の管理」が 55.6%、「掃除をするとき」が 55.5%と続きます。
- その他、「文字や書類を書くとき」「屋外で移動するとき」「服薬管理」で何らかの支援が必要であると回答した人が半数を超えています。

問 23 あなたの主な収入は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)



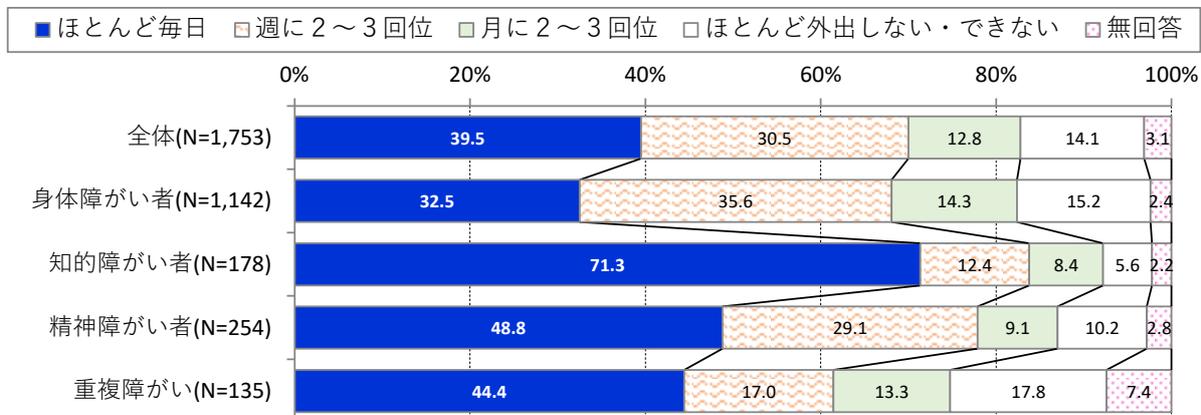
- 主な収入についてたずねたところ、「自分の年金や手当」の回答率が57.7%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「自分の年金や手当」が最も多く66.0%、次いで「自分の就労等による収入」が11.1%、「家族の年金や手当」が9.4%と続きます。
- 知的障がい者では「家族の就労等による収入」が最も多く39.9%、次いで「自分の年金や手当」が29.2%、「自分の就労等による収入」が16.9%と続きます。
- 精神障がい者では「自分の年金や手当」が最も多く44.1%、次いで「自分の就労等による収入」が19.7%、「家族の就労等による収入」が16.5%と続きます。
- 重複障がいでは「自分の年金や手当」が最も多く50.4%、次いで「家族の就労等による収入」が12.6%、「生活保護」が11.1%と続きます。
- 前回調査と比較したところ、おおむね同様の傾向となっていますが、精神障がい者では「生活保護」の回答率が7.6ポイント減少しています。

【前回調査との比較】



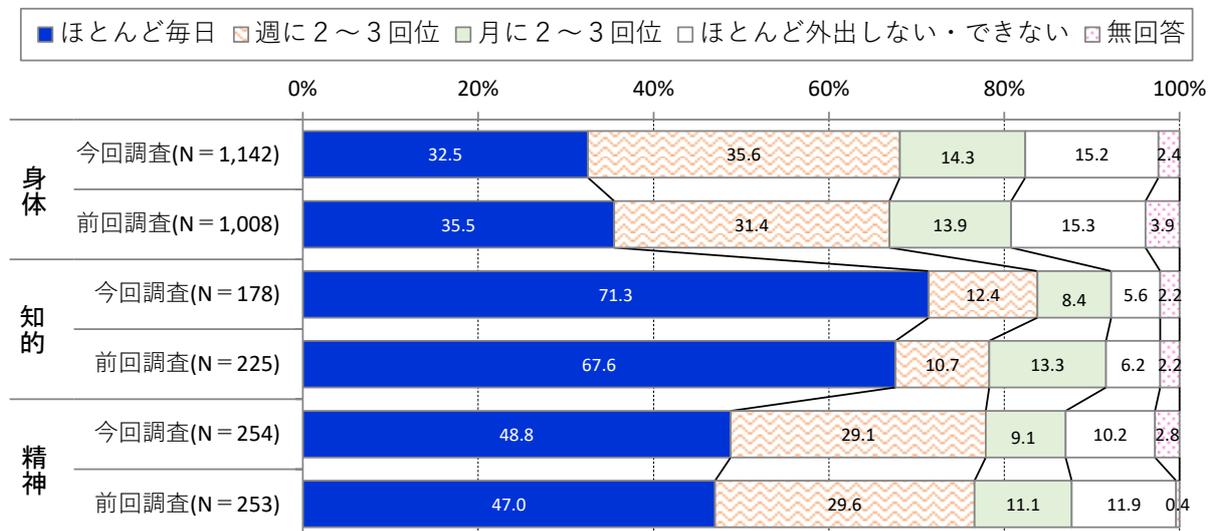
3. 外出状況について

問 24 あなたは日ごろ、どれくらい外出しますか。(〇は1つだけ)



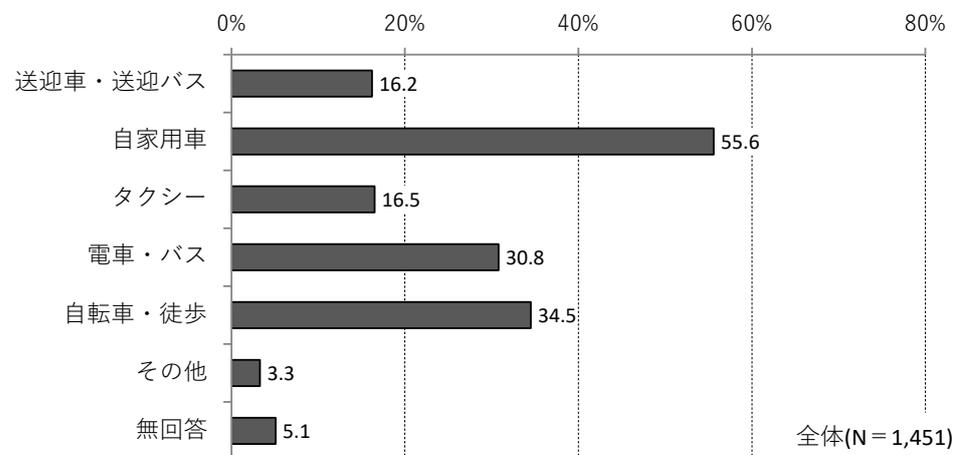
- 外出の頻度についてたずねたところ、「ほとんど毎日」の回答率が39.5%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「週に2~3回位」が最も多く35.6%、次いで「ほとんど毎日」が32.5%、「ほとんど外出しない・できない」が15.2%と続きます。
- 知的障がい者では「ほとんど毎日」が最も多く71.3%、次いで「週に2~3回位」が12.4%、「月に2~3回位」が8.4%と続きます。
- 精神障がい者では「ほとんど毎日」が最も多く48.8%、次いで「週に2~3回位」が29.1%、「ほとんど外出しない・できない」が10.2%と続きます。
- 重複障がいでは「ほとんど毎日」が最も多く44.4%、次いで「ほとんど外出しない・できない」が17.8%、「週に2~3回位」が17.0%と続きます。
- 前回調査と比較したところ、いずれの障がい種別でもおおむね同様の傾向となっています。

【前回調査との比較】



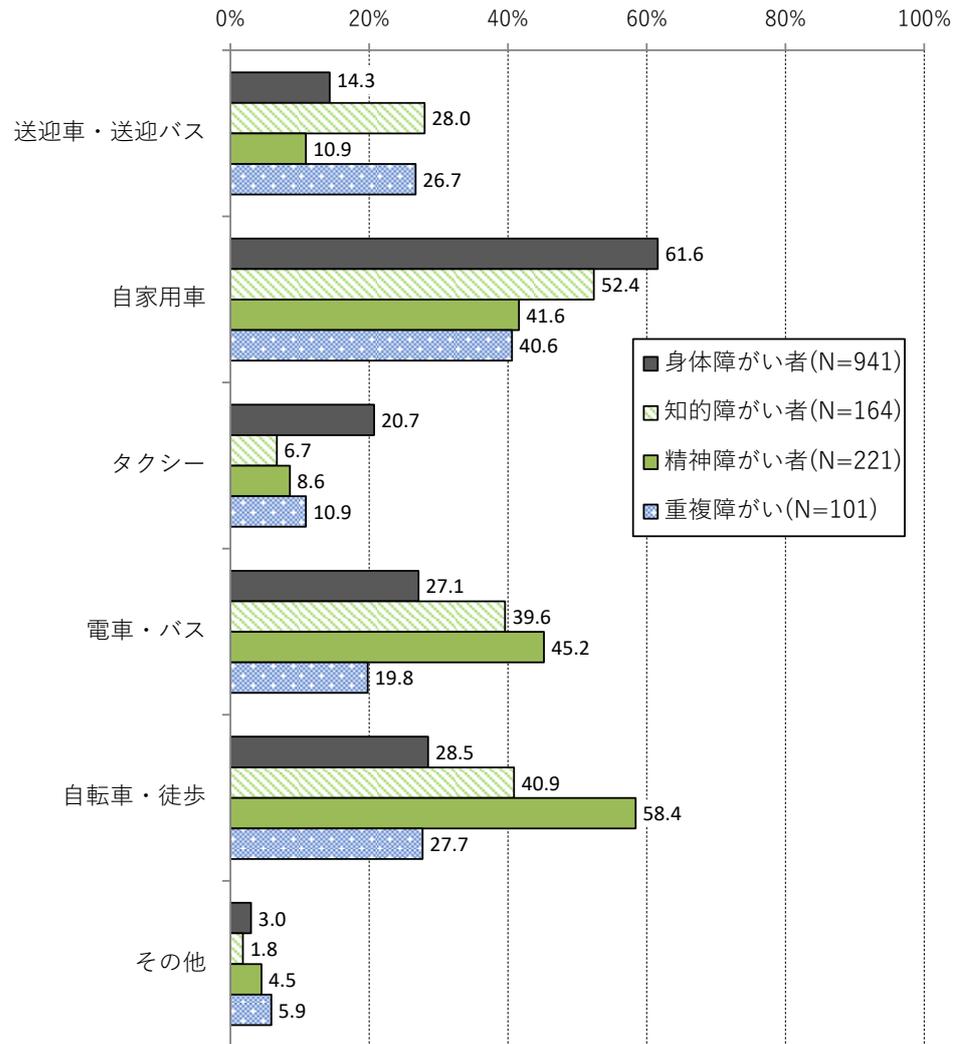
問 24 で「月に 2～3 回位」以上外出すると回答した方におたずねします。

問 25 あなたが外出するときの交通手段は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



- 外出の際の主な交通手段についてたずねたところ、「自家用車」の回答率が 55.6%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「自家用車」が最も多く 61.6%、次いで「自転車・徒歩」が 28.5%、「電車・バス」が 27.1%と続きます。
- 知的障がい者では「自家用車」が最も多く 52.4%、次いで「自転車・徒歩」が 40.9%、「電車・バス」が 39.6%と続きます。
- 精神障がい者では「自転車・徒歩」が最も多く 58.4%、次いで「電車・バス」が 45.2%、「自家用車」が 41.6%と続きます。
- 重複障がいでは「自家用車」が最も多く 40.6%、次いで「自転車・徒歩」が 27.7%、「送迎車・送迎バス」が 26.7%と続きます。

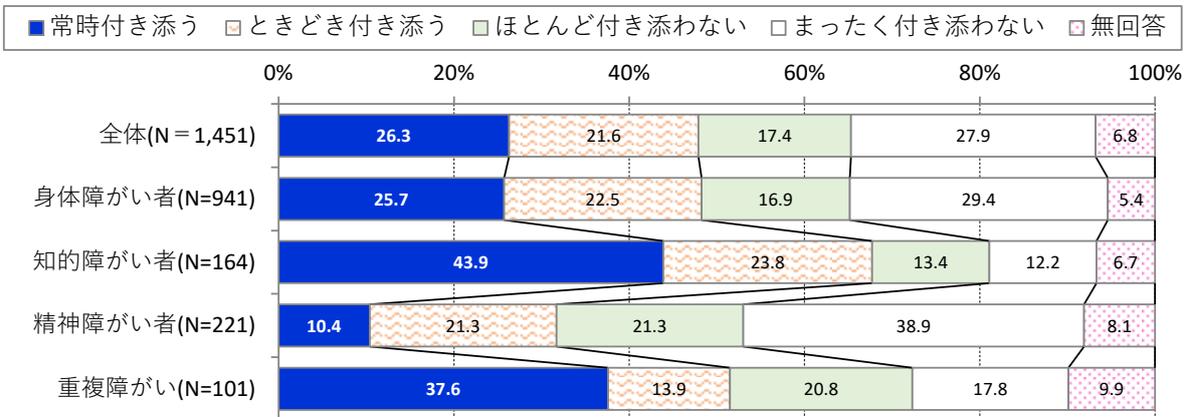
【主な移動手段（障がい種別）】



【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	941	815	164	206	221	222
送迎車・送迎バス	14.3	14.2	28.0	32.5	10.9	7.2
自家用車	61.6	63.6	52.4	50.0	41.6	32.0
タクシー	20.7	22.3	6.7	8.3	8.6	6.3
電車・バス	27.1	30.9	39.6	49.5	45.2	47.7
自転車・徒歩	28.5	27.7	40.9	48.1	58.4	58.6
その他	3.0	3.1	1.8	3.4	4.5	7.7
無回答	3.8	2.6	11.6	1.9	3.6	1.4

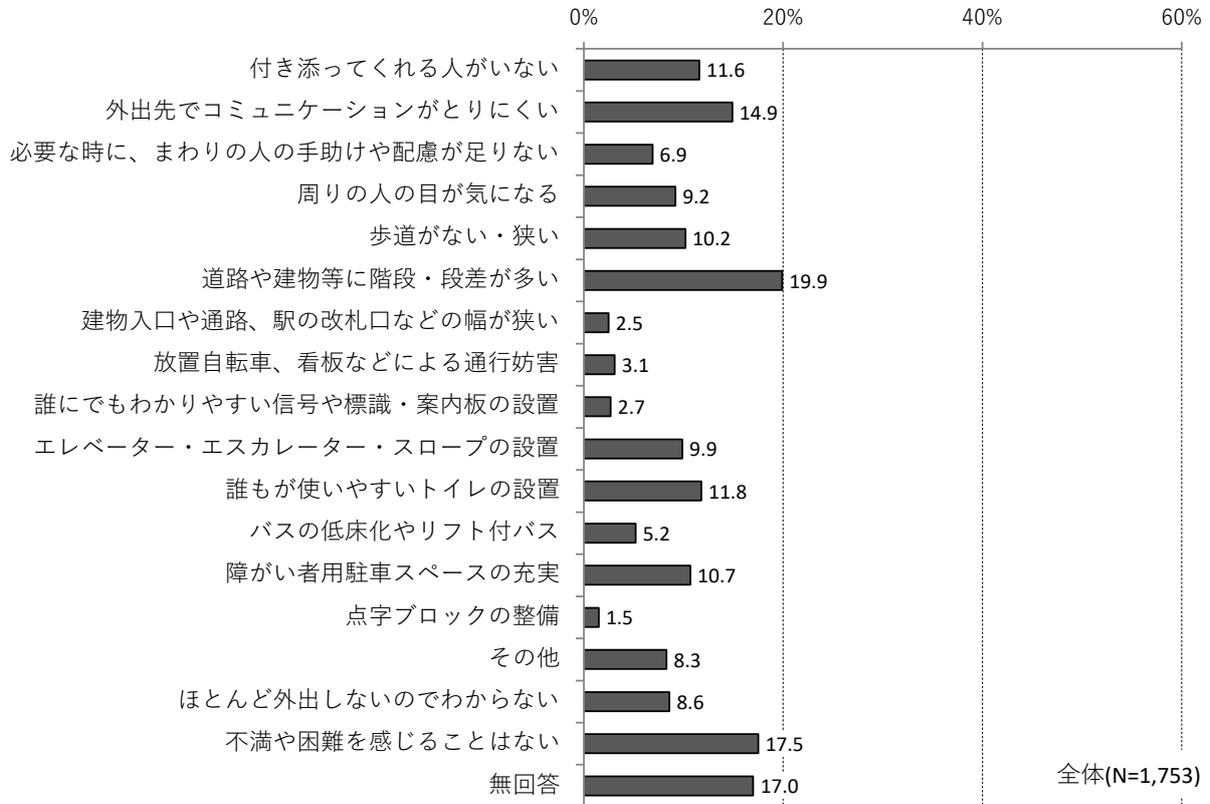
問 24 で「1～3（月に2～3回位以上外出する）」と回答した方におたずねします。
 問 26 あなたが外出するとき、だれか付き添いはありますか。（○は1つだけ）



- 外出の際の付き添いについてたずねたところ、「まったく付き添わない」の回答率が27.9%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「まったく付き添わない」が最も多く29.4%、次いで「常時付き添う」が25.7%、「ときどき付き添う」が22.5%と続きます。
- 知的障がい者では「常時付き添う」が最も多く43.9%、次いで「ときどき付き添う」が23.8%、「ほとんど付き添わない」が13.4%と続きます。
- 精神障がい者では「まったく付き添わない」が最も多く38.9%、次いで「ときどき付き添う」「ほとんど付き添わない」が21.3%と続きます。
- 重複障がいでは「常時付き添う」が最も多く37.6%、次いで「ほとんど付き添わない」が20.8%、「全く付き添わない」が17.8%と続きます。

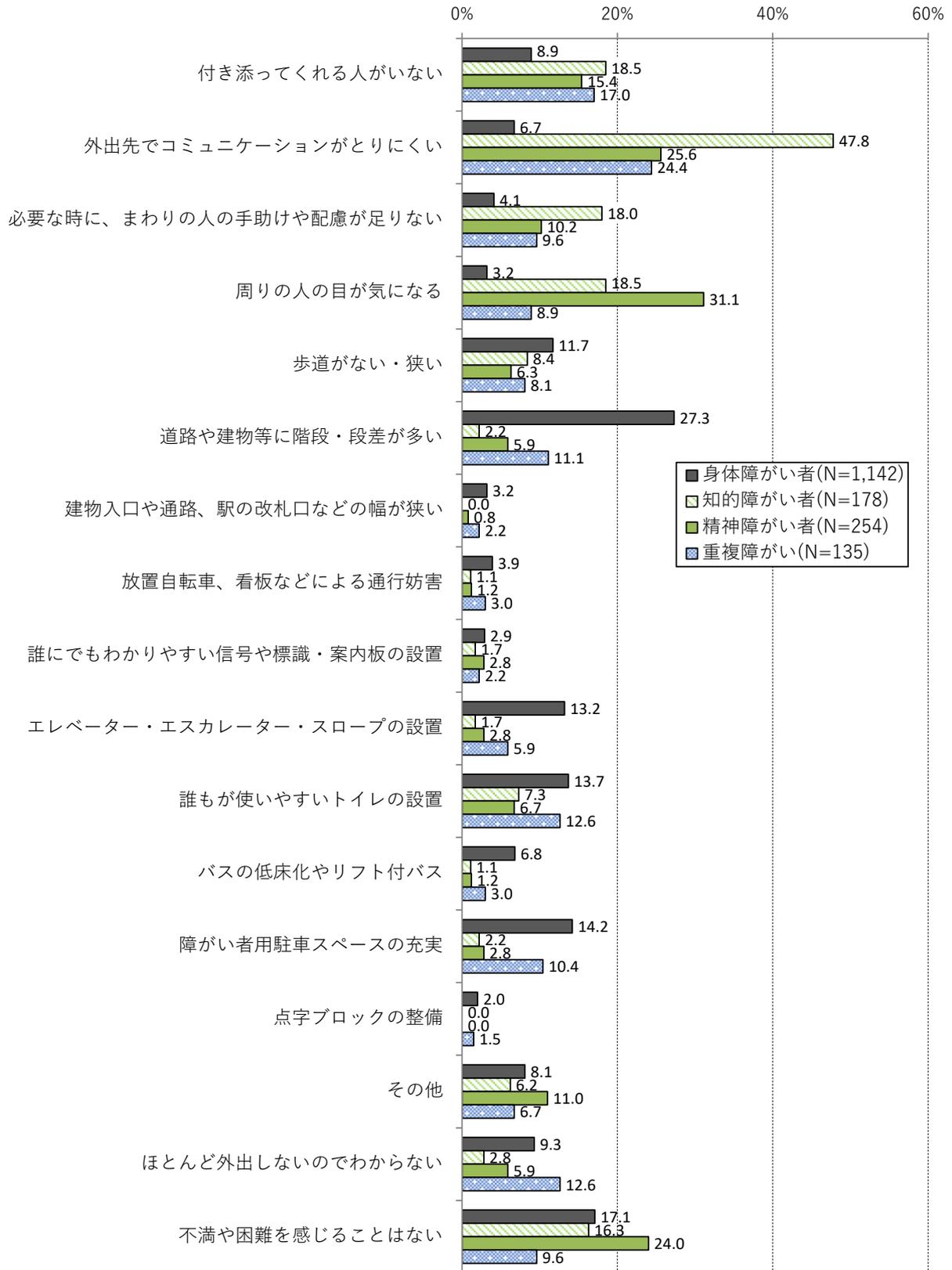
問 24 で「月に 2～3 回位」以上外出すると回答した方におたずねします。

問 27 あなたが外出する時に困ること（または外出しない・できない理由）はどのようなことですか。（〇は主なもの 3 つまで）



- 外出の際に困ることについてたずねたところ、「道路や建物等に階段・段差が多い」の回答率が 19.9%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「道路や建物等に階段・段差が多い」が最も多く 27.3%、次いで「障がい者用駐車スペースの充実」が 14.2%、「誰もが使いやすいトイレの設置」が 13.7%と続きます。
- 知的障がい者では「外出先でコミュニケーションがとりにくい」が最も多く 47.8%、次いで「付き添ってくれる人がいない」「周りの人の目が気になる」が 18.5%、「必要な時に、周りの人の手助けや配慮が足りない」が 18.0%と続きます。
- 精神障がい者では「周りの人の目が気になる」が最も多く 31.1%、次いで「外出先でコミュニケーションがとりにくい」が 25.6%、「付き添ってくれる人がいない」が 15.4%と続きます。
- 重複障がいでは「外出先でコミュニケーションがとりにくい」が最も多く 24.4%、次いで「付き添ってくれる人がいない」が 17.0%、「誰もが使いやすいトイレの設置」が 12.6%と続きます。

【外出時に困ること（障がい種別）】



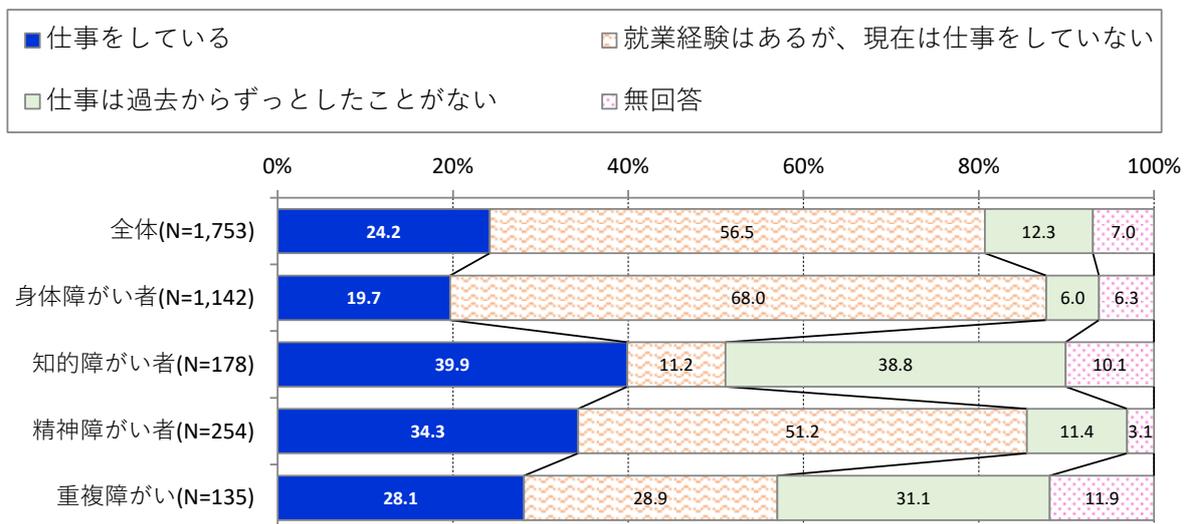
【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
付き添ってくれる人がいない	8.9	8.3	18.5	16.9	15.4	14.6
外出先でコミュニケーションがとりにくい	6.7	6.8	47.8	50.7	25.6	23.3
必要な時に、まわりの人の手助けや配慮が足りない	4.1	3.8	18.0	19.6	10.2	8.3
周りの人の目が気になる	3.2	3.8	18.5	19.1	31.1	32.4
歩道がない・狭い	11.7	9.2	8.4	8.0	6.3	5.9
道路や建物等に階段・段差が多い	27.3	30.1	2.2	0.4	5.9	6.7
建物入口や通路、駅の改札口などの幅が狭い	3.2	2.2	0.0	0.4	0.8	0.8
放置自転車、看板などによる通行妨害	3.9	3.7	1.1	0.4	1.2	2.8
誰にでもわかりやすい信号や標識・案内板の設置	2.9	2.2	1.7	5.8	2.8	2.0
エレベーター・エスカレーター・スロープの設置	13.2	16.3	1.7	0.4	2.8	3.2
誰もが使いやすいトイレの設置	13.7	15.7	7.3	8.9	6.7	7.1
バスの低床化（乗降口の床を低くすること）やリフト付バス	6.8	—	1.1	—	1.2	—
障がい者用駐車スペースの充実	14.2	15.5	2.2	2.2	2.8	0.4
点字ブロックの整備	2.0	1.1	0.0	0.4	0.0	0.4
その他	8.1	7.5	6.2	4.9	11.0	8.3
ほとんど外出しないのでわからない	9.3	7.2	2.8	0.9	5.9	3.2
不満や困難を感じることはない	17.1	15.6	16.3	16.0	24.0	25.3
無回答	17.1	13.3	13.5	11.6	14.6	7.5

4. 日中の活動（仕事や就学）の状況について

（1）現在の就労や就業等の状況について

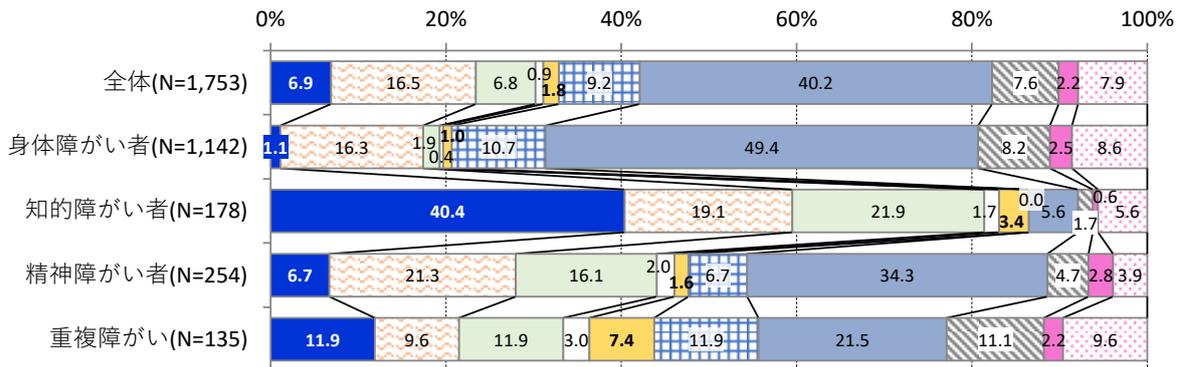
問 28 あなたは、次のうちどれに当てはまりますか。（○は1つだけ）



- 現在の就労状況についてたずねたところ、「仕事をしている」が24.2%、「就業経験はあるが、現在は仕事をしていない」が56.5%、「仕事は過去からずっとしたことがない」が12.3%となっています。
- 身体障がい者では「仕事をしている」が19.7%、「就業経験はあるが、現在は仕事をしていない」が68.0%、「仕事は過去からずっとしたことがない」が6.0%となっています。
- 知的障がい者では「仕事をしている」が39.9%、「就業経験はあるが、現在は仕事をしていない」が11.2%、「仕事は過去からずっとしたことがない」が38.8%となっています。
- 精神障がい者では「仕事をしている」が34.3%、「就業経験はあるが、現在は仕事をしていない」が51.2%、「仕事は過去からずっとしたことがない」が11.4%となっています。
- 重複障がいでは「仕事をしている」が28.1%、「就業経験はあるが、現在は仕事をしていない」が28.9%、「仕事は過去からずっとしたことがない」が31.1%となっています。

問 29 あなたは日中、主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

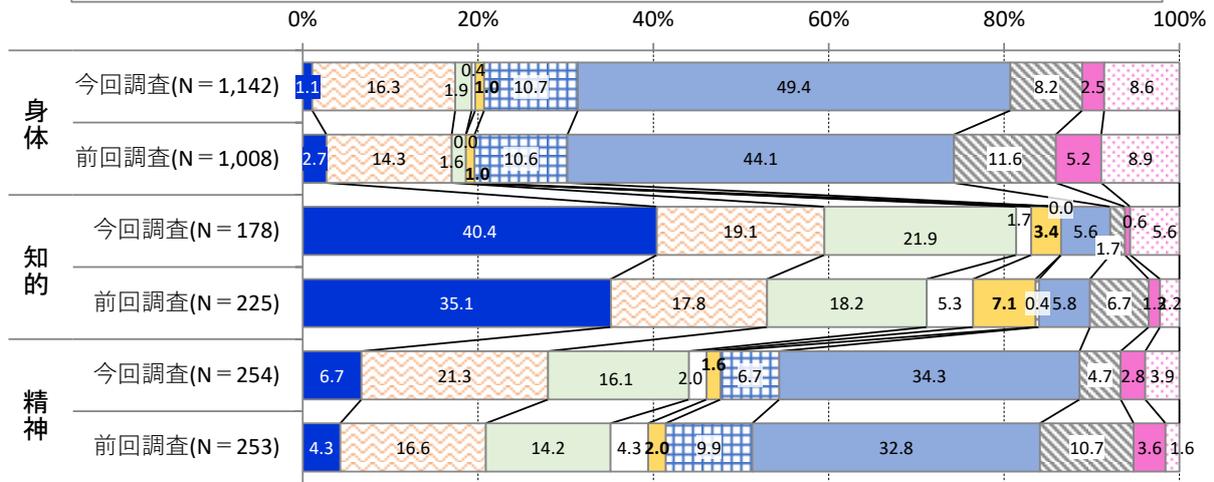
- 学校に通っている（就学前の方の保育園・幼稚園、通園施設等も含む）
- ▨ 企業等で仕事をしている（自営業や家業手伝いを含む）
- ▨ 事業所に通って仕事をしている（就労継続支援等）
- 事業所に通って、将来、企業等で働くための訓練を受けている（就労移行支援等）
- 施設に通って生活訓練や機能訓練等を受けている
- ▨ デイサービスや医療機関のデイケア等に通っている
- 自宅で過ごしている
- ▨ 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
- その他
- 無回答



- 日中の主な過ごし方についてたずねたところ、「自宅で過ごしている」の回答率が40.2%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「自宅で過ごしている」が最も多く49.4%、次いで「企業等で仕事をしている」が16.3%、「デイサービスや医療機関のデイケア等に通っている」が10.7%と続きます。
- 知的障がい者では「学校に通っている」が最も多く40.4%、次いで「事業所に通って仕事をしている」が21.9%、「企業等で仕事をしている」が19.1%と続きます。
- 精神障がい者では「自宅で過ごしている」が最も多く34.3%、次いで「企業等で仕事をしている」が21.3%、「事業所に通って仕事をしている」が16.1%と続きます。
- 重複障がいでは「自宅で過ごしている」が最も多く21.5%、次いで「学校に通っている」「事業所に通って仕事をしている」「デイサービスや医療機関のデイケア等に通っている」が11.9%と続きます。

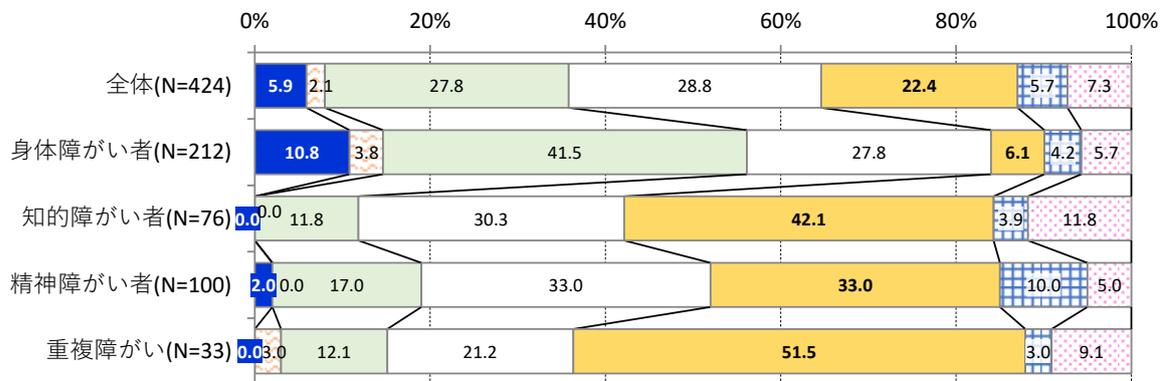
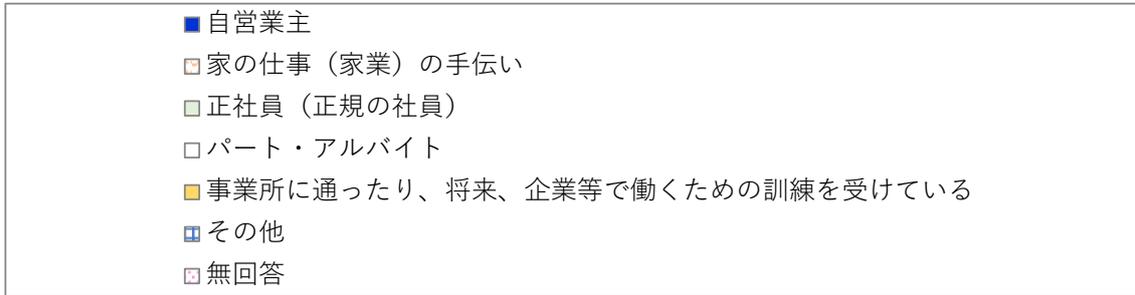
【前回調査との比較】

- 学校に通っている（就学前の方の保育園・幼稚園、通園施設等も含む）
- ▨ 企業等で仕事をしている（自営業や家業手伝いを含む）
- 事業所に通って仕事をしている（就労継続支援等）
- 事業所に通って、将来、企業等で働くための訓練を受けている（就労移行支援等）
- 施設に通って生活訓練や機能訓練等を受けている
- ▨ デイサービスや医療機関のデイケア等に通っている
- 自宅で過ごしている
- ▨ 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
- その他
- 無回答



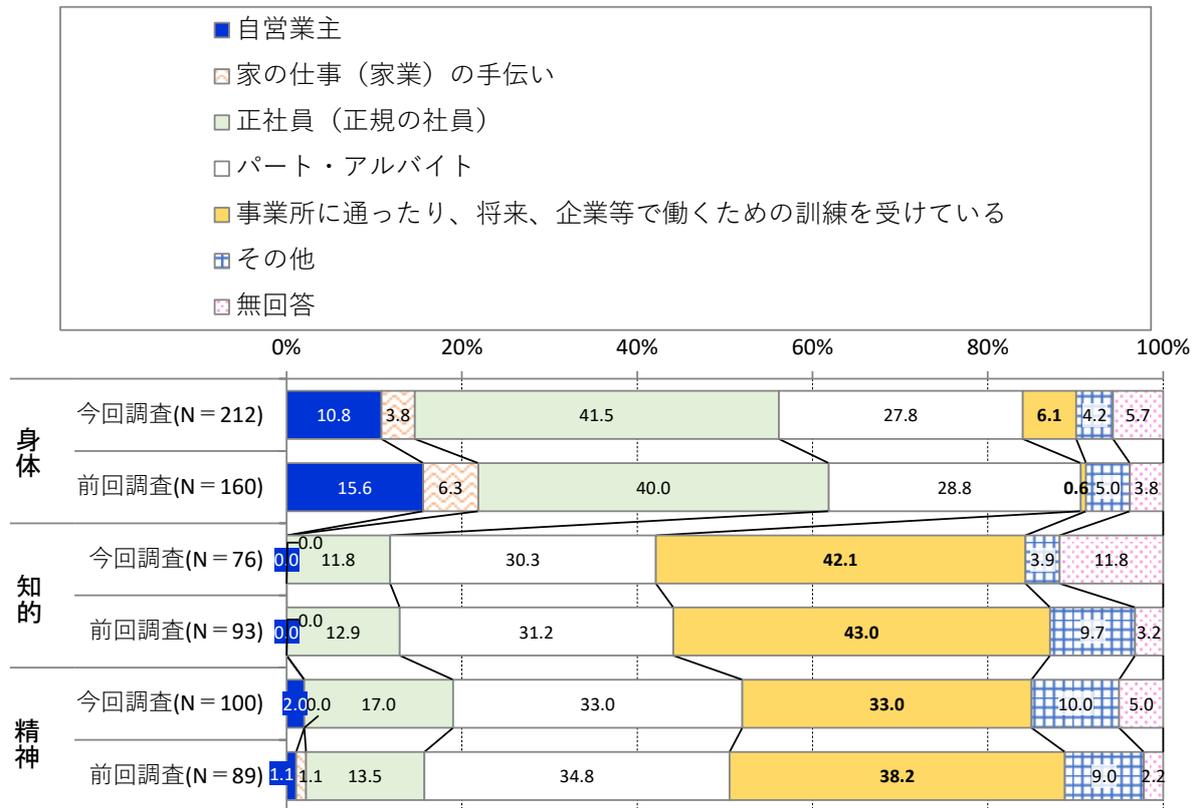
問 29 で「2～4（何らかの仕事をしている・就労のための訓練を受けている）」と回答した方におたずねします。

問 30 あなたは現在、どんな形で仕事をしていますか。（○は1つだけ）



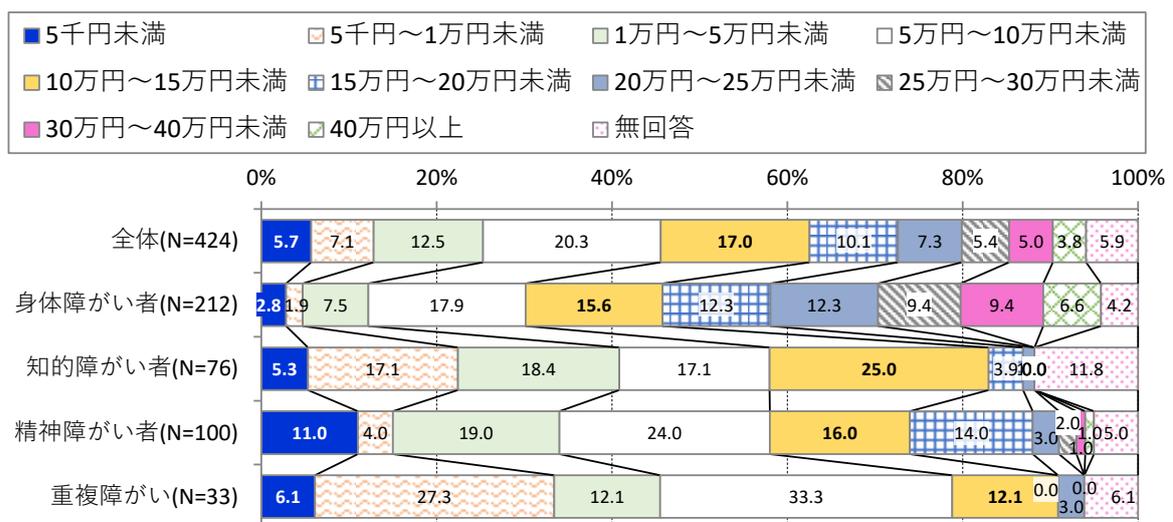
- 現在の就労形態についてたずねたところ、「パート・アルバイト」の回答率が28.8%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「正社員」が最も多く41.5%、次いで「パート・アルバイト」が27.8%、「自営業主」が10.8%と続きます。
- 知的障がい者では「事業所に通ったり、将来、企業等で働くための訓練を受けている」が最も多く42.1%、次いで「パート・アルバイト」が30.3%、「正社員」が11.8%と続きます。
- 精神障がい者では「パート・アルバイト」「事業所に通ったり、将来、企業等で働くための訓練を受けている」が最も多く33.0%、次いで「正社員」が17.0%と続きます。
- 重複障がいでは「事業所に通ったり、将来、企業等で働くための訓練を受けている」が最も多く51.5%、次いで「パート・アルバイト」が21.2%、「正社員」が12.1%と続きます。

【前回調査との比較】



問 29 で「2～4（何らかの仕事をしている・就労のための訓練を受けている）」と回答した方におたずねします。

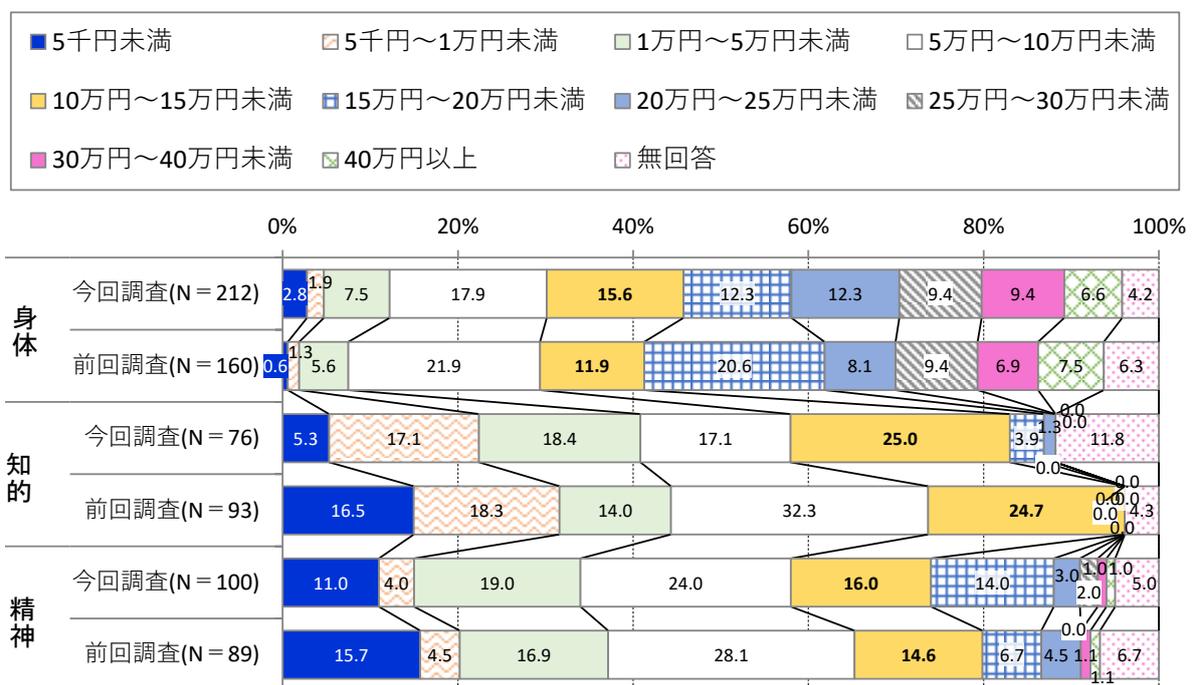
問 31 あなたが1ヶ月の仕事で得る収入は、平均しておおよそいくらですか。（〇は1つだけ）



- 身体障がい者では「5万円～10万円未満」が最も多く17.9%、次いで「10万円から5万円未満」が15.6%、「15万円～20万円未満」「20万円～25万円未満」が12.3%と続きます。

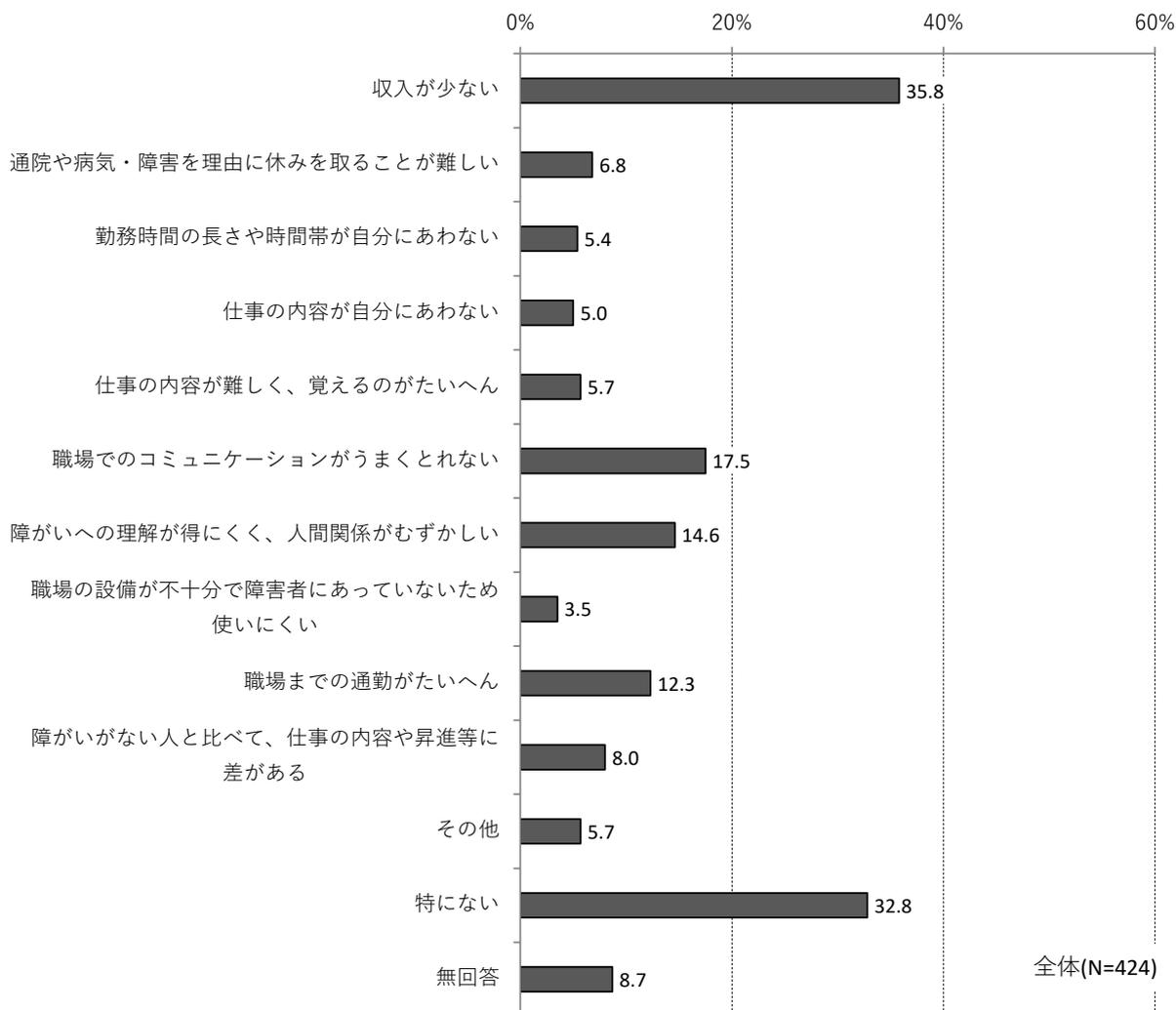
- 知的障がい者では「10万円～15万円未満」が最も多く25.0%、次いで「1万円～5万円未満」が18.4%、「5千円～1万円未満」「5万円～10万円未満」が17.1%と続きます。
- 精神障がい者では「5万円～10万円未満」が最も多く24.0%、次いで「1万円～5万円未満」が19.0%、「10万円～15万円未満」が16.0%と続きます。
- 重複障がいでは「5万円～10万円未満」が最も多く33.3%、次いで「5千円～1万円未満」「1万円～5万円未満」「10万円～15万円未満」が12.1%と続きます。

【前回調査との比較】



問 29 で「2～4（何らかの仕事をしている・就労のための訓練を受けている）」と回答した方におたずねします。

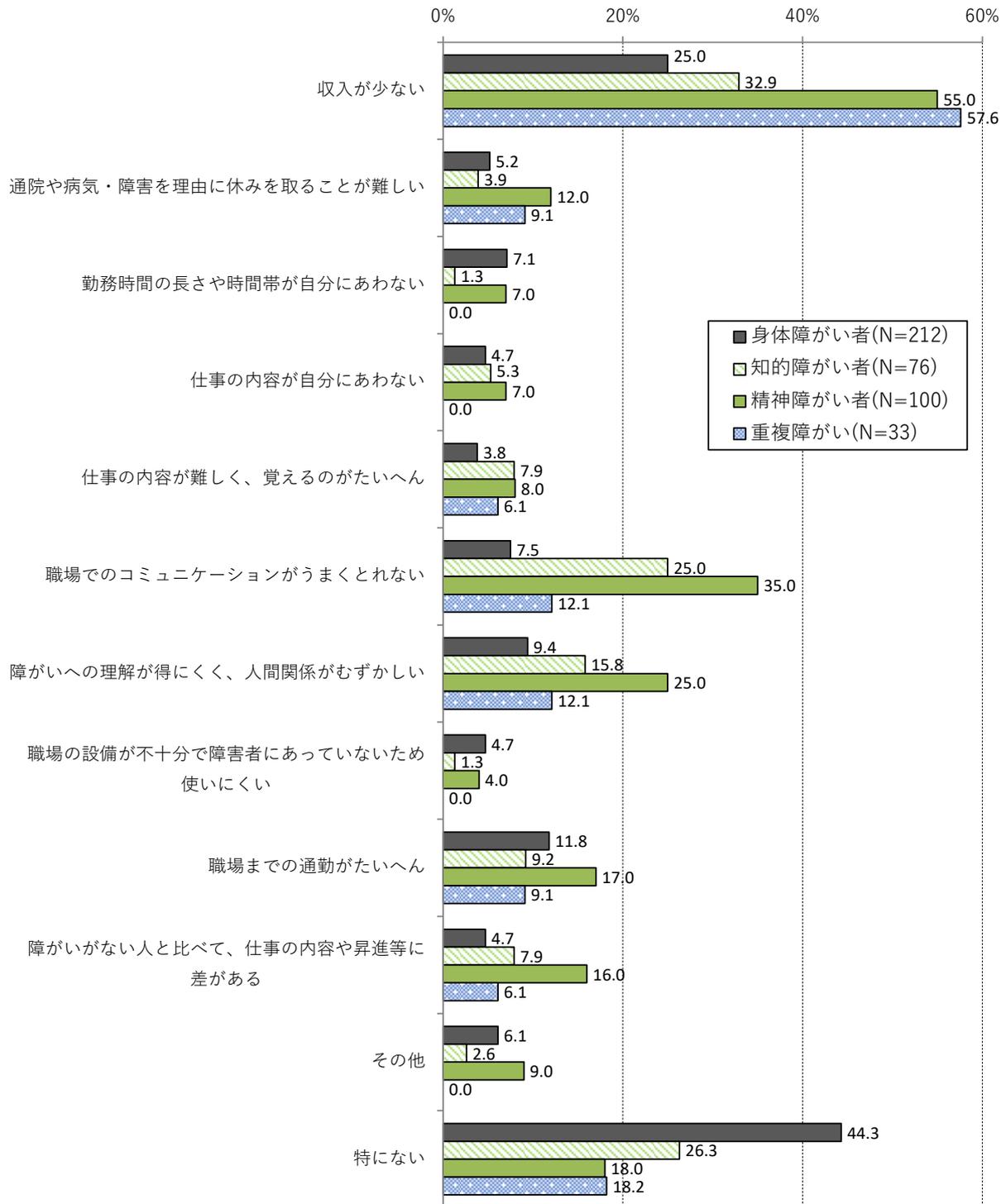
問 32 あなたは仕事のことや悩んでいることや困っていることはありますか。（〇はあてはまるものすべて）



- 仕事のことや悩んでいることや困っていることについてたずねたところ、「収入が少ない」の回答率が 35.8%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「収入が少ない」が最も多く 25.0%、次いで「職場までの通勤がたいへん」が 11.8%、「障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい」が 9.4%と続きます。
- 知的障がい者では「収入が少ない」が最も多く 32.9%、次いで「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」が 25.0%、「障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」が 15.8%と続きます。
- 精神障がい者では「収入が少ない」が最も多く 55.0%、次いで「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」が 35.0%、「障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」が 25.0%と続きます。

- 重複障がいでは「収入が少ない」が最も多く 57.6%、次いで「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」「障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」が 12.1%と続きます。

【仕事のことで悩んでいることや困っていること（障がい種別）】

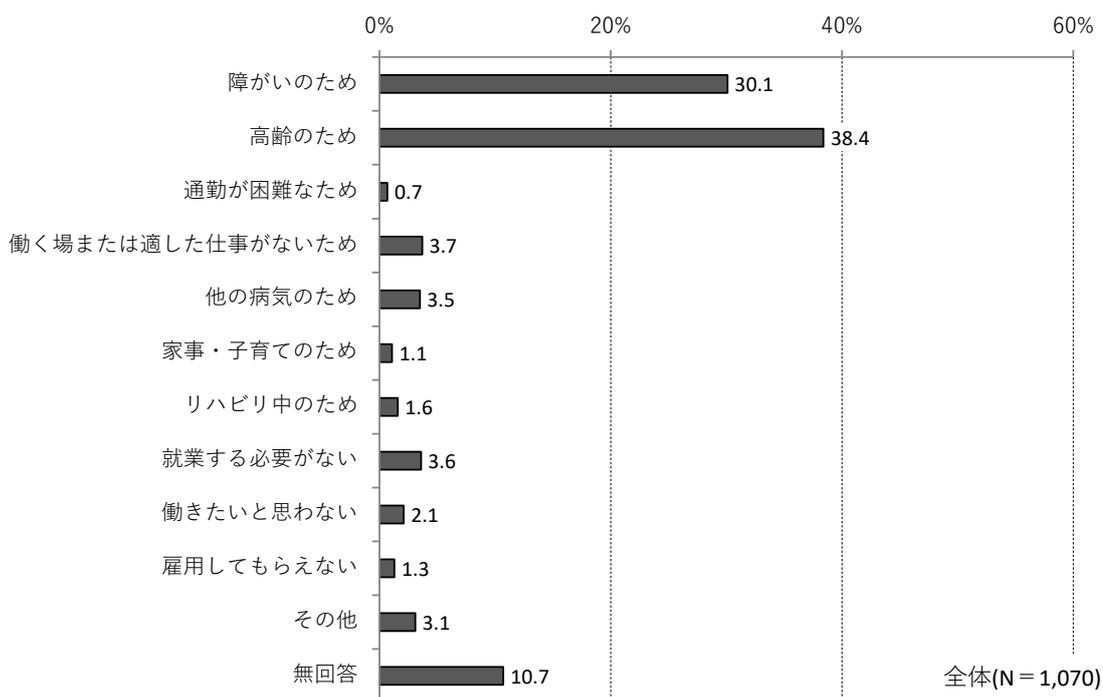


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	212	160	76	93	100	89
収入が少ない	25.0	22.5	32.9	34.4	55.0	51.7
通院や病気・障害を理由に休みを取ることが難しい	5.2	6.9	3.9	3.2	12.0	9.0
勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない	7.1	5.0	1.3	4.3	7.0	6.7
仕事の内容が自分にあわない	4.7	3.8	5.3	5.4	7.0	7.9
仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん	3.8	0.6	7.9	9.7	8.0	11.2
職場でのコミュニケーションがうまくとれない	7.5	5.0	25.0	32.3	35.0	25.8
障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい	9.4	5.0	15.8	17.2	25.0	19.1
職場の設備が不十分で障害者にあてないため使いにくい	4.7	1.9	1.3	3.2	4.0	0.0
職場までの通勤がたいへん	11.8	8.8	9.2	12.9	17.0	16.9
障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進等に差がある	4.7	9.4	7.9	9.7	16.0	15.7
その他	6.1	5.0	2.6	7.5	9.0	4.5
特になし	44.3	41.9	26.3	23.7	18.0	19.1
無回答	7.1	11.9	13.2	14.0	6.0	11.2

問 29 で「5～9（就学・就労をしていない）」と回答した方におたずねします。

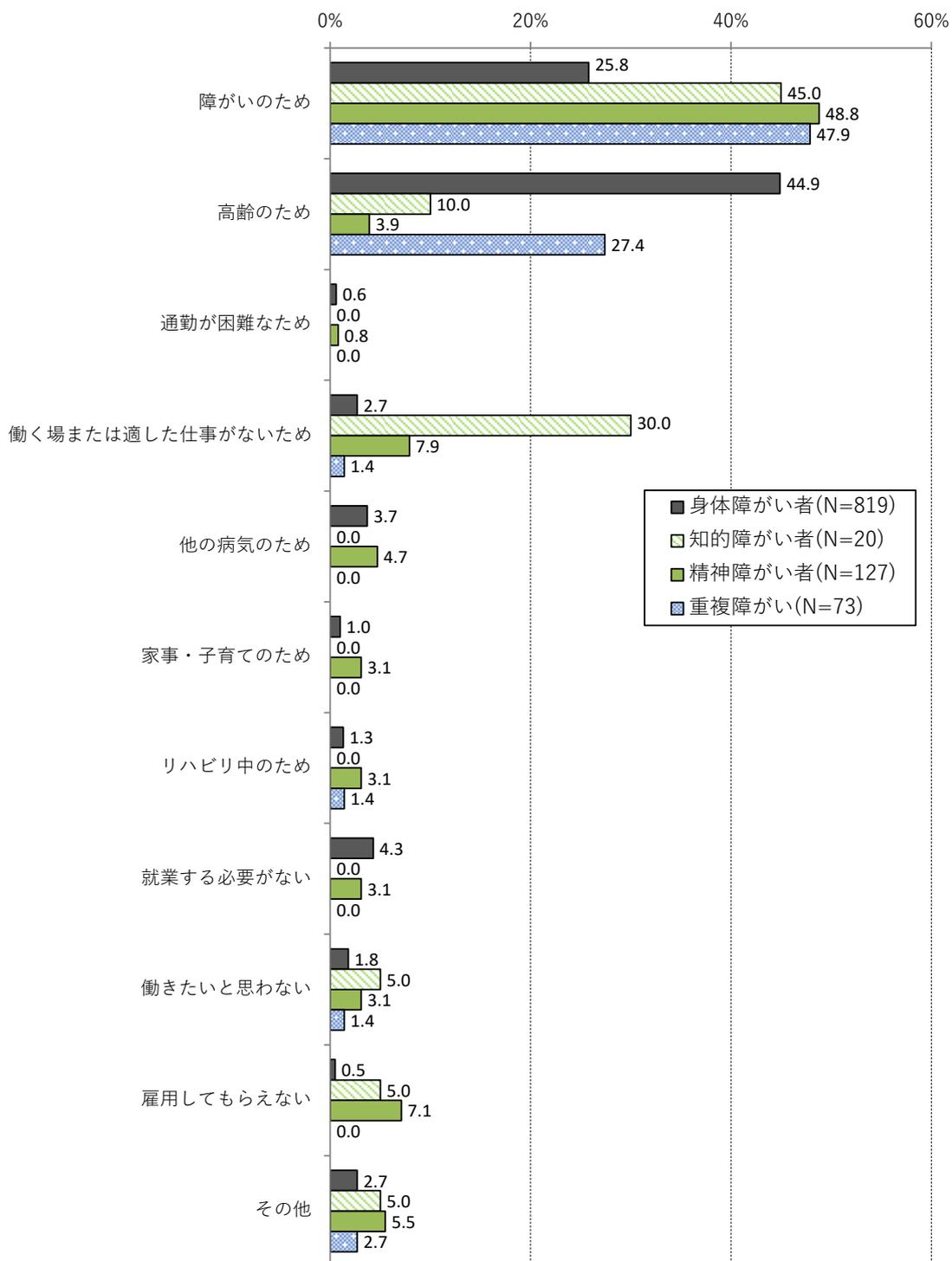
問 33 あなたが仕事をしていない主な理由は何ですか。（〇はあてはまるものすべて）



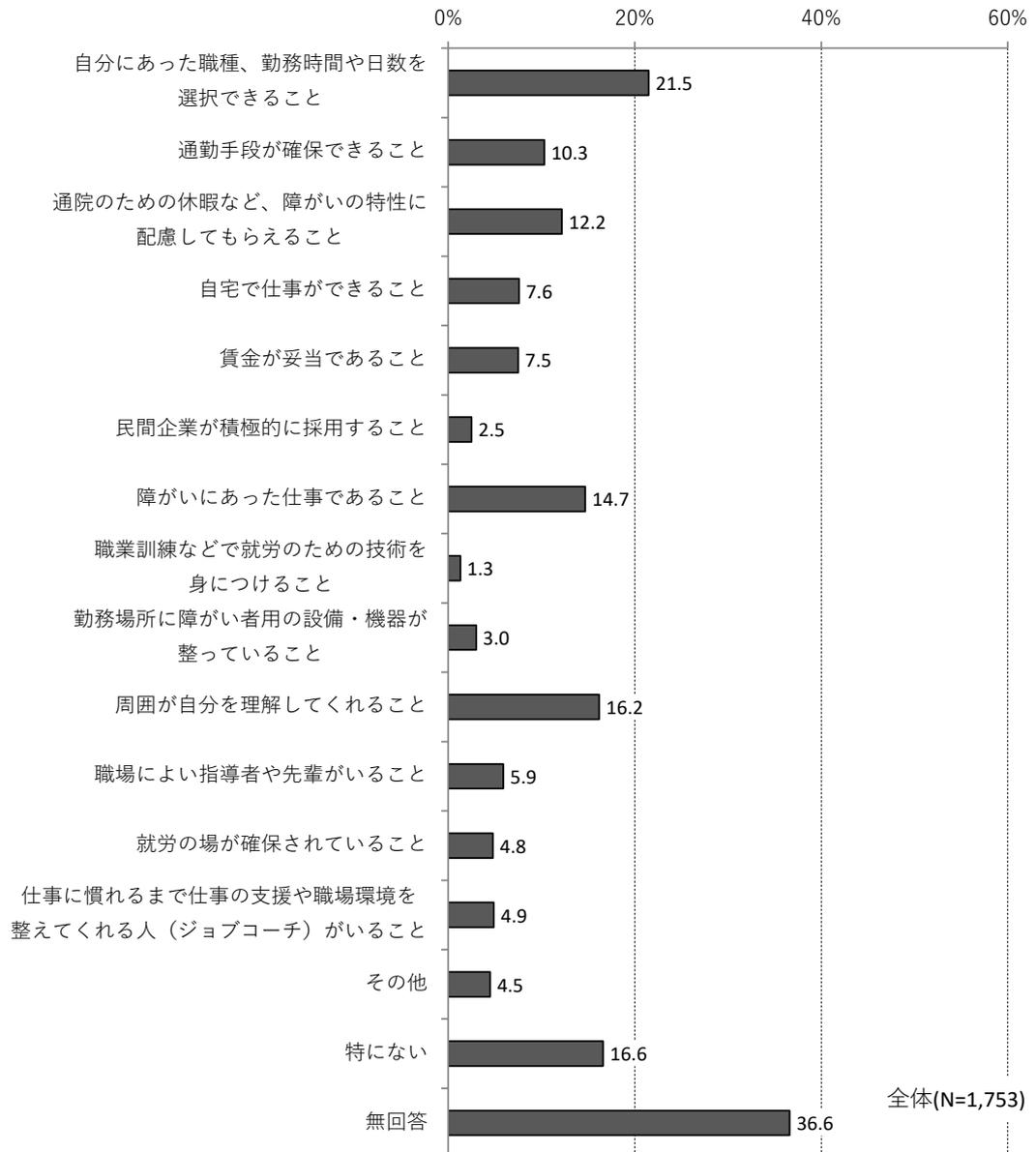
- 仕事をしていない主な理由についてたずねたところ、「高齢のため」の回答率が 38.4% と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「高齢のため」が最も多く 44.9%、次いで「障がいのため」が 25.8%、「就業する必要がない」が 4.3%と続きます。
- 知的障がい者では「障がいのため」が最も多く 45.0%、次いで「働く場または適した仕事がないため」が 30.0%、「高齢のため」が 10.0%と続きます。

- 精神障がい者では「障がいのため」が最も多く 48.8%、次いで「働く場または適した仕事がないため」が 7.9%、「雇用してもらえない」が 7.1%と続きます。
- 重複障がいでは「障がいのため」が最も多く 47.9%、次いで「高齢のため」が 27.4%と続きます。

【働いていない理由（障がい種別）】



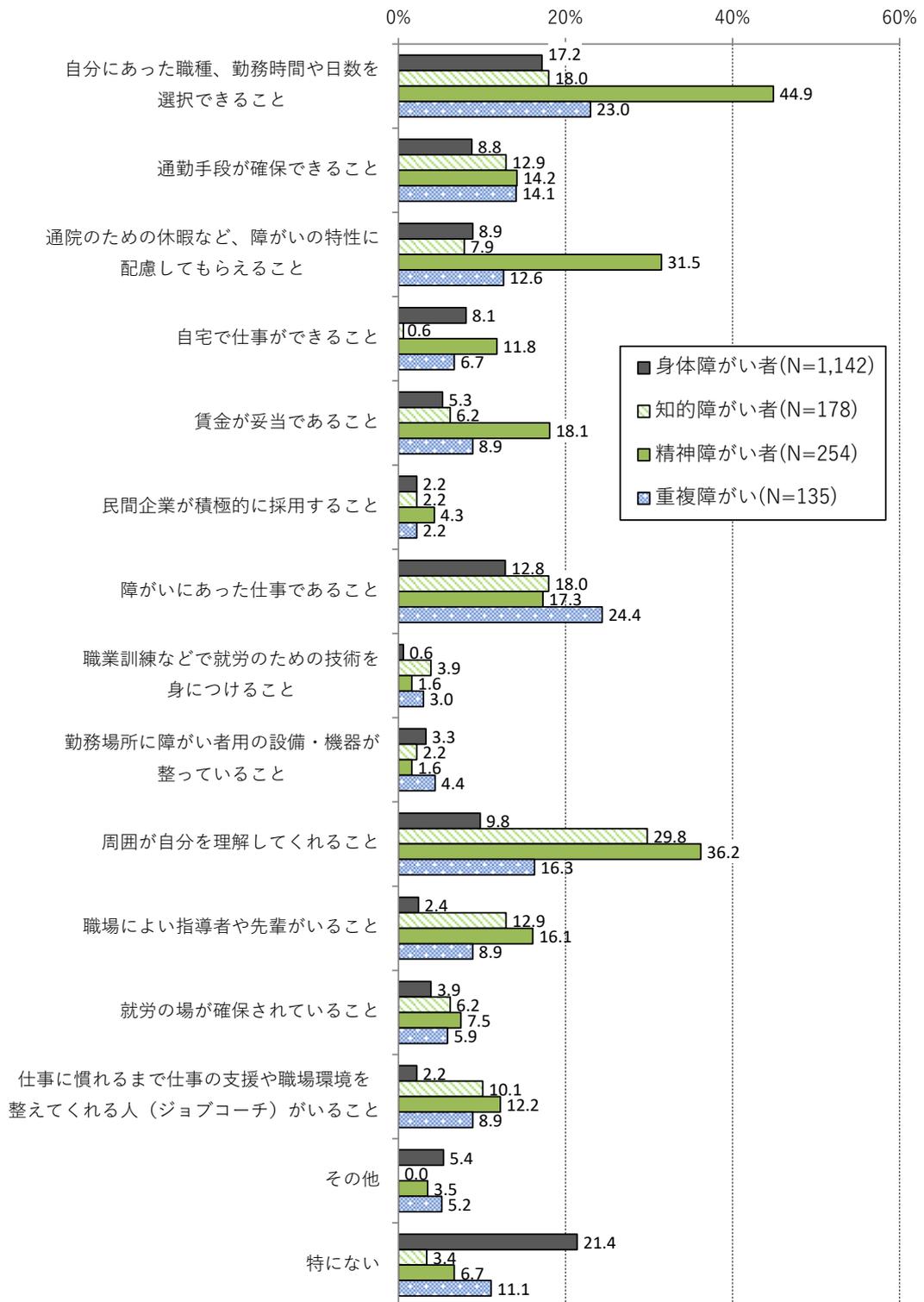
問 34 あなたが働くためにどのような条件が必要ですか。(〇は主なもの3つまで)



- 働くためにどのような条件が必要だと思うかをたずねたところ、「自分にあった職種、勤務時間や日数を選択できること」の回答率が21.5%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「自分に合った職種、勤務時間や日数を選択できること」が最も多く17.2%、次いで「障がいにあった仕事であること」が12.8%、「周囲が自分を理解してくれること」が9.8%と続きます。
- 知的障がい者では「周囲が自分を理解してくれること」が最も多く29.8%、次いで「自分に合った職種、勤務時間や日数を選択できること」「障がいにあった仕事であること」が18.0%と続きます。
- 精神障がい者では「自分に合った職種、勤務時間や日数を選択できること」が最も多く44.9%、次いで「周囲が自分を理解してくれること」が36.2%、「通院のための休暇など、障がいの特性に配慮してもらえること」が31.5%と続きます。

- 重複障がいでは「障がいにあった仕事であること」が最も多く 24.4%、次いで「自分に合った職種、勤務時間や日数を選択できること」が 23.0%、「周囲が自分を理解してくれること」が 16.3%と続きます。

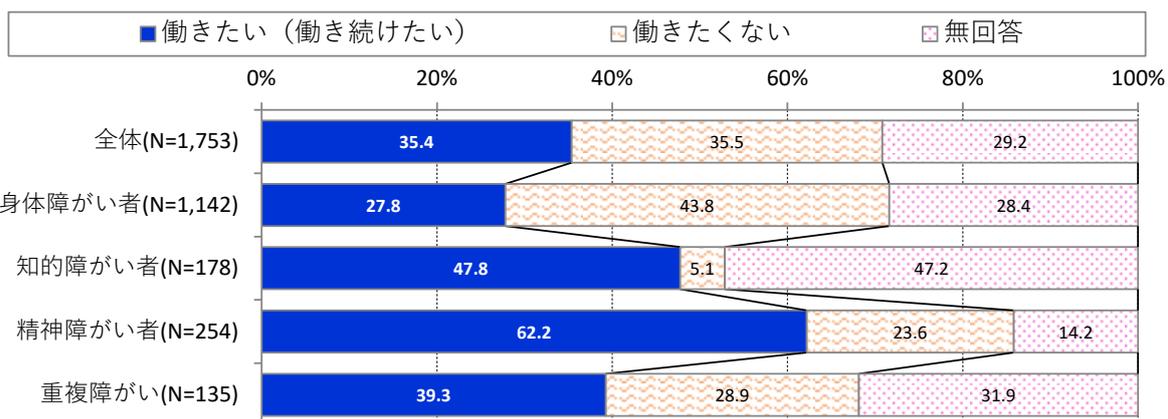
【働くために必要だと思う条件（障がい種別）】



【前回調査との比較】

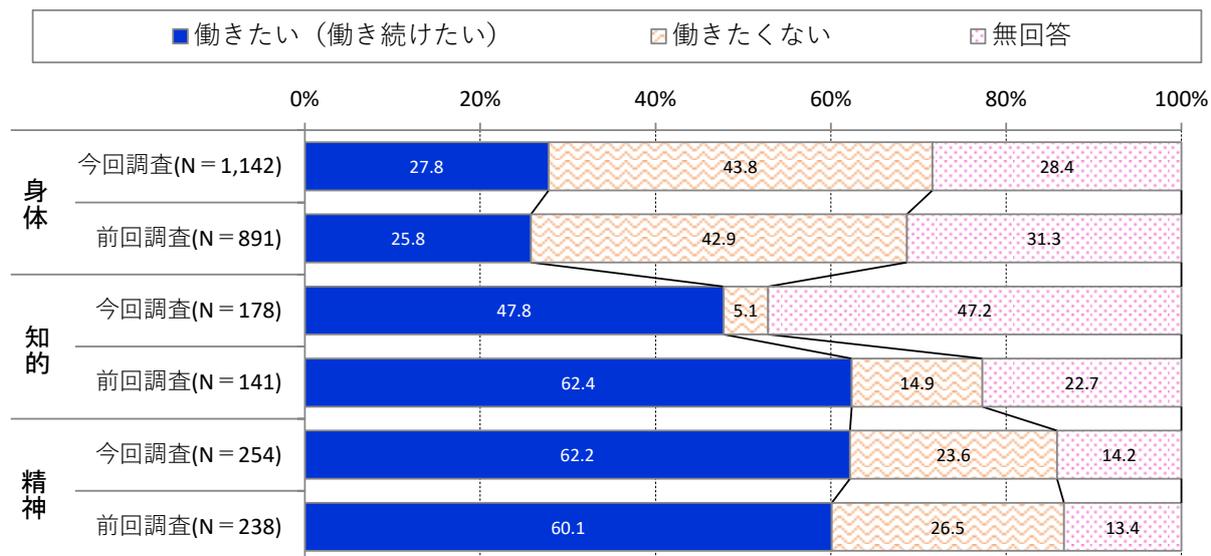
	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	891	178	141	254	238
自分にあった職種、勤務時間や日数を選択できること	17.2	16.0	18.0	25.5	44.9	43.3
通勤手段が確保できること	8.8	6.8	12.9	14.9	14.2	16.0
通院のための休暇など、障がいの特性に配慮してもらえること	8.9	8.9	7.9	11.3	31.5	27.3
自宅で仕事ができること	8.1	7.1	0.6	0.7	11.8	7.1
賃金が妥当であること	5.3	3.7	6.2	6.4	18.1	14.3
民間企業が積極的に採用すること	2.2	2.7	2.2	4.3	4.3	5.0
障がいにあった仕事であること	12.8	10.2	18.0	34.0	17.3	23.9
職業訓練などで就労のための技術を身につけること	0.6	0.6	3.9	4.3	1.6	5.5
勤務場所に障がい者用の設備・機器が整っていること	3.3	1.9	2.2	2.1	1.6	0.4
周囲が自分を理解してくれること	9.8	7.7	29.8	34.0	36.2	30.7
職場により指導者や先輩がいること	2.4	2.0	12.9	21.3	16.1	11.8
就労の場が確保されていること	3.9	2.9	6.2	6.4	7.5	5.0
仕事に慣れるまで仕事の支援や職場環境を整えてくれる人（ジョブコーチ）がいること	2.2	1.0	10.1	21.3	12.2	8.0
その他	5.4	6.1	0.0	4.3	3.5	10.1
特になし	21.4	24.5	3.4	8.5	6.7	5.0
無回答	38.8	37.4	48.3	15.6	14.6	13.0

問 35 あなたは今後、働きたい（働き続けたい）ですか。（○は1つだけ）



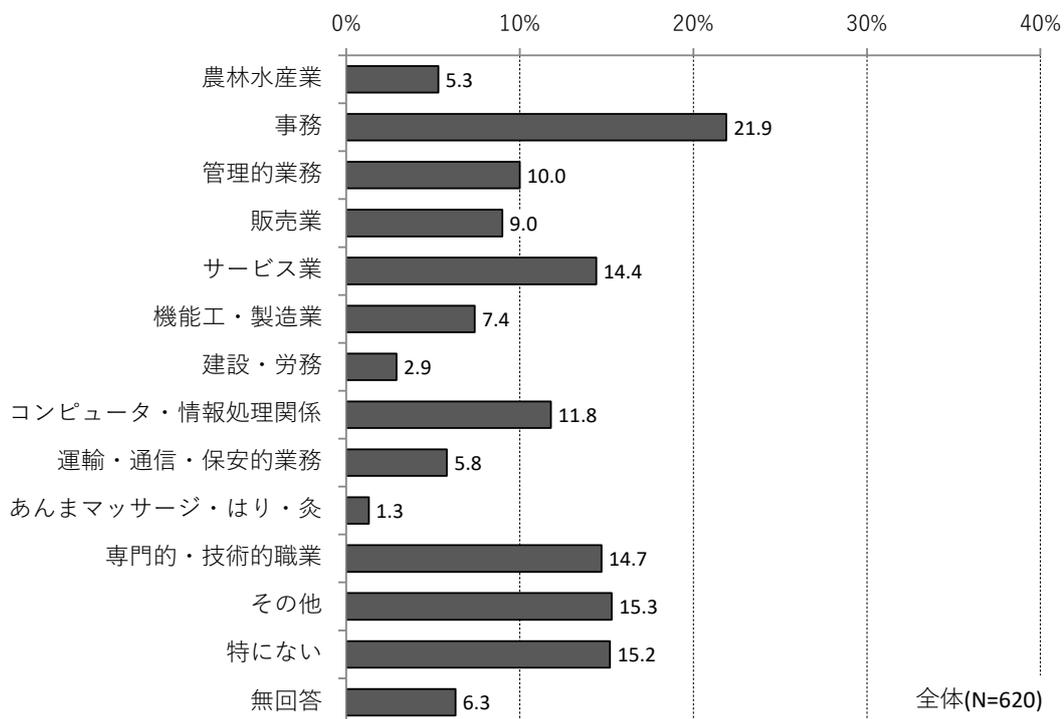
- 今後の就労意向についてたずねたところ、「働きたい（働き続けたい）」が 35.4%、「働きたくない」が 35.5%となっています。
- 身体障がい者では「働きたい（働き続けたい）」が 27.8%、「働きたくない」が 43.8%となっています。
- 知的障がい者では「働きたい（働き続けたい）」が 47.8%、「働きたくない」が 5.1%となっています。
- 精神障がい者では「働きたい（働き続けたい）」が 62.2%、「働きたくない」が 23.6%となっています。
- 重複障がいでは「働きたい（働き続けたい）」が 39.3%、「働きたくない」が 28.9%となっています。

【前回調査との比較】



問 35 で「1. 働きたい (働きたい)」と回答した方におたずねします。

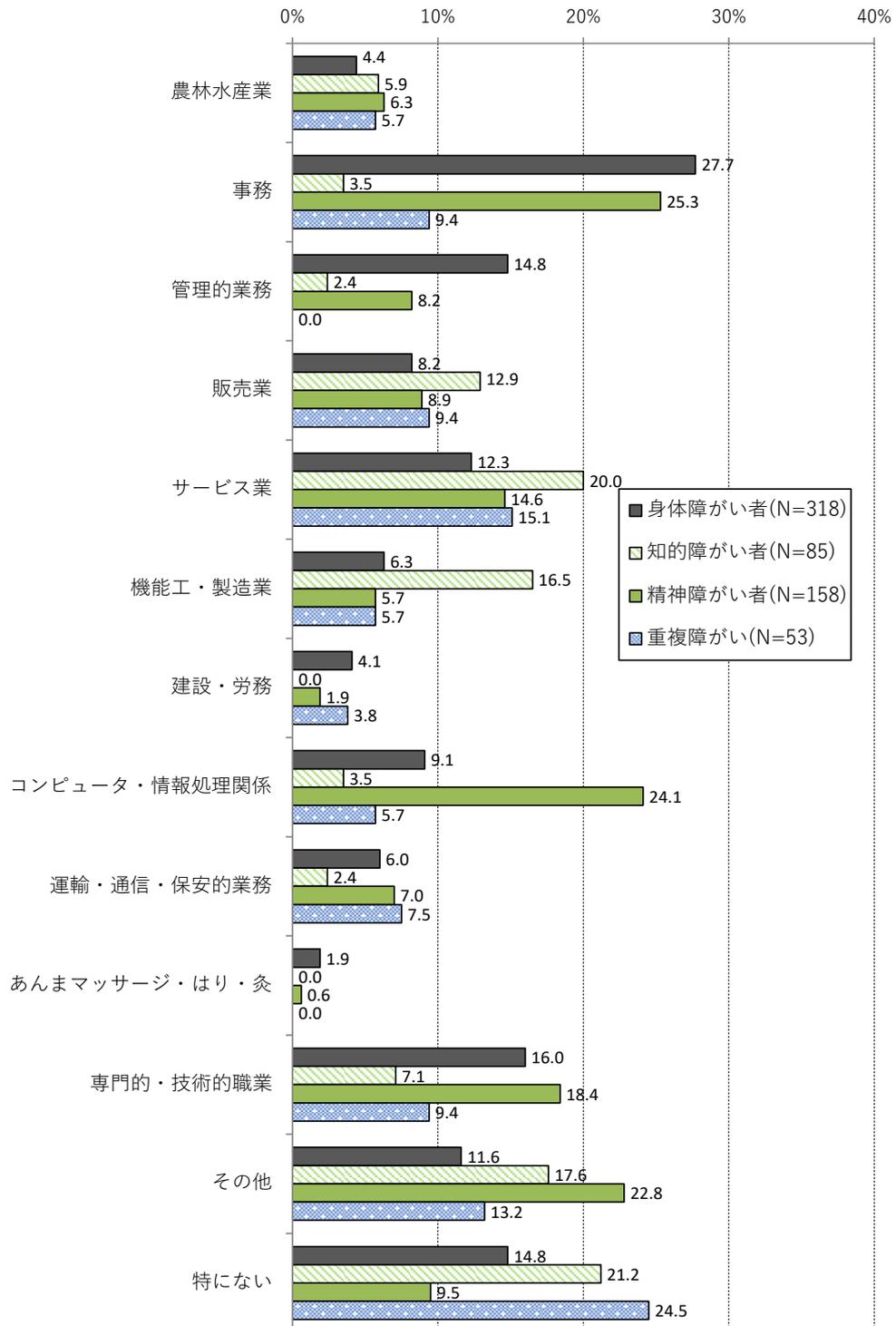
問 36 あなたは、どのような仕事をしたいですか。(〇はあてはまるものすべて)



- どのような仕事をしたいかをたずねたところ、「事務」の回答率が21.9%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「事務」が最も多く27.7%、次いで「専門的・技術的職業」が16.0%、「管理的業務」が14.8%と続きます。

- 知的障がい者では「サービス業」が最も多く 20.0%、次いで「機能工・製造業」が 16.5%、「販売業」が 12.9%と続きます。
- 精神障がい者では「事務」が最も多く 25.3%、次いで「コンピュータ・情報処理関係」が 24.1%、「専門的・技術的職業」が 18.4%と続きます。
- 重複障がいでは「サービス業」が最も多く 15.1%、次いで「事務」「販売業」「専門的・技術的職業」が 9.4%と続きます。

【働きたい職業（障がい種別）】



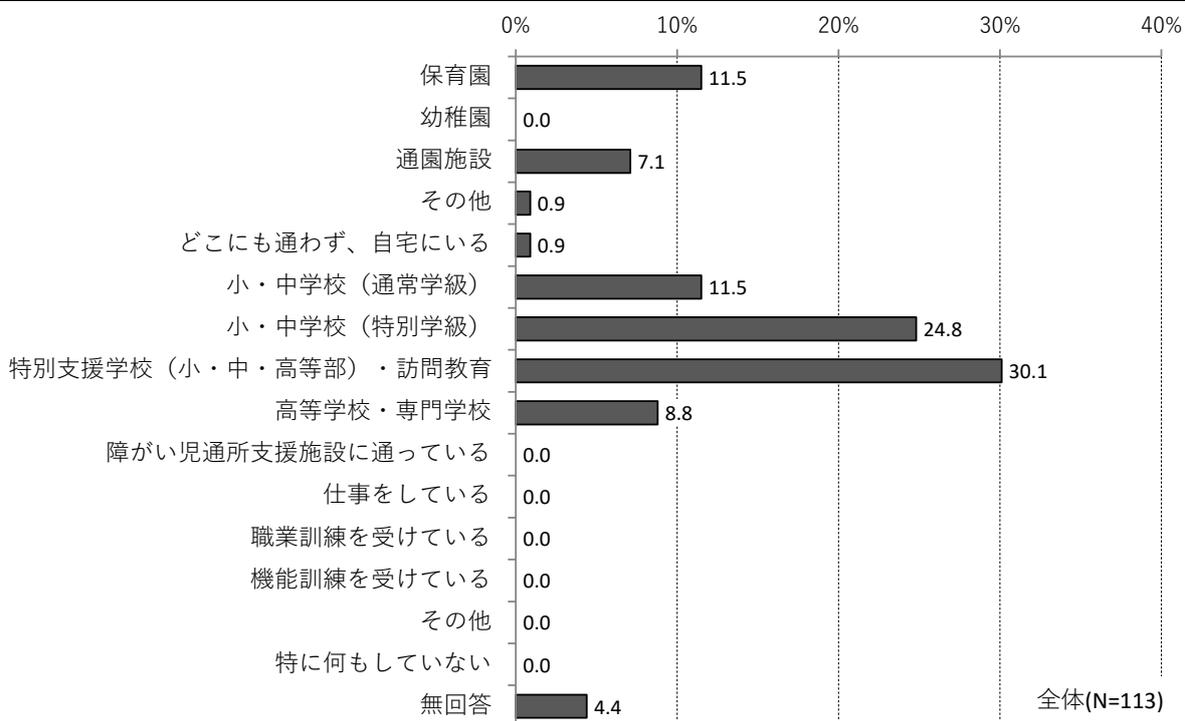
【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	318	230	85	88	158	143
農林水産業	4.4	6.1	5.9	9.1	6.3	6.3
事務	27.7	24.3	3.5	8.0	25.3	21.0
管理的業務	14.8	13.0	2.4	2.3	8.2	7.7
販売業	8.2	11.3	12.9	10.2	8.9	11.9
サービス業	12.3	13.0	20.0	14.8	14.6	21.0
機能工・製造業	6.3	6.5	16.5	13.6	5.7	11.2
建設・労務	4.1	4.3	0.0	3.4	1.9	0.0
コンピュータ・情報処理関係	9.1	8.3	3.5	8.0	24.1	18.2
運輸・通信・保安的業務	6.0	4.8	2.4	3.4	7.0	11.2
あんまマッサージ・はり・灸	1.9	3.5	0.0	0.0	0.6	2.1
専門的・技術的職業	16.0	14.3	7.1	4.5	18.4	14.7
その他	11.6	12.2	17.6	28.4	22.8	19.6
特になし	14.8	12.6	21.2	19.3	9.5	10.5
無回答	5.3	5.2	10.6	3.4	3.8	2.8

(2) 今後の就業・就学等について

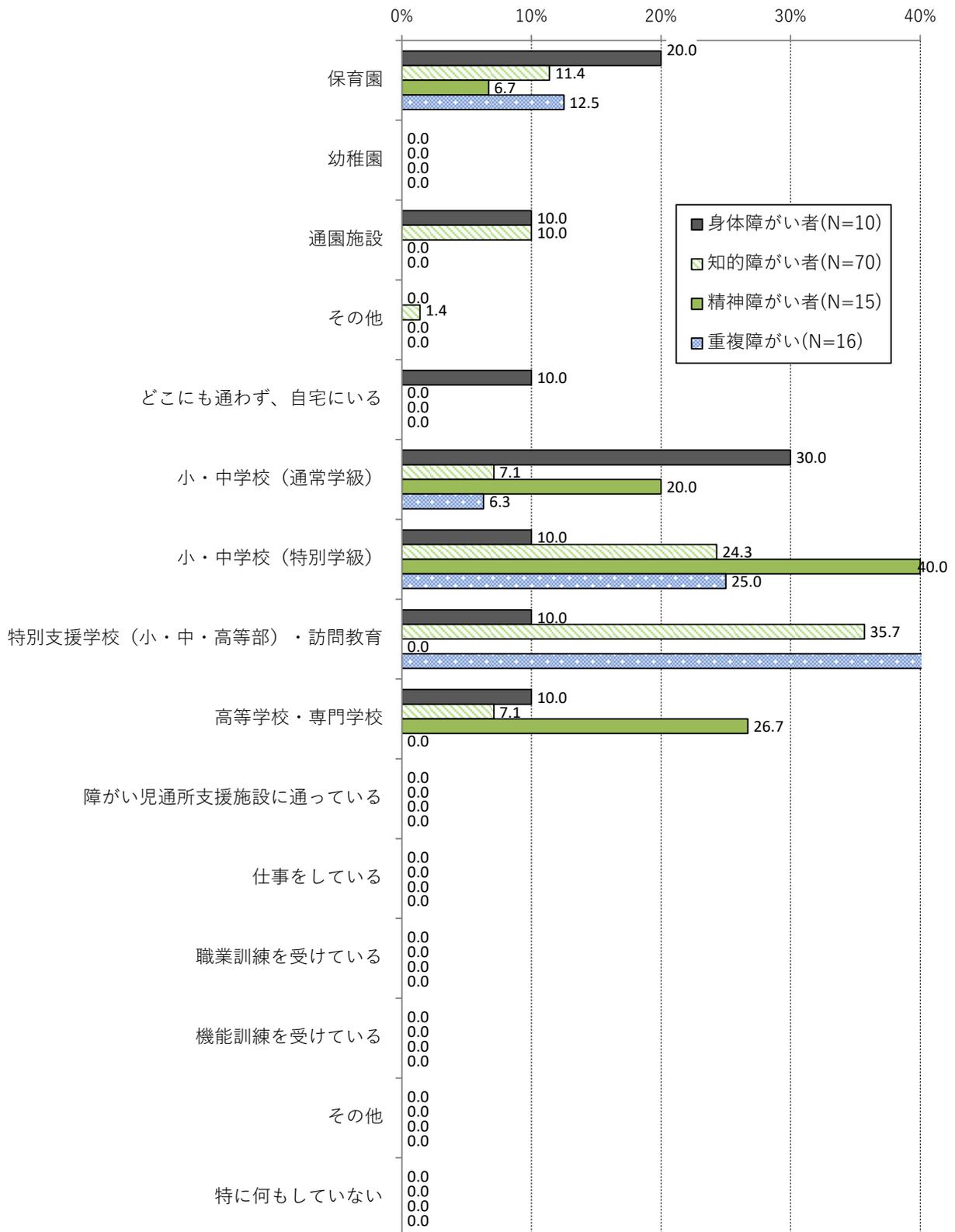
問 29 で「1. 学校に通っている」と回答した方の保護者の方におたずねします。

問 37 お子さんは、現在、日中どのように過ごしていますか。(○は1つだけ)



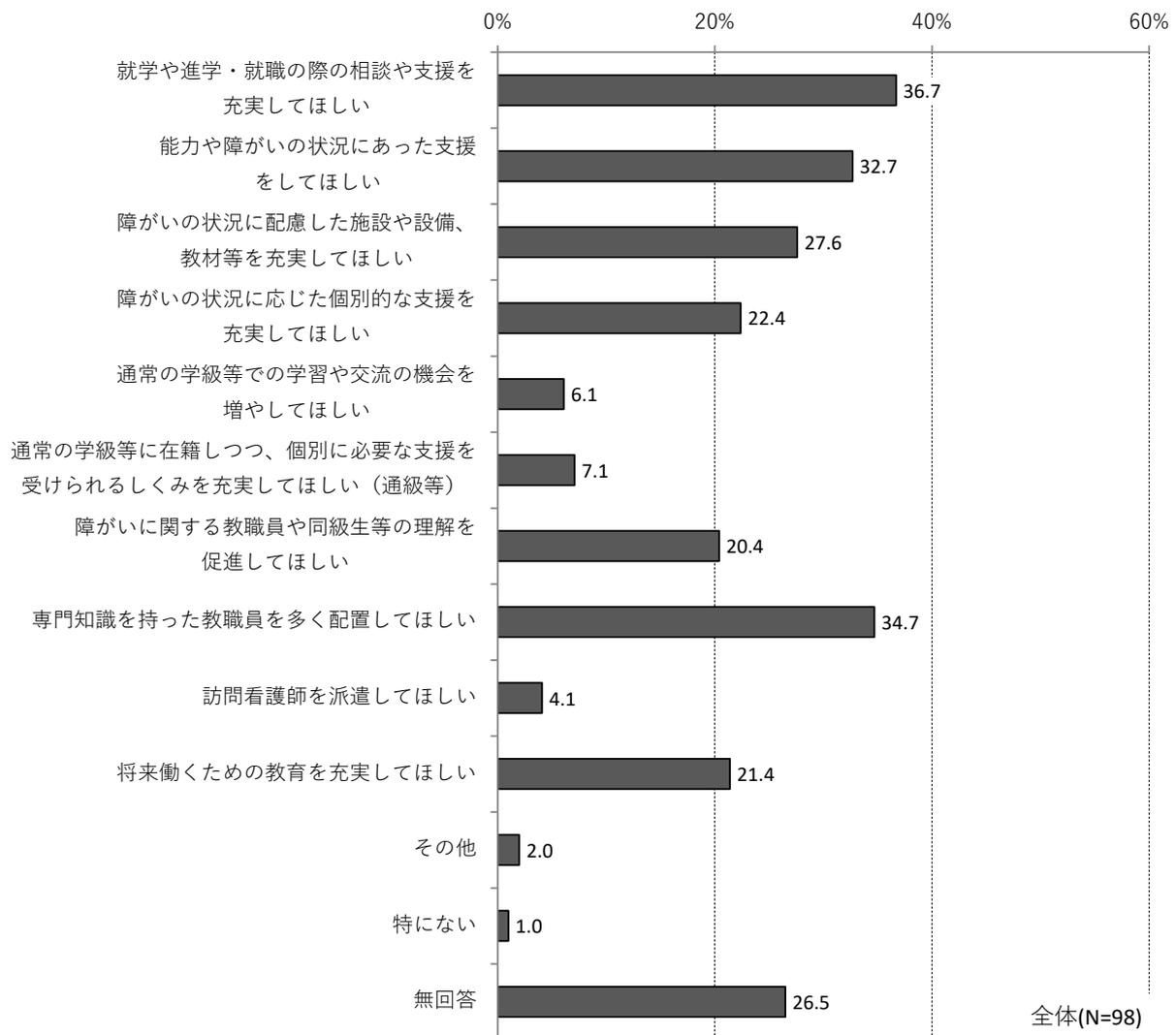
- 学校に通っている人に、日中の過ごし方についてたずねたところ、「特別支援学校 (小・中・高等部)、訪問教育」が 30.1%で最も多く、次いで「小・中学校 (特別学級)」が 24.8%、「保育園」「小・中学校 (通常学級)」が 11.5%と続きます。
- 身体障がい者、精神障がい者、重複障がいについては、回答者の母数が少ないため標本誤差に留意する必要があります。

【お子さんの日中の過ごし方（障がい種別）】



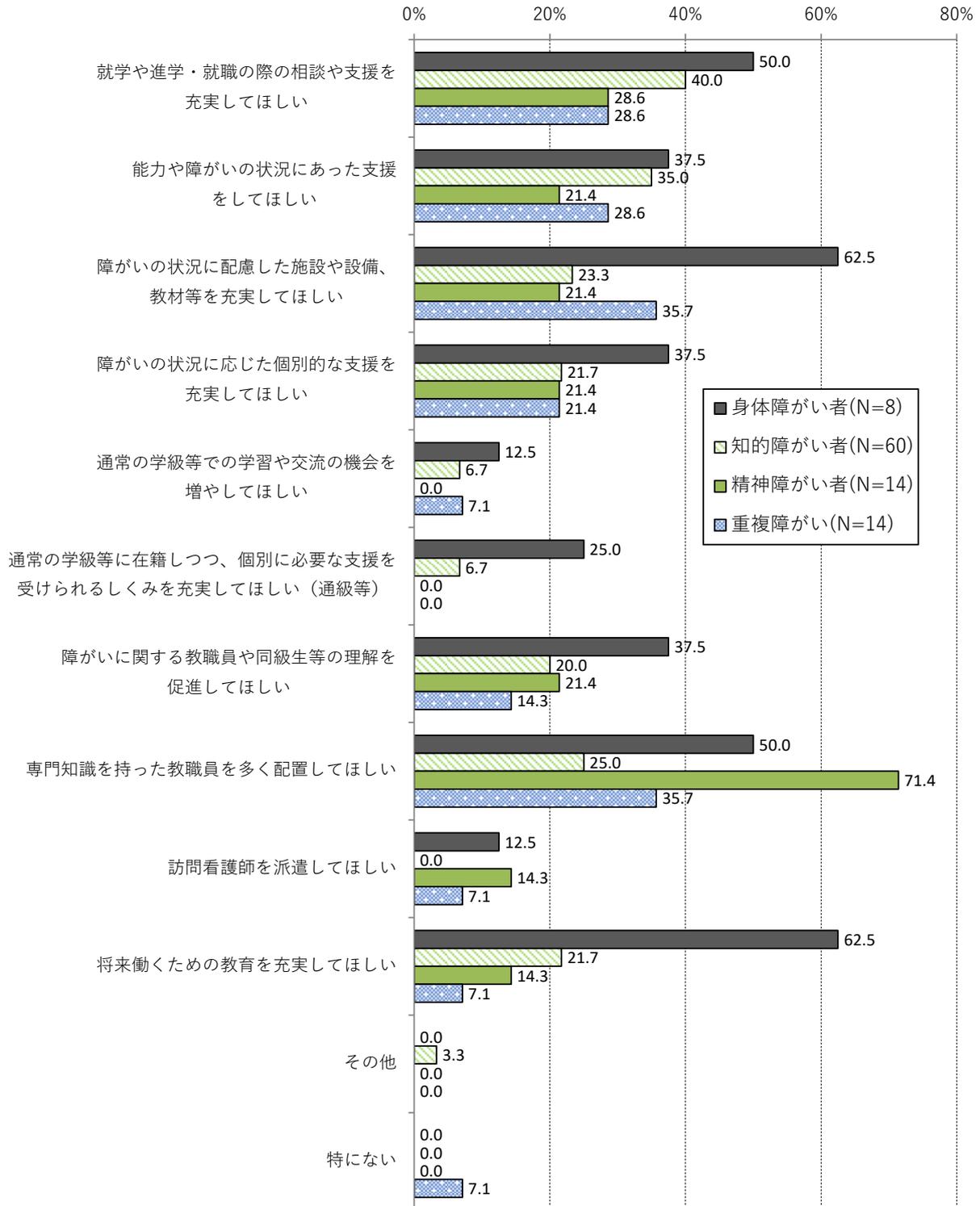
問 29 で「1. 学校に通っている」と回答した方の保護者の方におたずねします。

問 38 次のような保育・教育に関する要望はありますか。(〇は主なもの3つまで)



- 保育・教育に関する要望をたずねたところ、「就学や進学・就職の際の相談や支援を充実してほしい」が最も多く 36.7%、次いで「専門知識を持った教職員を多く配置してほしい」が 34.7%、「能力や障がいの状況にあった支援をしてほしい」が 32.7%と続きます。
- 身体障がい者、精神障がい者、重複障がいについては、回答者の母数が少ないため標本誤差に留意する必要があります。

【保育・教育に関する要望（障がい種別）】

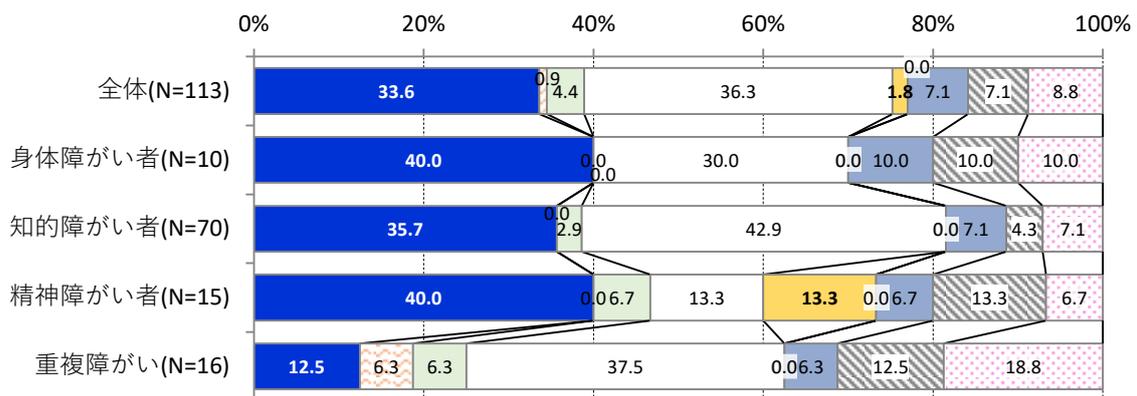
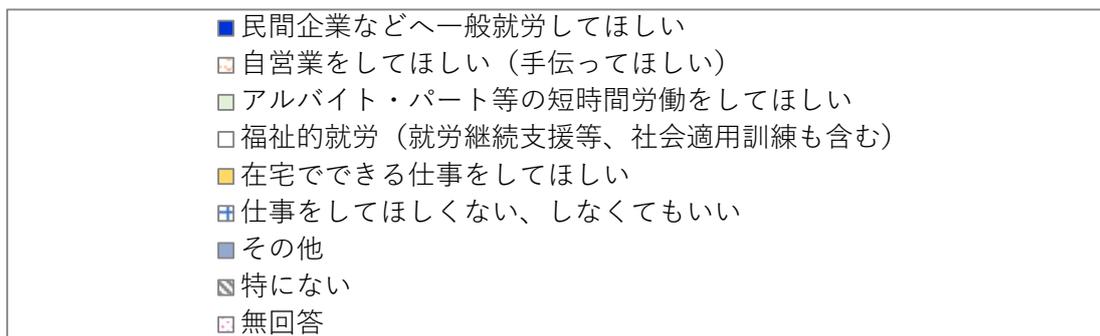


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	8	22	60	75	14	8
就学や進学・就職の際の相談や支援を充実してほしい	50.0	22.7	40.0	34.7	28.6	12.5
能力や障がいの状況にあった支援をしてほしい	37.5	27.3	35.0	36.0	21.4	25.0
障がいの状況に配慮した施設や設備、教材等を充実してほしい	62.5	27.3	23.3	14.7	21.4	0.0
障がいの状況に応じた個別的な支援を充実してほしい	37.5	18.2	21.7	24.0	21.4	37.5
通常の学級等での学習や交流の機会を増やしてほしい	12.5	9.1	6.7	4.0	0.0	0.0
通常の学級等に在籍しつつ、個別に必要な支援を受けられるしつみを充実してほしい（通級等）	25.0	9.1	6.7	12.0	0.0	25.0
障がいに関する教職員や同級生等の理解を促進してほしい	37.5	31.8	20.0	17.3	21.4	37.5
専門知識を持った教職員を多く配置してほしい	50.0	27.3	25.0	41.3	71.4	50.0
訪問看護師を派遣してほしい	12.5	0.0	0.0	1.3	14.3	0.0
将来働くための教育を充実してほしい	62.5	13.6	21.7	24.0	14.3	12.5
その他	0.0	0.0	3.3	2.7	0.0	0.0
特になし	0.0	4.5	0.0	1.3	0.0	0.0
無回答	12.5	27.3	28.3	20.0	28.6	25.0

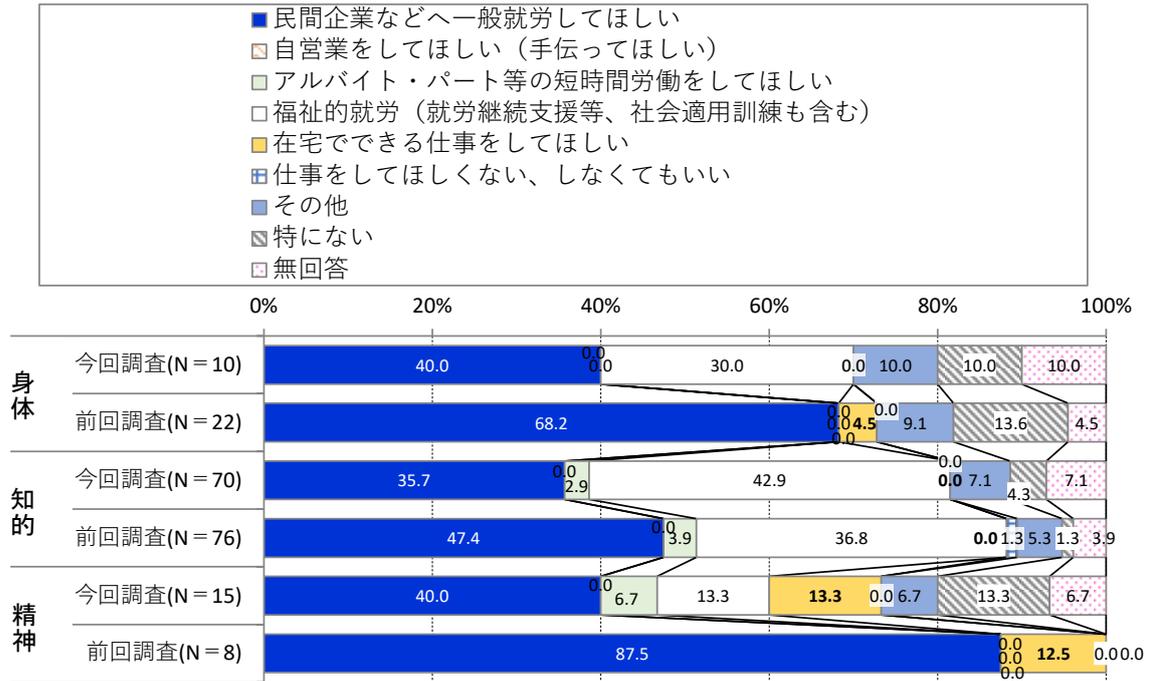
問 29 で「1. 学校に通っている」と回答した方の保護者の方におたずねします。

問 38 お子さんのこれからの就業について、どのような希望をお持ちですか。（〇は1つだけ）

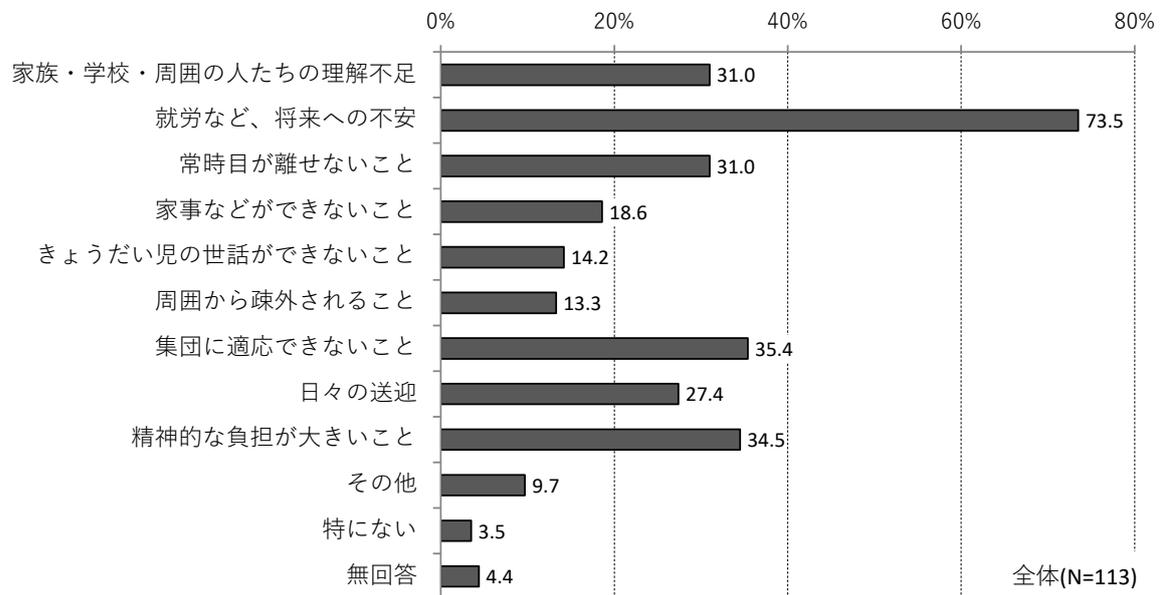


- これからの就業についての希望をたずねたところ、「福祉的就労（就労継続支援等、社会適用訓練も含む）」が最も多く 36.3%、次いで「民間企業などへ一般就労してほしい」が 33.6%と続きます。
- 身体障がい者、精神障がい者、重複障がいについては、回答者の母数が少ないため標本誤差に留意する必要があります。

【前回調査との比較】

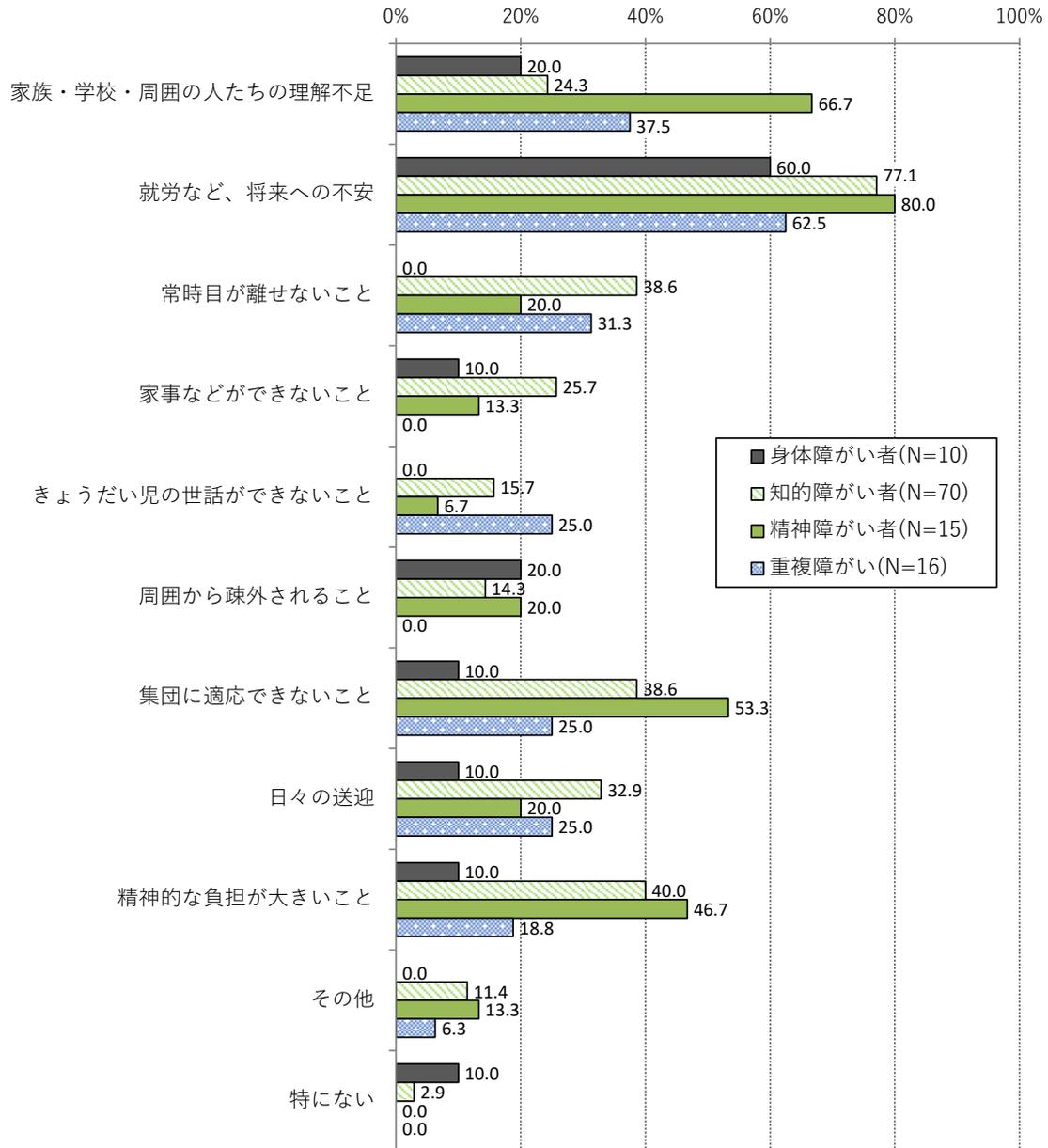


問 29 で「1. 学校に通っている」と回答した方の保護者の方におたずねします。
 問 40 お子さんを育てるうえで困っていることや悩んでいることは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



- お子さんを育てるうえで困っていることや悩んでいることについてたずねたところ、「就労など、将来への不安」が最も多く 73.5%、次いで「集団に適應できないこと」が 35.4%、「精神的な負担が大きいこと」が 34.5%と続きます。
- 「精神的な負担が大きいこと」は知的障がい、精神障がいでも 4 割を超えています。
- 身体障がい者、精神障がい者、重複障がいについては、回答者の母数が少ないため標本誤差に留意する必要があります。

【お子さんを育てるうえで困っていることや悩んでいること（障がい種別）】

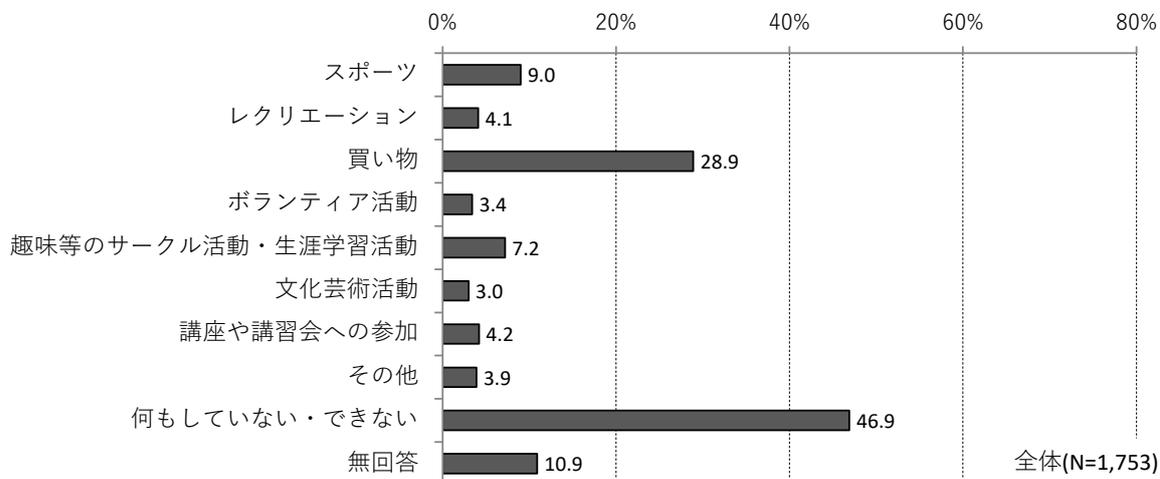


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	10	22	70	76	15	8
家族・学校・周囲の人たちの理解不足	20.0	31.8	24.3	39.5	66.7	50.0
就労など、将来への不安	60.0	81.8	77.1	84.2	80.0	50.0
常時目が離せないこと	0.0	18.2	38.6	32.9	20.0	25.0
家事などができないこと	10.0	13.6	25.7	11.8	13.3	0.0
きょうだい児の世話ができないこと	0.0	13.6	15.7	14.5	6.7	12.5
周囲から疎外されること	20.0	9.1	14.3	22.4	20.0	0.0
集団に適応できないこと	10.0	9.1	38.6	36.8	53.3	62.5
日々の送迎	10.0	22.7	32.9	28.9	20.0	25.0
精神的な負担が大きいこと	10.0	27.3	40.0	38.2	46.7	25.0
その他	0.0	18.2	11.4	7.9	13.3	0.0
特になし	10.0	13.6	2.9	1.3	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	2.9	3.9	6.7	0.0

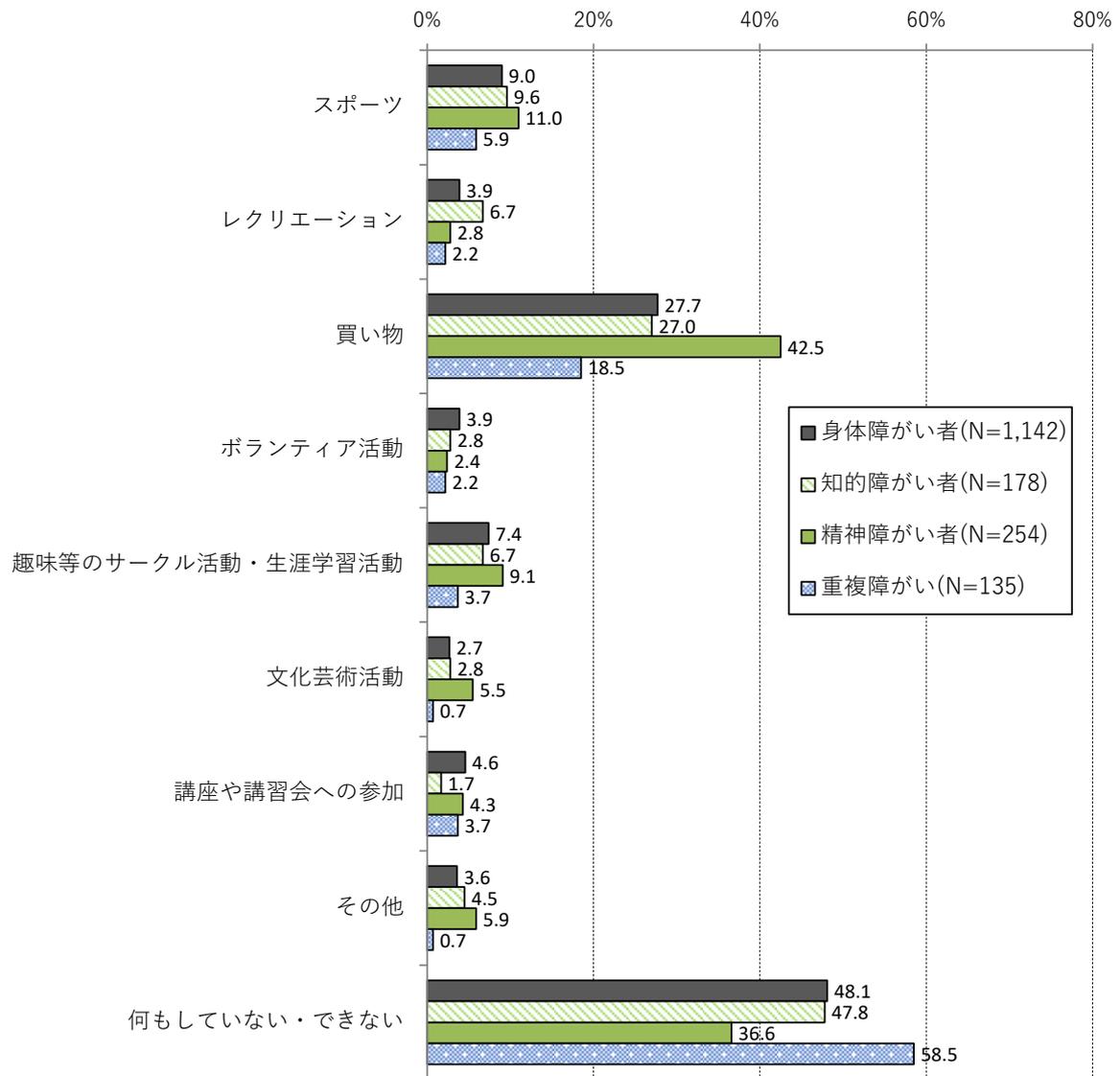
5. 日中の活動（スポーツや文化活動等）の状況について

問 41 あなたは普段、スポーツや文化活動等をしていますか。（○はあてはまるものすべて）



- 普段、スポーツや文化活動等をしているかをたずねたところ、「何もしていない・できない」の回答率が46.9%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「買い物」が最も多く27.7%、次いで「スポーツ」が9.0%、「趣味等のサークル活動・生涯学習活動」が7.4%と続きます。
- 知的障がい者では「買い物」が最も多く27.0%、次いで「スポーツ」が9.6%、「レクリエーション」「趣味等のサークル活動・生涯学習活動」が6.7%と続きます。
- 精神障がい者では「買い物」が最も多く42.5%、次いで「スポーツ」が11.0%、「趣味等のサークル活動・生涯学習活動」が9.1%と続きます。
- 重複障がいでは「買い物」が最も多く18.5%、次いで「スポーツ」が5.9%、「趣味等のサークル活動・生涯学習活動」「講座や講習会への参加」が3.7%と続きます。

【スポーツや文化活動について（障がい種別）】

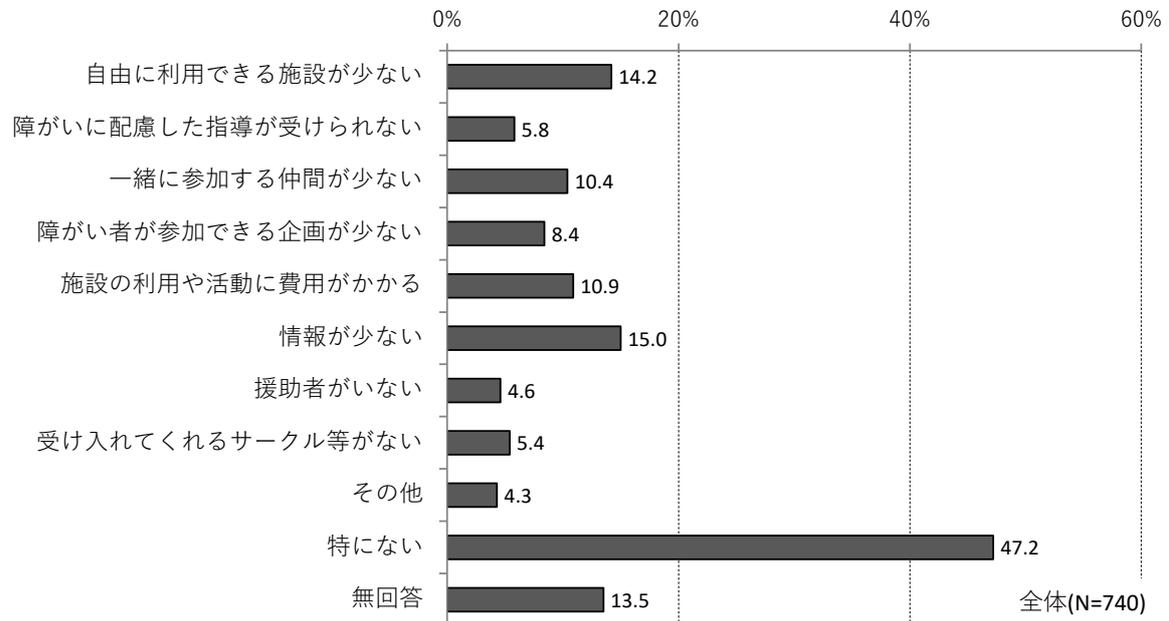


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
スポーツ	9.0	10.4	9.6	20.0	11.0	11.9
レクリエーション	3.9	4.1	6.7	5.8	2.8	7.9
買い物	27.7	23.3	27.0	22.2	42.5	36.8
ボランティア活動	3.9	4.6	2.8	3.1	2.4	2.4
趣味等のサークル活動・生涯学習活動	7.4	10.4	6.7	4.0	9.1	8.7
文化芸術活動	2.7	2.5	2.8	6.2	5.5	4.7
講座や講習会への参加	4.6	6.8	1.7	0.9	4.3	4.0
その他	3.6	4.4	4.5	3.6	5.9	8.3
何もししていない・できない	48.1	46.8	47.8	48.9	36.6	38.7
無回答	11.4	10.8	5.6	4.9	6.7	2.8

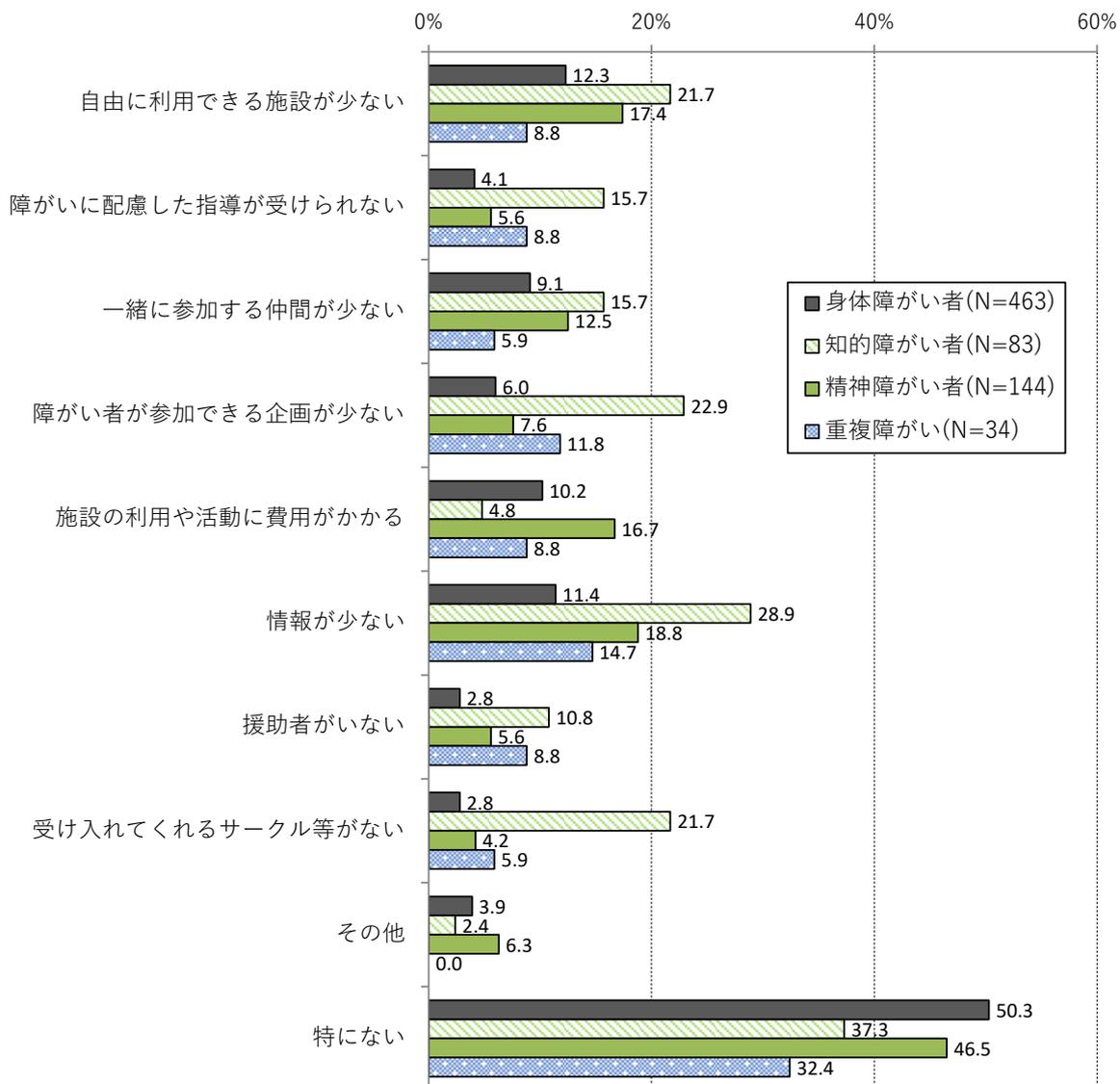
問 41 で「1～8」（何らかの活動をしている）と回答した方におたずねします。

問 42 あなたは普段のスポーツや文化活動等に支障や困っていることはありますか。（○はあてはまるものすべて）



- 普段のスポーツや文化活動等に支障や困っていることについてたずねたところ、「情報が少ない」の回答率が15.0%と最も高くなっています。また、「特になし」の回答率は47.2%となっています。
- 身体障がい者では「自由に利用できる施設が少ない」が最も多く12.3%、次いで「情報が少ない」が11.4%、「施設の利用や活動に費用がかかる」が10.2%と続きます。
- 知的障がい者では「情報が少ない」が最も多く28.9%、次いで「障がい者が参加できる企画が少ない」が22.9%、「自由に利用できる施設が少ない」「受け入れてくれるサークル等がない」が21.7%と続きます。
- 精神障がい者では「情報が少ない」が18.8%で最も多く、次いで「自由に利用できる施設が少ない」が17.4%、「施設の利用や活動に費用がかかる」が16.7%と続きます。
- 重複障がいでは「情報が少ない」が最も多く14.7%、次いで「障がい者が参加できる企画が少ない」が11.8%、「自由に利用できる施設が少ない」「障がい者に配慮した指導が受けられない」「施設の利用や活動に費用がかかる」「援助者がいない」が8.8%と続きます。

【普段のスポーツや文化活動等に支障や困っていること（障がい種別）】

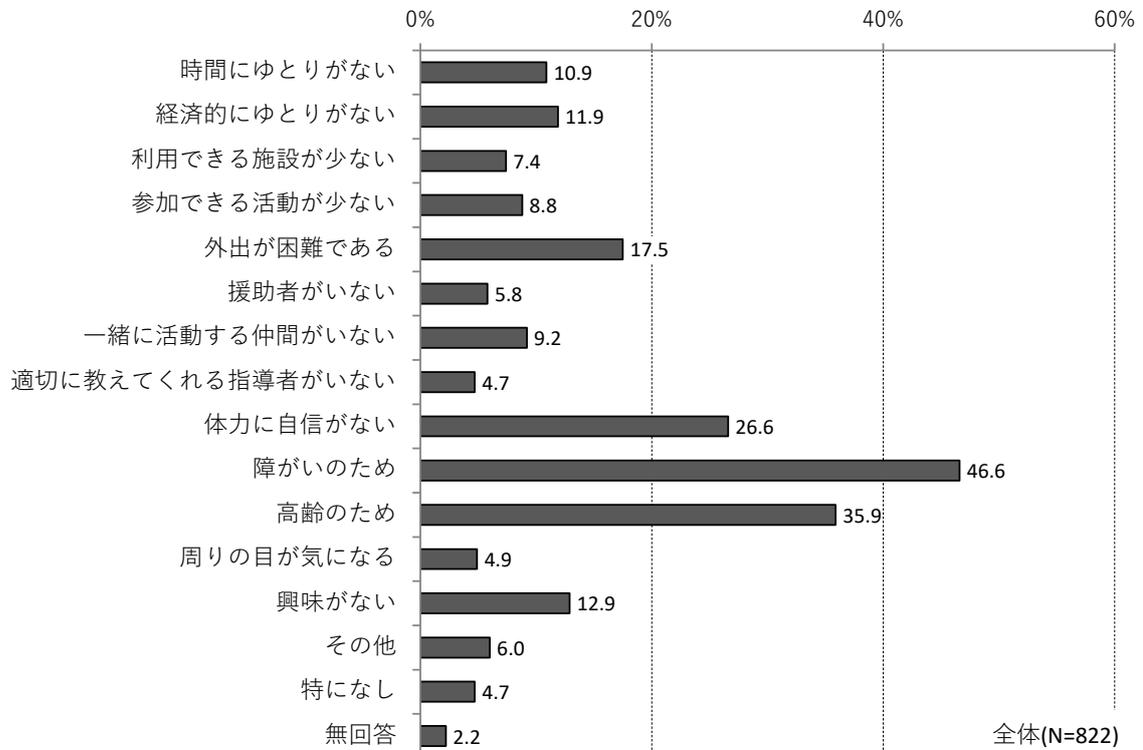


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	463	427	83	104	144	148
自由に利用できる施設が少ない	12.3	1.3	21.7	22.1	17.4	14.2
障がいに配慮した指導が受けられない	4.1	6.1	15.7	24.0	5.6	10.1
一緒に参加する仲間が少ない	9.1	5.9	15.7	18.3	12.5	14.2
障がい者が参加できる企画が少ない	6.0	7.5	22.9	15.4	7.6	13.5
施設の利用や活動に費用がかかる	10.2	10.3	4.8	10.6	16.7	18.9
情報が少ない	11.4	12.4	28.9	18.3	18.8	16.9
援助者がいない	2.8	4.2	10.8	14.4	5.6	8.8
受け入れてくれるサークル等がない	2.8	1.6	21.7	10.6	4.2	5.4
その他	3.9	7.5	2.4	4.8	6.3	8.1
特にな	50.3	46.1	37.3	37.5	46.5	45.9
無回答	15.8	19.2	9.6	3.8	6.3	5.4

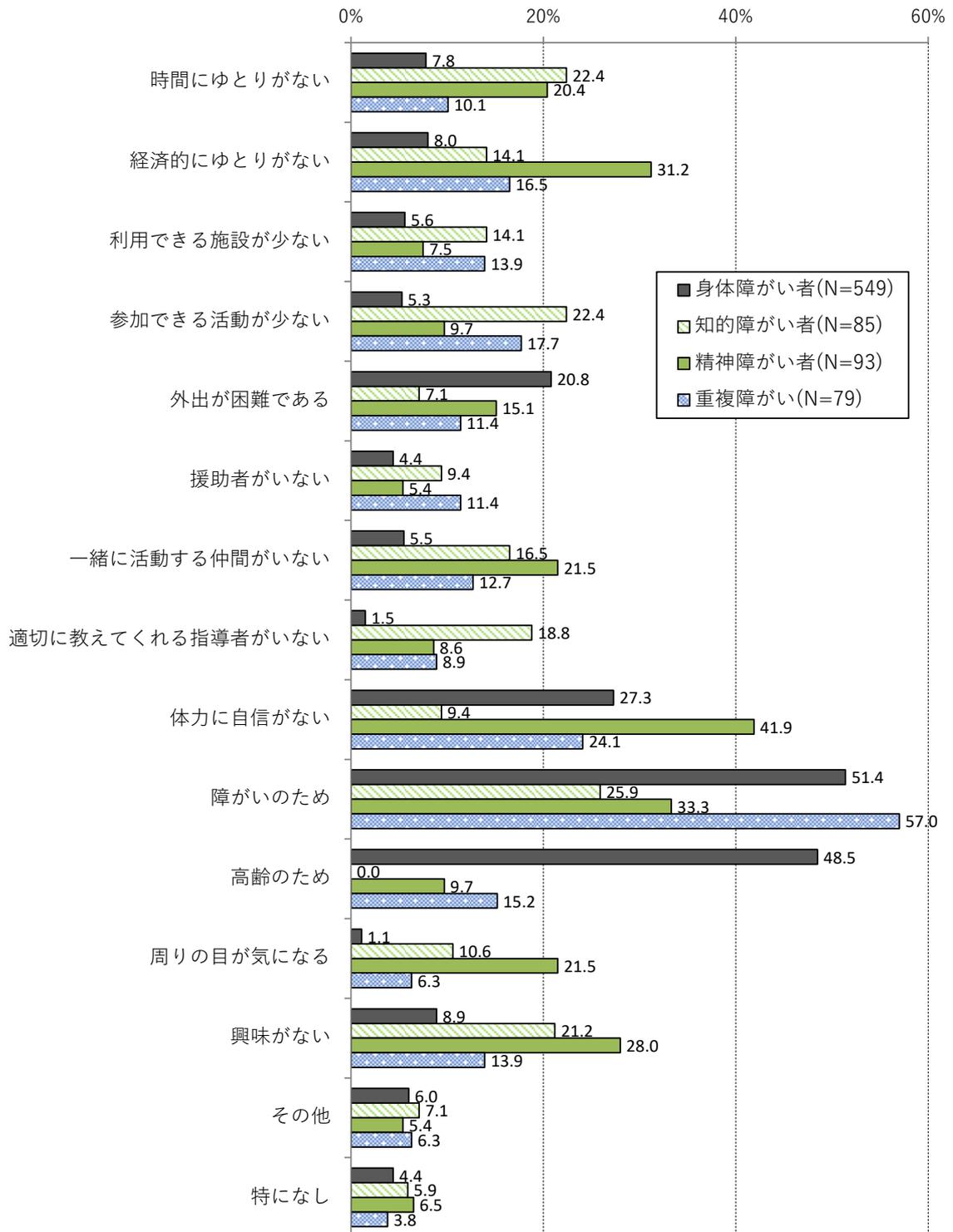
問 41 で「9. 何もしていない・できない」と回答した方におたずねします。

問 43 あなたが普段、スポーツや文化活動等をしていない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



- スポーツや文化活動等をしていない理由についてたずねたところ、「障がいのため」の回答率が 46.6%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「障がいのため」が最も多く 51.4%、次いで「高齢のため」が 48.5%、「体力に自信がない」が 27.3%と続きます。
- 知的障がい者では「障がいのため」が最も多く 25.9%、次いで「時間にゆとりがない」「参加できる活動が少ない」が 22.4%、「興味がない」が 21.2%と続きます。
- 精神障がい者では「体力に自信がない」が最も多く 41.9%、次いで「障がいのため」が 33.3%、「経済的にゆとりがない」が 31.2%と続きます。
- 重複障がいでは「障がいのため」が最も多く 57.0%、次いで「体力に自信がない」が 24.1%、「参加できる活動が少ない」が 17.7%と続きます。

【スポーツや文化活動をしていない理由（障がい種別）】

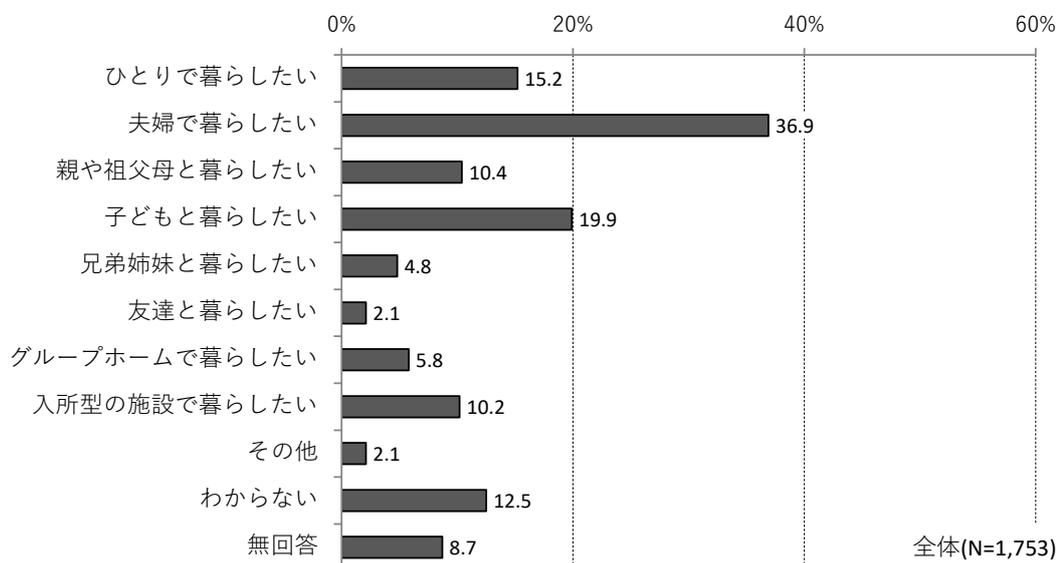


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	549	472	85	110	93	98
時間にゆとりがない	7.8	8.7	22.4	14.5	20.4	12.2
経済的にゆとりがない	8.0	8.5	14.1	7.3	31.2	25.5
利用できる施設が少ない	5.6	3.8	14.1	13.6	7.5	8.2
参加できる活動が少ない	5.3	5.3	22.4	23.6	9.7	11.2
外出が困難である	20.8	21.0	7.1	5.5	15.1	14.3
援助者がいない	4.4	3.0	9.4	10.9	5.4	9.2
一緒に活動する仲間がいない	5.5	4.2	16.5	17.3	21.5	16.3
適切に教えてくれる指導者がいない	1.5	2.8	18.8	11.8	8.6	6.1
体力に自信がない	27.3	28.8	9.4	9.1	41.9	26.5
障がいのため	51.4	53.6	25.9	25.5	33.3	40.8
高齢のため	48.5	43.4	0.0	2.7	9.7	10.2
周りの目が気になる	1.1	3.4	10.6	9.1	21.5	22.4
興味がない	8.9	7.2	21.2	20.0	28.0	26.5
その他	6.0	6.1	7.1	5.5	5.4	5.1
特になし	4.4	5.5	5.9	10.9	6.5	9.2
無回答	1.6	2.1	2.4	5.5	1.1	2.0

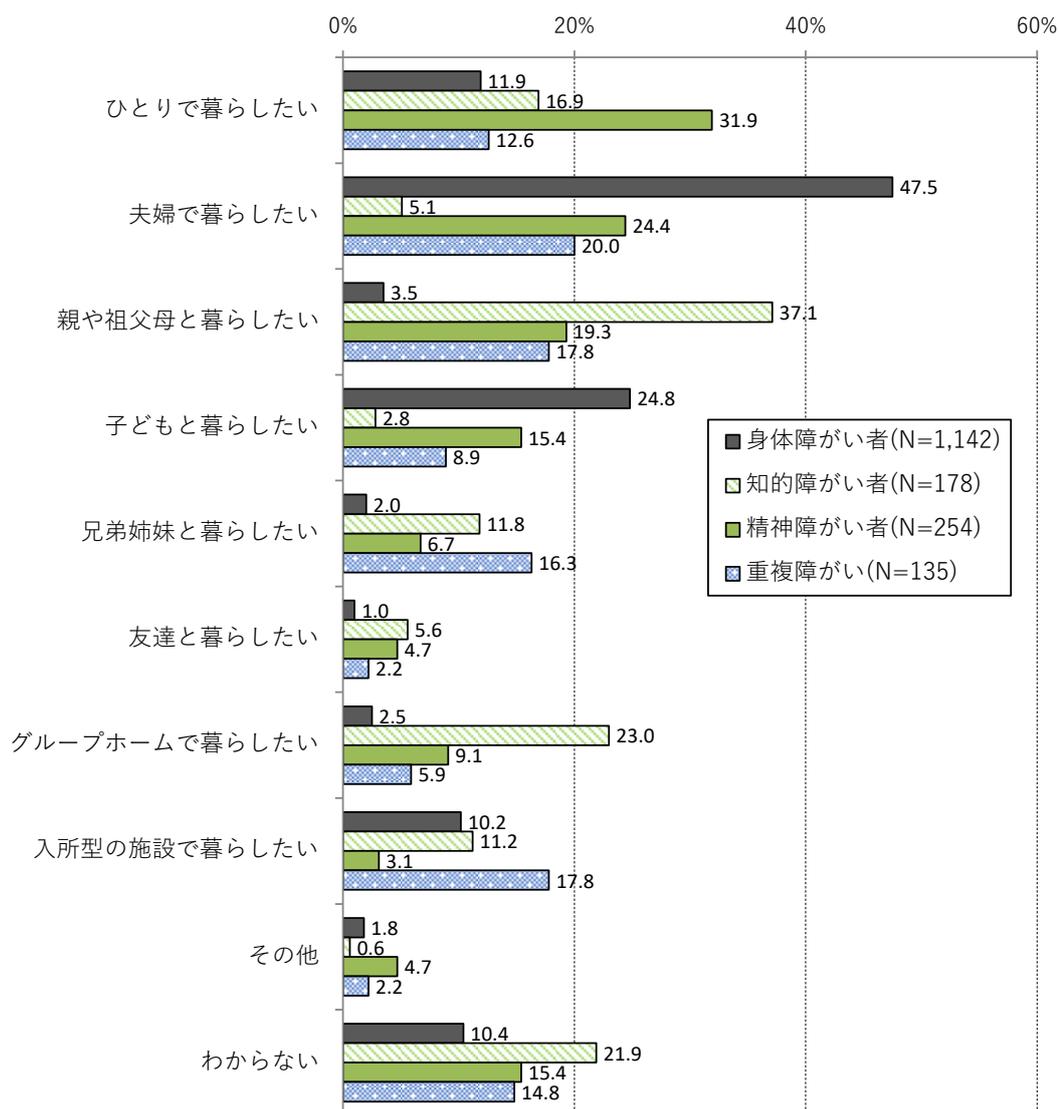
6. 今後の生活について

問 44 あなたは今後どのように暮らしたいですか。(〇はあてはまるものすべて)



- 今後、どのように暮らしたいかをたずねたところ、「夫婦で暮らしたい」の回答率が36.9%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「夫婦で暮らしたい」が最も多く47.5%、次いで「子どもと暮らしたい」が24.8%、「一人で暮らしたい」が11.9%と続きます。
- 知的障がい者では「親や祖父母と暮らしたい」が最も多く37.1%、次いで「グループホームで暮らしたい」が23.0%、「一人で暮らしたい」が16.9%と続きます。
- 精神障がい者では「一人で暮らしたい」が最も多く31.9%、次いで「夫婦で暮らしたい」が24.4%、「親や祖父母と暮らしたい」が19.3%と続きます。
- 重複障がいでは「夫婦で暮らしたい」が最も多く20.0%、次いで「親や祖父母と暮らしたい」「入所型の施設で暮らしたい」が17.8%、「兄弟姉妹と暮らしたい」が16.3%と続きます。

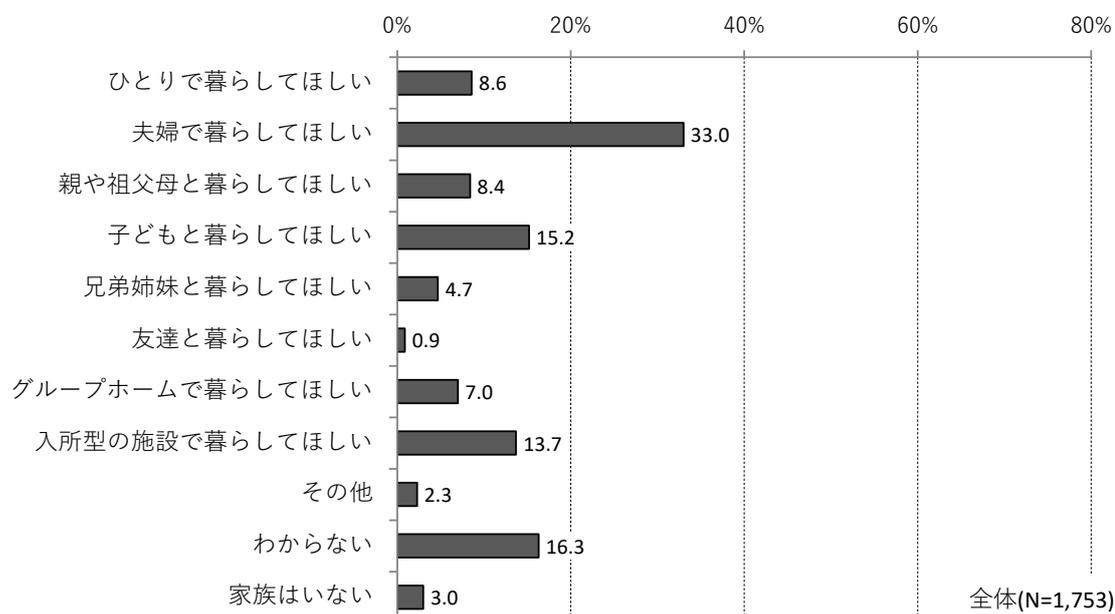
【今後の生活の希望（障がい種別）】



【前回調査との比較】

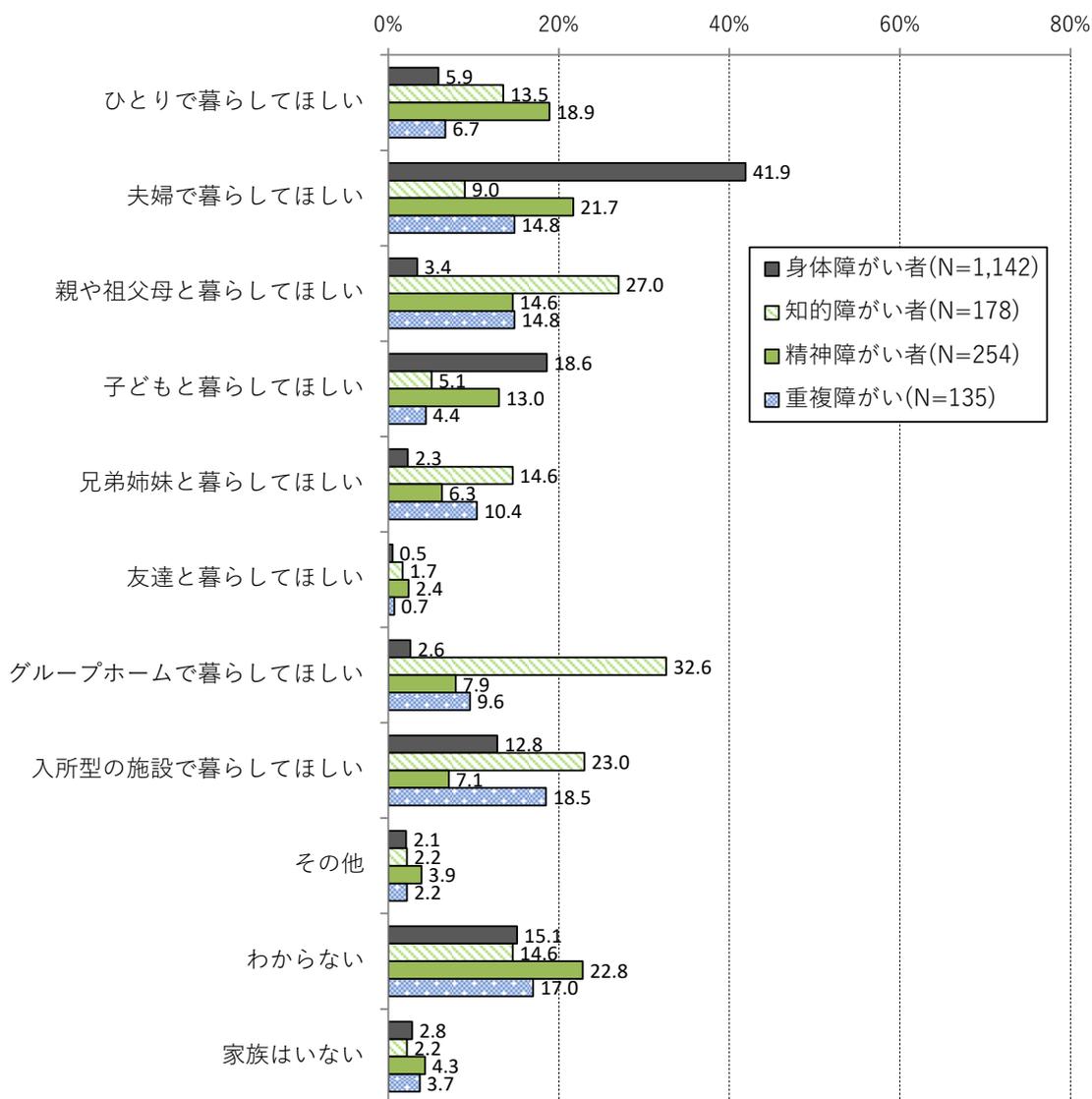
	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
ひとりで暮らしたい	11.9	8.2	16.9	12.0	31.9	33.6
夫婦で暮らしたい	47.5	46.5	5.1	2.7	24.4	19.8
親や祖父母と暮らしたい	3.5	3.7	37.1	37.8	19.3	20.6
子どもと暮らしたい	24.8	22.4	2.8	2.7	15.4	15.4
兄弟姉妹と暮らしたい	2.0	2.9	11.8	14.7	6.7	7.1
友達と暮らしたい	1.0	1.3	5.6	4.4	4.7	4.0
グループホームで暮らしたい	2.5	2.7	23.0	17.8	9.1	7.1
入所型の施設で暮らしたい	10.2	10.1	11.2	12.0	3.1	5.5
その他	1.8	3.4	0.6	2.7	4.7	5.1
わからない	10.4	9.4	21.9	24.9	15.4	13.4
無回答	8.5	11.5	7.3	6.2	5.1	2.8

問 45 あなたの家族は今後どのように暮らしてほしいと思っていますか。(〇はあてはまるものすべて)



- 調査対象者について、家族はどのように暮らしてほしいと思っているのかをたずねたところ、「夫婦で暮らしてほしい」の回答率が33.0%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「夫婦で暮らしてほしい」が最も多く41.9%、次いで「子どもと暮らしてほしい」が18.6%、「入所型の施設で暮らしてほしい」が12.8%と続きます。
- 知的障がい者では「グループホームで暮らしてほしい」が最も多く32.6%、次いで「親や祖父母と暮らしてほしい」が27.0%、「入所型の施設で暮らしてほしい」が23.0%と続きます。
- 精神障がい者では「夫婦で暮らしてほしい」が最も多く21.7%、次いで「一人で暮らしてほしい」が18.9%、「親や祖父母と暮らしてほしい」が14.6%と続きます。
- 重複障がいでは「入所型の施設で暮らしてほしい」が最も多く18.5%、次いで「夫婦で暮らしてほしい」「親や祖父母と暮らしてほしい」が14.8%、「兄弟姉妹と暮らしてほしい」が10.4%と続きます。

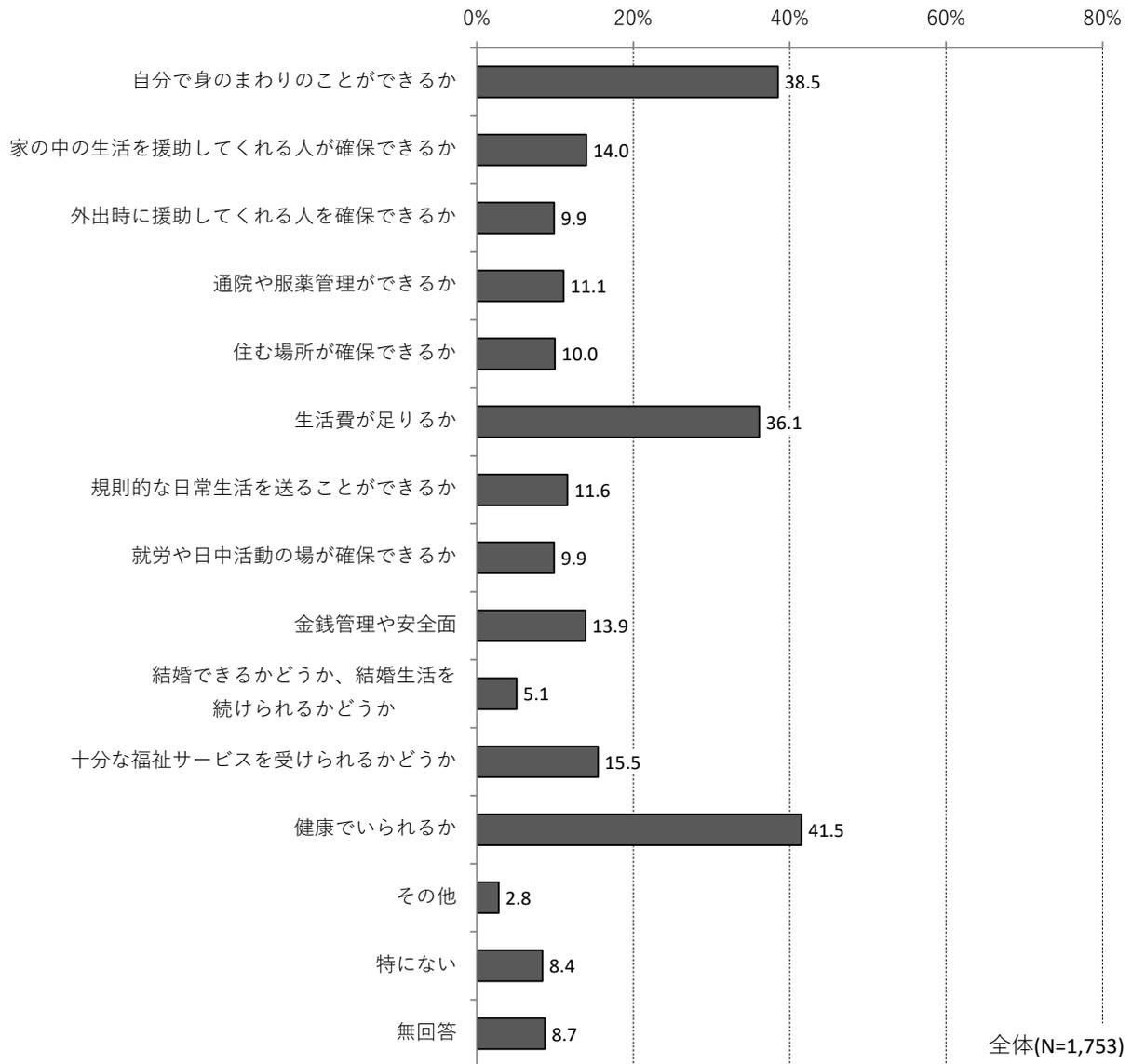
【家族が希望する今後の生活（障がい種別）】



【前回調査との比較】

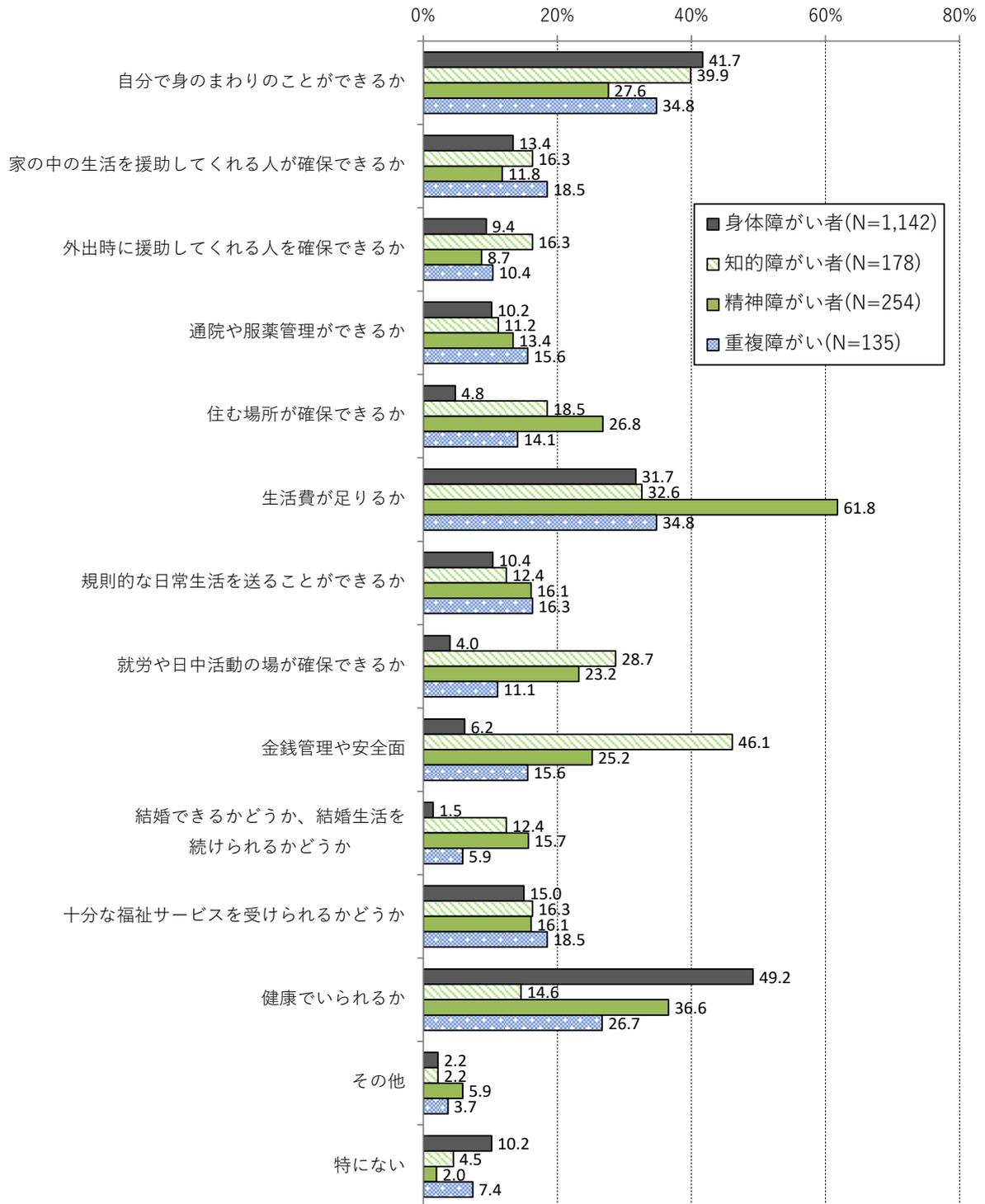
	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
ひとりで暮らしてほしい	5.9	4.7	13.5	12.4	18.9	20.9
夫婦で暮らしてほしい	41.9	40.8	9.0	6.7	21.7	19.4
親や祖父母と暮らしてほしい	3.4	4.0	27.0	29.3	14.6	17.4
子どもと暮らしてほしい	18.6	1.6	5.1	3.1	13.0	8.3
兄弟姉妹と暮らしてほしい	2.3	2.0	14.6	16.9	6.3	5.9
友達と暮らしてほしい	0.5	0.4	1.7	2.8	2.4	0.4
グループホームで暮らしてほしい	2.6	2.6	32.6	27.6	7.9	8.3
入所型の施設で暮らしてほしい	12.8	10.8	23.0	23.6	7.1	7.5
その他	2.1	2.9	2.2	1.3	3.9	6.3
わからない	15.1	15.1	14.6	15.6	22.8	18.6
家族はいない	2.8	2.9	2.2	0.4	4.3	4.3
無回答	11.9	14.6	7.3	10.2	7.9	4.7

問 46 あなたの将来を考えたとき不安はありますか。(〇は主なもの3つまで)



- 将来の不安についてたずねたところ、「健康でいられるか」の回答率が41.5%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「健康でいられるか」が最も多く49.2%、次いで「自分で身のまわりのことができるか」が41.7%、「生活費が足りるか」が31.7%と続きます。
- 知的障がい者では「金銭管理や安全面」が最も多く46.1%、次いで「自分で身のまわりのことができるか」が39.9%、「生活費が足りるか」が32.6%と続きます。
- 精神障がい者では「生活費が足りるか」が最も多く61.8%、次いで「健康でいられるか」が36.6%、「住む場所が確保できるか」が26.8%と続きます。
- 重複障がいでは「自分で身のまわりのことができるか」「生活費が足りるか」が最も多く34.8%、次いで「健康でいられるか」が26.7%、「家の中の生活を援助してくれる人が確保できるか」「十分な福祉サービスを受けられるか」が18.5%と続きます。

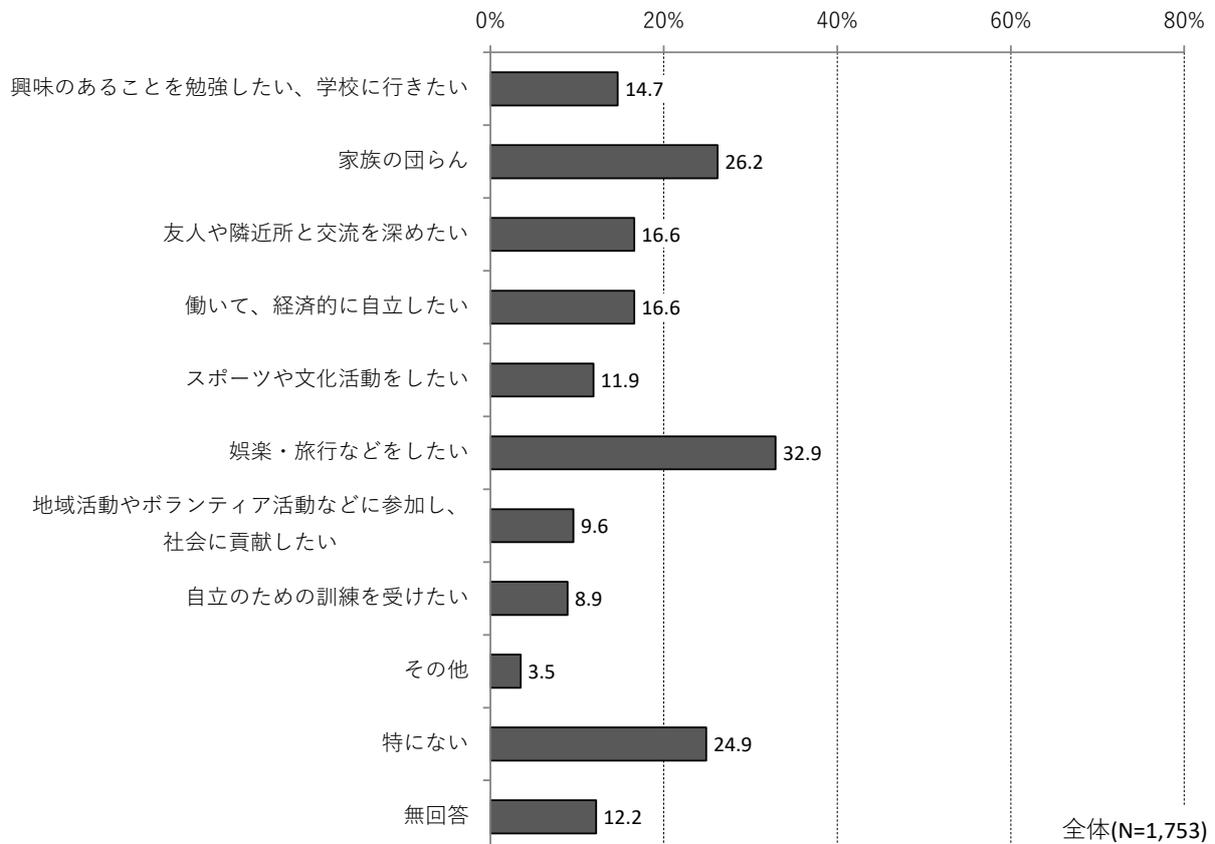
【将来に関する不安（障がい種別）】



【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
自分で身のまわりのことができるか	41.7	38.3	39.9	35.6	27.6	27.3
家の中の生活を援助してくれる人が確保できるか	13.4	14.4	16.3	19.1	11.8	8.3
外出時に援助してくれる人を確保できるか	9.4	9.5	16.3	11.1	8.7	6.3
通院や服薬管理ができるか	10.2	9.1	11.2	9.3	13.4	9.5
住む場所が確保できるか	4.8	4.7	18.5	14.2	26.8	19.0
生活費が足りるか	31.7	30.3	32.6	30.2	61.8	58.5
規則的な日常生活を送ることができるか	10.4	7.2	12.4	10.2	16.1	11.5
就労や日中活動の場が確保できるか	4.0	4.3	28.7	21.8	23.2	18.6
金銭管理や安全面	6.2	3.7	46.1	35.6	25.2	15.8
結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるかどうか	1.5	1.4	12.4	10.2	15.7	20.6
十分な福祉サービスを受けられるかどうか	15.0	13.9	16.3	16.4	16.1	10.7
健康でいられるか	49.2	43.3	14.6	18.2	36.6	35.6
その他	2.2	3.4	2.2	1.8	5.9	3.6
特になし	10.2	11.6	4.5	7.6	2.0	4.0
無回答	8.9	10.7	5.1	5.8	4.7	4.3

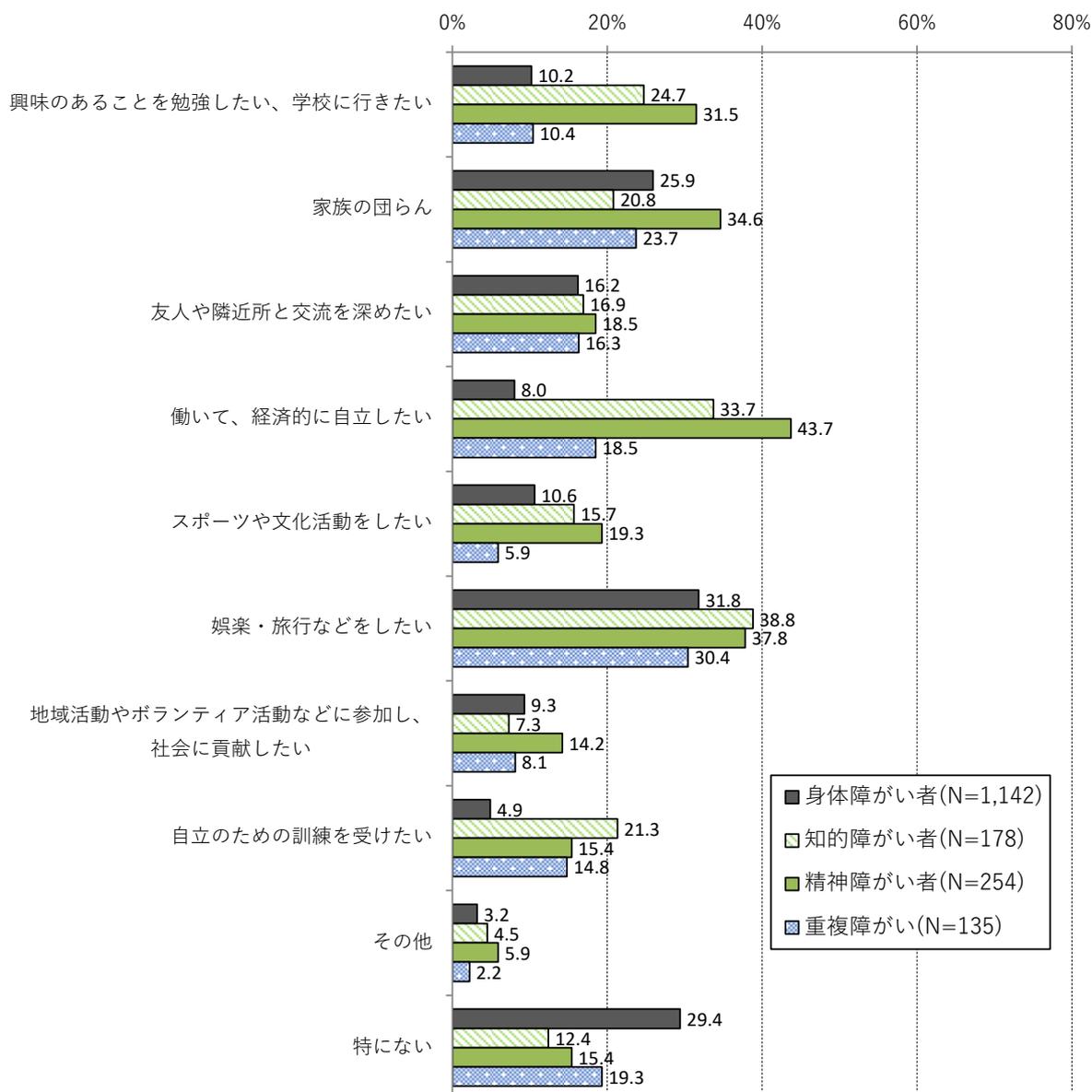
問 47 あなたが今後やりたいとことはありますか。(〇はあてはまるものすべて)



- 今後やりたいことについてたずねたところ、「娯楽・旅行などをしたい」の回答率が32.9%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「娯楽・旅行などをしたい」が最も多く31.8%、次いで「家族の団らん」が25.9%、「スポーツや文化活動をしたい」が10.6%と続きます。

- 知的障がい者では「娯楽・旅行などをしたい」が最も多く 38.8%、次いで「働いて、経済的に自立したい」が 33.7%、「興味のあることを勉強したい、学校に行きたい」が 24.7%と続きます。
- 精神障がい者では「働いて、経済的に自立したい」が最も多く 43.7%、次いで「娯楽・旅行などをしたい」が 37.8%、「家族の団らん」が 34.6%と続きます。
- 重複障がいでは「娯楽・旅行などをしたい」が最も多く 30.4%、次いで「家族の団らん」が 23.7%、「働いて、経済的に自立したい」が 18.5%と続きます。

【今後やりたいこと（障がい種別）】



【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	255	254	253
興味のあることを勉強したい、学校に行きたい	10.2	10.9	24.7	26.7	31.5	32.0
家族の団らん	25.9	22.4	20.8	22.5	34.6	30.0
友人や隣近所と交流を深めたい	16.2	16.6	16.9	19.6	18.5	15.4
働いて、経済的に自立したい	8.0	6.4	33.7	27.1	43.7	43.5
スポーツや文化活動をしたい	10.6	11.1	15.7	20.4	19.3	20.2
娯楽・旅行などをしたい	31.8	29.7	38.8	41.8	37.8	29.2
地域活動やボランティア活動などに参加し、社会に貢献したい	9.3	11.2	7.3	7.1	14.2	11.9
自立のための訓練を受けたい	4.9	5.2	21.3	24.9	15.4	15.4
その他	3.2	3.6	4.5	3.1	5.9	7.1
特になし	29.4	27.4	12.4	14.2	15.4	13.8
無回答	12.9	15.2	7.9	10.7	6.7	4.3

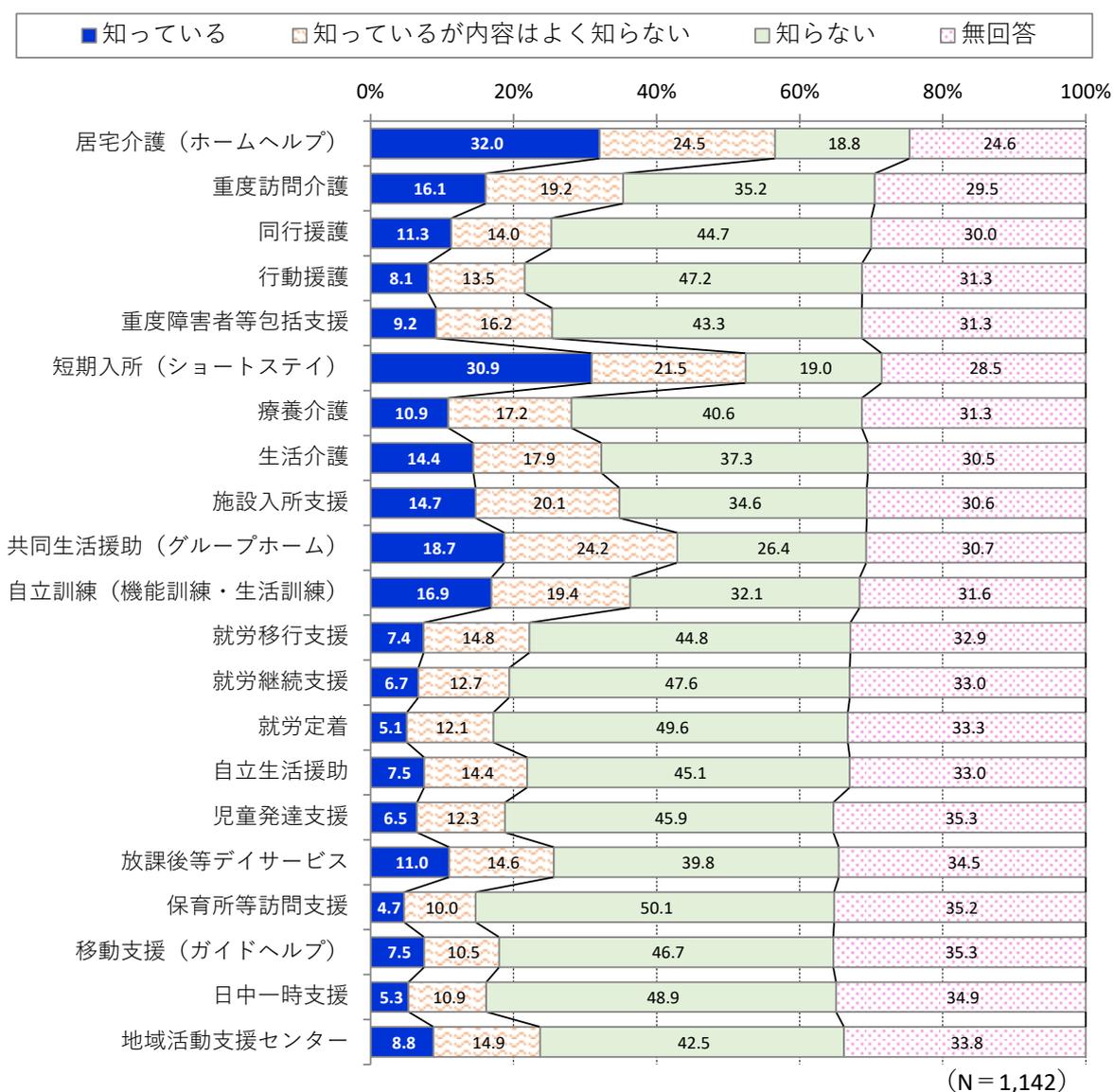
7. 福祉サービスについて

問 48 1～21 の福祉サービスや制度などについておたずねします。

①認知度、③利用意向について、あなたにとってあてはまるものを1つずつ選んでください。
また、①で「知っている」「知っているが内容はよく知らない」と回答した方のみ②利用の有無をお答えください。

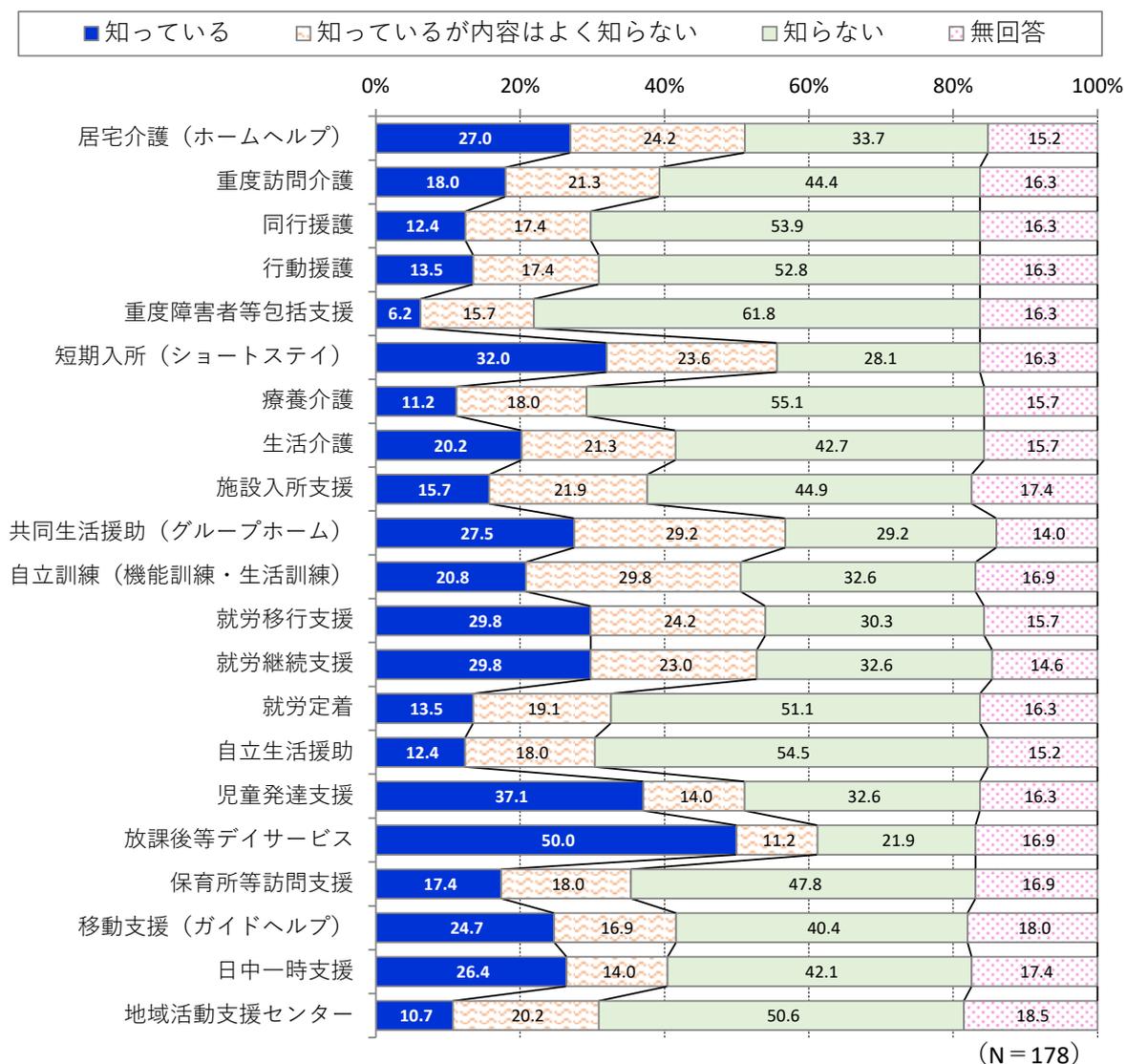
(1) サービスの認知度

1 身体障がい者



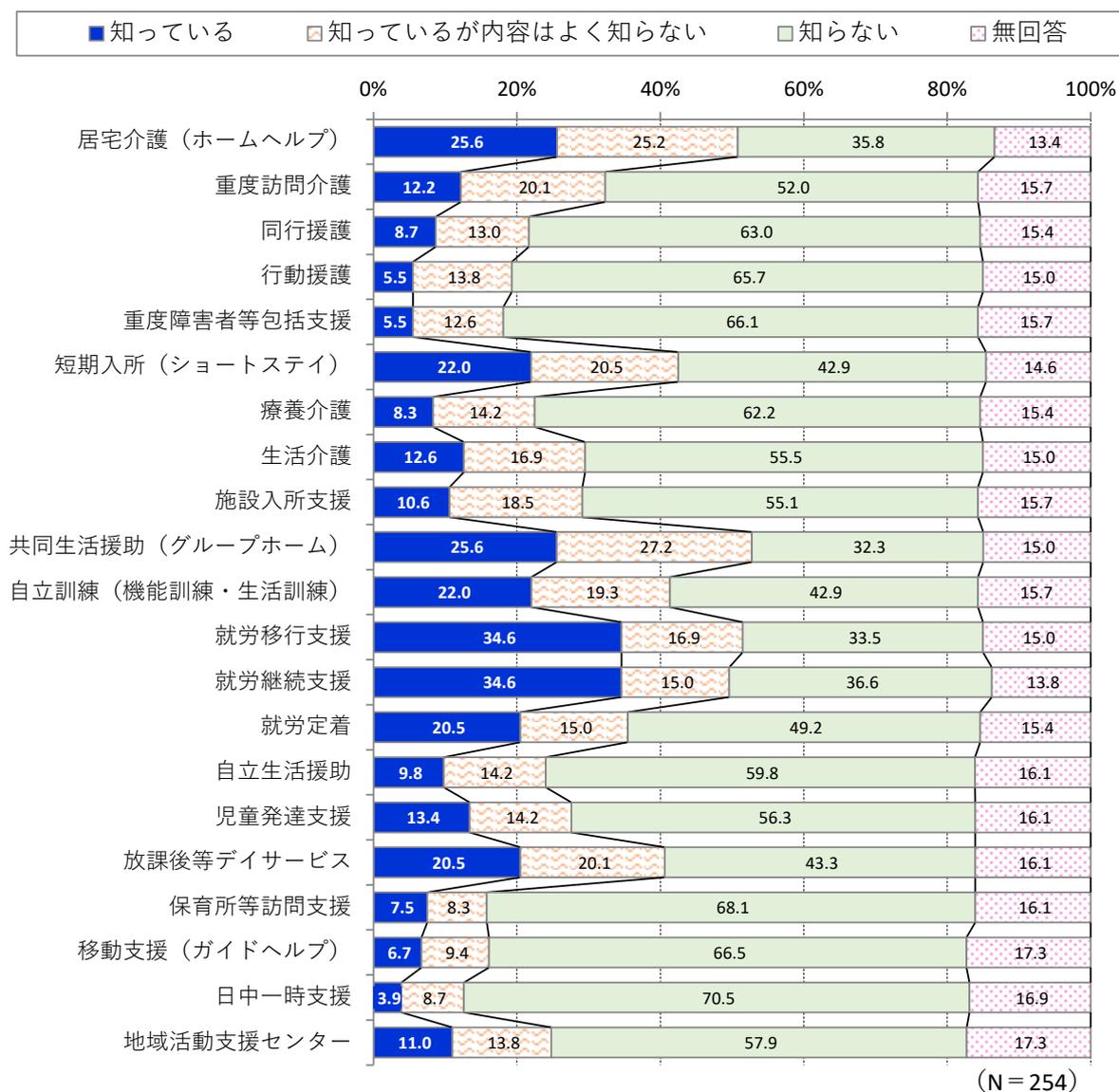
- 「居宅介護（ホームヘルプ）」「短期入所（ショートステイ）」について、「知っている」の回答率が共に3割以上と、他のサービス・制度よりも高くなっています。
- ほとんどのサービス・制度について「知らない」の回答率が「知っている」「知っているが内容はよく知らない」の回答率を上回っています。

2 知的障がい者



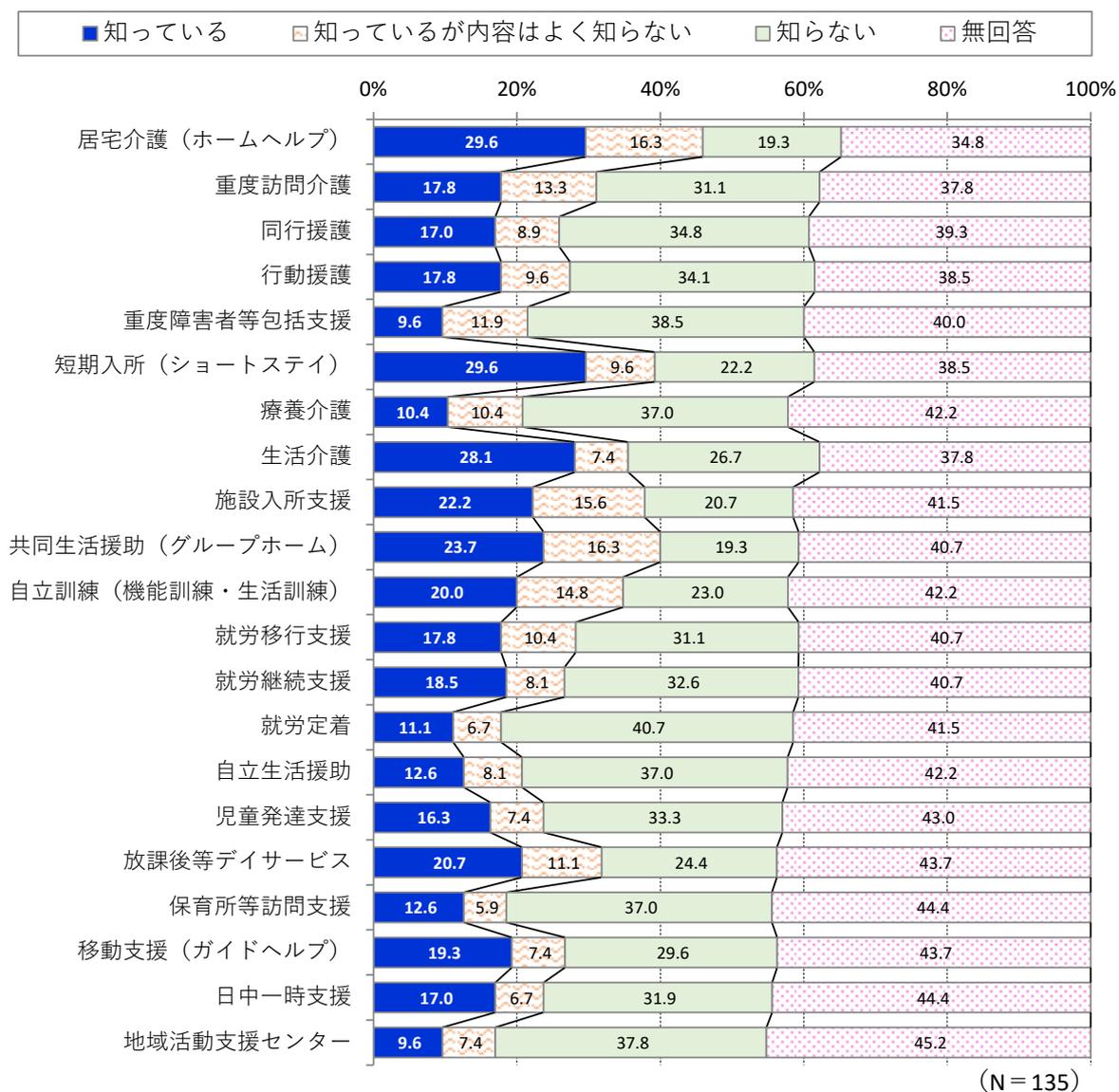
- 「放課後等デイサービス」について、「知っている」の回答率が50.0%と、他のサービス・制度と比較して高くなっています。
- ほとんどのサービス・制度について「知らない」の回答率が「知っている」「知っているが内容はよく知らない」の回答率を上回っています。

3 精神障がい者



- 「就労移行支援」「就労継続支援」について、「知っている」の回答率が共に3割以上と、他のサービス・制度と比較して高くなっています。
- ほとんどのサービス・制度について「知らない」の回答率が「知っている」「知っているが内容はよく知らない」の回答率を上回っています。

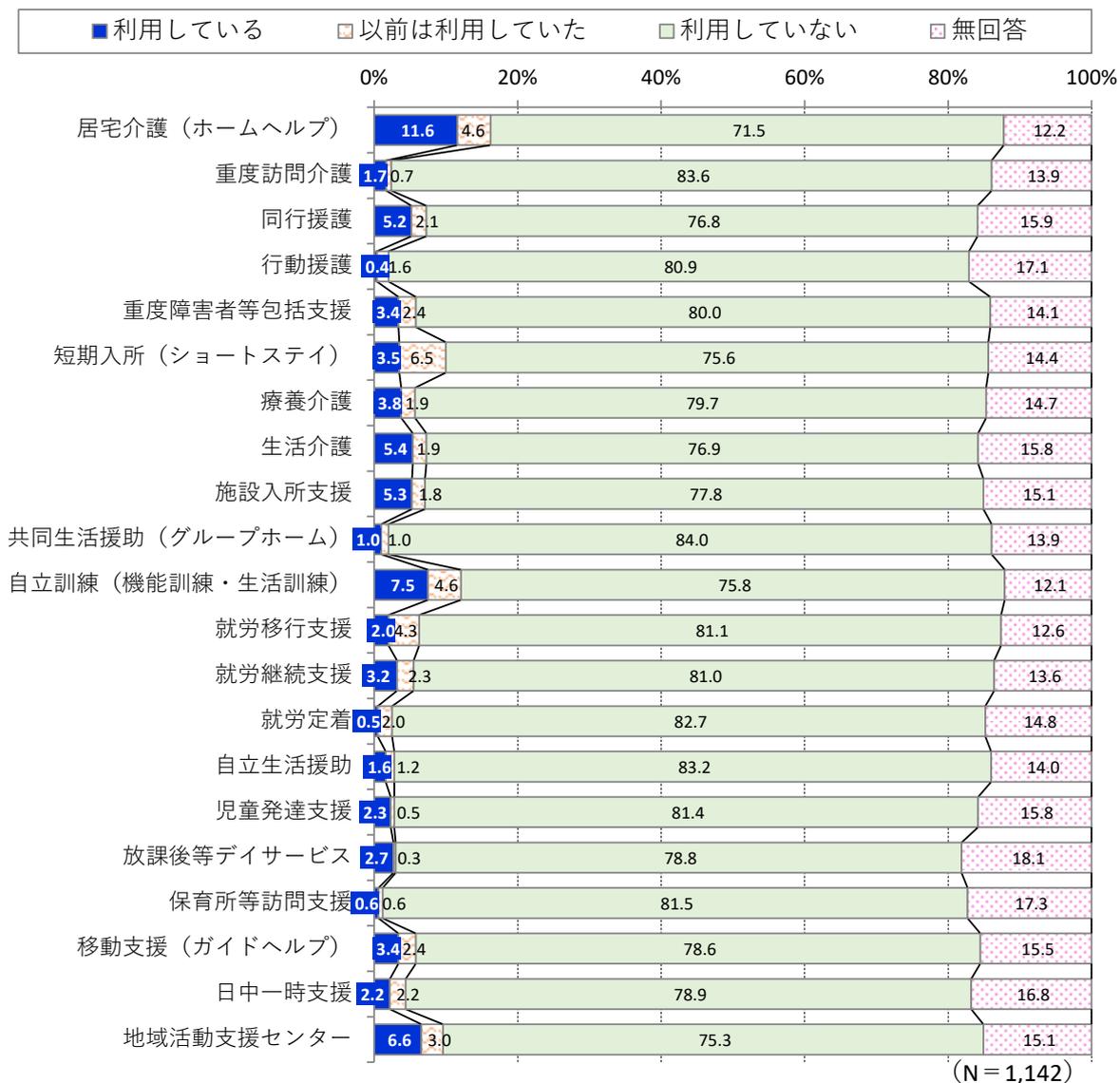
4 重複障がい



- いずれのサービス・制度についても、「知っている」の回答率が3割以下となっています。

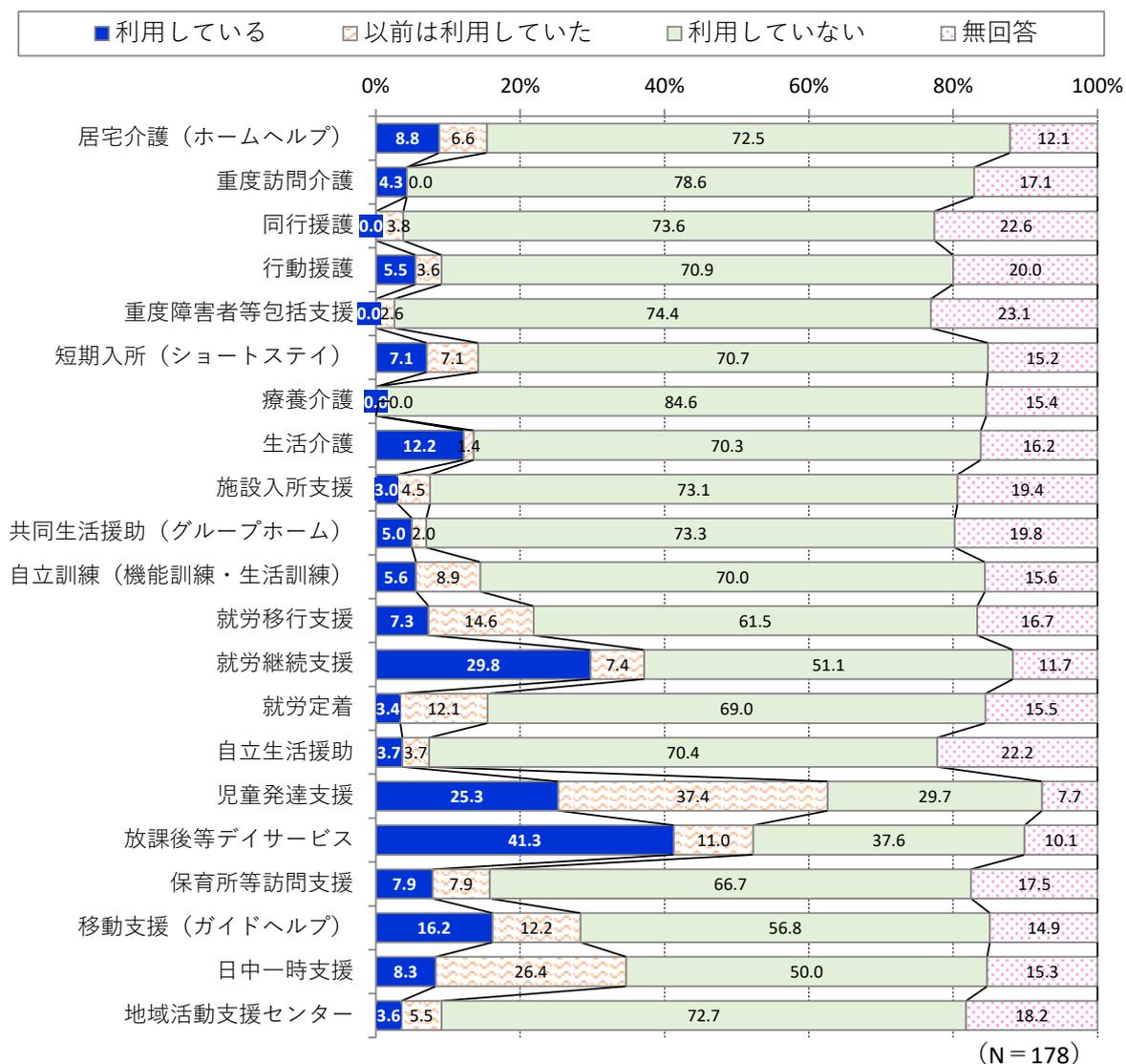
(2) サービスの利用の有無

1 身体障がい者



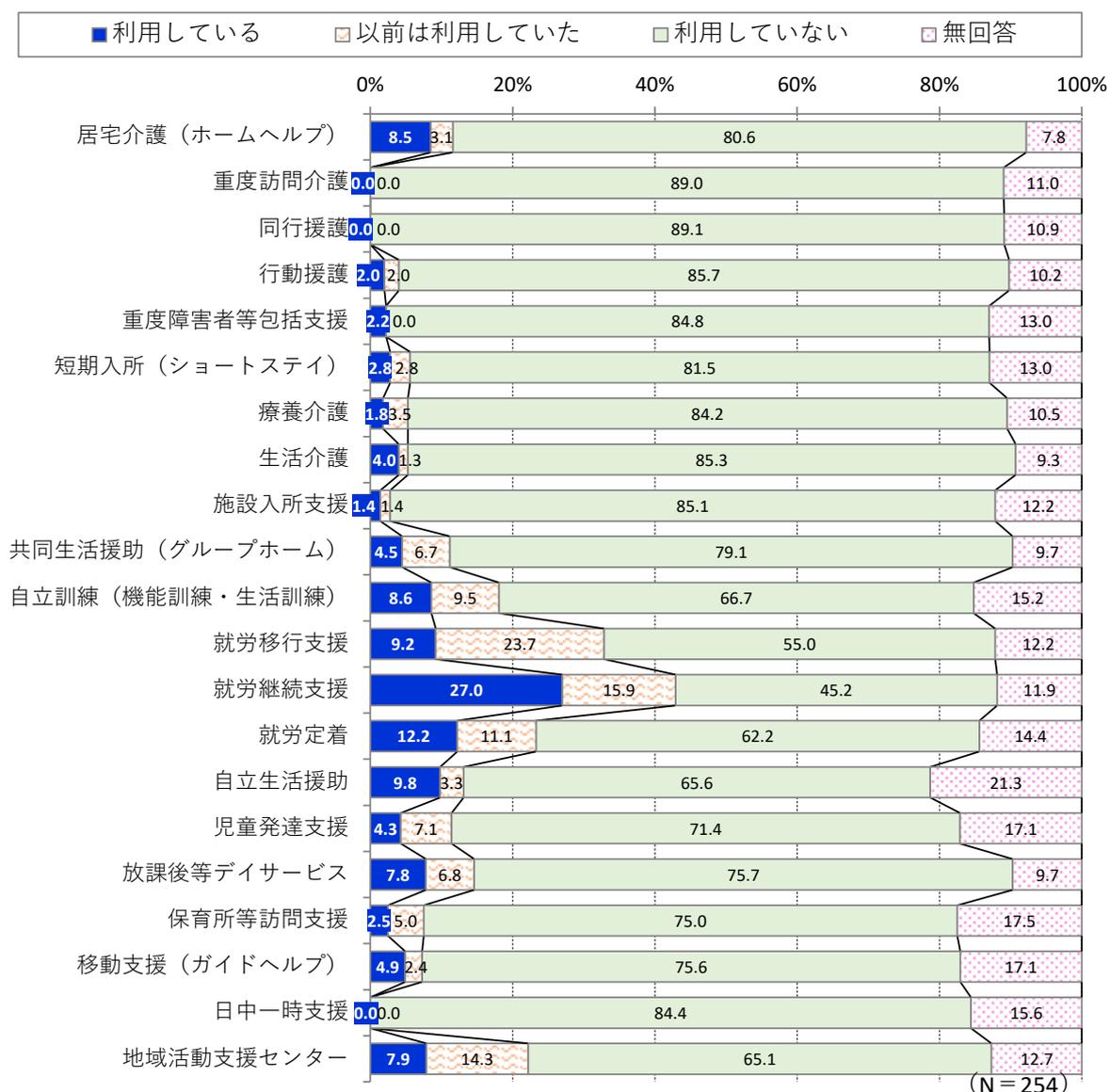
- 「利用している」の回答率が最も高いのは「居宅介護 (ホームヘルプ)」で11.6%となっています。次いで、「自立訓練 (機能訓練・生活訓練)」が7.5%、「地域活動支援センター」が6.6%と続きます。

2 知的障がい者



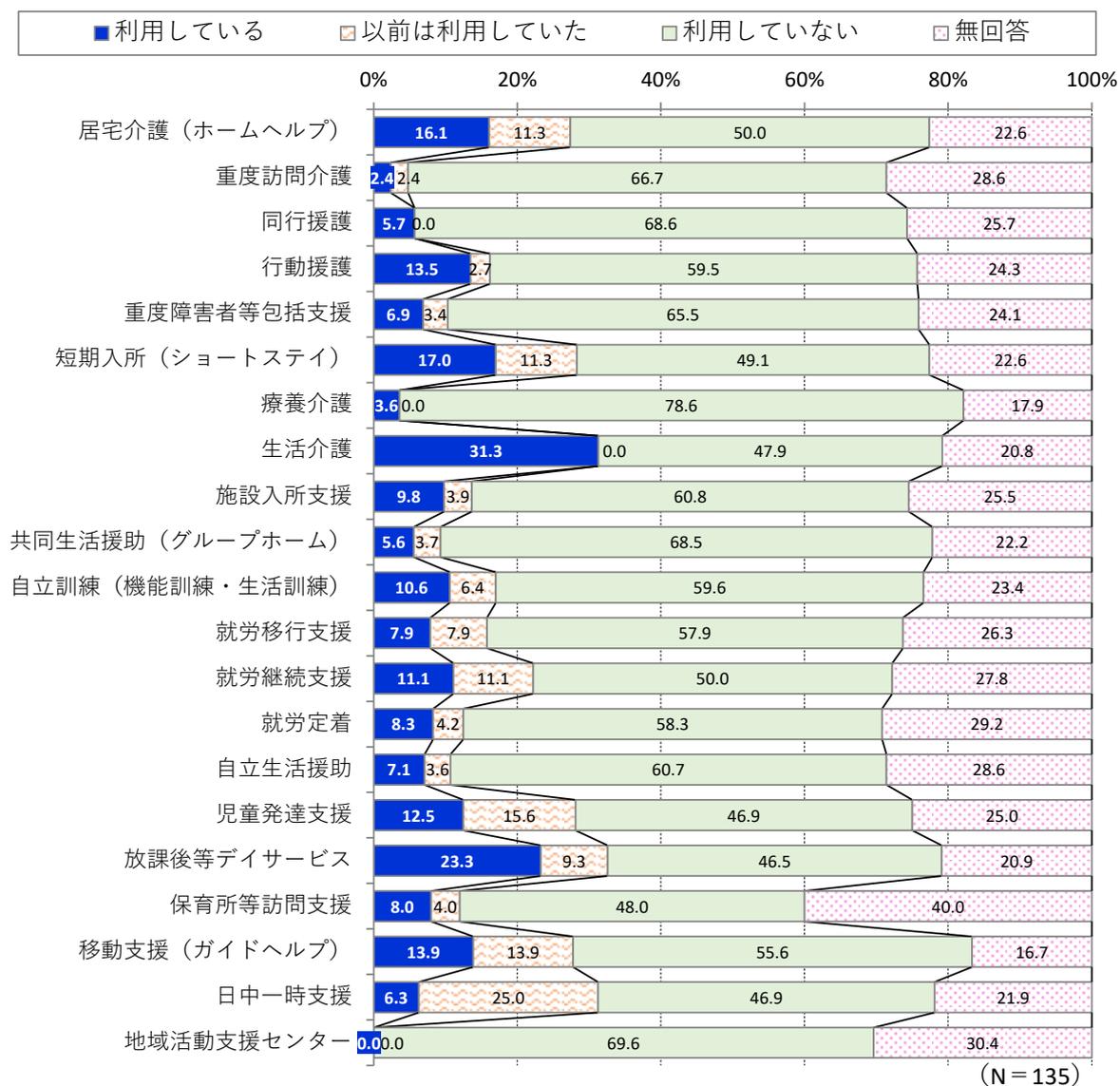
- 「利用している」の回答率が最も高いのは「放課後等デイサービス」で41.3%となっています。次いで、「就労継続支援」が29.8%、「児童発達支援」が25.3%と続きます。
- 「利用している」と「以前は利用していた」をあわせた回答率は「児童発達支援」で最も高く、62.7%となっています。

3 精神障がい者



- 「利用している」の回答率が最も高いのは「就労継続支援」で27.0%となっています。次いで、「就労定着」が12.2%、「自立生活援助」が9.8%と続きます。

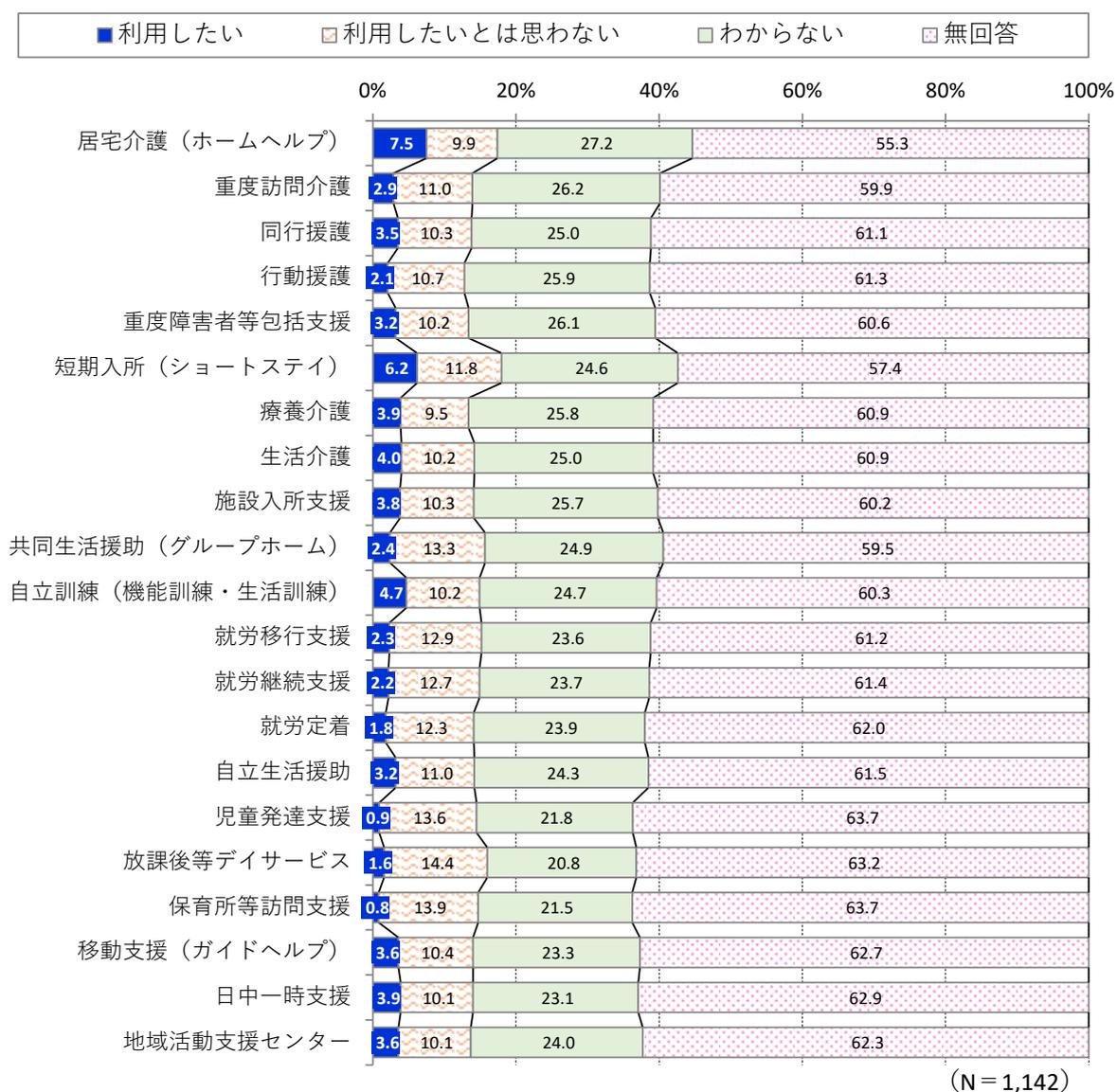
4 重複障がい



- 「利用している」の回答率が最も高いのは「生活介護」で 31.3%となっています。次いで、「放課後等デイサービス」が 23.3%、「短期入所 (ショートステイ)」が 17.0%と続きます。

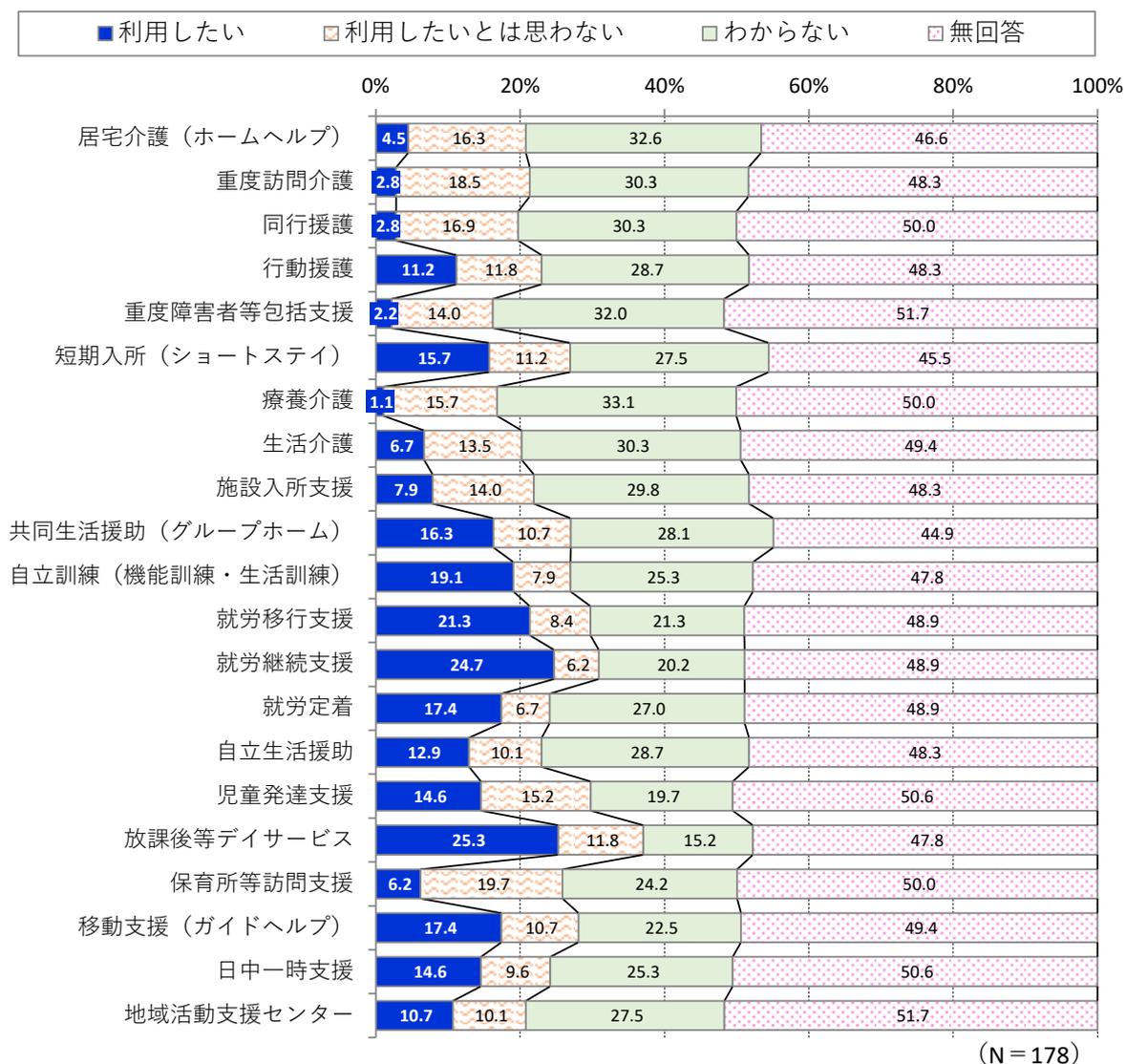
(3) サービスの利用意向

1 身体障がい者



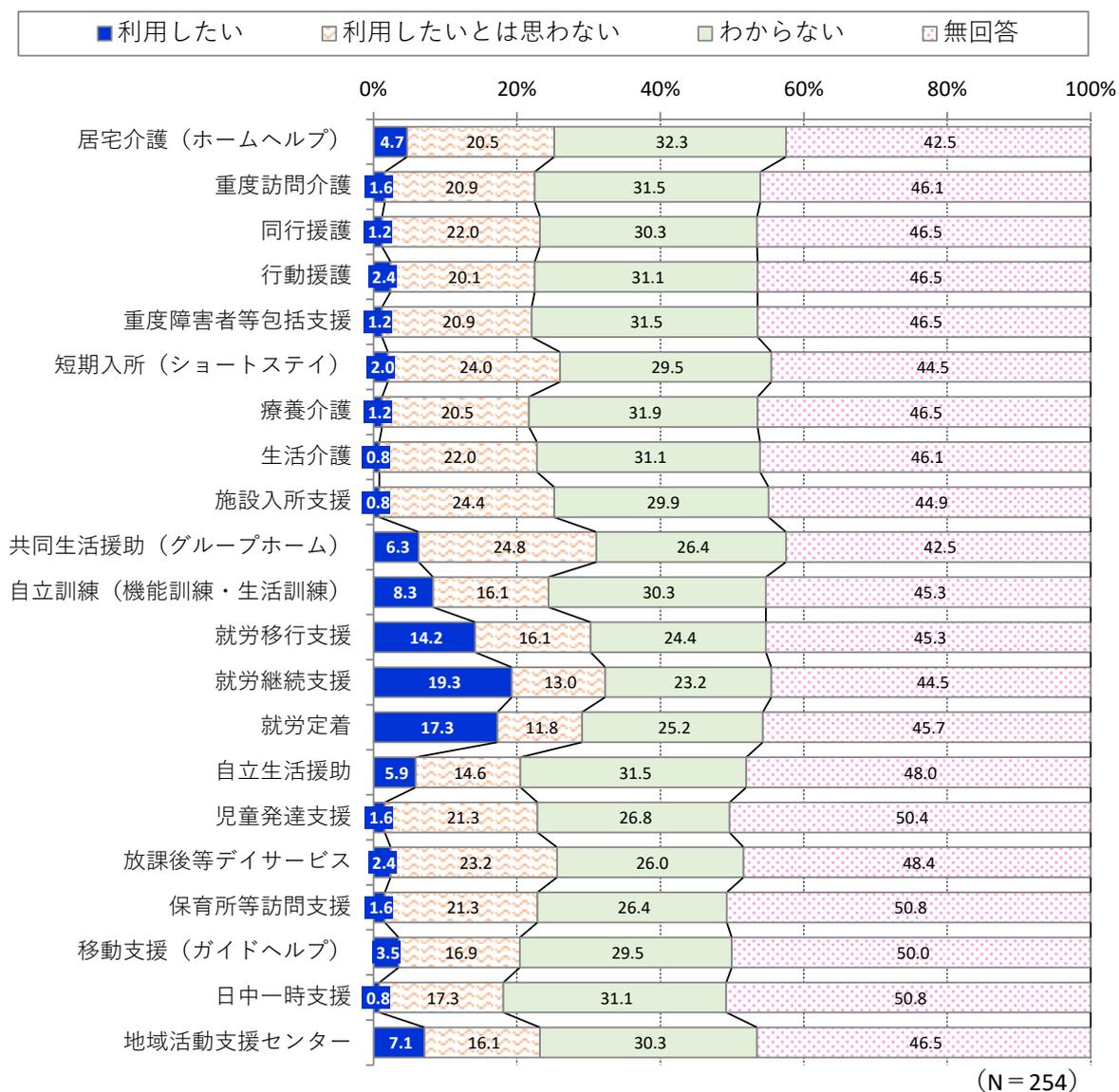
- 「利用したい」の回答率が最も高いのは「居宅介護 (ホームヘルプ)」で 7.5%、次いで、「短期入所 (ショートステイ)」が 6.2%、「自立訓練 (機能訓練・生活訓練)」が 4.7%と続きます。
- 「利用したいとは思わない」の回答率が最も高いのは「放課後等デイサービス」で 14.4%、次いで、「保育所等訪問支援」が 13.9%、「児童発達支援」が 13.6%と続きます。

2 知的障がい者



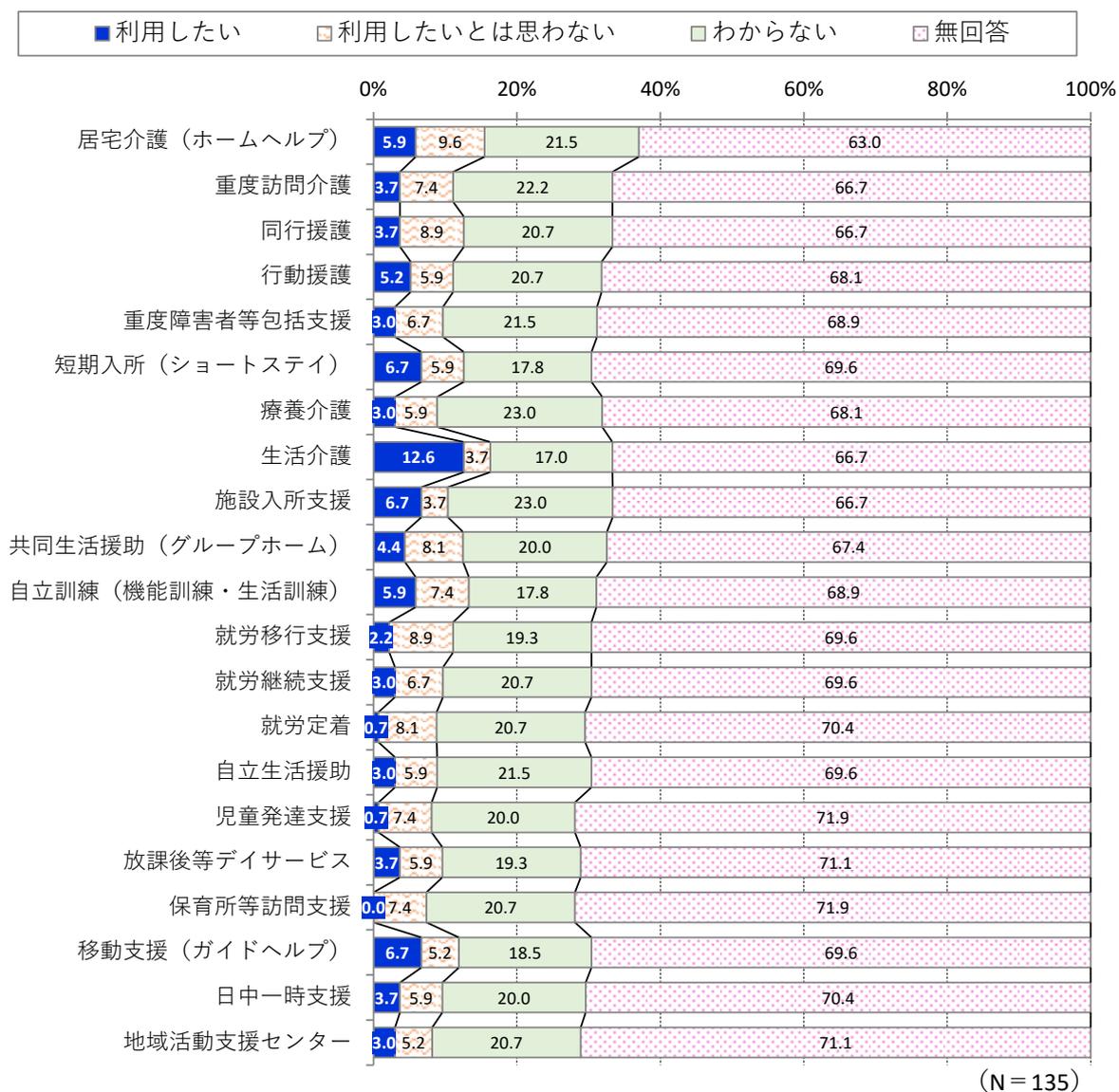
- 「利用したい」の回答率が最も高いのは「放課後等デイサービス」で25.3%、次いで、「就労継続支援」が24.7%、「就労移行支援」が21.3%と続きます。
- 「利用したいとは思わない」の回答率が最も高いのは「保育所等訪問支援」で19.7%、次いで、「重度訪問介護」が18.5%、「居宅介護 (ホームヘルプ)」が16.3%と続きます。

3 精神障がい者



- 「利用したい」の回答率が最も高いのは「就労継続支援」で19.3%、次いで、「就労定着」が17.3%、「就労移行支援」が14.2%と続きます。
- 「利用したいとは思わない」の回答率が最も高いのは「共同生活援助 (グループホーム)」で24.8%、次いで、「施設入所支援」が24.4%、「短期入所 (ショートステイ)」が24.0%と続きます。

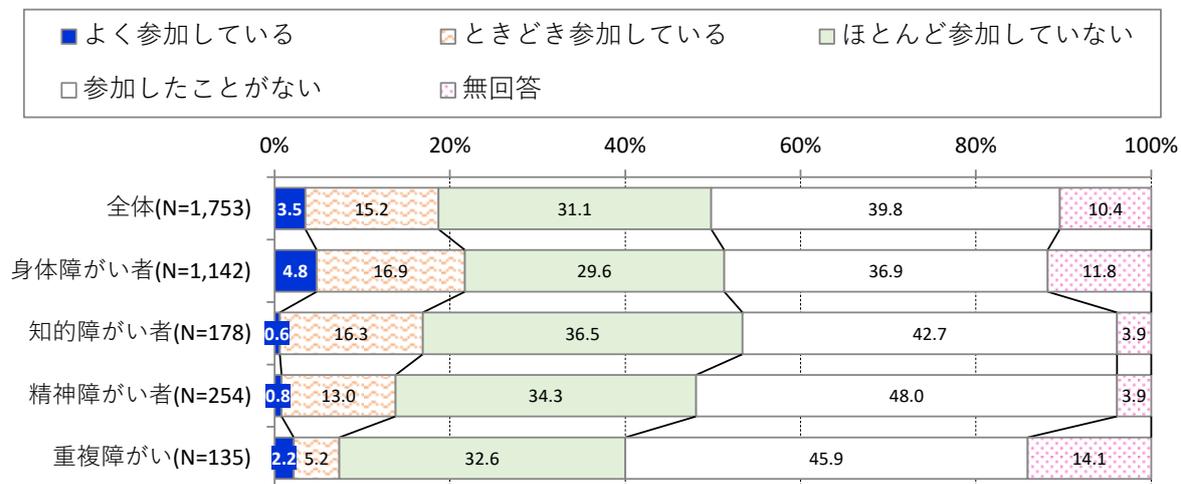
4 重複障がい



- 「利用したい」の回答率が最も高いのは「生活介護」で12.6%、次いで、「短期入所 (ショートステイ)」「施設入所支援」「移動支援 (ガイドヘルプ)」が6.7%と続きます。
- 「利用したいと思わない」の回答率が最も高いのは「居宅介護(ホームヘルプ)」で9.6%、次いで、「就労移行支援」「同行援護」が8.9%と続きます。

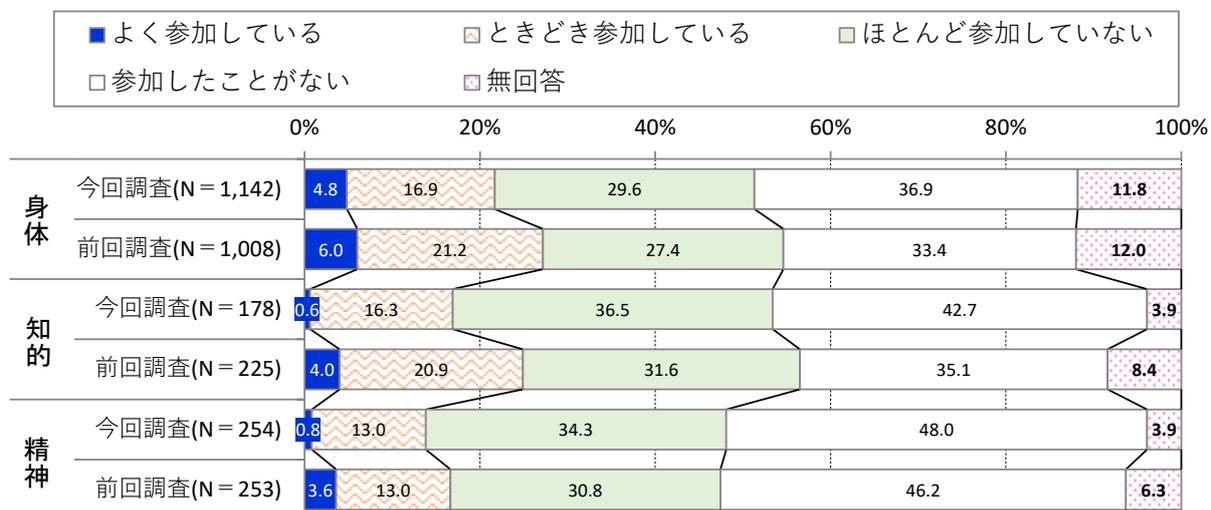
8. 地域とのかかわりの状況について

問 49 あなたはさまざまな地域の活動に参加していますか。(〇は1つだけ)



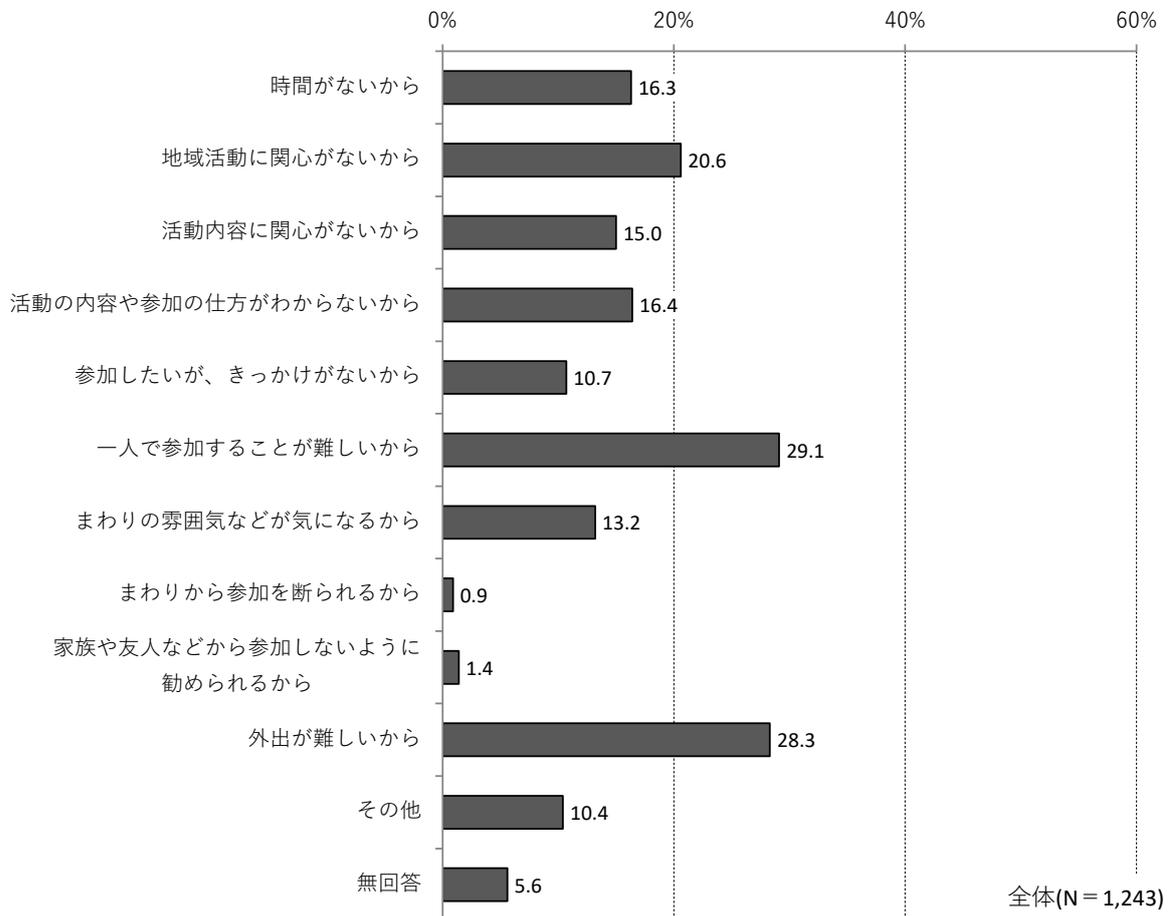
- 地域活動への参加状況についてたずねたところ、「よく参加している」「時々参加している」が18.7%、「ほとんど参加していない」「参加したことがない」が70.9%となっています。
- 身体障がい者では「よく参加している」「時々参加している」が21.7%、「ほとんど参加していない」「参加したことがない」が66.5%となっています。
- 知的障がい者では「よく参加している」「時々参加している」が16.9%、「ほとんど参加していない」「参加したことがない」が79.2%となっています。
- 精神障がい者では「よく参加している」「時々参加している」が13.8%、「ほとんど参加していない」「参加したことがない」が82.3%となっています。
- 重複障がいでは「よく参加している」「時々参加している」が7.4%、「ほとんど参加していない」「参加したことがない」が78.5%となっています。

【地域活動への参加（障がい種別）】



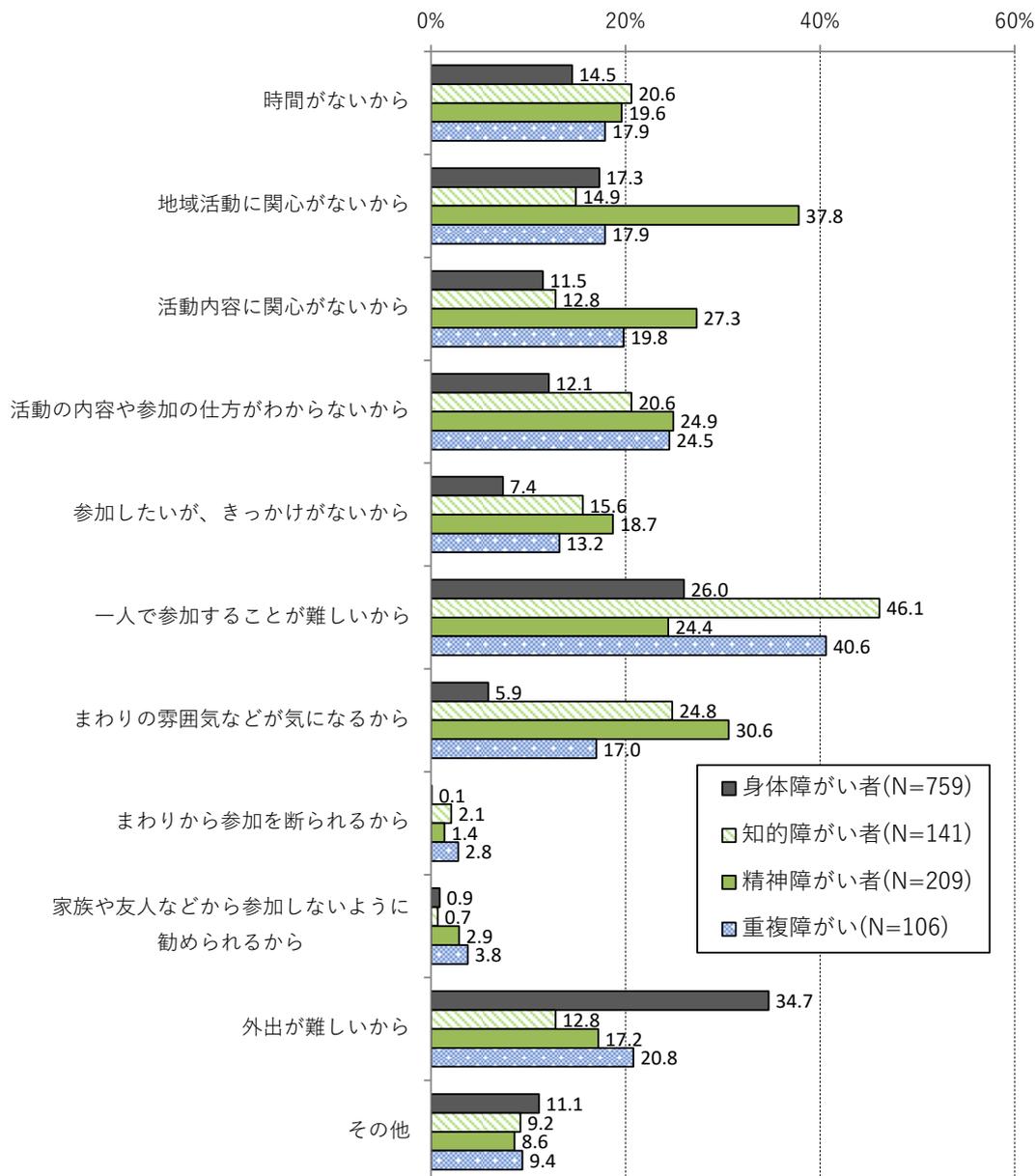
問 49 で「3. ほとんど参加していない」「4. 参加したことがない」と回答した方におたずねします。

問 50 あなたが地域活動に参加しない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



- 地域活動に参加していない理由をたずねたところ、「一人で参加することが難しいから」の回答率が 29.1%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「外出が難しいから」が最も多く 34.7%、次いで「一人で参加することが難しいから」が 26.0%、「地域活動に関心がないから」が 17.3%と続きます。
- 知的障がい者では「一人で参加することが難しいから」が最も多く 46.1%、次いで「まわりの雰囲気などが気になるから」が 24.8%、「時間がないから」「活動内容や参加の仕方がわからないから」が 20.6%と続きます。
- 精神障がい者では「地域活動に関心がないから」が最も多く 37.8%、次いで「周りの雰囲気などが気になるから」が 30.6%、「活動内容に関心がないから」が 27.3%と続きます。
- 重複障がいでは「一人で参加することが難しいから」が最も多く 40.6%、次いで「活動の内容や参加の仕方がわからないから」が 24.5%、「外出が難しいから」が 20.8%と続きます。

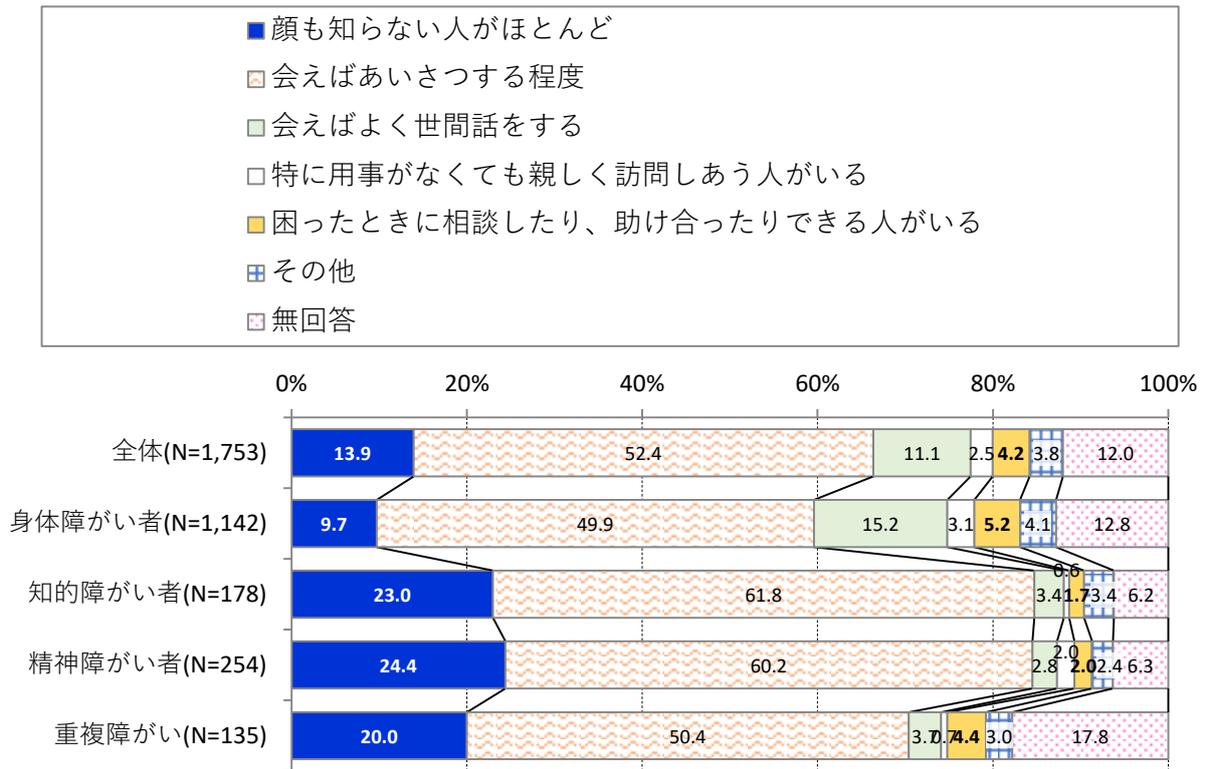
【地域活動に参加しない理由（障がい種別）】



【前回調査との比較】

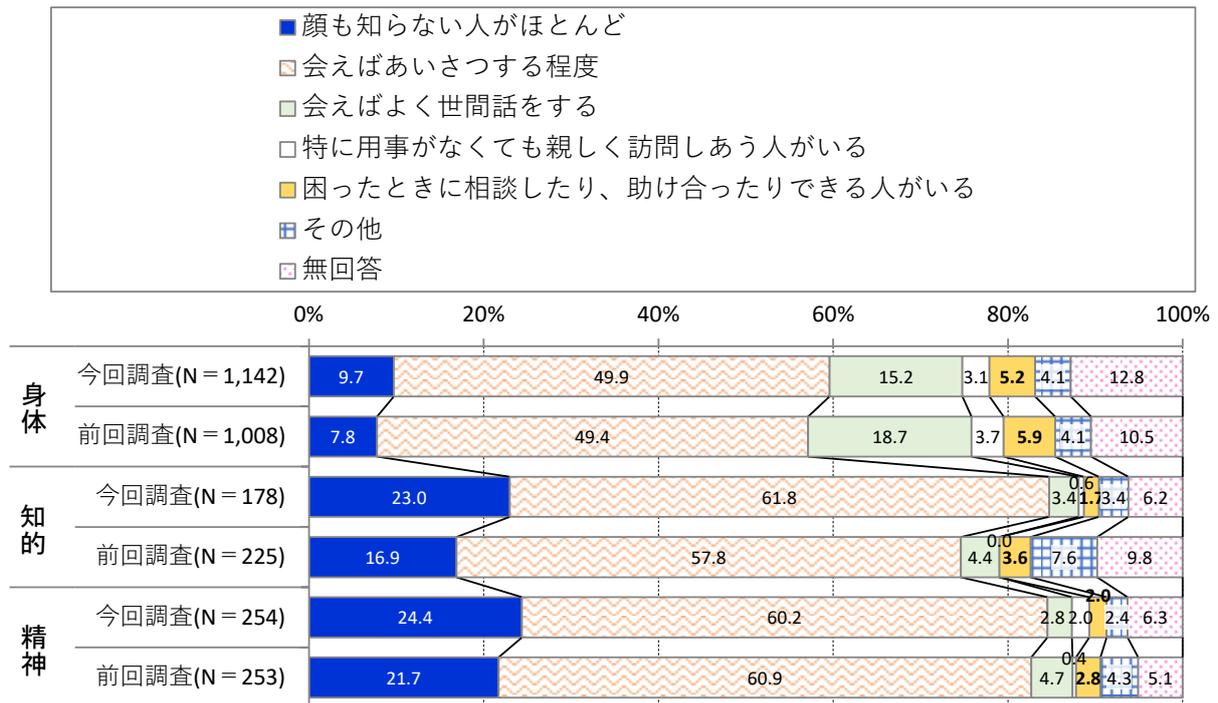
	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	759	613	141	150	209	195
時間がないから	14.5	14.8	20.6	22.0	19.6	13.8
地域活動に関心がないから	17.3	12.6	14.9	17.3	37.8	33.3
活動内容に関心がないから	11.5	10.1	12.8	16.7	27.3	24.1
活動の内容や参加の仕方がわからないから	12.1	10.6	20.6	20.0	24.9	22.6
参加したいが、きっかけがないから	7.4	7.8	15.6	10.0	18.7	11.8
一人で参加することが難しいから	26.0	26.1	46.1	42.7	24.4	25.1
まわりの雰囲気などが気になるから	5.9	5.5	24.8	18.0	30.6	24.6
まわりから参加を断られるから	0.1	0.0	2.1	0.0	1.4	0.6
家族や友人などから参加しないように勧められるから	0.9	0.3	0.7	1.3	2.9	1.5
外出が難しいから	34.7	39.5	12.8	12.7	17.2	14.4
その他	11.1	13.9	9.2	13.3	8.6	12.8
無回答	5.9	4.7	4.3	4.0	4.3	2.6

問 51 あなたは近所の人とどのようなおつきあいをしていますか。(〇は1つだけ)

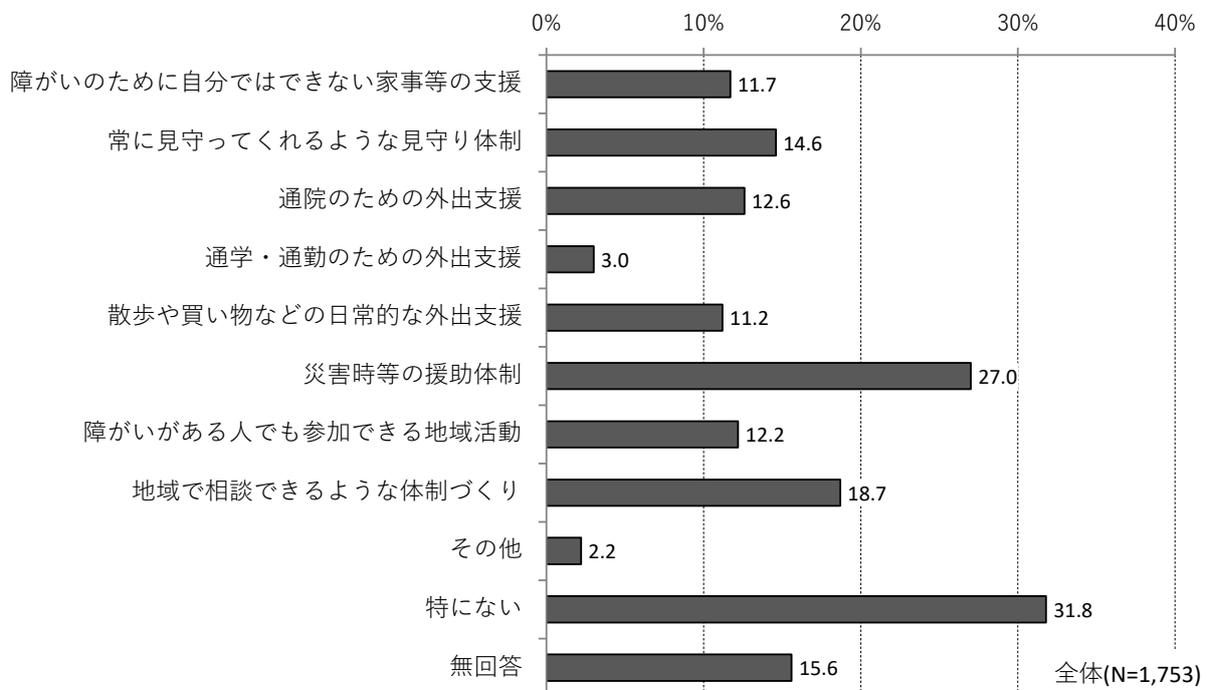


- 近所の人との付き合いの程度についてたずねたところ、「顔も知らない人がほとんど」の回答率が13.9%、「会えばあいさつする程度」が52.4%、「会えば良く世間話をする」が11.1%、「特に用事が無くても親しく訪問しあう人がいる」が2.5%、「困ったときに相談したり、助け合ったりできる人がいる」が4.2%となっています。
- 「顔も知らない人がほとんど」の回答率は精神障がい者で最も高く24.4%となっています。
- 「会えばあいさつする程度」の回答率はいずれの障がい種別でも約5割～6割となっていますが、知的障がい者で最も高く61.8%となっています。
- 「会えば良く世間話をする」の回答率は身体障がい者で15.2%と、他の障がい種別と比較して10ポイント以上高くなっています。
- 「特に用事が無くても親しく訪問しあう人がいる」「困ったときに相談したり、助け合ったりできる人がいる」の回答率はいずれも1割を下回っています。
- 前回調査との比較をみると、いずれの障がい種別でも「顔も知らない人がほとんど」の回答率が増加しており、知的障がい者では6.1ポイント増加しています。

【前回調査との比較】



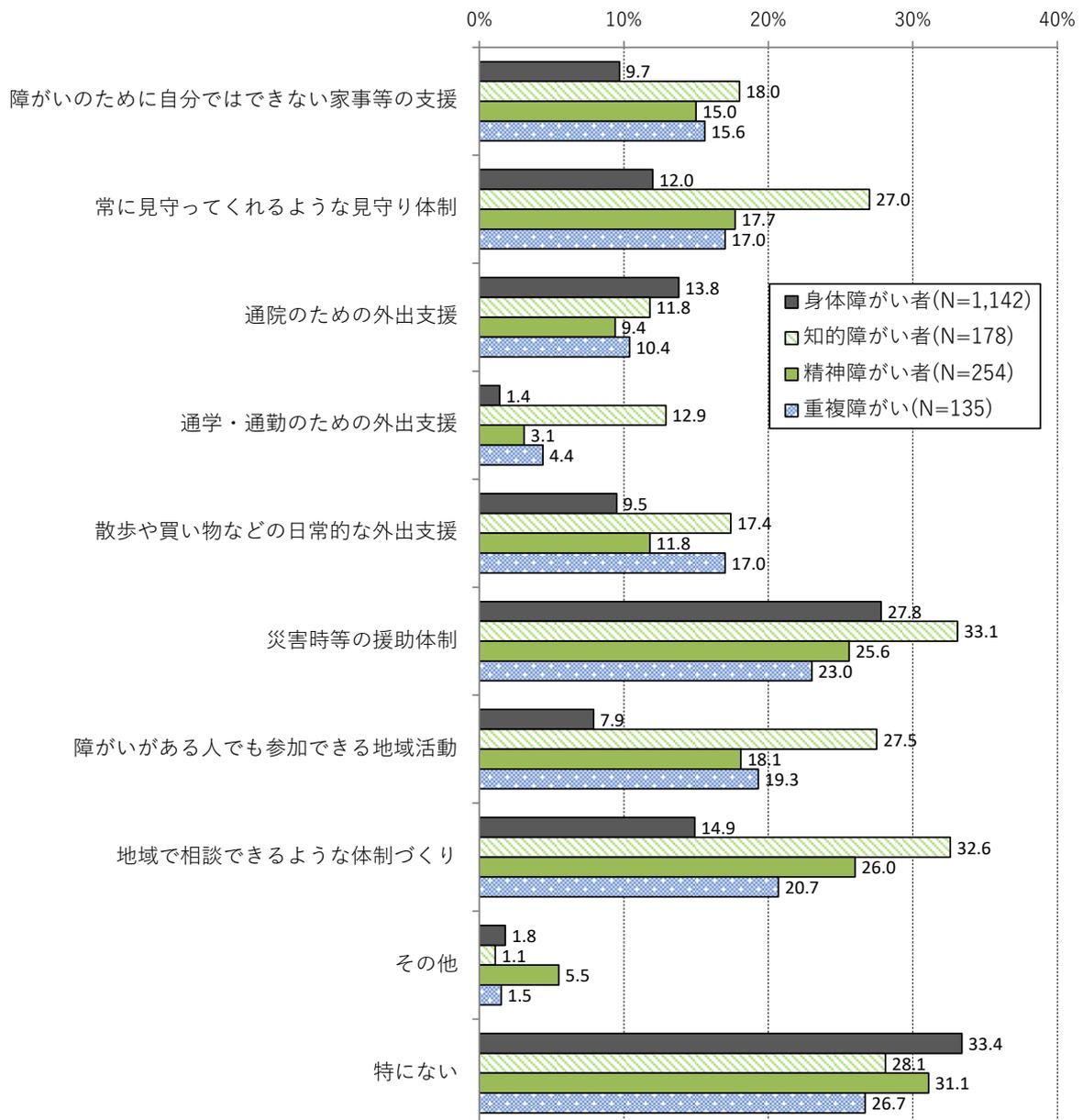
問 52 あなたが地域に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



- 地域に望むことについてたずねたところ、「災害時等の援助体制」の回答率が 27.0%と最も高くなっています。また、「特にない」の回答率は 31.8%となっています。

- 身体障がい者では「災害時等の援助体制」が最も多く 27.8%、次いで「地域で相談できるような体制づくり」が 14.9%、「通院のための外出支援」が 13.8%と続きます。
- 知的障がい者では「災害時等の援助体制」が最も多く 33.1%、次いで「地域で相談できるような体制づくり」が 32.6%、「常に見守ってくれるような見守り体制」が 27.0%と続きます。
- 精神障がい者では「地域で相談できるような体制づくり」が最も多く 26.0%、次いで「災害時等の援助体制」が 25.6%、「障がいがある人でも参加できる地域活動」が 18.1%と続きます。
- 重複障がいでは「災害時等の援助体制」が最も多く 23.0%、次いで「地域で相談できるような体制づくり」が 20.7%、「障がいがある人でも参加できる地域活動」が 19.3%と続きます。

【地域に望むこと（障がい種別）】

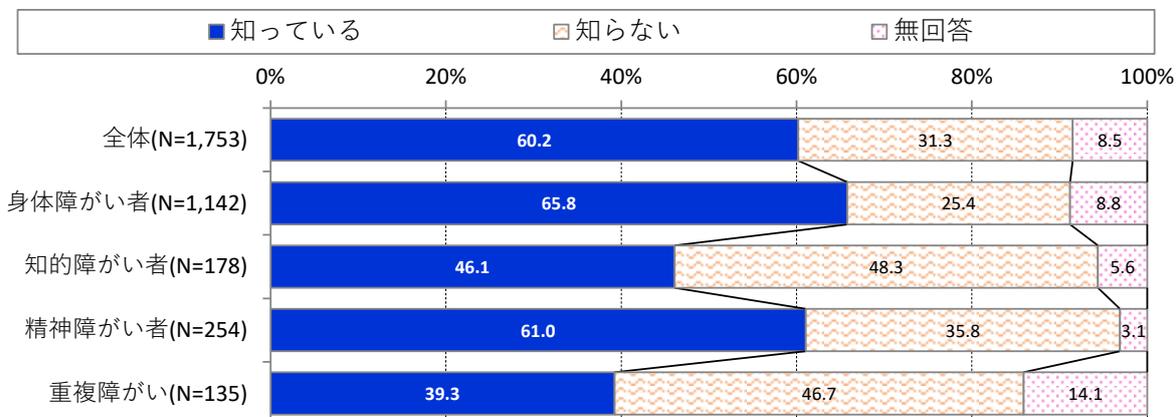


【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
障がいのために自分ではできない家事等の支援	9.7	7.1	18.0	13.0	15.0	14.6
常に見守ってくれるような見守り体制	12.0	11.3	27.0	29.3	17.7	19.0
通院のための外出支援	13.8	10.2	11.8	8.0	9.4	7.9
通学・通勤のための外出支援	1.4	1.3	12.9	12.9	3.1	4.0
散歩や買い物などの日常的な外出支援	9.5	7.5	17.4	14.7	11.8	5.9
災害時等の援助体制	27.8	29.0	33.1	36.0	25.6	27.3
障がいがある人でも参加できる地域活動	7.9	12.0	27.5	25.3	18.1	21.3
地域で相談できるような体制づくり	14.9	15.4	32.6	25.3	26.0	23.7
その他	1.8	2.1	1.1	3.1	5.5	5.9
特になし	33.4	33.2	28.1	23.6	31.1	30.0
無回答	16.9	17.8	7.3	13.3	7.1	9.1

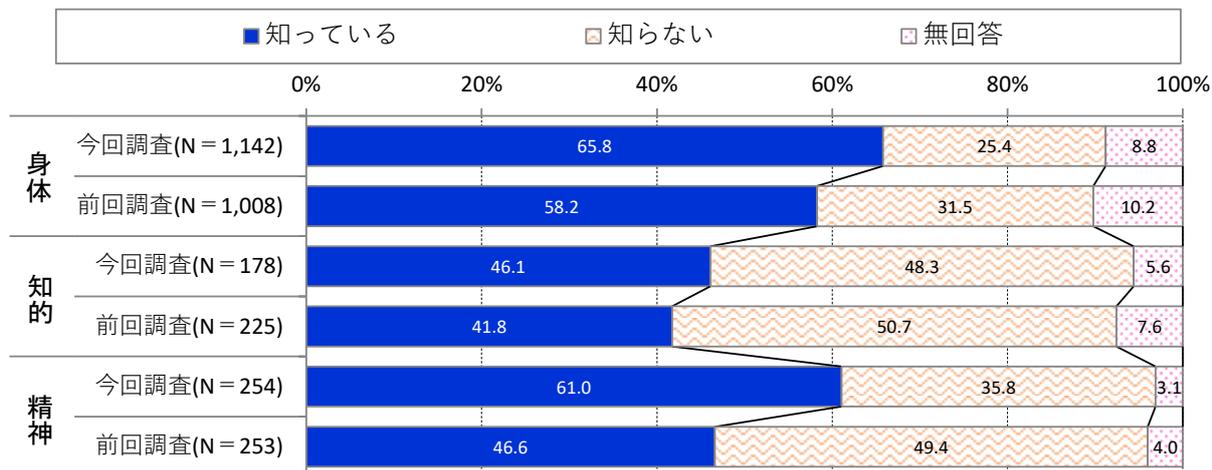
9. 災害時について

問 53 あなたは災害が発生したときの避難場所を知っていますか。(〇は1つだけ)

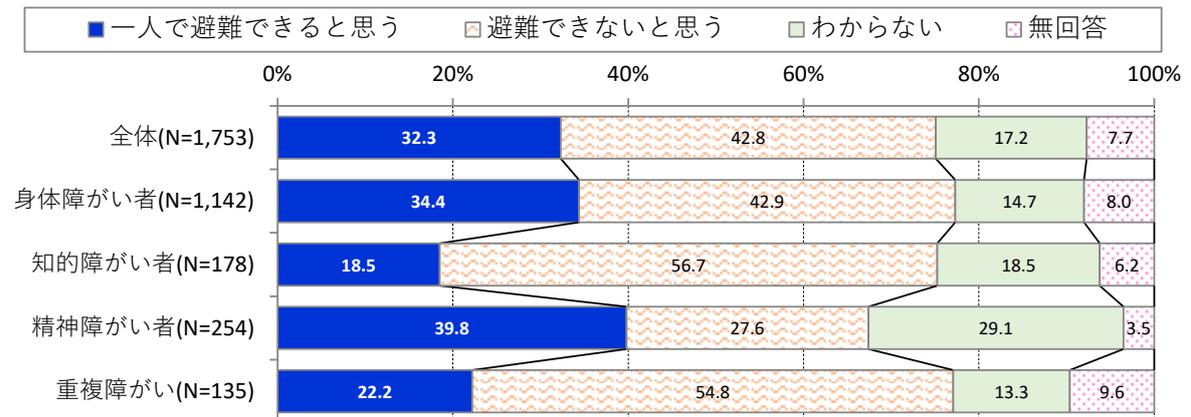


- 災害発生時の避難場所について、「知っている」と回答した人は身体障がい者で 65.8%、知的障がい者で 46.1%、精神障がい者で 61.0%、重複障がい者で 39.3%となっています。
- 「知らない」と回答した人は、身体障がい者で 25.4%、知的障がい者で 48.3%、精神障がい者で 35.8%、重複障がい者で 46.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、いずれの障がい種別でも「知っている」の回答率が高くなっており、精神障がい者では 14.4 ポイント増加しています。

【前回調査との比較】

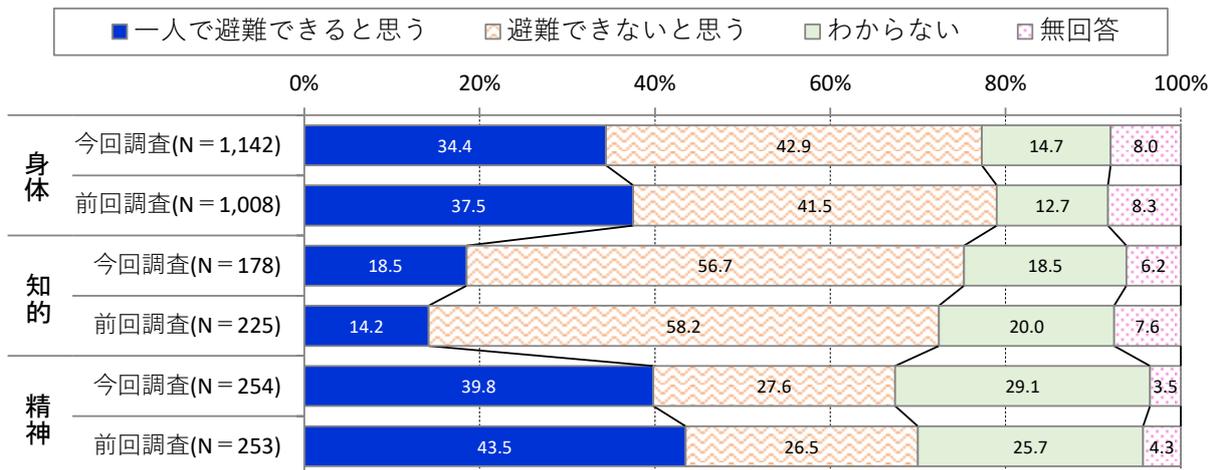


問 54 あなたは災害等の緊急時に一人で避難できると思いますか。(〇は1つだけ)

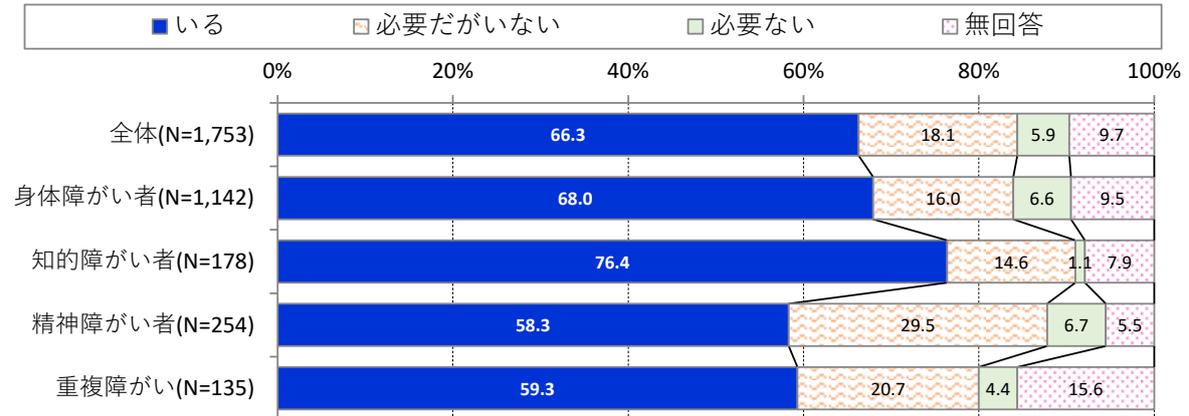


- 災害時に一人で避難できると思うかをたずねたところ、「一人で避難できると思う」の回答率は身体障がい者で 34.4%、知的障がい者で 18.5%、精神障がい者で 39.8%、重複障がいで 22.2%となっています。
- 「避難できないと思う」の回答率は、身体障がい者で 42.9%、知的障がい者で 56.7%、精神障がい者で 27.6%、重複障がいで 54.8%となっています。
- 前回調査と比較したところ、いずれの障がい種別も同様の傾向となっていますが、知的障がい者では「一人で避難できると思う」の回答率が増加している一方、身体障がい者、精神障がい者では減少しています。

【前回調査との比較】

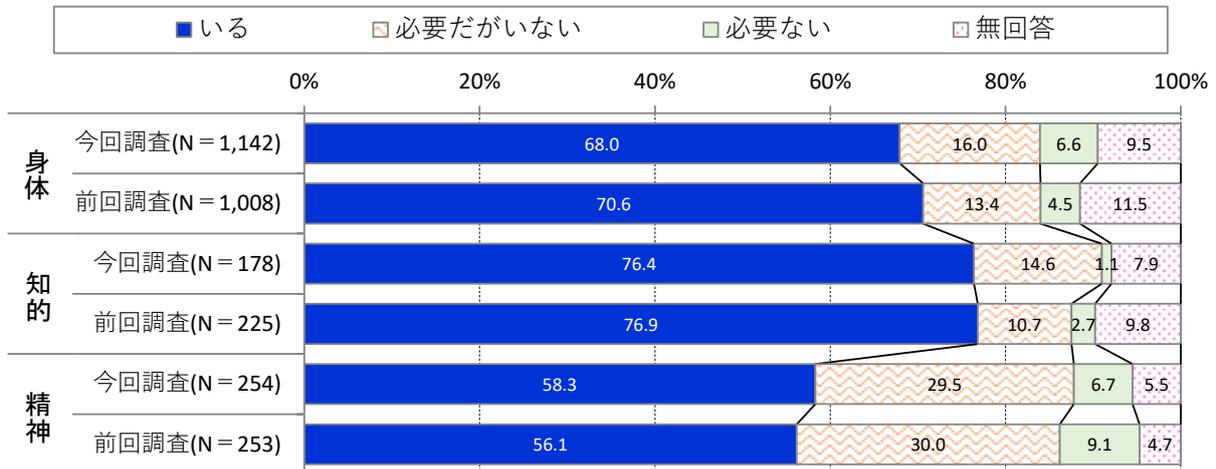


問 55 あなたは災害等の緊急時に身近に頼れる人はいますか。(○は1つだけ)



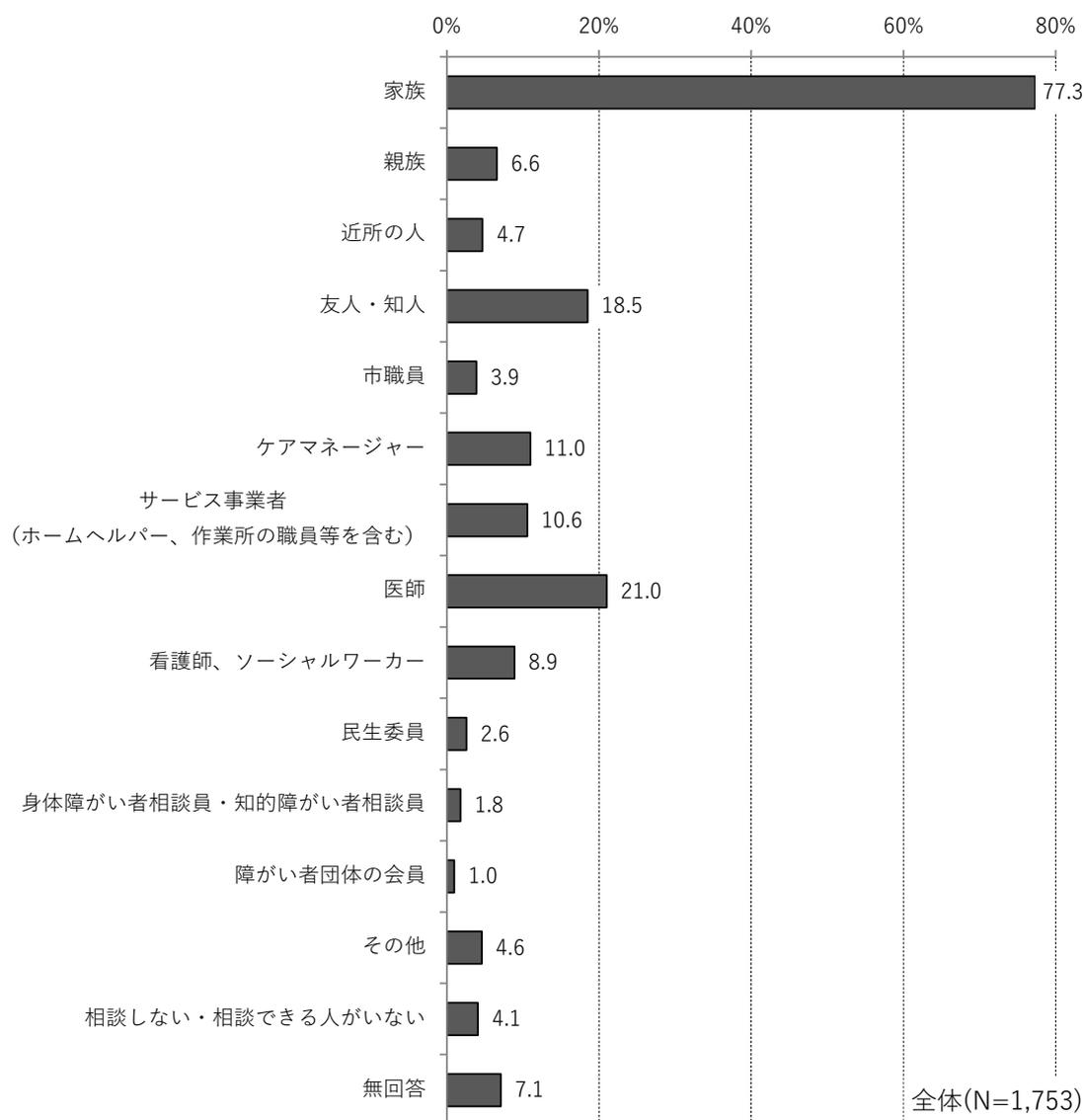
- 災害時に頼れる人がいるかをたずねたところ、「いる」の回答率は身体障がい者で68.0%、重複障がい者で76.4%、精神障がい者で58.3%、重複障がい者で59.3%となっています。
- 「必要だがいない」の回答率は身体障がい者で16.0%、知的障がい者で14.6%、精神障がい者で29.5%、重複障がい者で20.7%となっています。
- 前回調査と比較したところ、いずれの障がい種別でも同様の傾向となっています。

【前回調査との比較】



10. 相談の状況について

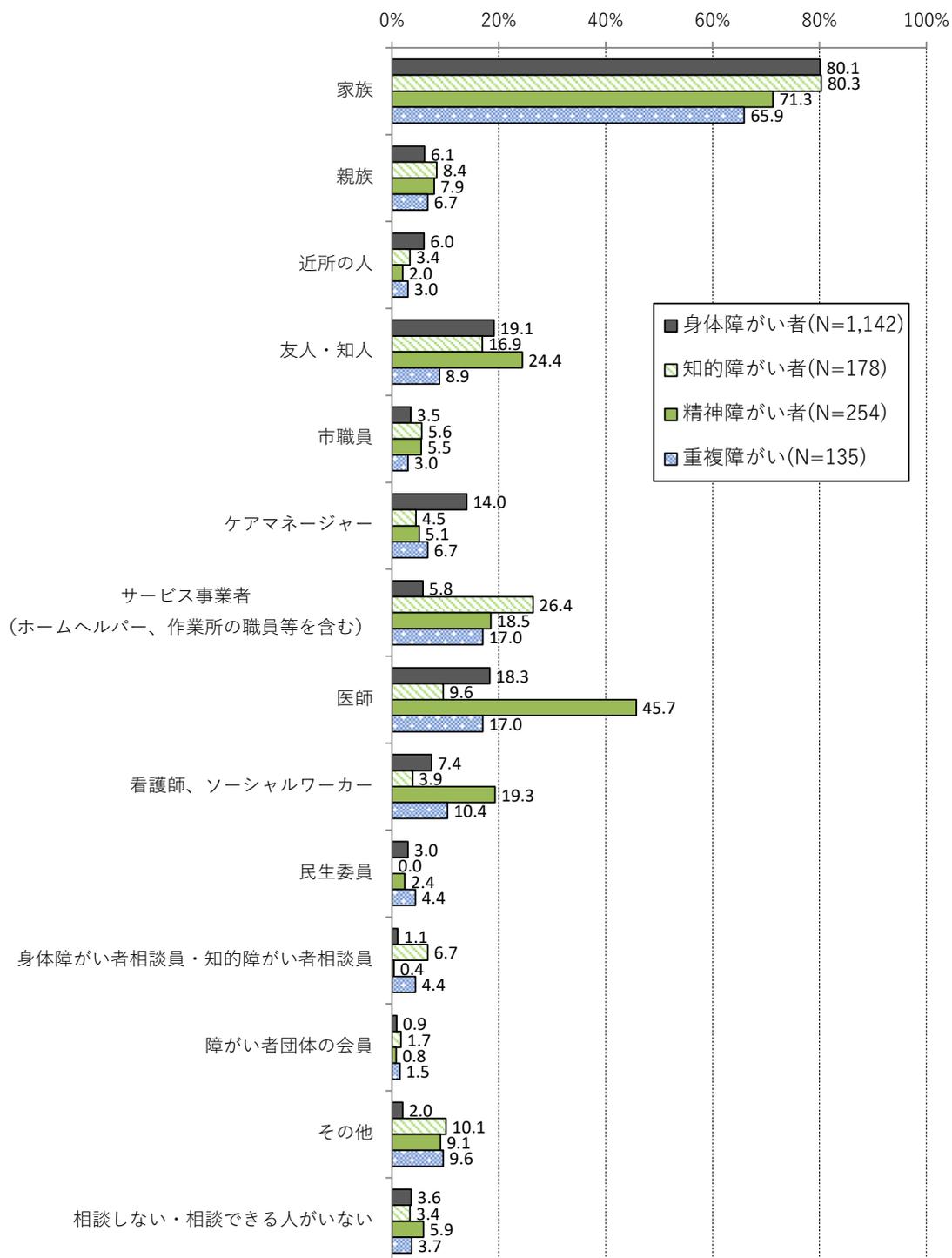
問 56 あなたが不安や悩みを相談している相手はだれですか。(〇はあてはまるものすべて)
また、「1 家族」「2 親族」については具体的な相手をすべて選んでください。



- 不安や悩みを相談している相手についてたずねたところ、「家族」の回答率が77.3%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「家族」が最も多く80.1%、次いで「友人・知人」が19.1%、「医師」が18.3%と続きます。
- 知的障がい者では「家族」が最も多く80.3%、次いで「サービス事業者（ホームヘルパー、作業所の職員等を含む）」が26.4%、「友人・知人」が16.9%と続きます。
- 精神障がい者では「家族」が最も多く71.3%、次いで「医師」が45.7%、「友人・知人」が24.4%と続きます。

- 重複障がいでは「家族」が最も多く 65.9%、次いで「サービス事業者（ホームヘルパー、作業所の職員等を含む）」「医師」が 17.0%と続きます。

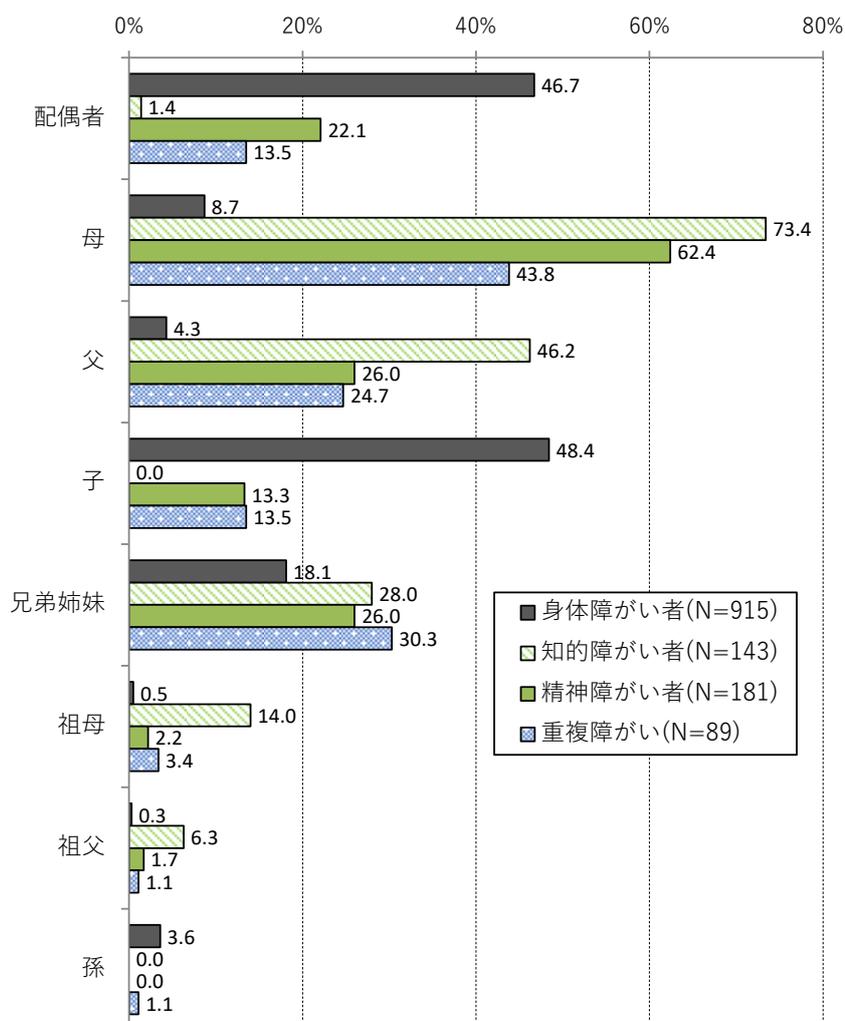
【不安や悩みを相談する相手（障がい種別）】



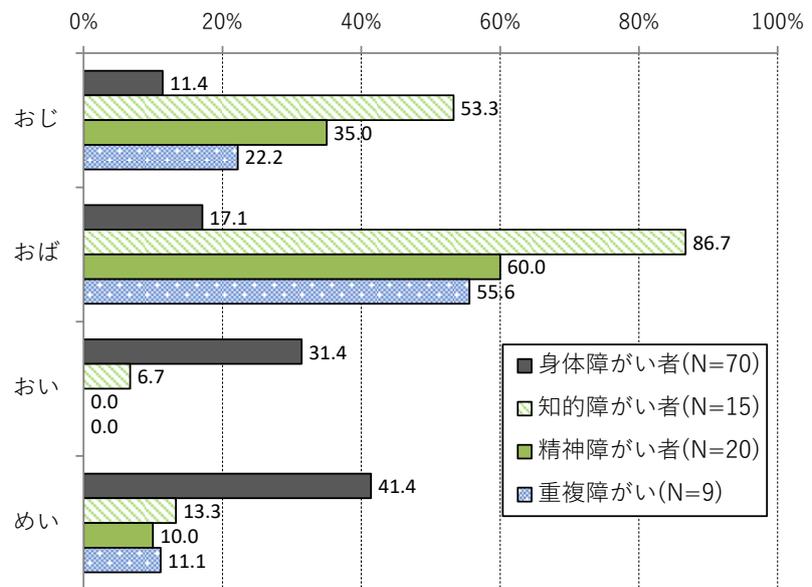
【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
家族（配偶者・母・父・子・兄弟姉妹・祖母・祖父・孫）	80.1	80.1	80.3	78.2	71.3	68.8
親族⇒（おじ・おば・おい・めい）	6.1	6.9	8.4	6.2	7.9	7.5
近所の人	6.0	6.3	3.4	2.7	2.0	2.8
友人・知人	19.1	20.6	16.9	12.0	24.4	25.3
市職員	3.5	2.0	5.6	3.1	5.5	8.3
ケアマネージャー	14.0	9.9	4.5	1.3	5.1	6.7
サービス事業者（ホームヘルパー、作業所の職員等を含む）	5.8	7.2	26.4	21.3	18.5	16.2
医師	18.3	16.3	9.6	10.2	45.7	54.9
看護師、ソーシャルワーカー	7.4	5.2	3.9	3.1	19.3	30.8
民生委員	3.0	3.7	0.0	0.4	2.4	2.0
身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	1.1	0.9	6.7	7.1	0.4	1.2
障がい者団体の会員	3.4	0.9	6.7	1.8	0.0	1.6
その他	5.1	2.9	0.0	11.1	25.0	6.7
相談しない・相談できる人がいない	5.1	3.3	0.0	3.6	0.0	4.7
無回答	3.4	9.1	0.0	8.0	0.0	3.6

【具体的な相談相手（家族）（障がい種別）】



【具体的な相談相手（親族）（障がい種別）】



- 家族の中の具体的な相談相手についてたずねたところ、身体障がい者では「子」が最も高く、知的障がい者、精神障がい者、重複障がいでは「母」が最も高くなっています。
- 親族の中の具体的な相談相手についてたずねたところ、身体障がい者では「めい」が最も多く、知的障がい者、精神障がい者、重複障がいでは「おば」が最も多くなっています。

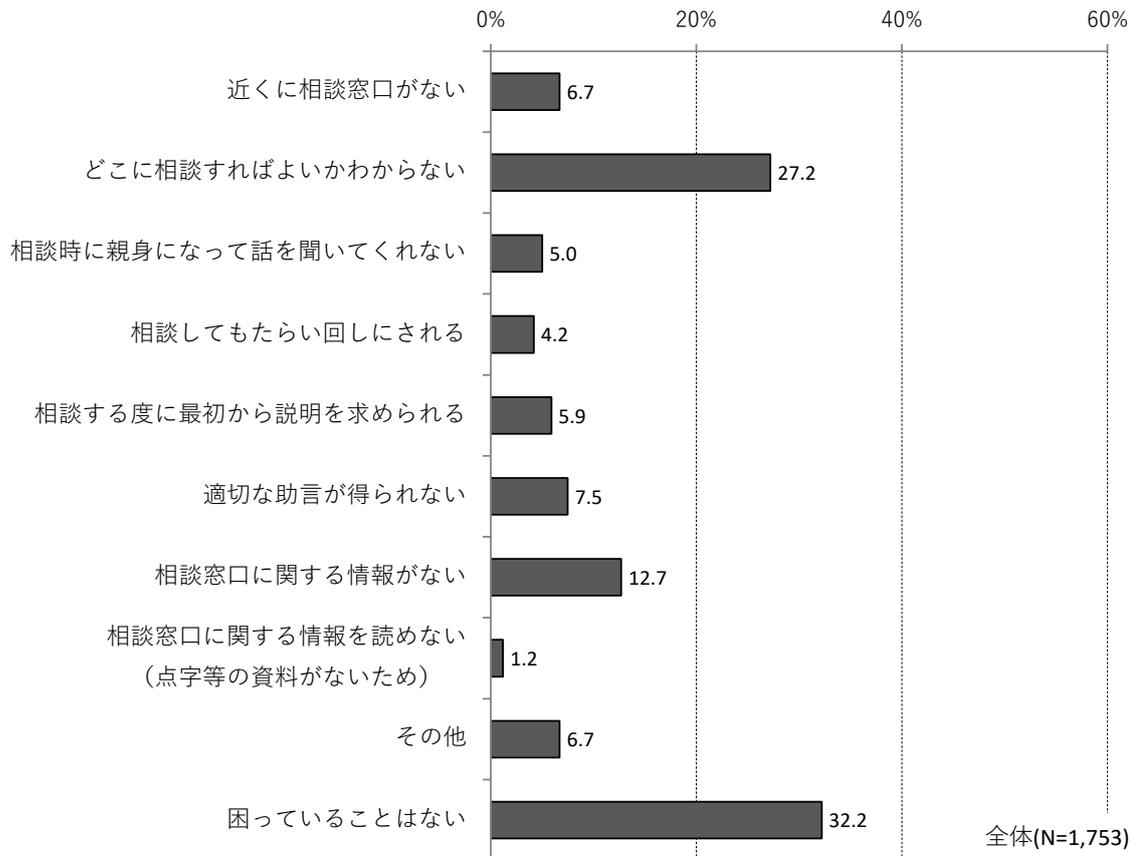
【具体的な相談相手（家族）（前回調査との比較）】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	915	807	143	176	181	174
配偶者	46.7	58.6	1.4	1.1	22.1	19.5
母	8.7	9.1	73.4	84.1	62.4	63.8
父	4.3	4.2	46.2	45.5	26.0	24.7
子	48.4	55.9	0.0	0.0	13.3	10.9
兄弟姉妹	18.1	21.3	28.0	32.4	26.0	33.3
祖母	0.5	0.6	14.0	7.4	2.2	3.4
祖父	0.3	0.4	6.3	2.8	1.7	0.6
孫	3.6	2.7	0.0	0.0	0.0	0.6
無回答	16.1	0.6	16.8		7.2	0.6

【具体的な相談相手（親族）（前回調査との比較）】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	70	70	15	14	20	19
おじ	11.4	14.3	53.3	50.0	35.0	26.3
おば	17.1	34.3	86.7	78.6	60.0	84.2
おい	31.4	40.0	6.7	7.1	0.0	0.0
めい	41.4	44.3	13.3	0.0	10.0	5.3
無回答	31.4	5.7	13.3	0.0	20.0	5.3

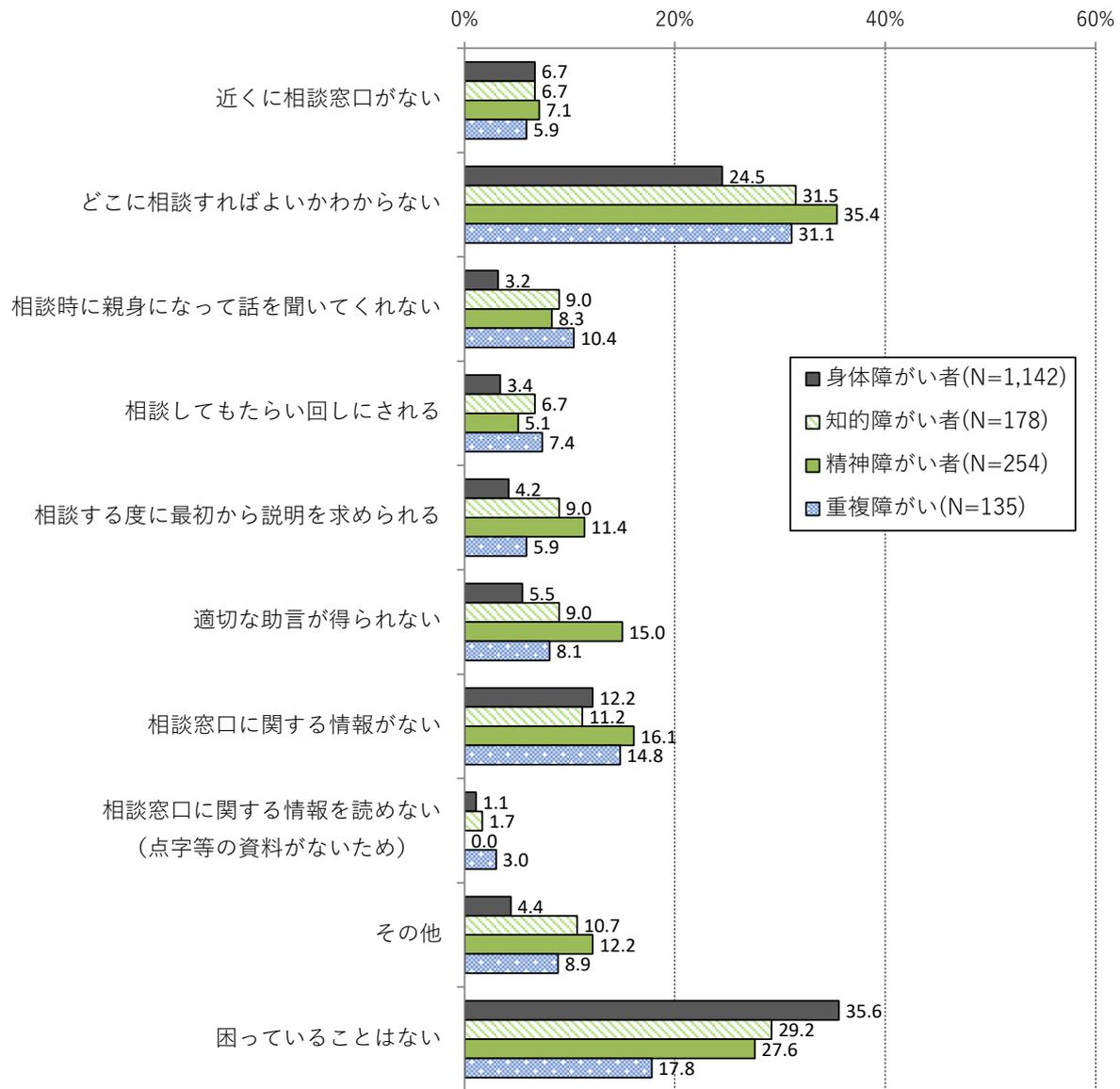
問 57 あなたが不安や悩みを相談する際に困ることは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



- 不安や悩みを相談する際に困ることについてたずねたところ、いずれも「どこに相談すればよいかわからない」の回答率が最も高くなっています。
- 身体障がい者では、「どこに相談すればよいかわからない」の回答率が24.5%で最も高く、次いで「相談窓口に関する情報がない」(12.2%)、「近くに相談窓口がない」(6.7%)と続きます。
- 知的障がい者では、「どこに相談すればよいかわからない」の回答率が31.5%で最も高く、次いで「相談窓口に関する情報がない」(11.2%)、「相談時に親身になって話を聞いてくれない」「相談する度に最初から説明を求められる」「適切な助言が得られない」(9.0%)と続きます。
- 精神障がい者では、「どこに相談すればよいかわからない」の回答率が35.4%で最も高く、次いで「相談窓口に関する情報がない」(16.1%)、「適切な助言が得られない」(15.0%)と続きます。
- 重複障がいでは、「どこに相談すればよいかわからない」の回答率が31.1%で最も高く、次いで「相談窓口に関する情報がない」(14.8%)、「相談時に親身になって話を聞いてくれない」(10.4%)と続きます。
- 「相談する度に最初から説明を求められる」の回答率は精神障がい者で11.4%と、他の障がい種別と比較して高くなっています。

- 前回調査と比較したところ、いずれの障がい種別も同様の傾向となっていますが、「どこに相談すればよいかわからない」の回答率が増加しています。

【不安や悩みを相談する際に困ること（障がい種別）】



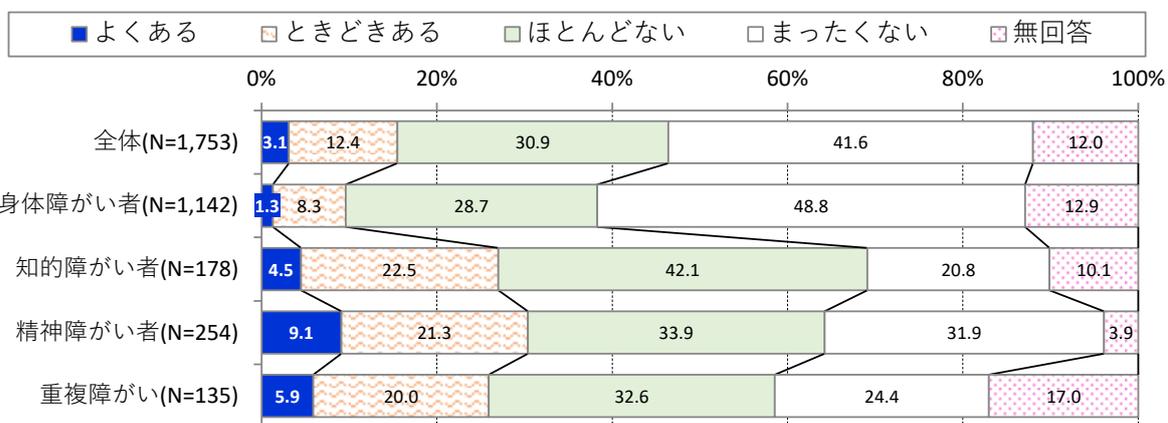
【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
近くに相談窓口がない	6.7	5.8	6.7	8.4	7.1	8.4
どこに相談すればよいかわからない	24.5	19.2	31.5	28.0	35.4	30.0
相談時に親身になって話を聞いてくれない	3.2	2.0	9.0	4.9	8.3	12.3
相談してもたらい回しにされる	3.4	2.7	6.7	5.8	5.1	7.1
相談する度に最初から説明を求められる	4.2	6.0	9.0	14.7	11.4	16.2
適切な助言が得られない	5.5	4.5	9.0	12.4	15.0	15.8
相談窓口に関する情報がない	12.2	7.8	11.2	9.3	16.1	13.8
相談窓口に関する情報を読めない (点字等の資料がないため)	1.1	0.9	1.7	0.9	0.0	0.4
その他	4.4	4.1	10.7	12.9	12.2	10.3
困っていることはない	35.6	37.3	29.2	24.9	27.6	25.7
無回答	23.7	27.7	20.8	17.8	13.0	15.4

11. 差別・虐待の状況について

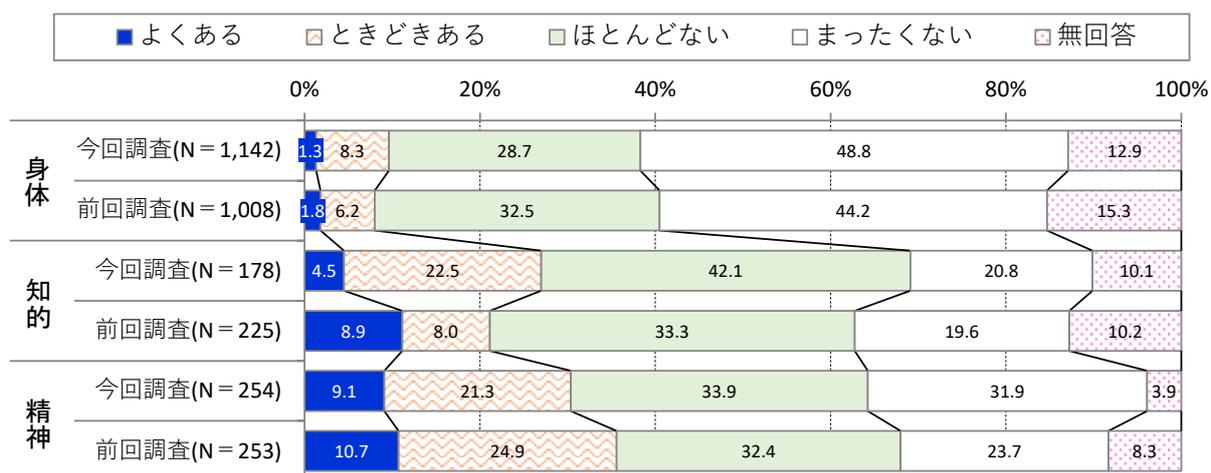
問 58 あなたはこれまでに障がいがあるために差別を受けたことがありますか。

(○は1つだけ)



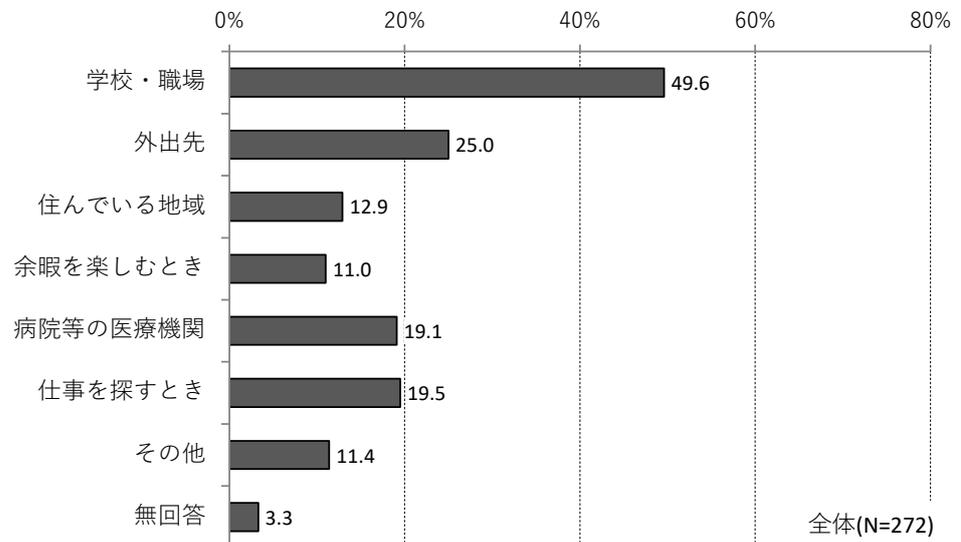
- 障がいがあるために差別を受けた経験があるかをたずねたところ、「よくある」「ときどきある」と回答した人は身体障がい者で9.6%、知的障がい者で27.0%、精神障がい者で30.4%、重複障がい者で25.9%となっています。
- 前回調査と比較したところ、「よくある」「ときどきある」の回答率は、知的障がい者で10.1ポイント増加しています。

【障がいを理由とした差別の経験（障がい種別）】



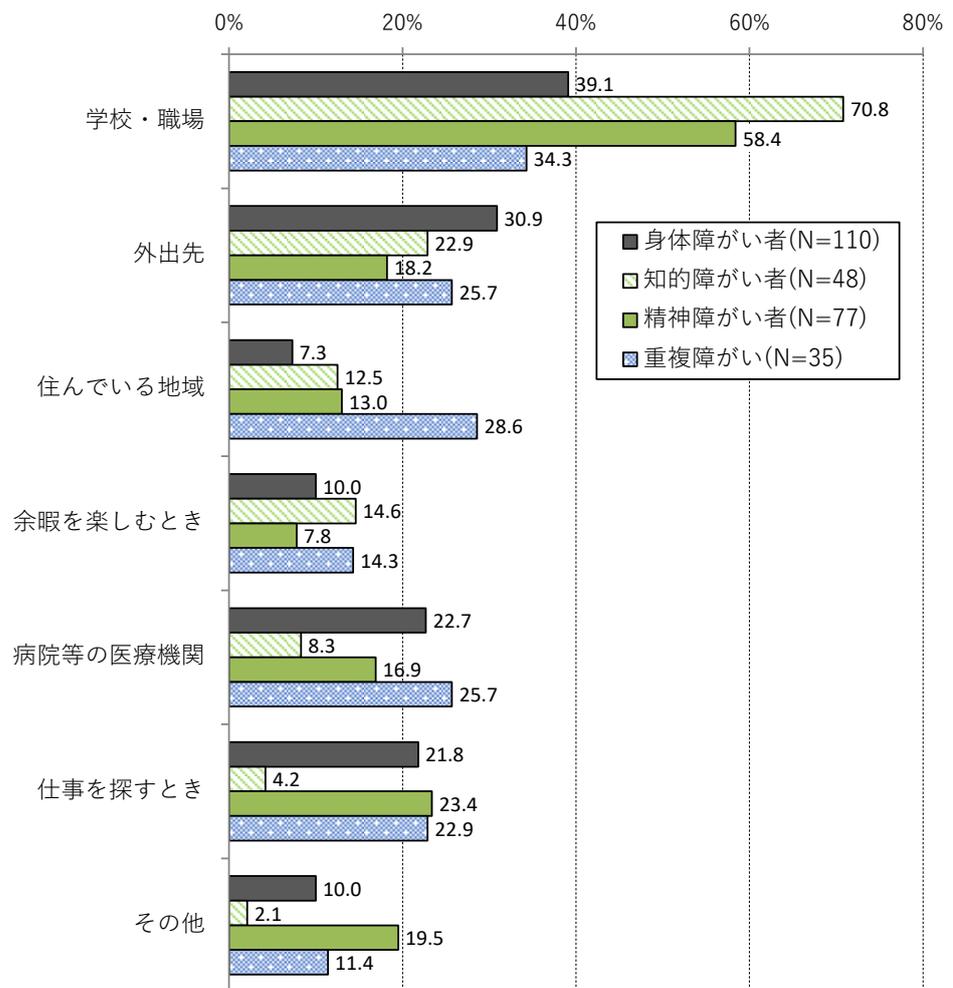
問 58 で「1 よくある」「2 ときどきある」と回答した方におたずねします。

問 59 あなたはどのような場所で差別を受けましたか。(〇はあてはまるものすべて)



- どのような場所で差別を受けたかをたずねたところ、「学校・職場」の回答率が 49.6% と最も高くなっています。
- いずれの障がい種別でも「学校・職場」の回答率が最も高く、知的障がい者では 70.8% となっています。
- 身体障がい者では「外出先」(30.9%)、「病院等の医療機関」(22.7%) と続きます。
- 知的障がい者では「外出先」(22.9%)、「余暇を楽しむとき」(14.6%) と続きます。
- 精神障がい者では「仕事を探すとき」(23.4%)、「外出先」(18.2%) と続きます。
- 重複障がいでは「住んでいる地域」(28.6%)、「外出先」「病院等の医療機関」(25.7%) と続きます。

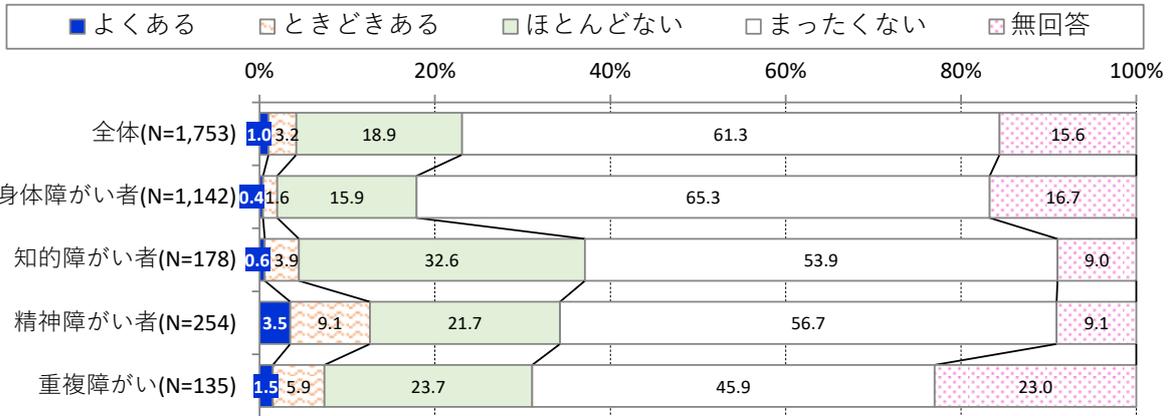
【差別を経験した場所（障がい種別）】



【前回調査との比較】

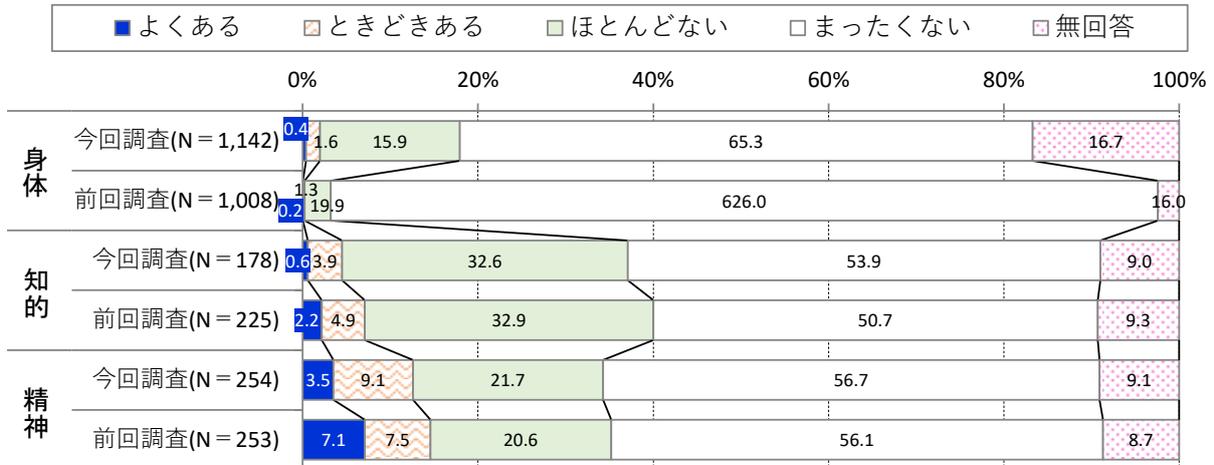
	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	110	80	48	83	77	90
学校・職場	39.1	48.8	70.8	67.5	58.4	55.6
外出先	30.9	30.0	22.9	27.7	18.2	24.4
住んでいる地域	7.3	13.8	12.5	20.5	13.0	26.7
余暇を楽しむとき	10.0	7.5	14.6	12.0	7.8	8.9
病院等の医療機関	22.7	10.0	8.3	4.8	16.9	20.0
仕事を探すとき	21.8	18.8	4.2	8.4	23.4	24.4
その他	10.0	11.3	2.1	7.2	19.5	12.2
無回答	4.5	2.5	0.0	2.4	2.6	2.2

問 60 あなたはこれまでに障がいがあるために虐待を受けたことがありますか。
(〇は1つだけ)



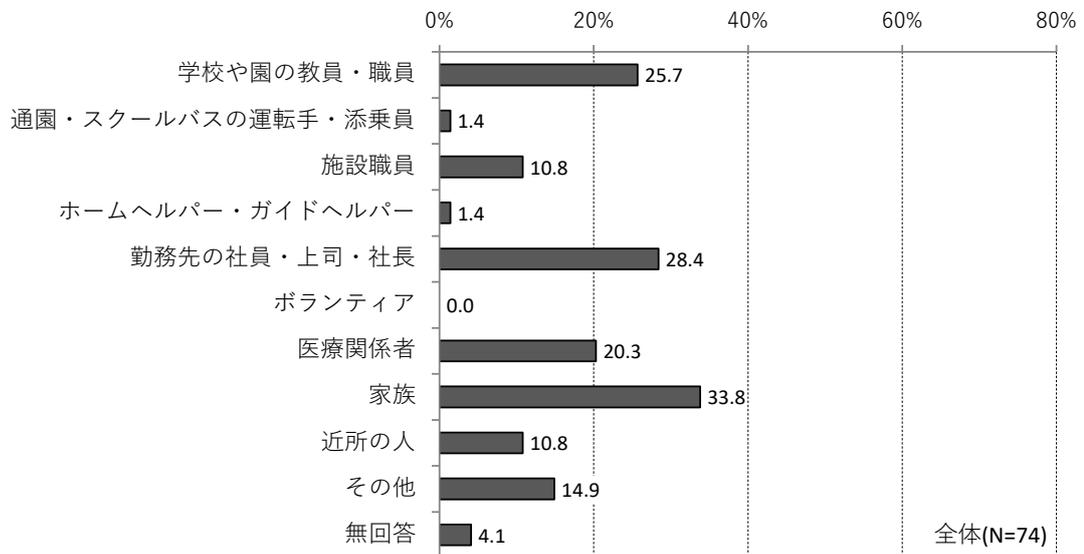
- 障がいがあるために虐待を受けた経験があるかをたずねたところ、「よくある」「ときどきある」と回答した人は身体障がい者で 2.0%、知的障がい者で 4.5%、精神障がい者で 12.6%、重複障がい者で 7.4%となっています。

【前回調査との比較】



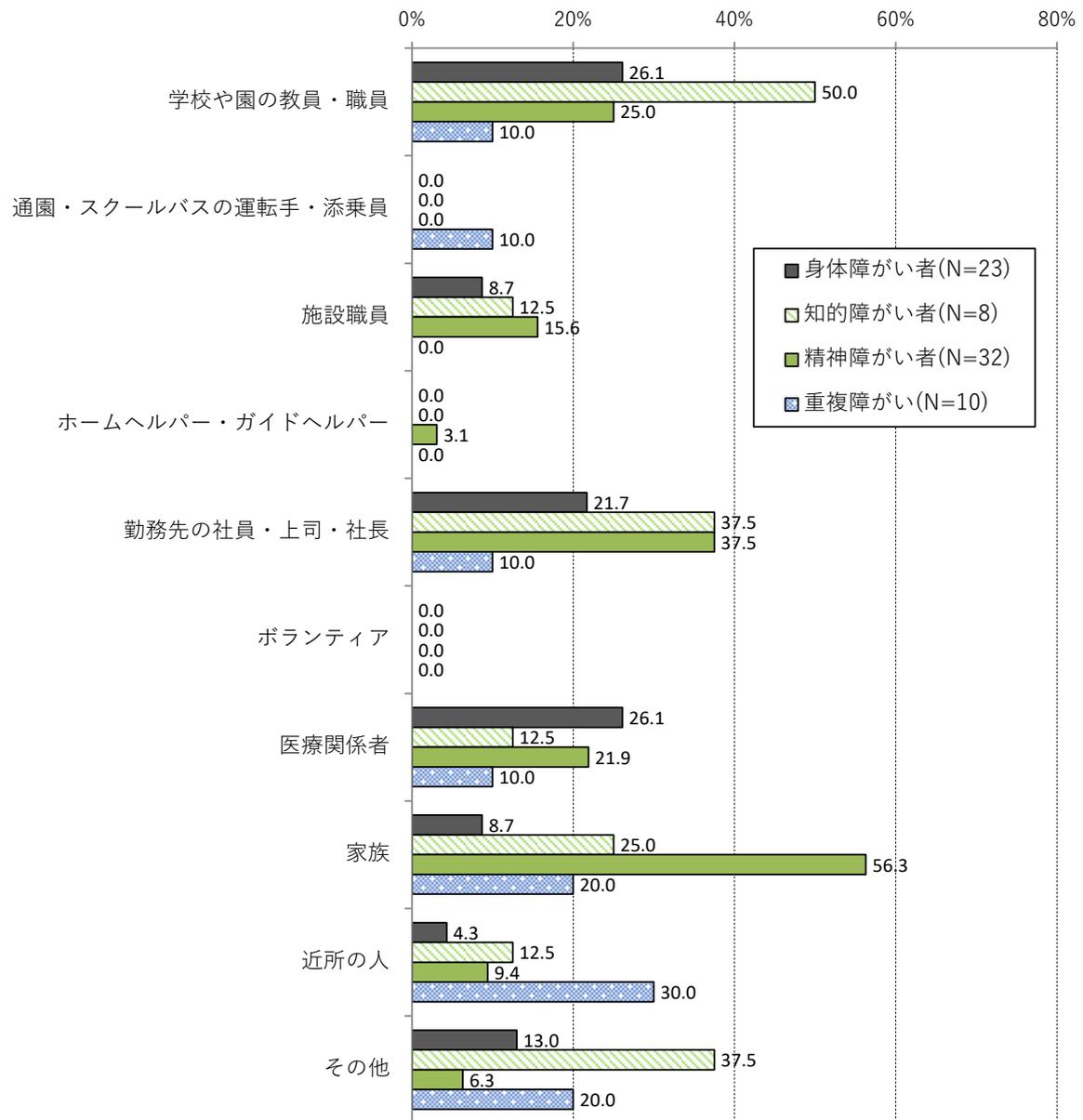
問 60 で「1 よくある」「2 ときどきある」と回答した方におたずねします。

問 61 あなたはどのような人に虐待を受けましたか。(○はあてはまるものすべて)



- どのような人に虐待を受けたかをたずねたところ、「家族」の回答率が 33.8%と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「学校や園の教員・職員」「医療関係者」が最も多く 26.1%、次いで「勤務先の社員・上司・社長」が 21.7%と続きます。
- 知的障がい者では「学校や園の教員・職員」が最も多く 50.0%、次いで「勤務先の社員・上司・社長」が 37.5%、「家族」が 25.0%と続きます。
- 精神障がい者では「家族」が最も多く 56.3%、次いで「勤務先の社員・上司・社長」が 37.5%、「学校や園の教員・職員」が 25.0%と続きます。
- 重複障がいでは「近所の人」が最も多く 30.0%、次いで「家族」が 20.0%、「学校や園の教員・職員」「通園・スクールバスの運転手・添乗員」「勤務先の社員・上司・社長」「医療関係者」が 10.0%と続きます。
- 回答者の母数が少ないため、標本誤差に留意する必要があります。

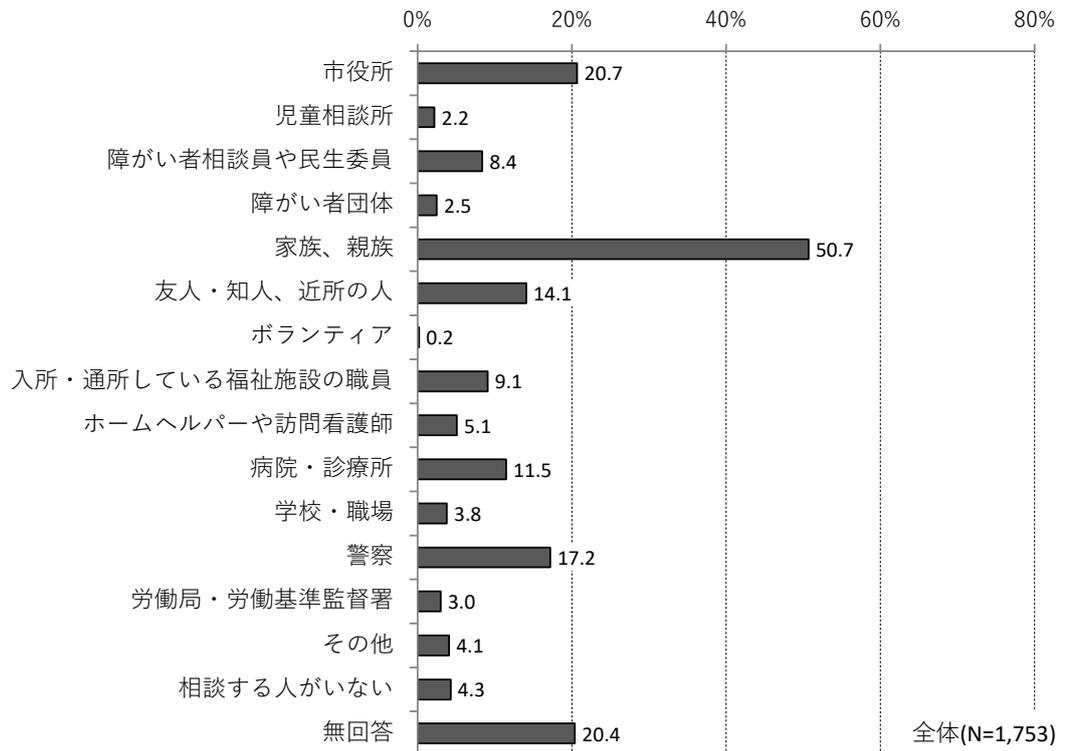
【どのような人に虐待を受けたか（障がい種別）】



【前回調査との比較】

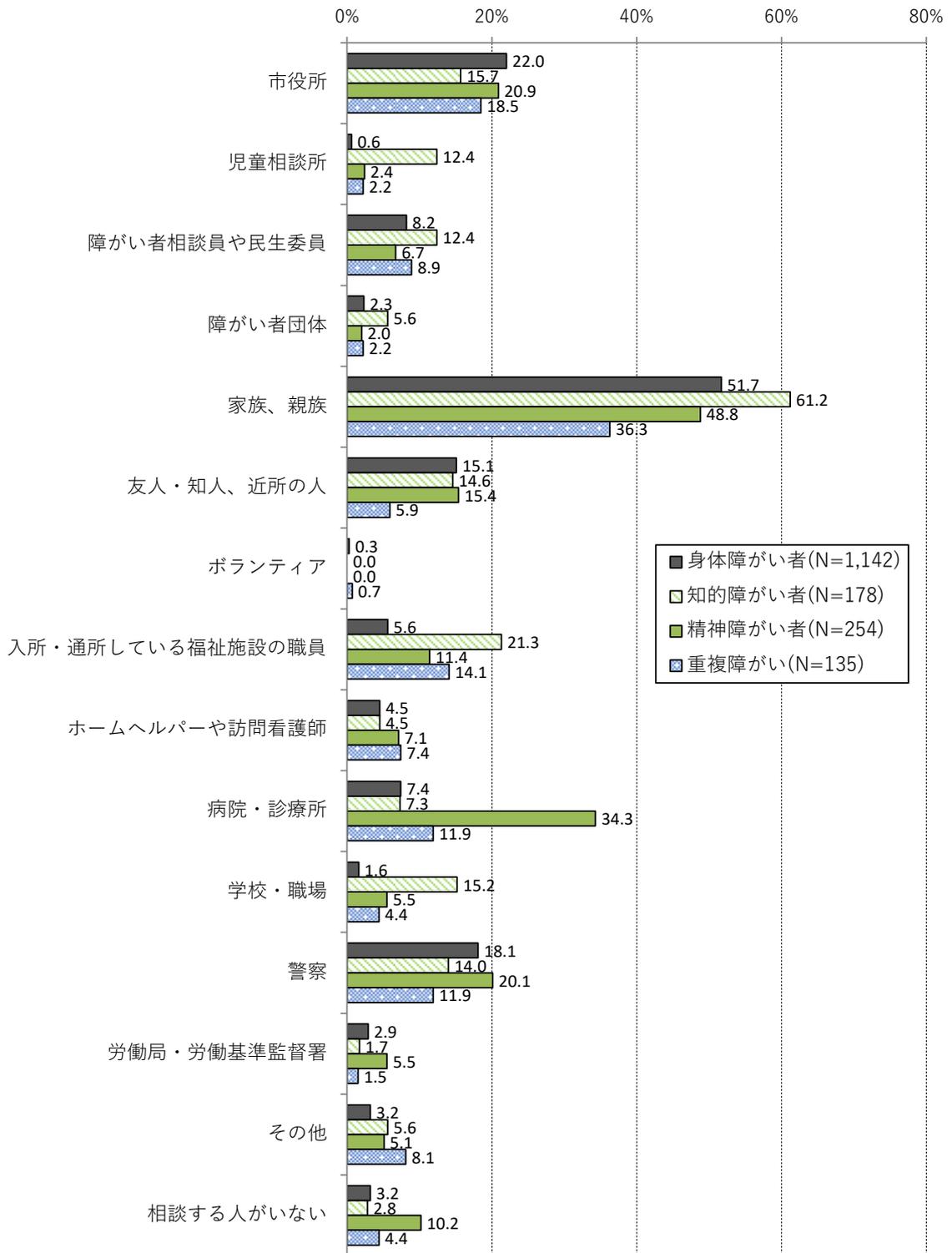
	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	23	15	8	16	32	37
学校や園の教員・職員	26.1	20.0	50.0	31.3	25.0	16.2
通園・スクールバスの運転手・添乗員	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
施設職員	8.7	13.3	12.5	12.5	15.6	18.9
ホームヘルパー・ガイドヘルパー	0.0	0.0	0.0	12.5	3.1	0.0
勤務先の社員・上司・社長	21.7	13.3	37.5	31.3	37.5	29.7
ボランティア	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療関係者	26.1	20.0	12.5	0.0	21.9	27.0
家族	8.7	6.7	25.0	18.8	56.3	40.5
近所の人	4.3	26.7	12.5	12.5	9.4	18.9
その他	13.0	20.0	37.5	25.0	6.3	18.9
無回答	8.7	0.0	0.0	6.3	0.0	2.7

問 62 あなたは虐待を受けたら誰（どこ）に相談しますか。（〇はあてはまるものすべて）



- 虐待を受けた場合の相談先についてたずねたところ、「家族、親族」の回答率が 50.7% と最も高くなっています。
- 身体障がい者では「家族、親族」が最も多く 51.7%、次いで「市役所」が 22.0%、「警察」が 18.1%と続きます。
- 知的障がい者では「家族、親族」が最も多く 61.2%、次いで「入所・通所している福祉施設の職員」が 21.3%、「市役所」が 15.7%と続きます。
- 精神障がい者では「家族、親族」が最も多く 48.8%、次いで「病院・診療所」が 34.3%、「市役所」が 20.9%と続きます。
- 重複障がいでは「家族、親族」が最も多く 36.3%、次いで「市役所」が 18.5%、「入所・通所している福祉施設の職員」が 14.1%と続きます。

【虐待を受けたときの相談先（障がい種別）】



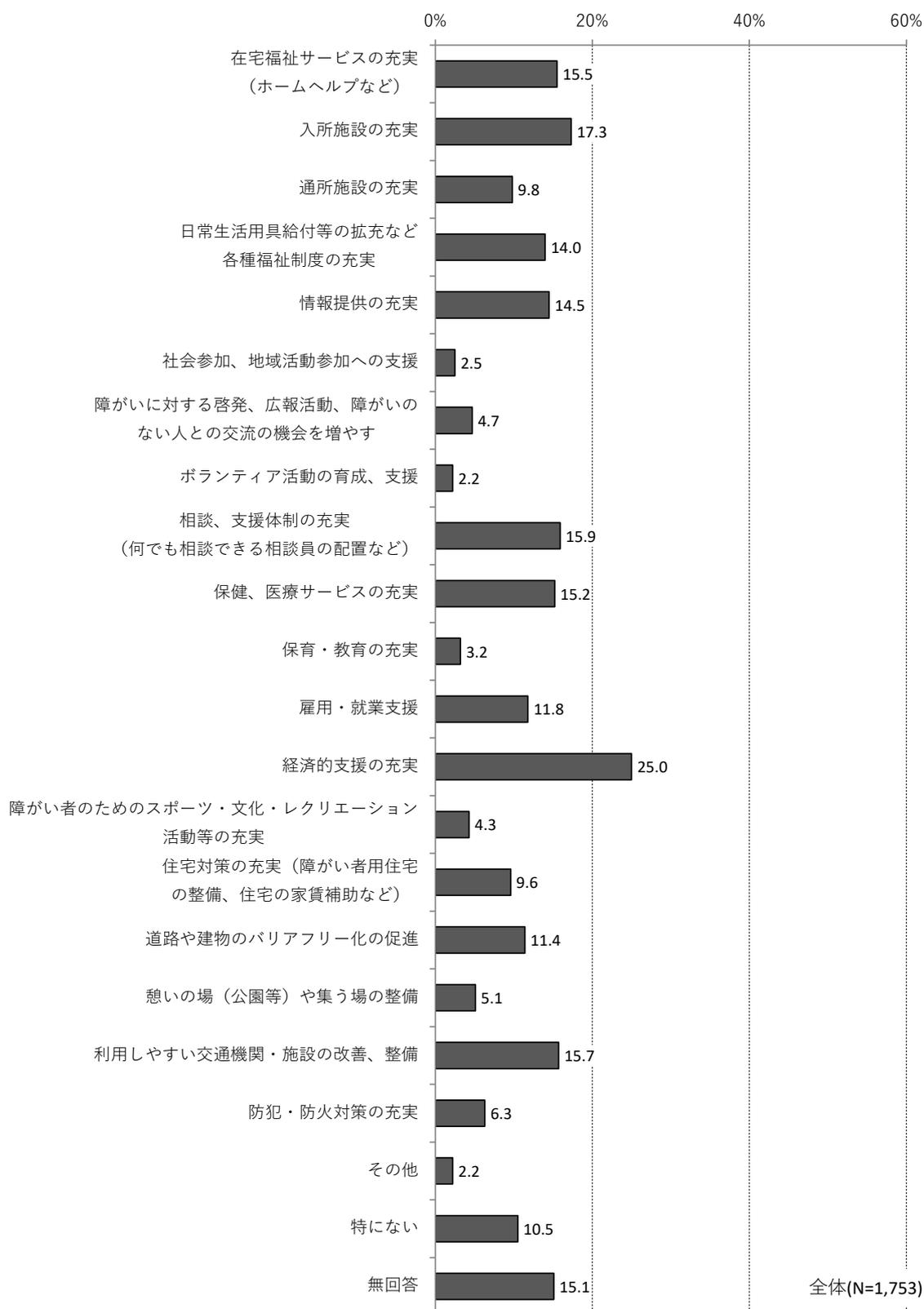
【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
市役所	22.0	19.8	15.7	12.9	20.9	18.2
児童相談所	0.6	0.7	12.4	4.9	2.4	0.4
障がい者相談員や民生委員	8.2	10.6	12.4	6.2	6.7	7.1
障がい者団体	2.3	3.8	5.6	4.4	2.0	2.8
家族、親族	51.7	53.0	61.2	62.7	48.8	43.9
友人・知人、近所の人	15.1	16.9	14.6	11.6	15.4	15.0
ボランティア	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.8
入所・通所している福祉施設の職員	5.6	8.4	21.3	17.8	11.4	12.6
ホームヘルパーや訪問看護師	4.5	4.2	4.5	1.8	7.1	5.9
病院・診療所	7.4	6.4	7.3	4.0	34.3	33.2
学校・職場	1.6	2.1	15.2	16.4	5.5	4.3
警察	18.1	20.5	14.0	11.1	20.1	17.4
労働局・労働基準監督署	2.9	2.4	1.7	0.9	5.5	3.6
その他	3.2	3.5	5.6	7.4	5.1	7.1
相談する人がいない	3.2	2.3	2.8	3.1	10.2	9.9
無回答	23.6	18.1	12.4	14.7	9.1	13.8

12. 行政について

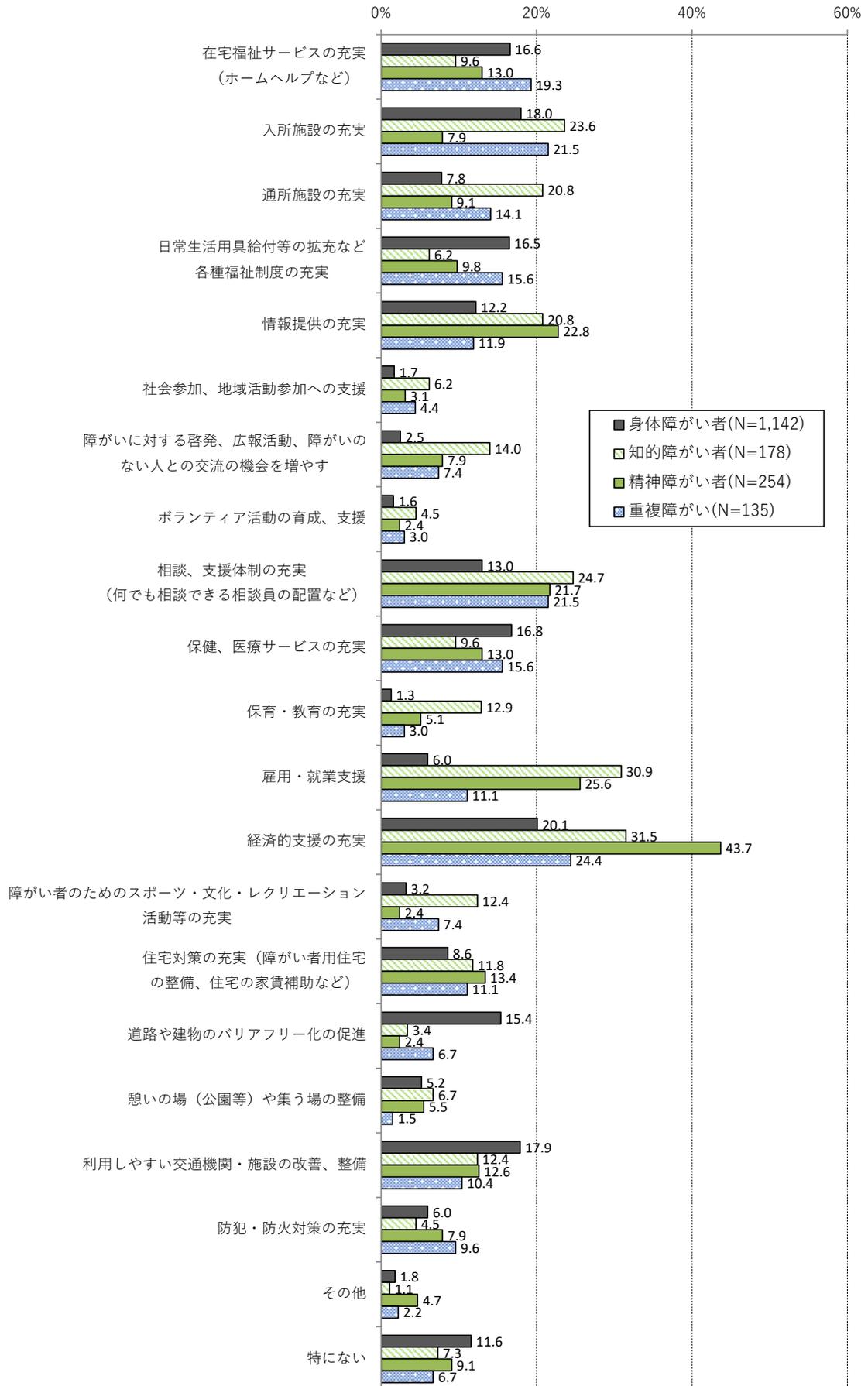
問 63 あなたは行政に対して、今後どのようなことに力を入れて欲しいと思いますか。

(〇は主なもの3つまで)



- 行政に対して、今後、力を入れてほしいことについてたずねたところ、「経済的支援の充実」の回答率が25.0%で最も高くなっています。
- 身体障がい者では、次いで「入所施設の充実」(18.0%)、「利用しやすい交通機関・施設の改善、整備」(17.9%)の回答率が高くなっています。
- 知的障がい者では、次いで「雇用・就業支援」(30.9%)、「相談、支援体制の充実（何でも相談できる相談員の配置など）」(24.7%)の回答率が高くなっています。
- 精神障がい者では、次いで「雇用・就業支援」(25.6%)、「情報提供の充実」(22.8%)の回答率が高くなっています。
- 重複障がいでは、次いで「入所施設の充実」「相談、支援体制の充実（何でも相談できる相談員の配置など）」(21.5%)、「在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプなど）」(19.3%)の回答率が高くなっています。
- いずれの障がい種別でも「経済的支援の充実」の回答率が最も高くなっていますが、精神障がい者では43.7%と、他の障がい種別と比較して高くなっています。
- 前回調査と比較したところ、「経済的支援の充実」について、身体障がい者では5.2ポイント、知的障がい者では12.8ポイント、精神障がい者では6.2ポイント増加しています。また、「情報提供の充実」は知的障がい者で6.6ポイント増加しており、「利用しやすい交通機関・施設の改善、整備」は知的障がい者で5.7ポイント、精神障がい者で6.3ポイント増加しています。

【行政に対して力を入れて欲しいと思うこと（障がい種別）】



【前回調査との比較】

	身体		知的		精神	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
合計	1,142	1,008	178	225	254	253
在宅福祉サービスの充実（ホームヘルプなど）	16.6	17.7	9.6	11.6	13.0	10.3
入所施設の充実	18.0	18.8	23.6	25.3	7.9	12.7
通所施設の充実	7.8	7.3	20.8	17.8	9.1	6.3
日常生活用具給付等の拡充など各種福祉制度の充実	16.5	13.6	6.2	4.4	9.8	10.7
情報提供の充実	12.2	11.5	20.8	14.2	22.8	19.4
社会参加、地域活動参加への支援	1.7	2.5	6.2	5.3	3.1	4.7
障がいに対する啓発、広報活動、障がいのない人との交流の機会を増やす	2.5	3.4	14.0	10.2	7.9	8.3
ボランティア活動の育成、支援	1.6	2.3	4.5	1.8	2.4	2.4
相談、支援体制の充実（何でも相談できる相談員の配置など）	13.0	11.7	24.7	14.2	21.7	18.2
保健、医療サービスの充実	16.8	15.6	9.6	8.9	13.0	13.8
保育・教育の充実	1.3	2.1	12.9	9.3	5.1	2.8
雇用・就業支援	6.0	5.7	30.9	26.7	25.6	25.3
経済的支援の充実	20.1	14.9	31.5	18.7	43.7	37.5
障がい者のためのスポーツ・文化・レクリエーション活動等の充実	3.2	2.7	12.4	10.2	2.4	5.5
住宅対策の充実（障がい者用住宅の整備、住宅の家賃補助など）	8.6	5.7	11.8	5.8	13.4	7.1
道路や建物のバリアフリー化の促進	15.4	14.3	3.4	0.4	2.4	0.8
憩いの場（公園等）や集う場の整備	5.2	3.8	6.7	1.9	5.5	2.8
利用しやすい交通機関・施設の改善、整備	17.9	17.6	12.4	6.7	12.6	6.3
防犯・防火対策の充実	6.0	5.3	4.5	4.0	7.9	4.0
その他	1.8	2.4	1.1	1.8	4.7	2.4
特になし	11.6	13.1	7.3	9.3	9.1	7.5
無回答	15.9	14.1	11.8	12.0	5.9	12.3

第3章 自由回答集

1. 困っていることについて

問 64 あなたは筑紫野市の障がい者福祉施策やその他のどのようなことでも、ご意見・ご要望がありましたら自由に答えてください。

① 困っていることはありますか。

(例：仕事がなかなか見つからない)

(1) 身体障がい者

- 1歳の男児を育てています。障がい者の子育てはなかなか大変です。足が悪いのでなかなか健常者ママのように活発に動くことができません。保育園の力もお借りしたいのですが、筑紫野市は絶望的です。こういう私のようなママは一握りだと思いますが、私のような人もいることを知ってもらえたらと思います。【身体障がい,女性,18-44歳】
- 2年前まで23年間(在宅看護21年間)主人(身体障害者1級)を介護していました。そのせいで股関節が悪くなり、両足に人工関節を入れています。人に頼らなくてすむよう自己管理をして何でも一人でできる状態になりました。今は娘が隣がんで4週間ごとに抗がん剤治療を受けています。状態(転移)が悪くなると熊本や福岡へ治療に行きます。お互いが支え合う地域作りが充実できたら良いなと思っています。今はボランティア(地域通学支援見守隊)や以前に通っていた「介護を考える会」等で経験談を話したり、少しでも人の役に立つ事をしたりしたいと考えています。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 90才になりました。今のところは一人で何でもできますが、あと何年元気でいられるか心配です。その後どうしたらよいかとても不安です。【身体障がい,女性,65歳以上】
- AEDの設置場所が少ないので充実させて欲しい。独自の経済的支援を行ってほしい。【身体障がい,男性,18-44歳】
- A型事業所、年齢制限65才を個人の能力、希望により伸ばしてほしい。65才になり、ある日突然市役所から明日からA型で働けないと言われ生活に困った。【身体障がい,女性,65歳以上】
- うちの娘は肢体不自由のため地域の小学校の中の特別支援学級に通うのですが、筑紫小には肢体不自由がないため違う学級に行く予定ではありますが、全体的に肢体不自由を扱う学校が少なすぎるので増やしてほしい。知的障がいとか自閉症ではないのに、肢体不自由の学級ができるまでこれらのクラスで待つしかないみたいです。筑紫小は大きい学校で新設もしているみたいなので必要としている子どもがいるなら優先してほしい。私自身も夫も兄弟たちもみんな筑紫小なので娘も一緒にいいだろうし、そうさせてあげたい気持ちでいっぱい筑紫小に通わせる事にしました。【身体障がい,女性,18歳未満】
- おかげ様で現在不自由なく生活しています。将来どうなるかわかりませんが、公共の福祉にお世話になると思います。活用できる福祉制度があれば利用させて頂きたいと思います。【身体障がい,男性,65歳以上】
- お金がない。食べ物がない。【身体障がい,男性,45-64歳】

- お泊りデイサービスやショートステイなどの施設が市内でも一番南の方や市外の筑前町にあって、通うのに不便。何かあった時に子どもがすぐに向かえない。市の北部にも施設を整備してほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- がんを発症して10年になりますが困った事はありません。年と共に入院が増えて体が思うように動きません。働く気持ちは充分にあります。体(病気)のために迷惑をかけたらと思い、外で働けません。そのためにも手芸を活かした作品を売る所を探していますが、思うようありません。少しでも収入があればと思っています。【身体障がい,女性,65歳以上】

- このアンケートの設問から回答するかしないか、読み取るのに時間がかかりました。レイアウトがもう少し分かりやすといいように思います。【身体障がい,男性,65歳以上】

- コミュニティバスを利用したい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- コロナにかかったら、悪化したら、入院する以外に家事や通院ができなくなる不安。【身体障がい,女性,45-64歳】

- コロナ禍のため週一回のデイサービスを休んでいます。デイサービスの通所中のお風呂の事が気になっています。とても丁寧に洗って下さって感謝しているのですが、ていねいに洗うと汚れや角質が残ってしまうのです。結局デイサービスは週2にする事ができず、1回のままで途中一度は自宅で私がごしごし洗っています。【身体障がい,女性,65歳以上】

- スーパーの駐車場の障がい者用に普通の方が止められていて困っている。車のドアを広めに開けないと出られないので普通の場合では狭すぎて止められない。先日も何回も市役所に行ったのですがカードが下がっていない方ばかりで少し待っていました。カードお持ちでない方は駐車しないようお願いできませんでしょうか。【身体障がい,女性,65歳以上】

- ストーマ用品購入の助成金について。太宰府から転入してきました。太宰府市年間14万円余、自己負担8割。筑紫野市年間8万円余、自己負担なし。こうした助成に差があるのはいかがでしょうかと考えています。用品の必要数を減らす、あるいは自己負担するなどしています。他自治体の現状を調査して歩調を合わせる事はできませんか。【身体障がい,男性,65歳以上】

- タクシー券がたくさんほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- タクシー券を50枚以上発行してほしい。手術をして3ヶ月間動けないのでタクシー券を利用していたが50枚しか発行できないとの事。【身体障がい,男性,65歳以上】

- どうしても日常生活用具で手だしになってしまうのでできれば手だしが出ないように補助額を上げてほしい。【身体障がい,男性,18-44歳】

- バス停、電車の駅、郵便局、銀行が遠い。【身体障がい,女性,65歳以上】

- まったくと言っていい程情報が無い。【身体障がい,男性,45-64歳】

- まもなく迎える定年後の就労について。【身体障がい,男性】

- もう少し市全体をよくしてほしい。逆の立場(障がい者という立場)になって色々と考えてほしい。もう一度コミュニティバスの検討を。【身体障がい,男性,45-64歳】

- もう少し役所の方からこういう場所があるよ等、アドバイスをいただけると有難い。福祉サービスなどあることさえ知らない方がいると思う。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 安くて入所できる施設を充実してほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 移動手段の充実。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 一人では歩行できず日常は施設の方がお世話してくれるが、病院は基本自分で行かないといけな。子どもも高齢で施設の方をお願いするとタクシー代、スタッフ同行費用がかなりかかり経済的負担大。自宅居住の人も施設の人も通院、買い物など外出同行システムがあると助かります。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 一人生活で、文化活動等へ参加したくても交通が不便のため参加できない。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 一般にヘルプマークを知らない人が多いと思いました。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 一般企業の障がい者枠の求人が少なく職業の選択ができない。【身体障がい,男性,18-44 歳】

- 引っ越してまだ日数がないのでよく分からない。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 泳げるプールがない。障がい者優先の施設（高齢者含む）。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 何をされているのかよく分からない。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 加齢により、日を追うごとに身体の自由も奪われていく。生きていく限り誰しも体験する事であり、なんとも表現のしようのない不安が襲ってくる。この事に対処する方法が知りたい。私が生きる事によって他人に迷惑はかけたくない。これからも「障害者」の言葉に甘えることなく、出来る限り「自立」に心がけてまいりますのでその時はよろしく申し上げます。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 家でも仕事ができるようにサポートが必要と思います。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 介護タクシーが希望する時間に取りづらく不便。介護タクシーの会社が少ないのではないか。障がい者用トイレがまだ少なく外出しづらい。バリアフリーの場所が少なく車いすでの不便感がある。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 介護タクシーを使っていますが料金が高く困っています。病院に行くのも大変です。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 介護情報が少ない、分からない。自分が対象となる医療制度等が分かりづらい。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 介護職員の人材不足。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 外出したくても大きく重い酸素ポンペを携帯しなくてはならないため、外出や買い物も不自由ですのもう少し改良の方法はないでしょうか。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 外出は介護タクシーを使っています。福岡の大学病院と週 1 回の市内病院のリハビリです。タクシーの割引券が終わりましたので他に割引のサービスはありませんか。母が介護をしていますが、81 才になりますのでいつまでできるか心配です。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 各種福祉制度が何か知らない。一生懸命家の中で自分で頑張るしかない。子どもの育児手当があるように年寄手当というのもあるといい気がします。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 甘木公園のような散歩しやすい歩道があればよい。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 義足の維持、更新がない、できない。筋力低下などへの改善対応ができない。仮、本義足だけではなく、「継続メンテ」「継続更新」などの種類があってもよいのではないか。義足の進歩がない、選択肢がない、高額なのにフォローが一切ない。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 勤務年数が少ないため年金が低く、普通の人より少ないため、動ける間は少しでも働き生活できるようにしたいが、障がい者の高齢は働く枠がなく、困窮している。高齢者用の働き口はないでしょうか。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 近くの JR 天拝山駅を利用することがありますが、乗降客が多いにもかかわらずエスカレーター、エレベーターの設備がなく、階段の上り下りが大変で困っています。西鉄は割引もあり助かっています。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 近くまで市のバスに来てほしい。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 近所との交流がない。新しく引っ越してきても挨拶がない。隣保館がほとんど使われていない。災害訓練もない。災害が発生した場合、どうするつもりなのか。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 経済的には働くべきだが、年齢的と家族の健康状態が不安定なこと、コロナなどで仕事を見つけることを半ばあきらめている状態で、そういう相談をできるところ（窓口）があるか。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 軽い仕事がしたいけどハードルが高い。ハローワークが遠い。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 健康のために仕事をしたいが見つからない。ヘルプ、車、色々な免許がありますが、私は 78 才まで仕事をしました。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 建物や道路のバリアフリー化を進めてほしい。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 現在、両感音性難聴ですが不自由はありません。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 現在の体調ではない。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 現在は自動車運転ができるが近い将来、免許返納した時にバス停まで歩くのが困難になる可能性がある。ワゴン車のような小回りのきく車両をバス停のない団地など巡回してもらうと有難い。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 現在は特に困っていることはありません。重度障害者医療費、紙おむつ給付、重度身障者福祉手当、大変ありがたく思っております。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 現在主人と 2 人、ケアハウスに入居していますが、子どもは東京、宮崎に住んでいるため緊急連絡に困っています。どなたか緊急連絡先を引き受けて下さる方がいらっしやるとよい思っております。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 御前湯について。身体の痛みの緩和のため御前湯をよく利用させて頂いています。足が不自由なためジャグジーの中が不安定でよく歩けません。2ヶ所ほど手すりをジャグジーの中に設置していただければ安心して入浴できます。高齢者にも良いと思います。無料駐車場について。もう少し御前湯の近くにあると大変助かります。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 交通の便。バス停まで遠い。どこへ行くにも往復タクシー使用のため外出が少ない。病院、郵便局にもタクシーで外出が少ない。近所の方との交流が少なく人との会話がない日が多く、時々心が折れそうになることがある。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 公園に障がい者が利用できるように駐車を許可してほしい。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 公共施設やスーパーなどで障がい者用駐車スペースに健常者が駐車されている。警察による取締りは困難かもしれませんが、指導や注意、施設の方へ協力イリアをお願いします。特にゆめタウン筑紫野はよくあります。JR のチケットはネット販売が主流となってきましたが、障がい者割引は適用されず、窓口で手帳を見せてから購入となります。せめて窓口に並ぶ際は優先させてほしい。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 行政窓口の対応に感謝している。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 高齢と体調により区会の組長等（輪番制）を引き受けできません。それなりに配慮していただいているが、他の人達に申し訳ない気がします。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 高齢の障がい者の就労が少ない。就労 B の年齢枠内でも事業所の受け入れは厳しい。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 高齢化が進み自家用車を手放す人が多くなり、買い物、病院などに行く時、つくし号をやカミリヤバス利用したいと思いますが、西鉄筑紫駅から福大筑紫病院まで行き、永岡に止まらないので市役所に行くにも不便でタクシーを利用しています。徒歩では 1 時間かかり大変です。カミリヤバスも途中で乗り降りができず残念です。有料でもいいから利用できたらと私だけでなく皆さん思っています。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 高齢者がペースメーカーをされるのと違って 50 歳代でペースメーカーを入れたため、今後の経済的な不安はあります。仕事の中で日常生活の中でリードの劣化等で入れ替えなどしないといけないリスクがあると常に思っています。見えない部分なので相手にも分からない、伝わっていない、自分でも動きの加減、調整が難しく思っています。市役所に何うと担当者の方が優しく丁寧な説明に感謝しています。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 今の所、夫も娘も三人とも元気にしている。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 今の所困った事はありません。周りの人達に恵まれていると思います。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 今は家族（子、孫）がいるので書類の代読、代筆を頼めるが、家族がいなければ誰に頼んでもいかわからない。保険のこと、医療のこと、買い物、外出、全て不安。いつもだれかに騙されそうで怖い。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 今までは自費で外来、年金受け取り等して下さっていた方がご家族の都合で来られなくなり、今月いっぱい無くなるので頭が痛くなるほど悩んでいます。経済面でも想定外の出費が嵩むばかりで、思い描いていた老後は最悪で情けなくなります。家族三人とも障がいがあり、毎日息をしているだけです。あけぼのデイケアのカラオケが楽しみです。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 今回股関節脱臼術後、治療のため他の病院に転院したところ、先に入院中の患者より私の悪口を言われ、心理的な不安が治療と重なりリハビリを途中で退いた。精神的不安が続いています。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 今後どうなるかは分からない。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 今後の生活をどうしていけば良いか話せる人、場所を知りたい。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 今後通院の方法がない。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 在宅透析への支援、水道、電気料金の負担軽減。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 仕事ができないのだから年金を受けられるようにするべき。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 仕事がなかなか見つからない。遠いと通勤が大変。交通手段がない（高齢及び安全運転が不安）。補聴器が高くて買えない、目が良くない。体力があまりありません。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 仕事が見つからない。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 仕事の人間関係でトラブルを起こす。会話など仕事の仕方を教えてくれない。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 仕事は筑紫野では見つからないため、福岡市中央区まで通勤しています。もっと事務ができる職場が近くにあればと思います。通勤におおよそ1時間かかります。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 仕事を探せないで収入がない。車いす生活の人に優しくない。自宅周辺の交通量が多く、細い道でもスピードを出す人が多い。佐賀県や熊本県、大分県などのナンバーの車が怖いので外出できない。道がでこぼこで車いすが進まない。手当などが無いので生活できない。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 市のバスがどこで降りても構わないのか。聞いた話ではカミリヤまで行く人でないとダメと聞いてびっくりです。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 市行政主体の仕事を作ってほしい。生活費が足りない。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 市内には障がい者のための学校はあるが、そこまでの交通便は悪いと思います。市がそういうものを作っているならもっと活用するべきです。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 市役所から送られて来る郵便物の連絡先について、そのほとんどが電話番号しか書かれておらず、問い合わせの際、ろう者で電話対応ができない者は市役所まで足を運ぶしか方法がありません。今はFAXやメール（ライン）など様々な手段があるので担当課ごとに設定して封筒や書面に記載していただくことはできないでしょうか。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 市役所での窓口（福祉）の対応がいつも満足のいく答えをもらえない事が多い。専門職の方を常時配置して対応してもらえるとありがたい。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 市役所の福祉課の人は大変親切です。ケアマネージャーさんも親切です。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 支援をしている親族が高齢の本人がろうあ者で支援者が動けなくなった場合、親族として支援、本人の意思を代弁する人がいないが親族はぎりぎりまで本人をフォローしたいと思っており、後見人等の制度利用を嫌がっているため進んでいない状況。そういう人が利用できる支援制度について学ぶ機会があればと思う。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 施設入所中。自分で意思表示できない。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 私は塩分調整をしなければいけませんが、料理ができないので健康に配慮した弁当の定期配達活動があれば嬉しい。【身体障がい,男性,18-44 歳】
- 私は押し車を使っています。カミーリヤに一度行きました。バスに乗るとき大変でした。車の中に入ると人が通れませんでした。那珂川のかわせみ高齢バスは乗る所が一段で中も広いです。筑紫野市も年の人でも行けるようなバスにしてください。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 私は障がい者ではありますが、体は無理をしなければ自由に動きます。役に立ちたいと思っていますが、どちらに相談してよいか分かりません。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 視覚障がいのため、色々な情報が入ってこない、なんとかしてほしい。視覚障がいに詳しい方が市役所にいないので詳しいことを聞くことができない。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 耳が遠くて電話ができずイヤホンが使用できるスマートフォンに替えようとしたが、本人が家族しか手続きができないと言われた。家族は遠方で高齢なので頼めない。ケアマネ、介護士は当然資格がなく、結局電話は使用できないまま。電話ができれば知人や親戚とも話せるができない。何か別の方法で自分の代わりに手続きができるシステムを作ってほしい。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 耳が聞こえないので補聴器を付けているが高額なので補助があれば助かる。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 自治会の組長が回ってきたら辞退をしたいと考えています。左足切断のため、股義足なのですが、イベントの参加や広報の配布等、組長の仕事をするのが難しいと思います。自分だけ辞退するのは申し訳なく自治会自体も脱退した方が良いのかとも思います。スーパー等で障がい者用駐車スペースが少ないと車を停める事ができず、困ります。また雨の日の外出はなるべく控えていますが、傘をさせないので障がい者用の駐車場には屋根が設置されているとありがたいです。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 自宅の近くで入院できる病院がない、情報もない。【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 自転車に乗れないので移動手段は交通機関と徒歩のため移動範囲に限られます。しかし近くのコミュニティセンターは個人利用ができず、遠くに行かざるを得ません。個人でも使えるようにしてほしいです。また以前は電話でも申しましたが文化会館の空き状況をネットで見るようにしてほしい。また利用料の減免申請書を毎回書くのであればもっと簡素化してほしい。【身体障がい,男性,18-44 歳】
- 自分の障がいにあった仕事になかなか見つからない。以前市役所に採用受けに行ったが重いものを持てるかとか無理な質問。市役所関係から障がい者に対する採用（臨時）をとってほしい。雑用でもなんでもできることが嬉しいのです。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 自立した生活を送れるよう、仕事を得て納税できるようになりたい。【身体障がい,男性,18-44 歳】
- 社会活動や体のリハビリを考慮し、公共交通機関を利用します。できるだけ杖に頼らず頑張っています。西鉄筑紫駅でトイレに行きますが障がい者用トイレ前に監視員がいて睨まれ入りづらいです。いつも健常者と間違えられストレスがいっぱい。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 車イスがゆっくりと通れるような歩道。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 車イスの生活になった時に歩道がちゃんと整備されている事を要望します。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 車の運転がしたい。【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 車免許再交付断念により、自転車、老人車による行動範囲が限られ、非常に不便を感じている。現行のカミーリヤ巡回バスの回数増と全行政区へ利用者の多少関係ない配車をお願いします。途中下車（病院、スーパー、銀行郵便局など）の配慮をお願いします。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 主な店は車イスがあるが小さなところは無い。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 主人と二人暮らしでほぼ自営業で外出。普段は主人に買い物してもらうけどちょっとした買い物をタクシーで移動したとしても車イスが無く不便である。またそのような環境でもない。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 手すりを作りたいけどどこに頼んだらよいか分からない。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 週3日のパートに行っています。ここは6年目になります。年金額が少なく、本当に大変な生活です。3級なので年金（障害年金）は受けていません。3級からでも少しでも上がらないものかと思っている。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 住宅対策（市営住宅、障がい者用住宅など）。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 十分に福祉施策を受けている。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 障がいの程度が軽めのためそれほど強く困っているということはありませんが、トイレや公共施設のバリアフリー化がもっと進むと有難いと思います。【身体障がい,女性,18-44 歳】
- 障がい者（父）93才を車に乗せて病院の駐車時、障がい者マークは障害手帳4級以上しか適用されないとの事、全ての等級の人が使用できるようにしてほしい。2【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 障がい者が家に同居。本人の夫人として頑張っているつもりですが、自身も体調が悪くついていけない日が多くなりました。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 障がい者が入院したら福祉タクシー券はもらえないか。家族がたくさん洗濯ものなどの荷物をもって見舞いにくるので入院中でも家族が福祉タクシー券を使って病院へ行けるようにしてほしい。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 障がい者になったばかりでよく分かりません。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 障がい者になり運動不足で体力が落ちて日常生活がしんどい。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 障がい者に対する質問にこのボリューム、内容は大変苦痛。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 障がい者のイベントや施設の利用などは小学生以上や大人向けのものが多く、子ども向けのものが少なすぎる。リハビリ用にプールの利用などもしたいが、それも高齢者中心のものばかり。若い頃から障がいをかかえている者は自分で情報を集めるしかない。もっと障がい者同士が小さい頃から交流できる場があればいいと思う。【身体障がい,女性,18 歳未満】

- 障がい者の為の就業支援、バリアフリー住宅の充実を望みます。住む場所と仕事は生きていくために必要な基本的な事であると思うのですが、障がいがある事で今まで住んでいた場所、仕事を変わらざるをえなくなる。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 障がい者雇用は週に20時間働かないといけませんが、私はめまい等も出ていて、病院にも頻繁に行く状態。週に20時間も働くことができないのに仕事を探そうとしてもなかなか短い時間や融通がきく所がない。天神、博多、都市部まで行けばあるが、交通手段も大変。地域で短い時間でも良いような所が数か所あれば助かる。ハローワーク等も筑紫野市内在住は春日のハローワークまで相談に行かず、ふるさとハローワークで障がい求人もお世話してもらえたら助かります。あとは出向かずとも電話対応してもらえたら助かります。紹介状は郵送などがいい。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 障がい者用駐車場に車を止める時に車の前におくシールをもらう時に白木原に行かなくてはならずまだ取っていません。市内で取れるとありがたいと思います。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 障害者雇用で働く事ができました。これから働かれる方もそういう制度を活用されたらいいと思います。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 障害者手帳4級を持っていますが、今までに一度も利用した事がなく、この手帳はどんな時に利用できるか詳しく知っておくべきかなと思っています。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 障害者手帳の申請に市役所に行きましたら、手続き等、また今後のことなど説明していただきました。術後、少しうつ状態でしたが少し安心しました。感謝申し上げます。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 障害年金申請等の相談会を設けていただくとありがたいと思います。このアンケートの封筒に「障がい者実態調査在中」と記載がありました。「障がい者」と記載をしない方法で対応いただけたらと感じました。【身体障がい,女性,45-64歳】
- 心臓で1級を受けていますが、生活のために仕事をしたいです。5年前位は病院の掃除をしていたが交通事故のため、やめました。働けるのでお世話してください。その代わり急いではできません。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 身障者の団体に入っているが他の人とのコミュニケーションが身体不自由のため取れない（参加できない）ので家に居る人との交わりができるような企画を進めてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 身体に合うベッドがない（背が高いので）。身体がずれるので介護者（妻）が日々動かしてくれるのが気が重い。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 身体障がい者への就労支援の事業所や訓練（就労）施設をもっと設置してもらいたい。ショートステイ事業所の設置を増やしてほしい。【身体障がい,女性,18-44歳】
- 成年後見制度の使い勝手が悪く、費用も高いし、結局ほとんどの人が使えないことになっています。本人は高齢者施設でもう自宅に戻れないのに、自宅の処分ができない、意思疎通ができない、自宅の売却もできない。経費ばかりかかり空き家問題にもなっています。本人のためにもなっていないのにどうしようもない。こんな家庭が増えていくと思います。「家族信託」等、もっと広報するべきだと思います。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 生活ができるように給付金をもっとほしい。年金だけでは生活できない。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 生活保護者でもあり、77才でもありますので見つかりません。人様と話すのが困難だからいやな顔をされるので家での仕事があればと考えます。内職があればいいですが、自分で取りに行き、もって行く等が困難で考えます。体力がないから自分で楽しみを作るようにしています。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 生活保護費や年金が下がるので生活が苦しい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 設問が多すぎる。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 全盲なため移動にしても介助者がいても道路の段差、階段、点字ブロックがほとんどなく、西鉄二日市に行くまでも歩道がでこぼこしていて車の通りを歩かないといけない、もっと整備してほしい。湯町から介助者付きでバスに乗り、バスセンターから駅までエレベーターがないのでとても困る。早く作ってほしい。道は狭いし点字ブロックはほとんどない。JRの駅に行く時も歩いていて踏切は白杖が挟まるし、もっと歩行者の場所を確保してほしい。障害手帳を持っていても筑紫野市はサービスがない。もっと提供してほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 相談しても何もなし、簡単に言えば窓口で門前払い。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 足が悪いため外出はタクシー移動のみで大変です。運賃補助を望みます。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 足が不自由で自由に動きまわれない。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 男子トイレにもパット（尿漏れ用）を捨てる汚物入れを設置する運動を。病後や障がいによって男性でもぱっと使用が増えています。公共トイレからでも始めていただければうれしく思います。【身体障がい,男性,18-44歳】
- 地元で障がい者シニアが働ける情報を広く公開してほしい。かかりつけ医となる病院が少ない。病院へ行く手段が徒歩か自家用車しかない。かかりつけ医にも公共手段で移動できるようにしてほしい。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 筑紫野市コミュニティバスつくし号の停留所を増やしてほしい。家から停留所まで遠くて利用できない。また反対周りも運行してほしい。行きは良いが帰りは大回りになる。福大病院や市役所に行くのに必要です。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 筑紫野市のバスがないのはどうしてだろうと思う。免許の返納をする方が多くなり、市のバスがあれば助かる人が多いのではないのでしょうか。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 中途障がいのためこれからが不安。障がいの度合がまだ低いので支援（減免等）が受けられないことが多い。仕事を探しているが自分に自信がないので応募しきれない。【身体障がい,女性】

- 鳥栖市に健康施設があります。リハビリはもちろん会話の場としても健康増進に役に立っています。温泉浴場、トレーニング機器、レッスン、プール、診療室もあり格安で利用出来ます。入浴だけの方、リハビリにもとても役立ち鳥栖市民だけではなく、久留米市、福岡からも多数おられます。担当の方はぜひ一度見学されることをお勧めします。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 通院タクシーの補助。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 通院のための交通手段。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 通院のための福祉車両。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 定年後の就職先を探しています（目に障がい）。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 天拝公園の駐車場の車いす用のスペースに健常者がよく止めていて、なかなか駐車することができない。他の施設でもよくある。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 転職をしたいが、障がい者という事でハードルが上がります。ヘルプマークをもらいたいけど窓口で言えない。地域活動に参加する時に毎回障がいのことを話して入っていかないといけないので大変です。【身体障がい,女性,18-44歳】

- 点字ブロックの上にバス停に置いてあるいすや自転車等ものが置いてあったり、ふさがっていたりするので危険を感じます。歩道がせまいのと白線だけの所は分かりにくく、車道と近いので怖い。車線の多い道路での横断歩道の信号が見えにくいため、音を鳴らしてほしい。特に針摺交差点。車も多いし曲ってくる車も多く、渡るのも怖い。線路の踏切の端っこを歩いていると下に落ちやすい、点字ブロックがほしい。【身体障がい,女性,18-44歳】

- 等級による医療サービスの差別はやめてほしい。岐阜県では無料で筑紫野市はなぜ支払いがあるのか。理由なき書類はやめてほしい。高齢者の車の運転がひどい。逆走、道路のセンター走行、モラルがない、譲り合いがない。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 道が平坦でない、歩きづらい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 道路が悪い。【身体障がい,女性】

- 内部障がいのため、周りの人たちから理解されず、駐車場も障がい者の所に止めるのも遠慮がちです。民生委員、福祉委員の活動が疑問です。本来の仕事をもう一度見直すべきでは。いきいきサロンは最初の目的から外れると思います、見直しを。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 内部障がいは周りに分からないので何か分かるマーク、身につけるものを整えてほしい。よく電車やバスに障がい者席に座っていて年配の方が前に立っていると視線を強く感じる。こちらにも立っていることが辛いので座っていますが、内部障がいの方は辛いです。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 日常生活で手助けが必要。身の回りや外出の時の手助け。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 日常生活の買い物とか通院の手助けが必要です。経済的支援もお願いします。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 入所施設の全体的な利用内容不明（実際のところ）。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 年金生活なので電気料金を下げてほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 年齢を重ねるごとに障がいも進みます。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 買い物、病院へ 90 才の母に付き添いで行きますが、巡回バスはイオン筑紫野店へ運行してほしい。病院へ行くため無料バスにのりましたが施設ではない所では降りられないとの事。100 円有料でもいいのでどこからも乗れて降りられるようにしてほしい。大宰府は運行されているそうです。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 買い物に行きたい時、家の近くまで迎えにきて下さったり帰りも荷物を持ってきて下さったり、家まで送って下さったりすると有難い。スーパーへのバスの巡回サービス（ゆめタウン、イオン等へ）。福祉バスの止まる場所と時間等の表示。荷物の届けをお願いしたい。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 買い物に行った時、今のレジは機械での支払いが多く、手が不自由なため利用しにくい。大手スーパーで高齢者や障がい者専用のレジがあればありがたいと思う。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 病気、車いすでも社会に役立つ知識や能力はあると思います。どのようなかたちで出させていくかが社会福祉の大切なところだと思います。できる力を発揮できる場の提供をお願いします。例えばお華を教えられる人、育て方を教えられる人、お茶を教えられる人、たくさん力はあると思います。無料ではなく市がサポートして教える人にお金を出し、教えてもらう人を無料にしていくと生きがい、やりがいサポート支援は整うのではないのでしょうか。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 夫が高齢のため一人で世話も大変になってきました。本人の希望でヘルパーさんや他の方のお世話になることが嫌で腰痛のためリハビリ等も無理でこれから先の生活に不安があります。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 夫も高齢のため通院、外出の付き添いをしてくれるが自己負担が少ないと安心。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 福祉（介護タクシー）の充実。タクシーの運転手が不足していて予約でいっぱいによく断られる。タクシー券も増やしていただければありがたい。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 保険証が無い。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 歩けずどこにも行けません。通院もままならず困っています。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 歩行時、杖を使用していますが、道路の側溝の穴に杖の先がはまり込んでしまうため、常に下を見ながら歩くので、危険を感じます。雨水の取り込みには必要だと思いますが、細かい網目状の穴など何か対応策があれば助かります。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 歩行時の点字ブロックや踏切近くの警告ブロックなどの整備。経済的自立への障害を感じる。仕事に関する書類の作成のサポートなど。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 歩道が狭く歩くのが怖い、歩道の白線がない所もある。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 歩道の整備（バリアフリー）。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 歩道の段差、傾斜、でこぼこで歩行に支障があります。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 補聴器を外したら全然聞こえません。病院に行く時自家用車で行き、帰りは病院バスで帰ります。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 民生委員さんが 2 年半ほど来られていないのですが、なぜなのか。筑紫野市の民生委員さんはもういないのでしょうか。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 目が見えない人はどのような生活をしているのか知りたい。医師達が障がい者福祉施策について理解しているのかと思うことがよくある。病院へ行きたくなくなる。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 目が不自由なので歩道を増やしてほしい、または幅を広げてほしい。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 問 27-5、道路と舗道のブロックのわずかな段差。問 47-9、予備軍がならないための利用できるサポートは？窓口で問い合わせても介護保険を利用しようとは思っていないが、ありませんね、で終わるのが現状。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 問 52、55 災害時に一緒に避難してくれる人の登録はしているが、この方が高齢のため実際にはとても助けてもらえる状況にない。親と避難できれば良いが、一人の時を考えると非常に不安。在宅避難を前提に考えているがもし避難所に行く時、避難所は障がい者相談窓口、担当はいなさそう、不安。【身体障がい,女性,18-44 歳】
- 問 63 の 1~19 の内容にて暮らしやすい市の運営の充実をお願いしたい。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 有料老人ホームの職員が代筆で回答しています。【身体障がい】
- 要支援 2 で施設の利用や用具のレンタルなどしてもらっています。ケアマネージャーと話してもっと色々なサービスがあることを知りました。窓口に行かないと分からないのもっと分かりやすい情報提供があると助かります。【身体障がい,65 歳以上】
- 老々介護で日々疲れる。【身体障がい,男性,65 歳以上】

(2) 知的障がい者

- グループホームに預けて運動不足なのか体重が増えて困っています。運動をしてほしい。【知的障がい,女性,18-44 歳】
- ショートステイを利用したいのですが、近場にはありません。先々筑紫野市で安心して生活できる施設が増えてほしい。日中一時支援を利用しようとしたが人気の所は受け入れをしてもらえない。まだまだ家族の負担が大きい。マンションに住んでいますが、子どもが大きくなり夜中にパニックになり、大きな音を出してしまい、苦情がきた。引っ越しも考えたが今すぐにはできず外には分からない分難しい。もっと地域の方に知ってもらえれば理解につながるかもしれません。【知的障がい,男性,18-44 歳】
- ペットと一緒に住めるグループホームがない。【知的障がい,女性,18-44 歳】
- まだ小学生ですが、近い将来進学や就業で苦勞すると思っています。義務教育後の高校進学では自宅から通える障がいに対して支援して頂ける学校が少なく感じます。就業に関しては健常者の方と同等の収入の見込める会社への就職はほぼ難しいようです。親は一生見てあげられないのでしっかり独り立ちしてほしいのですが、今からとても不安です。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 移動する際、主要な駅、バス停、施設などに自由に乗れる 100 円バスがあれば利用して目的地に行ける。現在カミーリヤ利用者は乗車できるがそれ以外利用できないため。【知的障がい,女性,18-44 歳】
- 移動支援が少ない。移動支援の項目が限られているため放デイと同じ内容になっている。年に 1 回でも事業所の案内パンフレットや一覧があれば情報を得られやすい。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 医療型施設を作してほしい。【知的障がい,女性,18-44 歳】
- 学校で支援学級と交流クラスがきちんと分けられた教育ではなく、地域の学校に通わせているのだから交流クラスで学んで、コミュニケーションを取りながら学校生活を送れるような体制を作してほしい。学校によって差が大きいと感じる。支援学級の担任なのに障がい、特性についての知識がなさすぎて不安になる。中学は 3 年間しかなく、受験などもあるのに対応が託児所レベルで不安で困る。年配の教諭の方が障がいに対して差別や偏見が多く感じるし経験があるのでこちらからの意見や要望に否定的で困る。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 希望する仕事につけない。親なき後の生活の不安。【知的障がい,女性,18 歳未満】

- 今はまだ親も元気ですが、親がいなくなってから入所する所が市内には少ない。安心できる施設がほしい。【知的障がい,男性,18-44 歳】

- 今は学生ですが将来、就労につけるか。また収入面でも不安があります。障がい者雇用が福岡（筑紫野市近辺の市町村）で増えているのかまた、一般就労も障がいの程度でも可能かなど（受け入れてくれる企業があるのか）情報が分かりやすく検索、提示しているアプリやサイト等、どこでも見ることができるものがあれば嬉しい。就労移行、継続支援も含め。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 困った事があってもどこに相談したらよいか分からない。小学校までは先生方にとっても手厚く、ひまわり学級でみて頂けるが、その先中学から先の進路に不安がある。そういう事を相談できる所、詳しく説明してくれる方がいてほしい。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 仕事がなかなかみつからない。【知的障がい,男性,18-44 歳】

- 仕事がなかなか見つからない。【知的障がい,女性,18-44 歳】

- 仕事がなかなか無い。資格が必要とだけ言われる。自分にも分かりやすく説明してほしい。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 仕事が見つからない（倉庫系、トラック系）。【知的障がい,男性,18-44 歳】

- 仕事をしやすい職業があればいい。工賃が上がるよう国が動くようになればいい。一人暮らしが長いと将来に対する不安が募る。男女のふれあいの場があればいい。物価高、円安に対する将来への不安。【知的障がい,男性,45-64 歳】

- 仕事を見つけたい。【知的障がい,男性,45-64 歳】

- 仕事先で話す人もいない。今の仕事先が自分に適しているかどうか分からない。【知的障がい,女性,18-44 歳】

- 施設職員に任せている。【知的障がい,男性,45-64 歳】

- 児童発達支援の利用時間が短い。保育園に通園しているが保育所訪問や児童発達支援の利用の仕方に理解が得られず必要な福祉サービスが利用しづらい。保育園の障がい児に対して理解、知識不足を感じる。今後の進路の相談をどのようにしたらいいのか分からない。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 児童発達支援施設や放課後等デイサービスの情報が福岡市と比較するとネットで調べられる施設がとても少ないです。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 自宅から近くでどんな職種があるのか自分ができる仕事なのか詳しい資料がほしい。小さいときはリハビリに通っていたが中高生で行けるリハビリステーションがない。母親が一人で世話をしているので、もし入院とかになると私をみてるひとがない。【知的障がい,女性,18 歳未満】

- 自分にあった仕事がない。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 自分にあった仕事がない。障がい者の仕事が少ない。【知的障がい,男性,18-44 歳】

- 就業する際の就業時間が短すぎる事で保護者が仕事に行けない。生活に支障がでる。送迎や帰宅後一人に出来ないため。障がい程度に応じた仕事を選び、ある程度の収入を得られるようにしてもらいたい。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 集団行動が苦手ですが本人の成長や人生を豊かにするために、障がい児児童などが集えるサークルがあればよいのですが。現在、わが子は学校と放課後デイサービス以外で同じ年代の子ども達と集うことができていません。現在ある団体の活動に支援いただき、より多くの人に参加しやすいものになればと願っています。また大災害を見こして避難所で過ごすことを想定した、パテーションなどのプライバシー配慮した設備の拡充をお願いいたします。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 小学校進学前ですが、どこも生徒数が多すぎてびっくりでした。支援クラスがあるとはいえど支援クラスも人数が多い。支援学校も視野に入れることに。少人数制の学校に行きたいがそれもかなわず。もう少し障がいのある子どもたちに優しい市になってほしい。療育施設も2ヶ所通っているがすべて筑紫野市外です。本当は近くに通いたいが、行きたいと思える所がないのが現実。マンションも住宅地も増えている今、小学校を増やしてほしい。先生の目が届かないのととても怖いです。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 障がい児のためフルタイムでの仕事ができない。そのためパートやアルバイトをするしかない。収入が増えない。経済的なサポートはやはり欲しい。まだ小学生のためこの状況がしばらく続くことに不安。18才以降のことも心配。相談、支援等のサポート体制が一本化されることを望みます。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 障がい児をもつ親の意見ですが、障がい児の通所の費用負担がなかり大きいと感じています。所得に応じて変わることには理解できるのですが、4600円から37000円に変更になり非常に負担を感じます。もう少し段階的に設定していただけるとありがたいです。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 親がまだ50代なので一緒に生活していますが、親が病気をしたり亡くなってしまったりした時にどこで生活していったらいいのか不安です。移動支援など外出の機会を増やしたいが、ヘルパーが少ないなどと聞くとサービスの枠はあっても利用していない。20代前半の男性なので同世代の人と関わりたいし、関わらせたい。B型の施設と家との往復の日々で、親以外の人と係わることがない。学校卒業してすぐにコロナ禍になり、人や社会とのつながりがなくなった。親自身が孤独を感じます。【知的障がい,男性,18-44歳】
- 親が介助するのにだんだん力も強く体も大きくなり、制御がききにくくなっている。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 進学や就労に不安がある。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 人生が全く楽しく感じない。何事もうまくいく人より時間がかかり嫌になる。【知的障がい,男性,18-44歳】
- 送迎のある作業所が見つからない。他県から成人後に相談員を探すときに時間がかかった。筑紫野市の相談員さんはどこも手がいっぱいで大変そうだった。【知的障がい,男性,18-44歳】
- 通所施設に通っていますが、工賃が少ない。【知的障がい,男性,45-64歳】
- 定年後に仕事があるかどうか。【知的障がい,男性,45-64歳】
- 土日など一人で出かける事ができないので家の中にこもりがちです。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 働くために必要なスキルを見つける方法。【知的障がい,18歳未満】
- 動ける医療ケア児の放デイが見つかりにくい。普通の放デイは受け入れが難しく重身の放デイは物足りない。小学校が遠すぎてとても歩いて通わせられる距離ではないため送迎を保護者がしないといけない。健常者の子どもでも片道40分かかります。帰りは疲れているため1時間かかります。【知的障がい,女性,18歳未満】

- 入所施設等の施設が少ない。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 認可の私立保育園に行っていて加配もついています。でも支援が行き届いていない。現場の先生はよくして下さっても主任、園長が柔軟ではないため、結局、山登り等の行事は危険だからと加配がついていても休むよう言われ参加させてもらえなかった。延長保育の利用も断られました。障がい児を持つ親は自由に働きにくい。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 保育園や幼稚園に障がいのある子を通わせたいと思った時に親が個別で探さなければならず、また断られることも多いと聞きます。相談窓口や間に入ってくれる、情報をくれる窓口や支援先があればと思います。【知的障がい,女性,18歳未満】
- 療育に週2、3回行っているのに保育料や給食費が日割されないこと。【知的障がい,男性,18歳未満】

(3) 精神障がい者

- 4月に性犯罪に合い、警察に行ったのですが、事件の事をうまく話せなく記憶もあいまいで警察から差別的な事を言われて、事件の事も思い出し PTSD になってしまい事情聴取も途中で終わってしまい、事件化することができずいまだ通院、カウンセリングを行い治療を継続しています。いつまで通院しないといけなにか分からないのですが経済的にも今後が不安です。障がいのある人が被害にあった時に警察とのやり取りをしてくれたり相談を聞いてくれたりしてくれる制度を充実させてもらいたい。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 6年前くらいに引っ越してきたのですが知り合いや友人が全くできず、一人で暮らしています。友人がほしいです。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 70代の伯母と二人暮らし。親や兄弟は亡くなり一人になった時に経済的に生きていけなくなるのが悩みです。不安障がいの発作をおこすため仕事などやりたいことができません。将来に不安しかない。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 9月1日筑紫野市紫2丁目路上を自転車で走行中、飛び出してきた自転車にぶつかり事故、被害を受けました。あの道は曲がりくねっているので当初より(初見から)危険を感じていました。その上、太宰府高等学校の大人たちが全く素人の誘導するふりをやっているのととても迷惑しています。この国の政治に言える事なのですが、どうやったら余計な時間と手間を省けるのか。もっと知恵を使って抜本的な改革が必要だと思います。今年の半ばに入社した今の会社では私の抱えていた問題に真摯に向き合ってもらっています。やれ生活保護だの、やれ精神障がいだのくだらない人達の性根を正してほしい。【精神障がい,男性,45-64歳】
- A型支援で仕事をしているが、もし卒業したらその後受け入れてくれる仕事先や職があるか不安。安定した収入が得られるか不安。【精神障がい,女性,18-44歳】
- A型事業所で働かせてもらっているのですが、一部のスタッフさんに見下された言い方や態度。ご自身はへらへらしてとても不快で、僕はこの事業所では必要ないのではないか、安心安全で作業が行いづら、一般の障がい者を目指しづら。僕の考えや認識がおかしいのかスタッフさんにとって僕は単なる事業所の道具か心を無にさせた単なる人なのか、僕の居場所ではないのか精神的に辛く苦しく生きるのもどうしたら良いか考えてしまう。今は好きな音楽やゲームや映画鑑賞してぎりぎりな気持ちを保っている状況です。僕は命と生きる事と家族と好きな人と生涯を楽しく幸せに全うしたい。【精神障がい,男性,18-44歳】
- アンケートが辛い。【精神障がい,女性,18-44歳】

- いつも不安やうつ、体調不良、色々あるけど家ばかりいてもと思い、公民館の元気体操をした。フラダンスは楽しかった。また公民館で元気体操をしたい。【精神障がい,女性,45-64 歳】

- インフルエンザ予防接種代金が 65 才から 1500 円のため 60 才だと 4500 円負担しなければならなかった。デイサービスで接種した際。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- お金の管理ができず、貯金もない。金銭的に行き詰ってしまったら、借金するか死を選ぶしかないと思っている。働かないといけませんが、うつ病のため気分が乱れがあり、複数服薬中のため働くことが難しい。うつ病の自分が世の中や社会の役に立てると思えない。居場所がない。受け入れてくれる会社があるとは思えない。仕事を探そうと思っても自宅からハローワークまでの生き方も分からず、交通費もかかるので現実的には厳しい。市役所で障がい者向けの仕事を紹介してもらえるような窓口を作ってほしい。【精神障がい,女性】

- お兄ちゃんが病院に入院していて面会できない。一人じゃ暗いし行けない。外出ができない。自分にあった仕事が見つからない。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- どのように利用したら良いか分からない。車の運転ができないので移動手段が限られている。【精神障がい,女性,45-64 歳】

- パートの仕事をして生活していきたいと思っているが、病気という事を理解して雇ってくれる人や企業が増えてほしい。【精神障がい,女性,45-64 歳】

- ボランティアではなく、お金が頂ける仕事がしたいが、頭が普通でなくなっているため仕事が覚えられない。今家を出されているがこれからどのように生活したらよいのかと悩んでいる。怖い場所には戻りたくない。人の迷惑にもなりたくない。【精神障がい,女性,45-64 歳】

- リハビリ以外にも日中過ごす場所がほしい。【精神障がい,男性,65 歳以上】

- 安心安全に一人暮らしできる環境を整えてほしい。入所施設の充実。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 以前、生活補助（掃除）を市にお願いしたことがあるが、精神障がいの 3 級で障がいが軽いかからと援助を断られたのもっと支援の輪を広げてほしい。人が足りないなら人材育成や確保に力を入れてください。【精神障がい,女性,45-64 歳】

- 移動手段のための公共（バス、電車等）手段の費用の援助（バス券などの交付）。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 医療過誤があった場合、相談にのってもらえますか。そういった専門の方は市役所におられますか。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 一般就労で働いているけど周りの人達と同じ仕事をしなくてはいけないので体がきつい。もう少し障がいを理解してもらいながら働きたい。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 何か手続きをしないといけない時に市役所本庁舎まで出向く必要があるのが、少しばかり手間だなと感じる。書類や証書（障害手帳など）の申請、受取が各コミセンでできると大変助かる。【精神障がい,男性,18-44 歳】

- 家族に健常者がいると支援サービスが受けられないこと。市の職員（市役所の福祉課）から「あなたのような若い人には支援はいらないでしょう。福祉サービスはお年寄りのためのものですよ。」と相談自体を断られた。子どももいるため（小学生以下 3 人）障がいも併せて仕事が見つからない。経済的に苦しいが、収入は一定以上あり、家族が多い（子どもが多い）ため経済的援助が望めない。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 階段に手すりを付けてほしい（公園）。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 幹線道路には公共バスは通っているが車の運転が不可能な者（高齢者含む）にとっては公共施設、病院、スーパーなどへの便は少ないし、無いところもある。公共のバス停までも行けない人もいる。【精神障がい,男性,65歳以上】

- 久留米市の社会福祉法人に15年通っています。遠方ということもあり週1,2回から増やせず、就労継続支援B型であるということもあり、時給440円一日5時間と時給を低く抑えてあり、なかなか積み立てもできずじまいです。しかも皿洗いという50名ほどの調理補助で自宅周辺の軽作業の法人も見つけないということもできません。【精神障がい,男性,45-64歳】

- 高次脳機能障害という見えない障がいのため障がい分らないから職場でも買い物の際の店員さんにもイライラさせる事が多いです。ヘルプマークはつけていますが、大きな溜息をされることがしばしばあります。もっと障がいについて知ってほしい。【精神障がい,女性,45-64歳】

- 腰部椎間板症できつい。目が悪くて車の運転が危い。【精神障がい,男性,45-64歳】

- 今は大丈夫です。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 困っている事が分からない、認識がない。【精神障がい,男性,65歳以上】

- 仕事がしたい。【精神障がい,女性,45-64歳】

- 仕事が続かない、死にたくなる。【精神障がい,女性】

- 仕事が長続きしない。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 仕事に就いても長く続かないので正直、自分に自信を失くしています。こういう体になってしまっ、どの仕事ができるのかわからないのが現状ですが、長く続けられる仕事を見つけて働きたい気持ちですが、サポートをしていただけましたら幸いです。また働けるようになりましたら沢山稼いで税金を納めて社会に貢献できるように頑張ります。【精神障がい,男性,45-64歳】

- 仕事の上司にいやがらせされる。パワハラ、サービス残業。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 仕事をどう探せばよいか分からない。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 仕事を続けられるか不安だ。【精神障がい,男性,45-64歳】

- 子ども達が安心して暮らしていけるようにしてほしい。子どもの見えない貧困が多いのでそれを助けてもらえたらなと思います。お年寄りも見えない貧困があるので市の人が支援してあげてほしい。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 市の就労継続支援事業所、計画書作成事業所の職員は専門的なこともよく分かっていて話が早いですが、人員不足でもったいない。民間の就労継続支援事業所は社会福祉士資格などを持っても障がい理解がない場合がある。国からの訓練等給付金目当てかB型なのにA型のように毎日フルタイムでできるだけ来てほしいと遠回しに言われ、その通りにしている利用者も多い。これでは一般の短時間のアルバイトの方が良いのではと思う。本来の役割から外れた就労支援事業の改善、障がいがあったり、ブランクがあることで一般就労できなかつたりする人も多いと思うのでどれだけ就労能力があるか社会に適應できるか広く知らせてほしい。【精神障がい,女性,18-44歳】

- 市役所の対応が悪い。派遣等、職員以外はやめてもらいたい。【精神障がい,男性,45-64歳】

- 支援をしてくれる人がいない。家族が病気について理解してくれない。【精神障がい,女性,18-44歳】

- 事業所に通所しているが、職員が無理やり自分たちの考えを押し付けていて、私が訴えることを聞いていない。私自身の考えを受け入れようとしないところで意見が対立している。今後はそうしないよう、向こう側の考えを受け入れようと考えている。友人をどのように作ればよいか分からない。時折昔（学生時代）のことを思い出すがなかなか行動に移せない。仕事をしているが退職したことを思い出す。そちらの方が収入が多かった、不自由ない生活を送っていたと考える。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 治らない。【精神障がい,女性】

- 自分がうつ病なので両親が亡くなった時、どうやってお葬式をあげたらいいか分かりません。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 自分ができる仕事を見つけることができない。経済的に困っているのだから稼ぎが必要。料理をする事が苦手で困っているのでも教えてもらえる機会があったらいい。【精神障がい,女性,45-64 歳】

- 自分に障がいがある中で子どもの病気のトレーニングをするのが難しい時がある。福岡市東区の子ども病院にかかっているのでも筑紫野市で相談することはできないようなので困っている。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 自立したい気持ちはあるが、収入が少ないため行動する際に制限がある。一緒に暮らしている親に何かあった時、一人でやっていける自信がない。長時間働けないのでやりたい仕事に就くのが難しい。国民年金を支払えないので老後等が不安。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 収入が少ない。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 収入が少なくなった際の支援制度がよく分からない。【精神障がい,男性,18-44 歳】

- 就学前相談の充実。各小学校の特別支援級の特徴が知りたい。【精神障がい,女性,18 歳未満】

- 充分手厚い福祉サービスを受けていると思う。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 障がいを持っている事が前の職場の同僚から人づてに伝わり、通りすがりの学生等から駅など公共の場で「身障やん」等と言われます。気にしないようにとは思っていますがメンタルが弱っている時に言われるとこたえます。統合失調症＝勘違い、思い込みがあるという風に思われる事をいいことに前職の同僚たちに自宅に侵入され、衣服や金品をたくさん盗まれました。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 障がい者と健常者が交流できるサークル等があるのは知っていますが、参加者が高齢のため、若い世代が参加しにくいと感じます。せっかく勉強した事が無駄にならないよう、どうにかできないでしょうか。【精神障がい,男性,18-44 歳】

- 障がい者の上、今年 9 月（医師はかなり前から気づいていたみたい）薬の副作用で遅発性ジキストネジアと構音障がいになり、薬が飲み込めない。舌が勝手に動くので舌や口の中をかみ切って炎症だらけ、話すことができなくなった。薬害支援に力を入れてほしい。この副作用は治らないと言われた。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 障がい者の友人の依存がひどい。【精神障がい,男性,18-44 歳】

- 障がい者雇用でもフルタイム正社員としての働き方を前提としている所が多く、子育てと両立できるような働き方ができる選択肢が少ない。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 障がい者枠の仕事が少ない。障がい年金だけでは生活できない。将来の不安もあるが長生きしたいとは思えない。安楽死も選択肢のひとつだと思っている。【精神障がい,男性,18-44 歳】

- 障害者手帳の更新がもう少し簡単になればと思います。【精神障がい,男性,18-44 歳】

- 常に体調が悪いので仕事が続けられない。通院が困難（電車の乗り換えが大変）。【精神障がい,18-44 歳】

- 職員によって情報提供に差がありすぎる。受けられる手当のことを知らず、1年後の更新の時に手当が受けられますがどうしますか？と言われた。申請はしたが、遡及はできず、申請月は手当の対象ではないと言われた。受けられるものを受けられなかった。ちゃんと制度のことを教えてほしい。年金手帳の更新をした年、いつまで経っても手帳が届かず、問い合わせたら書類を県に提出しておらず、遅れて届いた。ありえなさすぎてあきれた。障害者福祉施策？全く期待していません。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 職場の人達とコミュニケーションがとれない。入社した頃は相談していたが「ちょっと待って」と言われそのまま忘れられた。自分はいないも同然。仕事にも意欲を持っていたが、仕事がなく、ただ座っているだけの時間が長く苦痛だった。今は給料分働けばいいと割り切って少し楽になった。母が死んだら生きていけるか不安。【精神障がい,男性,18-44歳】
- 親が高齢のため私一人になった場合、一人暮らしができるための環境作り。将来の葬儀を行う際の人間とのコミュニケーションを取るための援助。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 人と関わる場では緊張し、不安な気持ちになるのでそのような場に出ていくことができないが、いつかは出ていけるようになりたいと思う。少しずつ慣らしていけるような場があればと思う。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 精神科の先生を充実させてほしい。なかなか相性の合う先生と出会えない。病院には行っていますが、お薬をもらいに言っているだけのようで。話をよく聞いてくれてモノの考え方など押しつけのないアドバイスの事を望んでいます。障がい者用の歯科医を筑紫野市に作ってほしい。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 精神障がいについての理解などあまり感じないので仕事の内容について深く言及することができない。【精神障がい,男性,18-44歳】
- 精神障がいも一見障がいがある事が分かりにくいので、障がいで体調を崩している時も単に怠けている、楽をしていると思われがちである。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 精神障がい者に対する理解がない。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 精神障害者手帳をコピーしたり提示したりする時に差別を感じる。やはり私が障がい者ということで差別される。【精神障がい,女性,65歳以上】
- 精神病だが膝、肘が悪くなり、それに対応する仕事がしたい。生活保護を受けている。自立したい。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 西鉄桜台駅にエレベーターを設置してください。【精神障がい,女性,65歳以上】
- 相談支援事業所があてにならない（まんさく）。相談しても意味不明な回答しか得られない。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 太宰府市のような各地を回れるコミュニティバスがないので少し残念に思う。福祉施設以外にも行けるものがほしい。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 退院できない。家族と疎遠。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 地域のお仕事（組長）は本当は負担だったが、「障がいがあるのでできません」とは言い出せませんでした。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 筑紫野市は温かい方が多く、住みやすい街だと感謝しております。病気のため車の運転はドクターストップのため、なかなか自立できる収入が得にくいのが現実です。後は自助により資格取得を努力していますが、年単位で時間がかかります。通院日もなかなか配慮して下さる会社がなく、現在はクローズにてシフト制のお仕事をさせていただいています（一般雇用、パートタイマー）。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 筑紫野市は年金、手当が出るので有難い。でも福岡市はいろんな面で福祉が手厚いとも聞きます。A型の事業所で仕事をしていますが、人数が増えるごとに人間関係が大変になって心が重くなります。支援員さんは利用者の私たちと同じように悩みを相談しないかぎり、楽しく話をするだけの人達です。大変な仕事だと思うのですがもっと勉強してほしい。市役所でしなくてもいいので各事業所で社長を含めた勉強会を行ってほしいです。利用者の声も聞いてほしい。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 通っているB型事業所でイラストの仕事を希望しているのですが、作業所ができたばかりということもあり、仕事の案件がないです(販売会くらいしか)。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 入浴介助、老人になった場合の掃除、片付け、家事全般。病気が完治してできるには?【精神障がい,女性,45-64歳】
- 発達障がいへの療育施設が少ない。私が通う民間療育が2、3年待ちという現状。専門知識を持った先生がとても少ない(学校や放デイなど)。特に年配の先生方が最新の発達障がいへの対応、指導などを知らない人ばかり。【精神障がい,男性,18歳未満】
- 病気、障がいのため就職をためらっている。家族からは働くように言われる。働かない、家にお金を入れないな家を出ていくように言われる。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 病気のため仕事ができせん。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 物価上昇のため生活保護、障害年金を上げてほしい。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 母子家庭で育ち中学を出て美容師の寮に入り、4年半がんばりました。美容師の免許をもう少しのところで取れるところで病気になってしまいました。今は兄弟と暮らしています。今は洗濯、買い物、料理などががんばっています。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 本当に就きたい仕事に就けない。賃金が安い。障がい者専用のハローワークを作ってほしい。資格をとれる講座などあれば嬉しい。障がい者というだけで偏見などまだ根強く、狭い世界で生活しています。市の方から働きたい障がい者がいると伝えてくれる相談できる体制があれば明るい希望が見えます。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 役所に体調が悪い中、行くことばかりですが、職員の方の対応に時間がかかり過ぎてとても疲れるので時間が短縮できるように対策をうっていただきたいです。過去の履歴など自立支援の手帳に手作業で書き直すために時間がかかる。障がい者の区分を取りたくても電話予約しにあと対応できるスタッフがない。【精神障がい,女性,18-44歳】

(4) 重複障がい

- 30代後半なのですが仕事もしなくて結婚もしていないのが悩みです。【重複障がい(知的・精神),女性】
- ストレスを感じたり、緊張したり、体調が悪いときに眼球が上に上がるという症状が出るので、自分で薬を飲んだり、下げたり治すことが出来ないので全て母にやってもらっていること。家にいる時は薬を飲んで寝る事ができるけど、外出するとそれができず、薬を飲むだけでは治らないので余計ストレスや緊張して上がることが多い。【重複障がい(身体・精神),女性,18-44歳】
- なかなかグループホームと入所施設がない。【重複障がい(知的・精神),男性,18-44歳】
- もう少し手帳を持っている障がい者にメリットになることを増やしてほしい。【重複障がい(身体・精神),女性,45-64歳】

- よくしていただいていると思います。【重複障がい（身体・精神）,女性,18-44 歳】

- 医師が適当過ぎる。外出できないのが辛い。着たい服を買えない。レストランや飲み屋に行く金がない。【重複障がい（身体・精神）,男性,45-64 歳】

- 一般社会で就職したい。【重複障がい（知的・精神）,男性,45-64 歳】

- 居眠り、パニック障がい、統合失調症。【重複障がい（身体・精神）,男性,45-64 歳】

- 現在両親が介護をして家族でくらしているが、両親もだんだん年を取りいつまで介護できるか不安。通所施設でようやくグループホームができましたが、一人部屋で夜の見回りも2、3時間ごとなど、重度の障がい者向けではないようで、安心して入居できない。制度のことはよくわかりませんが、重度者向けのグループホームも作れるような制度にしてほしい。入りやすくなるようにしてほしい。【重複障がい（身体・知的）,女性,18-44 歳】

- 今の状態では不安があり、先のことが見えてこない。【重複障がい（知的・精神）,45-64 歳】

- 今は仕事がありますが、やめたら仕事がなかなか見つからない。【重複障がい（身体・精神）,男性,45-64 歳】

- 左足の膝で杖をついて外出しています。車の運転はオートマであれば大丈夫です。10 年ほど前に心臓の手術をして現在週1 回通院、薬を出してもらっている。【重複障がい（身体・精神）,男性,65 歳以上】

- 仕事をしているけれど年を取るせいか、これから仕事を辞めて次の仕事を探すのがなかなか難しい。辞めたくてもなかなか仕事を見つけにくいです。【重複障がい（身体・知的）,65 歳以上】

- 仕事をしても一般企業はほぼ理解してくれない。税務署へ分からないから電話したり行ったりするが全く感じが悪い。筑紫税務所は感じが悪い。【重複障がい（身体・精神）,女性,45-64 歳】

- 視覚障がい者のため足元の悪い道路や狭い歩道はケガをする事が多く、外出をためらう。または保護者が車で送迎する事になるので自ら歩行する機会が減ってしまう。整備をお願いしたい。【重複障がい（身体・知的）,男性,18 歳未満】

- 時間数の制限があり、毎月考えながらサービスを受けている。必要なサービスを受けられるようにしてほしい。【重複障がい（身体・知的）,男性,18-44 歳】

- 就労継続支援 A、B で働いていたが、病気により入院している。あと5、6 年は身体に障がいはないので働きたい。仕事がしたい。車の免許を持っていないので職種が限られている。【重複障がい（身体・精神）,男性,65 歳以上】

- 住居等に関し、強いストレスが数か月続き、ごまかされ、侮辱され、ストレス性虚血大腸炎発症、今後に強い不安。様々過去、警察協力情報通報してきたが、今では国家暴力団としか感じない。恐ろしい集団、頼れない。【重複障がい（身体・知的）,男性,45-64 歳】

- 重度のため介護タクシーでの移動です。市からタクシー券はいただいているのですが、毎月の負担が大きいです。介護タクシー会社がいろんな患者さんのお宅の送迎で高速を使われます。往復でかなり負担します。こちらは頼むところがないから介護タクシー会社任せです。【重複障がい（身体・精神）,男性,65 歳以上】

- 障がいが高く入所施設など受け入れが難しいと言われます。日中一時はできても泊りの受け入れが難しく、そのため家から行けている施設が受け入れ通所させて頂いています。このまま一日地域で生活して家と施設で過ごせるようにしてほしいので今のままの市の対応をよろしく願います。【重複障がい（身体・知的）,男性,18-44 歳】

- 障がい者の医療費を1 割にしてほしい。【重複障がい（知的・精神）,女性,45-64 歳】

- 障がい者も保護者も年齢を重ねていきますが、親が保護できなくなった場合、心配でたまりません。グループホームも嫌と言います。優しい人達の集りを願うばかりです。優しい保護職員等と思いやりのある生活をおくれますよう目指して頂きたいです。【重複障がい(身体・知的),女性,45-64歳】

- 障がい者施設が少ない。医療的リハビリができなくなる。【重複障がい(身体・知的),女性,18-44歳】

- 障害年金が少なくなり困ります。【重複障がい(身体・知的・精神),男性,45-64歳】

- 人はやがて死にます。その準備は必要と思います。私は母を40才の時、父は6才の時、母子家庭で育ってきました。このように考える機会に出合ったことは幸せと思っています。母の50回忌ができるように頑張ります。終活、遺言は必要ですし努力したいと考えています。【重複障がい(身体・知的・精神),女性,65歳以上】

- 生ごみやその他のゴミを出す所まで持っていけない。【重複障がい(身体・知的),女性,65歳以上】

- 精神障がいに関してまだまだ理解が少ない。【重複障がい(身体・精神),女性,45-64歳】

- 短期入所施設が少ないため利用したい時に利用できない。【重複障がい(身体・知的),女性,18歳未満】

- 筑紫野市の人口はどんどん増加しているのに受け入れる保育施設が少ないと思います。全国的にも待機児童もワーストに入っていますし。子育て支援、保育施設の充実、保育士さんの支援、確保に力を入れてほしい。また放デイの利用者も増加しており、今後も発達障がいの子どもや支援が必要な児童はどんどん増えると思います。受け入れる側もキャパオーバーでサービスが受けられない状況もあるようで当方も困っているところもあります。【重複障がい(知的・精神),男性,18歳未満】

- 通所する場合の通所バスまでの足の確保が困難。【重複障がい(身体・知的),女性,45-64歳】

- 突発的行動で物を投げたり大声を出したりするので周りが気になり悩んでいます。【重複障がい(知的・精神),男性,18-44歳】

- 興味のあることをさせてみたいが、常に親の付き添いが必要なこと。放デイが長期休暇、夏休み、冬休みは短時間の預かりになってしまい、利用しにくいこと。16:30では短いので通常の18:00までにしてほしい。親が働けなくなり子の生活も困窮する。【女性,18歳未満】

(5) その他

- 子どもの職場が近くはない。保険金殺人に合いそうになる。夫がとても冷たく甘えてくるだけで援助を経済的にもしない。夫が自閉的で暗くコミュニケーションを取りにくい。夫がケチなのか貧乏なのか付き合いが難しい。障がい者の自立をお願いしたい。お金が病気を治すのに足りない。家族以外の人とのコミュニケーションがない。家族の自立が少なく親を援助しない。2人の女の子は結婚相手も友達もない。

2. その他の意見・要望

問 64 あなたは筑紫野市の障がい者福祉施策やその他のどのようなことでも、ご意見・ご要望がありましたら自由に答えてください。

② ご意見・ご要望をお聞かせください。(ご家族の方や、その他本人さんをサポートしている方が記入していただいても結構です。)

(例：障がいに対する理解を深めてもらうため、市民講座の開催など啓発活動に力を入れてほしい)

(参考) 分野ごとに自由回答の記述内容を集計した結果

内容	件数	割合
建物・道路等に関するご意見・ご要望	8	2.6%
文化・スポーツ活動等に関するご意見・ご要望	2	0.6%
医療・介護等に関するご意見・ご要望	9	2.9%
相談に関するご意見・ご要望	6	1.9%
将来のことに関するご意見・ご要望	20	6.5%
情報提供・情報収集に関するご意見・ご要望	16	5.2%
就労・雇用等に関するご意見・ご要望	11	3.5%
サービス・施設等に関するご意見・ご要望	33	10.6%
差別等に関するご意見・ご要望	6	1.9%
災害に関するご意見・ご要望	1	0.3%
交流等に関するご意見・ご要望	11	3.5%
啓発に関するご意見・ご要望	24	7.7%
経済的支援に関するご意見・ご要望	24	7.7%
学校・教育等に関するご意見・ご要望	9	2.9%
家族・介助者等に関するご意見・ご要望	3	1.0%
外出・移動に関するご意見・ご要望	30	9.6%
アンケート調査に対するご意見・ご要望	21	6.8%
市の施策や市役所窓口に関するご意見・ご要望	29	9.4%
その他のご意見・ご要望	47	15.2%
合計(延べ)	310	100.0%

(1) 建物・道路等に関するご意見・ご要望

- JR 天拝駅にエレベーターがほしい。【身体障がい,女性,18 歳未満】
- 市役所が新しくなり、バリアフリー化、身障者用トイレが整備され、利用しやすくなり感謝している。このような環境を整備できるようにしてほしい。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 障がい者としてではありませんが、道路整備や公園整備など、人口増加の地域や新しい住宅と古い住宅地や昔からの道路に大きな差があると感じます。古い地域でも子ども達は住んでいますし、高齢者もいますので安全に住むことができるようお願いしたい。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 筑紫野イオンの中の障がい者用トイレを使用後、出てくる時、子ども連れの親子に長時間（5～10 分）使用していたのが気に入らないようでムッとされた。小さな子どもと利用したいのか広いスペースのトイレを待っていたようだ。【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 歩道が車道に比べて補修が少ないのででこぼことなっている歩道が多いように思える、整備してほしい。車いす等が通りやすい段差のないフラットな歩道。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 歩道と車道の段差がないようにしてありますが、車いすでは数センチの差でも車輪がひっかかる事がある。車いすでの移動しかできないので介護タクシーを利用することがあります。それぞれの会社で料金について違いがありました。運賃にはそれほどの違いはありませんが、車いすの乗降料として片道 3000 円徴収、運賃より他の料金の方が高くて気軽に利用できません。もう少し運賃以外の料金について指導していただけないでしょうか。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 歩道の整備、段差の解消。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 両足人工関節で心臓病、大腸がんを持っており、行動がゆっくりです。運動を兼ねて週 1、2 回買い物に出ます。歩道の中の段差、車道から歩道に入る傾斜について苦々しく思っています。道路舗装の時に考えていただけたらと願います。【身体障がい,女性,65 歳以上】

(2) 文化・スポーツ活動等に関するご意見・ご要望

- 障がいを持っている若い子ども達がスポーツや楽しいことをしてリフレッシュしたり、ストレスを解消したりする場所が少ない。色々な企画をしてほしい。【知的障がい,男性,18-44 歳】
- 障がいを持っている人達が集まれる場、楽しく話せたり、スポーツを楽しんだりできる場所があればいい。地域ではスポーツフェスタ等あるが障がいを持っている人はいけない。社会に出れば仕事だが、学生の頃は放課後デイサービスだけになるのでいろんな経験、体験ができる場がほしい。【知的障がい,女性,18 歳未満】

(3) 医療・介護等に関するご意見・ご要望

- もし病気が悪くなり入院しなくてはならなくなった時、保証人がいないので市が保障人になってほしい。【精神障がい,女性,65歳以上】
- 今入院しています。8ヶ月位は家でみていました。認知症がひどくなり入院しました。病院は三か月で次の所を探しています。金の事で一番困っています。主人は自分の病気のことわからないようです。長く入れる所を作ってほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 仕事をしながら家族をサポートしていくには収入以外のことも踏まえると身体的、精神的にも大変です。特に職場では子育て支援のサポートは充実しているが介護となるとほぼ全く支援は乏しい。表向きは介護休暇の利用はあると聞かすが一度取ったら次の介護での休みがとりにくく、また会社でのサポート、支援が乏しいのが現状。もう少し仕事、介護のバランスが保てるように介護支援料金を少し増量し、本人と安全に自宅で過ごせる環境作りを整えてほしい。特に医療現場での介護休暇は本当に取れないのが現状です。子どもが何人いても結局一人に任せられてがんばっている人も多いことを行政の方に分かってほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 障がい者が入院した時に介護が行き届かず悲しかった。病院の看護師さん達は忙しく、おむつを替える時間になっても替えてもらえず、漏らすこともあり早く施設に戻してもらおう事だけを考えていました。高齢者が増える中、病院にも介護のスタッフがいてくれたらと思います。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 障がい者本人が 97 の母を見ている為、相当な心的ストレスを抱えている。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 障がい福祉から介護保険サービスの移行を柔軟に考えてほしい。65才までは従来の障がい者福祉サービスを受けられたのですが、介護保険に移行になってご家族（介助者）、本人負担が増え悩んでいる方が多数いると思うのでスムーズに移行できれば良いと思う。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 難病で障がいのある母は一人暮らし（基本）。平日の昼は訪看さん、ヘルパーさん、リハビリなどで介護していただき、夕方から朝までは娘である私が介護しています。母は信頼できる訪問看護師さんに出会うことができ、今後も自宅で介護を受ける事を希望しています。私は片道40分から1時間を平日は往復（自宅から実家まで）土日は訪看さんのサービスがないので、金曜の夜から月曜朝まで実家で介護しています。筑紫野市には24時間体制のサービスがなく困っています。福岡市などは体制が整っているようです。子どもが小学6年生の時から現在の介護をしており、子どもや夫には不自由をかけています。24時間体制の介護を筑紫野市でも早く取り入れて欲しいと切に願います。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 夫の介助のために20年旅行にも行けない。本人は全くステイを考えていない。あきらめているが、周りからやんわりと勧めてもらえると嬉しい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 障害者年金などの手当の受給に関して医療機関にかかる必要があるが、医療機関が見つからない。かかりつけ医院の診断書が必要というところも多く、現在かかりつけ医がない状態だと病院を探すのが大変。特に筑紫野市は発達障がいや知的障がい者を診てくれる医療機関が少ないのでかかりつけ医を探す際の助言、アドバイスがほしい。小学校低学年や未就学の場合の支援は色々あるが、高学年や中学生になると学校以外で支援を受けられるところが少ない。軽度の知的障がいのある子どもに対しての学習支援を充実してほしい。【知的障がい,男性,18歳未満】

(4) 相談に関するご意見・ご要望

- 24時間いつでも相談できたらいい。住宅の家賃補助をしてもらいたい。【精神障がい,女性,18-44歳】

- このアンケートで色々な機関、窓口がある事を知ることができてありがとうございました。しかし、相談するまでにはいろんな思いがあり、なかなか行動に移せないことがあるので、これからは一步踏み出せるようにしたいと思います。【身体障がい,女性,65歳以上】

- どんな福祉サービスや手続きが必要か分からず、一つひとつ手探りで進めていくしかなかった。総合的な相談窓口があればと思う。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 何でも相談できる場所がほしい。相談に行っても話すだけで疲れる。【精神障がい,女性,18-44歳】

- 思春期と重なってイライラがひどく家の物をたくさん壊しています。本人が発達障がいを認めず、通院も本人は行きません。小学生の時の先生が本人への対応（支援）をしてもらえず、困りごとや怒られることばかりだった。学校の支援や地域（市からの）情報が不足していたと思います。保育園の時から病院へ通っていますが、思うような療育が受けられず。子どもの状態は悪い方へ行っています。現在、家から遠い病院なので別の病院を探すのに市役所に電話で教えてもらったが、すべて断られました。どうしていいか分からず、日々かなりつらい思いで生活しています。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 隣保館に相談しやすい環境作りをしてもらいたい。ジョブコーチがつく仕事を求職している。自分が怖がりの性格のため、意見や意思を伝えることが困難、または受け入れられないため、どうしても理解者を必要としている。以前仕事で上司側の意見のみ通されて自分のそれを受け入れれない事が不安に感じて相談できなかった。そのため対立することがしばしばあった。【精神障がい,男性,45-64歳】

(5) 将来のことに関するご意見・ご要望

- 50代に心臓の手術を受け、手帳をいただき服薬しながら過ごしております。急に入院になってしまった時や昨年主人が急病で亡くした時等に何度も地区の隣保館の保健師さんに助けていただきました。本当に今考えると有難かったと思います。今もお世話になっております。今は車を持ち、なんとか野菜を作って年金で生活できますが、来年免許更新で高齢のため迷います。田舎では車は必要なので。こんな時の生活を考えて迷います。【身体障がい,女性,65歳以上】

- ご丁寧な障がい者実態調査を行っていただき感謝しています。わが子は障がい者支援施設にずっと通っておりますが、月曜～金曜までは通所施設で仕事をして土曜日曜は朝スポーツ新聞を買いに行き、あとはほとんど家におります。日々、単純な生活を送っており、私も年を取って病院通いが多くこれからの生活はどうなっていくのかとても不安です。分かりやすい行政のご指導等が聞ければ幸いです。【知的障がい,男性,45-64歳】

- 現在はまだ妻が元気だからいいが、最近具合が悪く病院に行く回数が増えたのが心配。一人では何もできない。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 現在母親と生活していますが、母親が死んだ後の事が心配です。妹はいますが、妹達も生活があり、同居はできません。私が死ぬときに一緒に死んでくれたらと心から思っています。(母)【知的障がい,男性,45-64歳】

- 高校生までは何でも先生方、デイサービスの方々に相談できましたし、日常生活や発達の面でも安心しておりました。これから大人になるにあたって健康面などとても不安です。定期的な健康診断や歯科検診などしてほしい。運動不足も考えています。学校の時は出来ていたことが難しくなりました。【重複障がい（身体・知的）,女性,18-44歳】

- 高齢者福祉への充実全体。今後ますます増加する老後の不安。本人へのサポートはもちろん家族へのサポート強化。行政の分かりやすい窓口。よりよい筑紫野市を希望します。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 今は小学生で毎日、特別支援学校へ通っていますが、親としては子どもの将来がとても心配です。一人っ子で家族が元気なうちは支援することができますが、最終的には子どもが一人で生きていかななくてはなりません。これから先、家族に何かあった時にどのようにすればいいのか教えて下さる場所を知らないので教えてほしい。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 今後の老後の介護、生活支援。運動施設の設置、先々の行動能力の維持。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 私は一人で動けません。今は支援する配偶者がいますが、一人になった時色々支援を受けなければならないです。生活がっぱいなのに支援を受けるためお金がかかるようになったら生活苦になると思います。入所する場合、金額が高いようですが平民が入所できるように幅を広げてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 私達が先に死んだ後、一人残す事が心配。【知的障がい,男性,18-44歳】

- 終活についての具体的な内容を記載サポートする講習会実施。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 重度の障がいの人は福祉で守られる部分大きいですが、わが子のように中途半端な障がいでは守ってもらえる部分が限られている。これから親が死んだ後に生きていけるのか非常に心配。目立たない、見えない障がいであるため、福祉を利用していいのか？見えない障がいもあって困っている人、生きづらい人がいるはず。どうしたら良いか教えてほしい。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 将来（父、母が亡くなった時）が心配。【重複障がい（身体・知的）,女性,45-64歳】

- 将来的に同居が困難になった時のために個々の状況に合った制度（成年後見制度等）の詳しい説明が可能な人材の育成に力を入れてほしい。【知的障がい,男性,18-44歳】

- 親が元気なうちは大丈夫ですが、子ども一人になった時のことが心配です。そのような時の相談窓口の充実をお願いします。【知的障がい,女性,18-44歳】

- 親が亡くなくても現在住んでいる家で暮らしたい。趣味であるギターをずっと続けていきたい。【精神障がい,男性,45-64歳】

- 人的支援（サポートしてくれる人）、物的支援（バリアフリー化、トイレなど）、金銭的支援（生活していくために）が必要と思います。全てを満たすことは簡単なことではないということ分かっていますが、今後自分の体が動かなくなった時のことを考えると不安になります。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 息子が大人になった時、地域のサポートを受けながら、仕事を続けていけるよう親として思っています。今は放課後等デイサービスで就労体験として働くことの喜びやお金を大切に使うことなどを教えてもらっています。家では生活力をつけるため色々なお手伝いを教えてもらっているところです。障がいを持つ子の親は共通の悩みとして親が亡くなった後の子どもの生活が心配です。そのあたりのサポートの充実をしていただきたいし情報もほしいです。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 普段の息子の様子、話す内容から回答しました。一番の心配ごととは母である私亡き後の事です。日常生活は問題なく送っていますが、何かあった時に頼れる身内もおらず、手続関係等、日常あまり発生しない事象が起きた時に周りを頼れないのが心配です。2つ上の兄も発達障がい（精神2級）があり、こちらは年金の手続き等、今は親の声かけで出来ていますが、自分で手続きができるのか（スケジュール管理、予約等が苦手）を案じています。そういった一部のことを気軽にサポートしていただけるのなら充分一人で暮らしていけるとと思います（任意後見をつけなくても）。親なき後が最大の心配ごとです。持家はありますが、子どもたちが老いて病気をした時など誰がサポートするのか家じまいはどうするのか法的なことも不安です。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 役所からの封書に「生活福祉課」や「障がい者実態調査在中」と表記しないでくれると嬉しいです。収入が年金のみで自由に使えるお金が少ないのでJRの運賃に割引があると助かります。西鉄は割引があるのでとても助かっています。車の運転ができないため電車とバスが頼りです。老後に不安しかないので安心感をいただけるととても助かります。障がいそのものもしんどいですが、経済的な不安も同じくらいしんどくて絶望してしまいます。年金をいただいている事には心から感謝しています。もし打ち切られたら生きていけません。【精神障がい,女性,18-44 歳】

(6) 情報提供・情報収集に関するご意見・ご要望

- アンケートにいつも答えても答えるばかりでやっぱり何も変わっていないと思っています。郵便も見えないし、全盲に対してサービス内容などたくさん送ってほしい。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- それぞれの障がい者の特性に分けた自治体や地域が行っている活動や支援の情報が定期的にほしい。障がい者でも様々。【身体障がい,男性,18-44 歳】
- 行政が行っているサービス、支援内容の広報をもっと積極的に行ってもらいたい。調査依頼封筒の「障がい者実態調査在中」の表示は必要でしょうか。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 今後も一人暮らしになると思います。経済的に施設には入居できないと思います。今度の生活において色々なサービスなど情報を教えていただきたい。駅にエレベーターを設置していただき、電車に乗りやすくなりました。今後も障がい者、老人の方が住みやすい町にしてください。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 困っている事がある時相談に行ける福祉団体などの情報を知りたい。【知的障がい,女性,18 歳未満】
- 市から送付されたものを全て読み上げるのは難しいので音声機能（QR コードで読み取ってスマートフォンで再生する等）があると助かります。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 市はこちらから聞かないと教えてもらえません、サービスなど。もっと分かりやすく情報提供してほしい。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 市町村からの支援が本人まで届かない。どのような支援があるのかを市町村から言ってほしい。特にお金に対する支援は全く知らせてもらえず、本人に我慢をさせ続けた。知った時には半年程しか支援を受けられなかった。10 年以上我慢をさせていた事を考えると辛い思いを親もする。申請に来てからでないと教えない体制を変えてください。よろしく願います。【身体障がい,女性,18-44 歳】
- 児発、放デイ等の情報を誰でも見やすく分かりやすくして、新しい情報はすぐ更新してほしい。【精神障がい,女性,18 歳未満】

- 障がい（主に発達障がい）の子どもたちの将来入居できる環境が筑紫野市には少ない。またきちんとした支援を行っている事業所も少ないような気がする。子どもたちを育てる親の意識やその親に対する情報も少なく、もっと社会福祉の支援（包括的援助）の拡充を求める。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 障がい者が多いのに会員にならない人が多い。年会費 500 円で軽スポーツ、グランドゴルフ、ボーリング等に参加してほしい。障害者手帳を持っている人は参加するように呼びかけてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 障害年金受給中に結婚し、子どもを持ったが年金の配偶者加算も子の加算も案内が無かった。そのため申請が遅れ、140 万程の年金額を失効した。子どもを 3 人持っているのに一度も更新や福祉用具購入の際にも年金額の加算について職員の方から触れられることもなかった。当方は就労収入もあるため生活は何とかなるが、年金収入だけの障がい者には今後の生活を苦しめることになったと思う。福祉事務所と年金担当部所が違うとは思いますがシステムを構築するなど今後はきちんと対応できるように望む。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 情報がないので発信してほしい。ラインなど【身体障がい,男性,65歳以上】

- 制度や障害年金などよくして下さっていると思います。夫が障がいを持ってもうすぐ 4 年になりますが、当初どこに相談していいのか、何をしたらいいのか分からず、途方に暮れた。病院のケアマネさんからの情報も日が経ってからになるのでこういった状態になったときのリーフレットのようなもの、いつから支援が受けられるのか、どこに聞けばいいのか等、流れがわかるものがあれば少し安心できると思います。仕事もあり、生活もしていかないといけないので自分で調べる時間ありません。子どもが小さい方は本当に大変だと思います。相談にのって下さる担当の方がいたらと思います。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 本人の意思が確認できない場合、支援者が急に対応できなくなった場合の救急対応についてのサポート側の講座や情報発信があればと思います。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 本人の母です。今回のアンケートは本人の意見を聞きながら代筆しました。一緒に住んでいても今回のアンケートで本人の思いを初めて知った部分もありました。本人の思いや願いの実現の小さな一歩が踏み出しやすい何らかのサービスがあってほしいと思います。そのようなサービスの情報が広く伝わるような手段も考えていただきたいと思いました。【精神障がい,女性,18-44歳】

(7) 就労・雇用に関するご意見・ご要望

- ハローワークの障がい枠で紹介を希望しましたが、窓口の男性に「企業が欲しいのは身体障がい者で精神障がい者には正直求人はないです。」と言われました。障がい者＝身体障がい者で精神障がい者は性格ややる気の問題で片付けられがちです。将来の経済的困難について相談できる場があればと思います。【精神障がい,女性,45-64歳】

- 一派の高齢者同等、障がいの高齢者の働きやすい就労が必要。サービスを受ける側としか思われておらず、年齢関係なく就労意欲のある方には働いていただき本人にとっても社会にとってもウィンウィンの関係になると思う。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 仕事場はなるべく近くを希望。安全運転が不安。身障者の就職活動支援。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 仕事場は結構親切です。今の所大丈夫です。【精神障がい,女性,45-64歳】

- 市では障がい者に対して雇用をこんな風にやっていますともっとアピールしてほしい。他の市町村はテレビでよく見かけますが、筑紫野市はほとんど分からない。もっと発信してほしい。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 市内に A 型事業所が少ないので増やしてほしい。【知的障がい,女性,18-44 歳】

- 自閉症の子でこだわりが強く、B 型の作業所に行っていますが、毎日何かいたずらやこだわりからくる問題行動で注意をされることが多く、本人も親も辛くなることが多いです。迷惑をかけるばかりなら家で面倒を見た方が楽かとも思いますが生活もありますし、親がずっと面倒を見られるわけではないので本人がきつなくても社会の中で慣れるように長い目で見ていくしかないのですが、20 年以上つきっきりで面倒を見てきて精神的に疲れる、体力的にも。学校に行っていた頃は出来た事をほめて下さり、沢山のひととかかわりがありましたが、就労すると出来ない事、ダメな事ばかりで注意されてばかりです。コロナ禍でしようがない、社会全体が暗いニュースばかりでしようがないと思い、今日一日をただひたすらに生きるしかないと思っています。【知的障がい,男性,18-44 歳】

- 障がいを持っている人が仕事や生活をしやすいように福祉の事にも力を入れてほしい。【身体障がい,男性,18-44 歳】

- 息子は障害手帳 2 級を持っています。仕事は A 型で働いていますが、筑紫野市ではなかなか見つからず、博多まで通勤しています。筑紫野市はまだ働く所が少ない。【精神障がい,男性,18-44 歳】

- 働くための場所がもっと増えたらと思います。【知的障がい,18 歳未満】

- 本人は年金をもらうまで正社員として働いたという実績もあり、就労継続支援 B 型出は少し不満を感じています。法定雇用率もでいいですから趣味とスポーツを活動しながら正社員として働きたい希望を持っています。【精神障がい,男性,45-64 歳】

(8) サービス・施設等に関するご意見・ご要望

- 18 才以上になると日常生活用具給付等が厳しくなる。例えば車いす（座位保持いす等）は室内外一緒になるので 1 台しか作れない。また通所施設用の車いすも作れない。日常生活用具給付等の拡充を希望します。【重複障がい（身体・知的）,女性,18 歳未満】

- グループホームに入所しておりますが、親と子と施設職員との面談等交流がなく、子どもとはたびたび必要な物を持っていったり外出したり面会はしておりますが、子どもが気持ちを言葉にしなく、どのように生活しているのか、楽しく生活できているのか、いじめ等あっていないか、親として心配です。もっと施設職員の方や親との交流や研修等あればよい。行政が障害者施設や事業所の職員に研修等行い、職員の資質向上に力を入れてほしい。【知的障がい,女性,18-44 歳】

- グループホームの設置をお願いします。【知的障がい,男性,45-64 歳】

- ケアマネが来ない。連絡もない。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- ご本人は身体の障がいだけでなく、認知症があるため理解の低下や意欲の低下があります。何かサポートがあればとは思いますが個別のサポートが必要で集団での活動への参加は難しいと思います。よろしくをお願いします。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- サポートしている家族が高齢になったら親子で入所できる施設があったらいいなと思います。知的障がいだけでの活動にどんな事があるのかよく分からない。【知的障がい】

- もっと入所施設やサービスを充実させてほしい。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- リハビリや障がい部位の緩和（マッサージ等）が低料金で受けられるような施設がほしい。
【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 医療型施設。医療施設とグループホームが連携している施設があると良い。【知的障がい,女性,18-44 歳】
- 家族が金銭面で福祉用具貸与を拒否される。訪問診察や歯科受診をすと言いながら行動されず支援が難しい。【女性】
- 介護用の大人のおむつを支給して頂いていますが、おむつだけではなく、おしりふきウェットティッシュも加えて下さるととても嬉しいです。おむつは余ることがあると使い切れないため、捨ててしまうことがあります。もったいなくて悔しいです。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 外出支援など気軽に使えるよう GH の世話人やヘルパーなど人員確保できる仕組みを作ってほしい。【知的障がい,男性,45-64 歳】
- 現在一人暮らしで食事は外食や弁当。ご飯を炊いておかずのみを買う生活です。市の方から例えば食事の配達や家にきて調理をしてくれる人がほしいです。重度心身障害者福祉手当の金額を上げてほしい。視覚障がい者（弱視）のあん摩、マッサージ以外の職域を増やしてほしい。
【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 公的な老人ホームの設置。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 今ヘルパーさんと外出や居宅介護をして頂いていますが、新しくヘルパーさんになれる方がいません。若い方でも定職できるような環境作り、賃金の見直しに力を入れてほしいです。
【知的障がい,男性,18-44 歳】
- 耳が不自由な人でも参加できる施設のデイサービスで暮らしてほしい。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 自閉症で病院に通っているが、遠いので毎回大変。筑紫野市にも充実してほしい。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 主人が施設に入居しておりますが、大変よくしていただいて助かっております。入居するにあたってなかなか決まらず大変でした。今後、私どものようなご家族様が増えると思います。空き状況など明確に分かり、入居できるようになれば心強いかと思います。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 収入がなく、家族もいない障がい者が無料で入所できるような施設を作してほしい。【精神障がい,男性,45-64 歳】
- 障がいと言ってもひとまとめにはできないと思います。見ただけでわかるものもあれば、見ただけではわからないものもある。皆さんできる事、できない事もちがうと思います。見た目だけで判断せず、一人ひとりに合ったサポートを受けられるような活動に力を入れて欲しいです。何かの活動に参加して心をふさぐことのないような対応を期待しています。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 障がいにも色々ありますのでその障がいに特化した専門の相談をできる人を育成してほしい。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 障がい児向けの遊ぶ施設がほしい。室内でも室外でも子どもだけで出入りができない高いところに鍵があると「走ってどこかに行く」不安を抱える保護者のストレスが軽減できると思う。【知的障がい,女性,18 歳未満】
- 障がい者住宅のようなものがあつたらどうかなと思います（あまり目立たないような）。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 上の子にショートステイを利用させてほしい、筑紫野市での聞き取り調査では「不要」と判断されました。福岡市と比較し、とても壁がとても高く感じます。同じ基準であってほしい。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 食堂(栄養管理されている)を提供してほしい(障がい者専用)。安くて毎日食べられる日替わりメニューであれば毎日使いたい。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 数年前に市の福祉制度として補聴器(片耳用)の購入補助をしてもらった。大変有益でした。今後も補助申請の場合にはスムーズに対応していただければありがたいです。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 生活用具の支給の品目の幅を広げてほしい。おしりふき、おむつを捨てる袋など。【重複障がい(身体・知的),男性,18歳未満】
- 精神障がい3級でも支援を充実させてほしい(金銭的)。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 帯状疱疹のワクチンの助成(ストレスでよく罹患するため)。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 筑紫野市も運動リハビリ、デイサービスの充実に力を入れてください。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 通所など入所施設をもっと増やしてほしい。【知的障がい,女性,18-44歳】
- 透析しながらお泊りデイサービスを利用している。午前中透析したあとお泊りデイサービスに送迎してもらうのだが、子の都合によりデイサービスの曜日が変わった際などは翌朝に透析に向かうのに介護タクシーを利用せざるを得ず、これが結構大きな負担となっている。子も障がい者で透析患者であり、こうしたことは多いので何らかの支援をお願いできないだろうか。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 補聴器の購入サポートを行ってほしい。引っ越しして3ヶ月が経過したが何の連絡もないです。【身体障がい,男性,65歳以上】

(9) 差別等に関するご意見・ご要望

- 以前精神科に入院中、私のことをこれが、これが、と物扱いされた。そして私の足をものすごい力で蹴った(看護師さん)。【精神障がい,女性,65歳以上】
- 障がい者という言葉があるかぎり差別はなくなる。【精神障がい,男性,45-64歳】
- 障がい者への差別的ことば、行動が見られる場合、その対応の仕方など施策を考えてほしい。【無回答】
- 日々必要となる公共交通機関で接する運転手さん達、タクシー運転手さんの態度があまりにもひどい。視覚障がい者や高齢者の実情を理解できず、相手に分かりやすい説明をする配慮がない。障がい者や高齢者は日々傷ついている。障がい者用タクシーチケットを使ったら不機嫌になり、返事もしない。ニモカカードの更新の仕方が分からず困っているのに怒鳴られた。タクシーチケットを騙し取る運転手がいるから気を付けよう、親切な方から教えられたが怖くなった。このアンケートも介助者がいなければ絶対に回答できない。その場合の配慮もない。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 病院にしろ、リハビリ施設にしろ金品の盗難にあうことが何度かあった。職員のモラルの欠如につきる。騒ぎ立てると不利な立場に立たされる心配もあり、泣き寝入り状態。これも障がい者虐待と言える。なんとかしてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 理解が少ないため支障が多い。【重複障がい(身体・精神),女性,45-64歳】

(10) 災害に関するご意見・ご要望

- 福祉避難所がほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】

(11) 交流等に関するご意見・ご要望

- 健常者と障がいの双方と一緒に活動する場などがほしい。【精神障がい,女性,18-44歳】
- 健常者の子どもが通う学校と障がいのある子どもが通う学校を同じ敷地に建設してほしい。昼休みや給食の時間等、お互いに気軽に交流できて健常者も身近に障がいのある人を感じる事ができるし、手話で会話もでき、お互いに理解する事ができると思います。小さい頃に共生の心が身につくと大人になってもその心は根付いていくと思います。まずは教育から。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 現在就労支援 B 型に通所しています。学校卒業してから父兄との交流も全くなく、将来的にどのように考えられるか、現在どういう支援や方向性を考えてあり、実行されていることなどを知りたいと考えることが度々です。【知的障がい,男性,18-44歳】
- 子どもが少ないのもあるが、視覚特別支援学校に子どもを通わせていて、同年代の友達との関わりが少ないのと、放課後デイ等にも行っていますが、なかなか一緒に遊ぶのが難しい様子で何か同年代の友達と関わる場所等、何かあれば情報提供してほしい。コロナで交流の場も減っているとは思いますが、年に数回の居住地交流だけではなかなか慣れないと思います。【身体障がい,女性,18-44歳】
- 若年者の障がいがある方の交流の場などあれば行ってみたいと思います。どうしても年配の方に偏りがち。【身体障がい,女性,18-44歳】
- 障がい者と対等に話せる人がほしい。【重複障がい（身体・知的・精神）,男性,65歳以上】
- 筑紫野市は無駄な施設が多いがそのどれも使いにくいし有効に使われていない。単純に障がい者同士が無料で集まれる場所がほしい。【重複障がい（身体・精神）,男性,45-64歳】
- 田舎に引っ越してきて地域交流によく参加するようになり、ご近所の方に色々なアドバイスをいただけるようになった。講座も必要で自分自身も知識が必要だが、世間話から色々な知識が得られることを知った。つながりが大事だと感じた。もちろん本心は興味程度のことかもしれないが、温かい目で娘のことを見てくださるのを感じる。【女性,18歳未満】
- 同じ病気の方との交流（話）をしてみたい。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 内部障がい者及び家族同士が参加できる機会を増やしてほしい。情報提供が少なく広報紙を見るだけ。本人、介護者の悩みを共有できる場所がほしい。病気、専門家のアドバイスがあればなお良いと思います。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 膠原病を患い約 30 年。以前この病でうつ病にも。やはり「会話不足」話すきっかけと場がない。どうしても家にいる時間が長く、ひとりで何にも出来ない。障がいに対する理解と会話ができる場と移動を含めて検討してほしい。【身体障がい,女性,45-64歳】

(12) 啓発に関するご意見・ご要望

- うつ病で体調に影響が出てうまく動けない事をもっと啓発してほしい。今も根強く「うつは甘え」「単に怠けているだけ」「病名にかこつけて言い訳している」と思っている人が多い。企業で研修と行っても「そう言っても実際は気持ちのもちよう」だと考えを変えない管理職があまりに多すぎる。【精神障がい,男性,45-64 歳】
- たくさんの支援や制度に感謝しています。今後もより多くの方が不自由を感じにくい世の中になると嬉しい、啓発活動も頑張ってもらえるといいと思います。【身体障がい,女性,18-44 歳】
- ヘルプマーク、ヘルプカードの周知のため、公報にどのようなものかページを割いてもらえたら嬉しいです。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 家族の理解が一番、心療内科のイメージを変えてほしい。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 外見で分かる障がいは誰でも気づくが身体の中の障がいについては分かりにくいいため、主張することもできないので辛いこともある。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 学校、保育園、放デイ、児発などの先生方に研修の機会が必要と思います。何も専門知識がない人が多い。発達障がいに対する理解をもっと深めてほしい。【精神障がい,男性,18 歳未満】
- 高次脳機能障害と右麻痺があり、言語機能が失語症のため、困難な事が多い。失語症については講演会の開催や会話パートナー養成講座をしてほしい。佐賀県はコロナ中でも養成講座をしている。大人はもちろん子ども達にも失語症に対する理解をしてほしい。ヘルプマークは紙製ではなく、耐久性のあるものを配布してほしい。【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 市民講座の開催など啓発活動。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 私は外見からでは障がい者と分かりません。コロナ禍ですのであまり外出することはありません。交通機関使用等で気持ちを軽く持ててトラブル等も避ける意味で「障がい者バッチ」のようなものがあるといいと思います。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 障がいがある人の目線で見える世界を動画などでみて頂きたいといつも思います。車いす体験などの啓発活動目的で学ぶ場をよく目にしますが、イベント色が強く、その場限りで終わっていると思います。店や道路上などで実際に車いすなどから見える景色を体感し、見て頂けるような活動があればよいと思います。アンケートはインターネットで入力方式も選択できると助かります。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 家族が理解してれない。【精神障がい,女性,18-44 歳】
- 障がいについての理解や障がいのために生活保護を受けている人への偏見を無くすための活動に力を入れてほしい。障がいを持っている事ですごく人の目を気にしている。障がいを持っている人も持っていない人も互いに尊重できる社会を作るために筑紫野市から日本中に呼びかけて少しでも優しい世界にしてほしい。【精神障がい,女性,45-64 歳】
- 障がいに対する理解を深めてもらうために市報や各種広報資料に障がい者の苦労話や体験談、及び市民の皆さんに協力をお願いしたい事項などを取り上げていただき、より身近な問題として感じていただきたい。障がい者に対する就労支援の観点から障がい者を積極的に雇用する企業に対する補助金や助成金の付与、就労に対する理解並びに就労しやすい環境づくりなどに努めて頂けると有難い。【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 障がいに対する理解を深めるための講座を切に願っております。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 身体障がいと精神障がいとの理解のされ方が違うように感じるので、精神障がいの方もかなりいることを認識してほしい。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 身体障がい者が就労しやすい環境準備や周囲の理解やサポート者の育成、就労の機会の拡大を図っていただきたいです。【身体障がい,女性,18-44 歳】
- 性的マイノリティに関する興味を抱かせる啓発活動に力を入れてほしい。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 生活様式の変化やコロナによって地域との関わり方が希薄になっている。従来 of 公助というものを考え直す機会がきていると思います。市民講座等で啓発活動をやっていただきたい。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 精神障がいに対する認識がもっと広まってほしい。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 統合失調症 = 思い違いがある、頭が間違っている、と言われます。世間の認識はそうです。心療内科に通う事は心の健康の為に必要な事という考えを広めて理解を頂けるようにして頂きたいです。【精神障がい,女性,18-44 歳】
- 特別な視線を感じさせない「日常生活」のための啓発活動。障がいは何時誰にどんなかたちで降りかかるが不明。誰でも障がい者になることがあることを理解してもらうための啓発活動。【精神障がい,男性,45-64 歳】
- 内部障がいの方は外見を見ても分かりません。障がい者専用の駐車スペースに止めるにも車いすではないので気が引けます。それでも身体の調子が悪いときは止めてもらっています。しかし、その度に「ここは車いす専用スペース」と注意を受けます。話をすると理解してもらえますが、もっと多くの人に車イスに乗っている人だけが障がい者ではないということを知ってほしい。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 保育所に発達障がいの子どもの数が増えている印象があり、先生方の負担が増えているのに加配が十分にされていない。私の子は療育手帳をもっているし診断もついているのに加配の先生がクラスにいません。児発の必要性を提案できず、必要な子どもに療育がいきわたっていないように感じます。もっと発達障がいに関する勉強会などを保護者向けに行ってほしい。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 目に見えない発達障がいは一般の障がいと比べると理解してもらえていません。学校等で道徳の時間で一般の障がいだけでなく発達障がいの特性などを伝え、生きにくさがあることを子どものうちから分かるようにしてもらいたい。また他市では社協が障がい者やその家族のために週末や長期学校休暇に見学やレクレーションをしているそうだが、筑紫野市はそうした点は何もない。年一回のクリスマス会があるが、参加者が必要な上、内容が毎年ほぼ同じで小学生前の子にしか楽しめない内容。もう少し中身の濃いものにしてほしい。【知的障がい,女性,18 歳未満】

(13) 経済的支援に関するご意見・ご要望

- うちの子は発達障がい、自閉症スペクトラムです。学校にほとんど行けず、不登校状態です。理由は勉強についていけない事が多いみたいです。共働きだったので学校に連れていく事が難しかったので私が仕事をパートに代わって休みの日を増やし学校に連れていくことになったら、収入が下がったうえにまたさらに下がると正直、金銭的にきついです。ただ今は小学3年生、子どものためになればと思ってのことです。何かしら支援があれば助かります。【知的障がい,女性,18 歳未満】

- 以前住んでいた自治体では精神障がい者に対しても医療費の助成や支援金が充実していて、生活にゆとりができて暮らしやすかったため筑紫野市でもぜひ導入してほしい。【精神障がい,女性,18-44 歳】
- 医療費の控除を取り入れてほしい。【身体障がい,18-44 歳】
- 経済支援、若しくは就労の支援をしてほしい。雇用先がなく、あっても自分のような精神障がい者向けではなく内容が単調。障がい者＝高齢者や身体障がい者というイメージから、精神障がいやグレーゾーンの発達障がいや知的障がいの人たちのことも知られるように、理解されるようになってほしい。障がい者でも育児、子育てがしやすい街に変わってほしい。高齢者向けサービスばかりでは若者は福岡市に逃げてしまい、将来の市政が心配。周囲の人に障がいがあることをカミングアウトするのは当人の権利。今回のようなアンケートは必要で素晴らしいが「障がい者アンケート」と大きく表記しないでほしい。近所の人に知られたくない。【精神障がい,女性,18-44 歳】
- 経済的支援をもっと増やしてほしい。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 健常者の子どもより病院に通う頻度はとても多く医療費はかかり、またおむつやおしりふき、ガソリン代など経済的負担は大きい。収入にかかわらず経済的支援を望みます。【知的障がい,女性,18 歳未満】
- 国でも市でもいいので収入支援がほしい。車いすの人でも行動しやすい市にしてほしい。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 在宅で介護したいけれど費用が高く（介護サービスを利用しても）麻痺があるので費用が高くなります。要介護4で施設の方が安いので入所しています。在宅での経済的支援を拡大してほしい。【身体障がい,男性,65 歳以上】
- 子どもをしっかり支えてあげたいのですが母子家庭という事もあり、フルで仕事をしないと経済的にきつい。そのため自分の時間ももちろん子どもと触れ合う時間が持てない。もう少し経済的支援をしていただくと助かる。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 私は中途失聴者で現在両耳は人工内耳を装着しています。福岡県内の他の自治体で人工内耳の本体（体外機）の補助金が出る地域がいくつかありますが、筑紫野市については体外機の助成は全くありません。あと人工内耳の充電機の助成も全くありません。小都市、古賀市、筑後市は人工内耳一機の買い替えの時、上限で 100 万円助成が出ています。筑紫野市も助成金が出るようにしてほしい。人工内耳は高額のため、新機種買い替えをする場合、助成金がある方が当時者としては大変助かります。充電機の助成金も出るようにしてほしい。筑紫野市は人工内耳の助成については全くないため、今後助成が出るように市議の方へ話す予定です。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 社会保障を充実させてほしい。18 歳未満の子ども達に対し、医療を無料化。また給食費は全体で義務教育を受ける生徒に対しては原則無償化してほしい。教育費をより多く費やしてほしい。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 将来的に再生医療での障がい克服ができる公算が高まってきた為、治療費の準備を目的とした生活、福祉資金貸付制度の拡充を要望したい。【身体障がい,男性,18-44 歳】
- 障がいのため行ける病院に限られる。そのため遠い所に行ったり、何回も通ったり、医療費がかかるので子どもの医療費を福岡市のように安くしてほしい。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 障がい児の民間療法に通うための費用の補助などがあると助かります。【知的障がい,男性,18 歳未満】

- 障がい者に対して金銭的援助がほしいです。何かにつけてお金がかかるようになっている世の中で障がい者は収入がありません。年金はどんどん減らされていくし生活が苦しい。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 障がい者は全員年金を受けられるようにするべき。作業所でも無理。【身体障がい,女性,45-64歳】
- 生活保護費を上げてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 働けない時に経済的な面が心配です。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 働ける事はとてもありがたく感じています。しかし、働いた収入、障害年金2級を頂いても家賃などの固定費の負担が重いです。テレビなどで老後は何千万円貯めましょう等と言われても厳しいです。【精神障がい,男性,18-44歳】
- 入所費用がかかるのでとにかく経済的支援をお願いしたい。【精神障がい,女性,65歳以上】
- 非課税世帯なので支援金を頂いていますが、今後はやめてください。ばらまきはよくありません。次世代につけを回さないでください。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 病院に通院するため介護タクシーを使用しないといけないが、料金が高すぎる。筑紫野市の地区別、日にちを決める等して巡回して頂けたら助かる。紙オムツ代が高すぎる。1日4~5枚使用して、夜用20枚買っても5日で終了してしまう。子ども用支援があるならお年寄り支援があつていいと思う。子ども用支援は親が若い世代で働けるが、老後は厳しい。それを子が支援するにしても大学生とかを育てているのに厳しい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 物価がどんどん上がって生活が苦しくなっています。特に年金しか収入のない高齢の障がい者は大変です。補助（インフレ手当）を多くしてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 臨時給付金の支給など経済的に助かったので引き続きそういった支援があるといいと思います。【精神障がい,男性,45-64歳】

(14) 学校・教育等に関するご意見・ご要望

- うちの子は筑紫野市にある「福岡高等学園」で3年間寮生活をし、その経験が一生役立つものとなりました。希望しても入れない方々がたくさんいらっしゃる学校です。その後、障害者雇用率20%以上の会社で社員として雇ってもらっています。このような学校が筑紫野市にあること、障がいがあつても理解して雇ってくれる会社があることが、子どもの幼少期に分かっていたら良かったなと思ひ、書かせていただきます。高等学園は寮が無くなるかも、と聞いています。親と離れて寮生活をする事で将来への自立につながつたと思ひます。【知的障がい,男性,18-44歳】
- 学校に支援員の先生を増やしてほしい。支援級の人数が多く補助をしてくれる先生が足りていない。【精神障がい,男性,18歳未満】
- 学校の支援員が少ない（小学校）。デイサービスの数が少ない。利用時間を増やしてほしい。小学校の心理相談の時間が少ない。カウンセラーを配置できないか。手帳で優遇される施設が少ない。発達障がいの啓発活動に力を入れてほしい。手帳を持っていない方でも参加できる場を増やしてほしい。デイサービスで中高生が利用できる施設が少ない。【精神障がい,男性,18歳未満】

- 肢体不自由の学級ができれば一人に対し一人付き添いがつきますと伺いましたが、やはり今は親と移動したり抱っこでトイレに連れていったり常にだれかがいるけれど6人に1人の付き添いではとても心配なところがあります。親が介護でつきそいができるなら、そうしてあげたいし親としてできる事は全て娘に捧げたいと思っています。【身体障がい,女性,18歳未満】
- 障がいに対する知識を深め対応レベルに差が出ないようにするため先生方(学校)に研修を受けてほしい。学校に図書先生や保健先生がいて当たり前のように障がいの専門の方(児童指導員など)も各学校に常駐させてほしい。せっかく地域の中学校へ通っているのだから交流クラスと一緒に学べるような教育環境を作ってほしい。交流クラスと一緒に学ぶことはお互いに先生方に良くも悪くも相乗効果で良い方向性ができると思います。分ける、区別することはよくない。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 障がいのある子どもたち向けの習い事の方がほしい。大きい所だとスイミングや体操など見学さえ行けないので。障がいのある子の親同士のコミュニケーションの場も作ってほしい。講演会のような大きな所ではなく、雑談のようにお話ができた方が聞きたいことも聞ける。情報の共有も強く願います。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 障がい児が選べる選択肢を増やしてほしい。学区の変更など。公的な場所に落ち着けるスペースを作ったり、バリアフリーの公園があったりすると嬉しい。文化的な活動ができる施設がどこも離れているので利用が大変。園や学校に専門家を配置してほしい。【精神障がい,男性,18歳未満】
- 特別支援学級の保護者同士で話す機会があるので時折思うのですが、学校によって支援級の質が違いすぎるのではないかと思います。「合理的配慮という言葉を知っていますか」と聞きたくなるような教員もいます。また支援級以外の先生方が障害特性について理解していないと思われる言動も良く見聞きます。人員不足で特別支援級を断られた方も身近にいます。障害福祉と教育は別物と考えず、もっと連携してください。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 来年中学校に入学します。今の小学校は理解のある先生に出会い、子どもに寄り添っていただき、子どもに合ったサポートをして頂いております。中学校に入ると小学校のようなサポートができないと言われていますが、脳は小学校低学年の子どもなのにサポートできないと言われるのは本人も不安だろうし親も心配になり、この先が不安です。年齢は12歳ですが中身は小学校低学年の子どもに中学生の生活は難しいと思います。その子にあった支援をして頂けるようになってほしい。【知的障がい,男性,18歳未満】

(15) 家族・介助者等に関するご意見・ご要望

- 介護にかなりの金額がかかるが施設入所しても家族の負担はあります。民間のサポートは高額で病院付き添いなどスポット依頼でき、負担があまりかからない公的システムがほしい。障がい者や高齢者は家のゴミ出しも大変、地域サポーターなど募って安価で対応してくれたらいいと思います。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 障がい者のケアも必要であるが、それをサポートする人へのケアも大切である。わがまま等を聞いたり、時間を合わせたり、全部を合わせる事も難しい。何とか合わせよう、要望に応えようと無理をしまいストレスがたまる。サポートする人へのケアも考えてほしい。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 要介護者の家族は施設経営者及び関係者にものが言えない状況下にある。行政は形式的調査にとどまらず内部の運営実態に積極的に介入すべき。本人、家族はただただ我慢するしかないのが実態。【身体障がい,女性,65歳以上】

(16) 外出・移動に関するご意見・ご要望

- 80才後半にもなると足腰痛なくなってくるので買い物等が心配。【身体障がい,女性,65歳以上】
- JR 二日市より西へのバスがないためそちら方面へのバスがほしいです。カミーリヤの利用料が高いのとカミーリヤ行のバスがもっと欲しいです。カミーリヤ、勤労青少年ホームに行きにくい。コミュニティバスが1日2本のみ。二日市近くに屋内型のトレーニング施設がほしい。【身体障がい,男性,18-44歳】
- コミュニティバスをもっと増やしてほしい。障がい者同士の交流をサポートしてほしい。【身体障がい,女性,45-64歳】
- タクシー券を復活してほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】
- つくし号で交通系のICカードが使えない。バスの中で財布から小銭を取り出すのが難しく前もって準備して手帳と100円玉を握りしめて乗る。ニモカを西鉄で使う場合、障がい者用なので手帳を出す必要もない。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 運転免許を返納した時に困るのは買い物でバスの本数も少ない。住民が利用できるバスを増やしてほしい。他の市は多く感じるが天拝坂はほとんどそのバスは見たこともないので。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 遠隔地に住んでいる子どもの世話になることが多いため、基準を設けて遠隔地家族の交通費支援があればありがたい。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 介護している年数が多くなり（長期間）、家族の方も高齢化してきているので不安になります。老々介護となっても本人の通院のために車の運転が必要です。病院等の送迎（デイケアなどではなく）サービスが充実されればと思います。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 介護タクシーチケット配布対象者について。在宅～病院利用が使用目的として多いと思いますが、病院～病院の場合、該当しないと説明されチケットを頂けない事がありました。病院の利用証明等の提出でチケットを頂けるよう前向きに検討して頂ければ経済的に助かりますのでよろしくお願いします。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 現在交付の福祉タクシー利用券を570円×48枚の限度額で公共交通機関で利用できるカード等の交付を検討してほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 災害時、通院の為に交通手段の確保。電車、バスが止まった場合。【身体障がい,女性,45-64歳】
- 市には温泉があるがそこまでの便は使いにくい。役所も便が悪くなった。病院にも行きづらい。バスの利用が悪い。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 私は透析をしているのでタクシー券を頂けるのですが、1回に1枚しか使用できないので遠方の病院の時など数枚使用できたらいいなと思います。いつも余りは返却しています。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 視覚障がいのため運転ができません。現在は両親や友人がサポートしてくれていますが、高齢になった時の通院など色々と不便になるので心配しています。【重複障がい（身体・知的）、男性,18-44歳】
- 時々西鉄バスを利用するのですが、福岡市内で使用後古くなった車両を使っているのでは？と気になります。福岡市内では電車のシートのように4人掛けシートがあります。杖を使っていると現在のいすは不便です。市から西鉄に要望していただけないか。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 車移動が必須です。障がい者用駐車スペースが増えると嬉しい。車の横にスペースがあると車いすへの移乗もスムーズにできます。【重複障がい(身体・知的),女性,18歳未満】

- 巡回バスの無料化をしてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 障がいのため公共交通機関が使いません。通院などに高速道路を使いたいのですが、精神では割引がありません。身体と同じように割引というのはできないのでしょうか。できるようになるとありがたいです。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 障がいの値が5級の2種なので他人からみると普通だと思われていて電車、バス等で優先席に座ると冷たい目で見られる。無理をして立っていた事があり、案の定体調が悪くなった。もう少し利用しやすいようになれば良いと思う。駅などによっても西鉄二日市西口や朝倉街道上り方面等ホームから上って来るときはエスカレーターがついていてもホームに下りる時は階段を下りないといけない。道路も狭い所が多いので一人で歩くのは怖い。少しずつでも改善されることを願っています。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 障がい者に限らず高齢者も多いのですが、循環バスが家の近くを通っておらず、外出等かなり不便。カミーリヤ号、つくし号の運行するコースを変更してもっと便利になればと思います。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 障がい者は一人で外出は難しい。障がい者も楽しめるイベントあっても外出(送迎)を考えてほしい。家族の負担を減らせるようにホームヘルパーの利用を考えてほしい。【身体障がい,女性,45-64歳】

- 色々の講座等参加したいけど交通のことを考えた場合、なかなか参加しにくい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 精神障がい者でも高齢になると足腰が弱くなり、病院へ診療、お薬取りに行くのに階段や歩行が困難な時があります。現在タクシーの1割を使用させて頂いていますが往復3500円かかります。病院行きだけ使用できるタクシー券を発行していただけないか。3500円は痛いです。【精神障がい,女性,65歳以上】

- 大野城とか春日とかタクシーの券をもらえるのに、筑紫野は半身不随なのにももらえない。車イスの人しかもらず、足が少し動くけどあぶなく近所を少ししか歩くことしかできないので困っています。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 筑紫野市福祉タクシーの券、年間50枚は少ない。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 二日市北に住んでいます。図書館をはじめ公共施設、交通機関など太宰府市の分を使っています。カミーリヤ号など市民が使いやすくする工夫が必要です。【身体障がい,65歳以上】

- 病院などに行く時に福祉タクシー利用券を使っております、本当に感謝しております。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 福祉タクシー券を頂いているが住んでいる所が山間部なので初乗り料金だけでは支払額が高くて、西鉄やJRの駅、スーパーなどへの移動に使えない。結局は主人に無理を言って車で送迎してもらっているの福祉タクシー券は使っていない。タクシー1回乗車で3、4枚使える金券にしてほしい。またはニモカチャージできるようにしてほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 福祉タクシー料金助成事業の対象者の条件が筑紫野市では「肢体不自由（上肢を除く）の1級又は2級の者」、「肢体不自由（上肢を除く）又は平衡機能障害の3級の者で他の障害が重複することにより身体障害者手帳の障害等級が1級又は2級となる者」となっていますが、非常に厳しい条件です。筑紫地区や近隣市町では筑紫野市と大野城市だけです。ほかの市町では下肢の肢体不自由が3級以下でもほかの障害があることで2級以上となっている場合や障害者手帳の等級（2級以上）だけで支給対象となっています。ぜひ筑紫野市も支給対象の見直しをしてください。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 立派な新庁舎ができましたが、旧庁舎よりタクシーで降りてから庁舎までの入口が遠く歩くのに不自由。タクシーで降りてすぐの所に歩行器など置いてほしい。庁舎内には1台だけ置いてありました。【身体障がい,女性,65歳以上】

(17) アンケート調査に対するご意見・ご要望

- 「障がい者実態調査」と記載して送付することは、障がいのある人に対する配慮が足りていないとしか思えない。【精神障がい,男性,18-44歳】
- 97才。話もできなく施設に入っている。本人の意思は全く分かりません。寝たきりの話もできない人に対してアンケートをしても意味がありません。【身体障がい,女性,65歳以上】
- アンケートの項目が多すぎる。調査結果がどれだけ活かされるか不明。アンケート結果は公表するのか。企業の障害者雇用率の向上（公共、自治体も同じ）のための対策。【身体障がい,男性,65歳以上】
- アンケートの間が多すぎます。問27は表現に一考を要すると思います。【身体障がい,男性,65歳以上】
- アンケートをネット上で回答できるようにしてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- アンケートを送らないでほしい。【精神障がい,女性,18-44歳】
- アンケート集計結果は。【身体障がい,男性,65歳以上】
- こういったアンケートを募るのは大変有用であると感じるが、回答冊子と返信用封筒のサイズのアンバランスさに多少モヤモヤした気持ちを覚える。【精神障がい,男性,18-44歳】
- このアンケートで家族に聞いても分かりにくい質問があったため、もう少し平易、具体的な文章にしてほしい。セキュリティ上難しいかもしれないが、QRコードで読み取ってネット上で回答できたら便利だと思った。【精神障がい,女性,18-44歳】
- このアンケートを回答したことによって少しでも何かの役に立てることを心から願っています。【身体障がい,女性,18-44歳】
- 計画なら誰でもできる。実行できるアンケートにしてほしい。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 今回のアンケート調査の封筒に「障がい者実態調査在中」と印字されていました。プライバシーの配慮の無さに驚きました。子どもがこの封筒を見て「ぼくは障がい者なの？」と聞いてきました。子どもの年齢に合わせて説明をしていたので言葉に詰まりました。この封筒を見た方、全員が宛名の人が障がい者であると分かるやり方はいかがなものでしょうか。大変残念に思います。【精神障がい,男性,18歳未満】
- 障がいのアンケートが数年に一度きますが、「広報ちくしの」のトップで特集を組むなどして税金をそっちに使ってください。市民の声をちゃんと有効に使ってください。【精神障がい,男性,18-44歳】

- 生活補助用具等の承認が他市町村に比べて下りやすいので非常に助かる。困ることは個人的にはないが、逆に筑紫野以外だと各種認定や補助が下りにくいいため転居できない。このアンケートにソフト面の質問が少ない。「安心して暮らせているか」「幸福度」「自己肯定感、自己実現」そうなるためにどのようなことが必要か、など。【身体障がい,女性,18-44 歳】
- 対象年齢が低いため回答があいまいになる箇所が多い。対象年齢を考慮してください。無作為にしてはアンケートの有意差や信頼度は低い。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 内容が機械的で重複が多い。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 封筒に「障がい者実態調査」と記載があることが気になりました。受け取った側の気持ちにもう少し配慮が欲しいと思います。【知的障がい,男性,18 歳未満】
- 封筒に「障がい者実態調査」と明記しないでほしい。【精神障がい,男性,18-44 歳】
- 封筒に「障がい者実態調査在中」と記載されていますが、個人情報になると思いますので表に書かないで頂きたいです。【無回答】
- 封筒に大きく「障がい者の実態調査」と書いている段階で配慮に欠けていると思う。個人情報の漏洩にあたると思う。同じ日に市から届く書類が二通あった、もったいない。同じ時期に市に提出する書類はまとめて送ってほしい。平日の日中に家を空けられないのに提出した数日後にまた来る。市で障がいのある人のデータはどの程度まとまっているのか。疑問がある。【身体障がい,男性】
- 返信用封筒が小さい。【身体障がい,男性,18 歳未満】

(18) 市の施策や市役所窓口に関するご意見・ご要望

- いつも丁寧に対応していただき感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。【男性,45-64 歳】
- いつも役所の方が親切でうれしいです。【身体障がい,男性,45-64 歳】
- 福祉の現場で働く人達への支援。賃金、職場環境の整備、充実。コミュニティバスの拡充による外出困難の解消。バスの本数、バス停の増設等。見守り体制の充実。【知的障がい,男性,18-44 歳】
- 以前、市役所にリハビリ等ができる場所の相談に行った際、若い男性の職員の方から「リハビリができる施設はない」と言われた。そんなわけないと思って自分で調べたらデイサービス等の施設で受けられることが分かった。職員の方が分かっているのはどうなのかと思った。困っている人がどんな思いで相談にきて助けを求めているのか分かってほしい。何も情報が得られなかった事にどれだけ絶望したか、分かってほしい。国が法改正をしたところで役所の方でその対策や支援を理解していなかったり、把握できていなかったりすれば地域で助けを求めている人に手を差しのべる事はできない。法改正された事ですぐにでも利用したいと思っている人は沢山いる。もっと親身になってほしい。【身体障がい,女性,18 歳未満】
- 医療証を利用させてもらっています。とても助かっています。ハートプラスマークも市で配布していただけるとありがたいです。ヘルプマークは活用させていただいています。【身体障がい,女性,45-64 歳】
- 介護認定の評価が曖昧だと思います。障がい者に冷たい筑紫野市。お金のある人には特別で、無い人には厳しい。差別がある。【精神障がい,男性,65 歳以上】

- 学童期→学校や知人等からの情報や児童手当の援助もあり、過ごしやすい環境でした。成人（大人）→行動範囲が通所施設と家の往復になって、家で過ごす時間が増えているので、いざ親に何かあった場合などの不安はあります。本人の特性を理解していただくのが難しく、薬のこともあり施設や相談員さん、ヘルパーさんとの情報をこまめに入れておかないといけないと思うこの頃。筑紫野市は色々なサービスがあって助かっています。これからも障がい者と家族の見守りをよろしくお願いします。【重複障がい（身体・知的）,女性,18-44 歳】
- 高齢のため、障がいと介護をごちゃまぜにされる。重度の障がいのサポートが欲しいのに高齢（介護）を優先され、訳が分からなくなる。特に目が見えないと肢体不自由の障がいを介護扱いにされる。また日常や日中はひとりで家にいるにも関わらず、家族と一緒に生活しているというだけで介護保険に制限があり障がいのサポートも受けられない。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 高齢の親だと子どもが市外の人も多いと思うのでもっと市外からでもネットで手続きができるようになってほしい。本人が全く動けない（意思疎通も困難）人にマイナンバーや健康保険に紐づけとか、更新も必要とか、しかも市外にいたので本当に困難です。色々なケースがあることを知ってほしい。【身体障がい,女性,65 歳以上】
- 子どもの発達に関して最初に保育園から私的を受けた際、市の療育相談室への相談を勧められたため相談へ行きました。その際、療育を受けるためには受給者証が必要でその担当は福祉課のため、福祉課で手続きをするようにとのことで福祉課へ行くと子どもの発達のことに関してもう一度最初から説明をしなければいけませんでした。療育相談室での相談時に必要な情報を他部署、他機関へ情報提供して構わない旨の同意書にサインをしていたはずなのに、何も情報の共有がなされておらず、何度も同じ説明をしなければいけなかったのも、各課において担当する内容に違いがあったとしてももう少し連携できないのだろうかと思いました。市民の方の中には悩んだ末にやっとの思いで相談をしたにも関わらず連携ができておらず、同じことを何度も話さなければいけない状況が続くことで不信感へとつながり、その後サポートへとつなぐことができなくなってしまうこともあるのではないかと感じました。また相談するまでも予約がいっぱいで待機をしなければいけない期間があること、相談後の受給者証の手続きは違う部署で行って、手続きから発行までに待機の期間があること、実際に療育を受けるための支援計画は支援計画を立ててくれる事業所を自分で探してほしいことなど、一言で療育を勧められても実際に療育を受けられるようになるまでの手間とステップがかなり多く、共働きが多い子育て世帯にとっては何度も出向かなければいけない状況は負担が大きいです。療育を勧められて受けさせたくても手間とステップの多さになかなか手続きの時間が取れず、断念した友人家族もいます。情報提供、相談、受給者証の発行、支援計画の策定、その後のサポートまで全て1つの場所でできる体制を整えて頂けるととても利用しやすく、また継続的な支援もできて、市の方への安心感へとつながると思います。【精神障がい,男性,18 歳未満】
- 市役所の窓口ではいつでも親身になって頂きたい。【精神障がい,女性,18-44 歳】
- 市役所の窓口で手続きの話をして伺いましたが、指示通りの書類を集めましたが、それは必要なく無駄だったため専門的な知識のある方が対応されるか、一方的に指示されるのではないようにしてほしい。市内で障がい者が利用できる宿泊施設を増やしてほしい。もっと便利のよい場所で保護者の急な出事にも対応していただける所があればと思います。【知的障がい,男性,18-44 歳】
- 自立支援医療制度や障がい者手帳を申請（更新）する時にネットや郵送でもできるようにしてほしい。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 小郡市にサポネットおごおりという支援センターがあり、その中の事業で移送サービスというのがあります(有償)。数年前筑紫野市でそういうサービスがないのかをおたずねした事があるのですが、タクシー券をくれと言っていると勘違いされたようで軽くあしらわれました。もっと近隣の地域でどのような支援がされているのかをもう少し知識として持っていただければ、その時のような見当違いな回答をされずにすむのではと思います。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 障がいがあっても参加しやすいように、というよりも障がいのある、なしに関係なく当たり前社会参加していけるような地域にしていけるように市民一人ひとりの声が届きやすい、風通しの良い行政であることを願っています。【精神障がい,女性,18-44歳】

- 障がいをお持ちの方の生活(経済活動を含む)を考えた行政であってほしい。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 障がい者に対して親身になって話を聞いてくれ、丁寧に教えてくれる職員もいるが、障がい者福祉担当の職員の方だけではなく、市役所全体の職員の方々が障がいに理解を深めてほしい。失礼な態度を取られ傷ついたことがあるので市役所全体で障がいについてしっかり考えてほしい。利用者や市民のことを考えて真面目に仕事をしていただきたい。現状を改善してほしい。配偶者ですらうつ病への理解が乏しいどころか偏見を持っている面もあるので家族向けに理解を深めるような啓発活動やパンフレットの送付などしていただけると有難い。【精神障がい,女性】

- 障がい福祉のご担当者の対応が悪く、何の説明もされず立ち去られ、放置状態でしたのできちんと最後までどうすべきかの指示をしてほしいです。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 障害者支援に力を入れてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 障害福祉担当の職員が申請内容を理解していないのにそのまま処理され、度々市役所へ出向くことが多い。市役所職員も相談という話を聞くだけでなく、教育の場や就労の場実際に足を運び、現場を知ってほしい。全て想像で終わってしまい話を聞くだけの場所になっている。その結果を広報紙につなげることで質が高まるのではないか。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 先日の選挙投票に身内の者に車いすで投票所に連れていってもらいました。その時、投票所入口からは担当の係員さんに車いすを押すのを交代されます。入口左側に若い女性の方々が4、5人座っていらっしゃいましたが、皆さん「私はできない」という素振りでした。どのような不自由な方々がみえても対応できるよう事前に教えていてほしかったです。私も中途障がい者になり、健常者の時はどのような接し方をしていたかなと反省いたしました。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 筑紫野市の福祉施策には概ね満足しています。窓口でも対応は親切だと感じています。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 筑紫野市は何もしてくれない。メールをしても定例の文でしか返信しない。自分達が知っている知識を並べるだけ。市民のために働いているのではなく、自分の生活のために市役所に通っているだけ。勘違いしている。車いすを押して市内の道路を歩いてみたことがありますか?少しの傾斜でもどれだけの力があるか知っていますか?介護タクシーの費用がどれだけ高いか知っていますか?もっと違う事に税金を使ってください。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 筑紫野市役所の方は親切な方が多いです。助かっています。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 認可の保育園に通っているときに障がいがあり、先生たちの支援に限界があることで転園を勧められました。それに対して不満は全くありませんでしたが、結局自分でいろんな所に電話したり専門の方に聞いたりしても詳しくは分かりません。とても大変な思いで毎日探しました。今となっては児童発達支援の方々や計画書を作成して下さる方が手厚くサポートしてくれたので良かったのですが、行政のサービスは聞かないと教えてくれないし、それに手続きもいろんなところに行かないといけないし、時間はかかるしもっと簡素化できないのかなと思います。子どもが大きくなる度にその記憶があるので次は何をしなければいけないのかとその面で不安です。【知的障がい,男性,18歳未満】
- 福祉関連窓口の明確と啓蒙を。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 別居の扶養親族がいます。（我が家は非課税世帯です）そのため国の緊急生活支援金（10万 or 5万）が受け取れないでいます。別居の扶養親族がいて同居していなくても国からの支援金を受け取れるようにしてほしい。障がい者は無料でカミリアのバスに乗車できるようにしてほしい。太宰府市は全員無料です。タクシーの割引を20%にしてほしい。お弁当を割引価格（200円位）で市役所を通して配布してほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 毎年自立支援の申請で市役所に行きますが、いつも親切で丁寧な対応をしていただいて嬉しいです。ありがとうございます。【精神障がい,女性,45-64歳】
- 有難く思っています。福祉課の皆様と市民の皆様に感謝です。【身体障がい,男性,65歳以上】

(19) 其他のご意見・ご要望

- 2018年3月8日心機能不全によりペースメーカーを入れる（83歳）。障がい者1級、3年したら4級になった。腰痛と両足が重いので整形外科に通院しているが車は自分で運転できる。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 2年間お世話になりました。親切にしてください感謝しております。【知的障がい,男性,18-44歳】
- JR二日市駅西口の利便性の向上。西口の商業施設設置。二日市温泉施設の利用促進にかかる県民への広報。都心に一番近い温泉のメリットをことあるごとに宣伝。観光課と商工会議所と民間施設（資本）を巻き込んだ施策。【身体障がい,男性,65歳以上】
- カミーリヤの空き部屋の整理。以前はヘルストロン、血圧計などあったと思いますが、今は荷物置場になっているのが残念です。【身体障がい,女性,65歳以上】
- カミーリヤ健康測定室のトレーニング器具、トレーニングスペース他の充実を図ってほしい。上記と同様の施設の数をもっと増やしてほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】
- まだ元気です。【重複障がい（身体・精神）,女性,65歳以上】
- もう少し一人で頑張っていこうと思っています。【身体障がい,女性,65歳以上】
- 何も期待していない、このままでよい。【身体障がい,男性,45-64歳】
- 介護、費用等のサービスで本当に助かっています。【身体障がい,男性,65歳以上】
- 皆全て平等だし同じ人間だし、自然とまた出合う場が必要ですね。終活や遺言書を書くことは大切だと思います。生まれてきた時の周りの喜びと同じように次の世への旅立ちもとても大切だと思います。【重複障がい（身体・知的・精神）,女性,65歳以上】
- 公共機関等のシルバーシート、障がい者専用シートの活用。特にJRはひどい、若者が座っている。県条例にて罰則を作してほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 高齢の障がい者のため、役に立てる回答はなかったとおもわれます。筑紫野市は高齢障がい者に優しい街だと感じています。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 今のままで満足です。【精神障がい,男性,45-64 歳】

- 妻が健康なうちはとくになし。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 作業所に行ったり行かなくなったりして1年前の12月頃から休みが多くなり、7月には辞めなければいけないようになり、今は自由に時間を過ごしています。【知的障がい,男性,18-44 歳】

- 家族と仲良く理解したい。昔と違ってなかなか家族の中に入れない。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 思い浮かばない。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 施設に入所しているので一部しかお返事できていません。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 私は難聴で補聴器を使っていますが、安物（片側17万円）のためか対話の時、声が割れる感じで音は聞こえるが、言葉が聞き取れない事がある。その上に間にアクリル板があれば尚更です。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 手帳を頂いてやっと一年が経ちます。自分が思っている視野と現実の視野の差が大きく、ドキッとする事が多くなっています。先日市役所へワクチンを受けに行き、帰りに1階への階段を下りる時、段差が見えず危く転ぶところでした。自分のできることとして家事をしっかりとやって行きたいと思っています。【身体障がい,女性,65 歳以上】

- 重度の知的障がいがあり、意思疎通が難しい。こだわりが強く毎日のルーティンが止められません。体力が人並み以上にあり、作業所から帰宅後、近所の公園にランニングやストレッチにいきますが、ソーシャルディスタンスや三密が理解できません。人懐こく、すぐあいさつに行ったり、グータッチをしようしたり、不審者や痴漢に間違われます。コロナになり毎日下校時間を避けて真っ暗になるまで外出しないようにしています。いつまでもつやら不安です。親も年なので毎日付き添うことはできません。2010年から毎日続けていますが不審者や痴漢に間違われる度、親は何をしているのだと注意を受けます（警察から）。他人に危害を加える事は全くありませんが人によっては防衛本能で逆のケースもあるので難しいのでしょうか悲しいです。逆に年配の方には好意的に見守って下さる方もいます。笑顔であいさつするからでしょう。【知的障がい,男性,18-44 歳】

- 障がいと言っても私の場合は精神で手帳を取っていますが、身体的病気も抱えて一人で子どもを育て、家事育児をしています。頼れる親族も今はほとんどいません。別居中の夫は時々助けてくれますが、夫をサポートしないといけない事も多く、一概に手帳を持っていることが障害ではないと思います。人一倍苦労して家事、育児をこなしています。体がきつくて家事が大変だと思いますが能力が人よりないわけではなく、食物調理の資格も一級を持っている程ですが、身体の不調ゆえに精神が不安定になる事もありますし、サポートが必要だと感じる事が多いです。障がいがあって自分で認めて通院をしている人は正常です。そうではない他害をする人達は自分が病気である事を認めず、家族を含め社会を悩ましている事を考えていただきたいです。【精神障がい,女性,18-44 歳】

- 障がいに対する支援があり、利用させてもらっています。ありがとうございます。【身体障がい,男性,45-64 歳】

- 障がい者（視覚障がい）ですが、まだお薬や目薬がいます。お薬代を無料でいただいているだけで有難く思っています。目の他は元気にしています。【身体障がい,男性,65 歳以上】

- 障がい者に対してもっと優しい国であってほしい。【身体障がい,女性,45-64 歳】

- 障がい者の障がいの程度と本人の希望した生活様式と程度を自立的に生活が可能な社会的インフラを充実してほしい。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 障がい者も健常者も認め合う、助け合う当たり前の社会になりますよう。【重複障がい(身体・知的),女性,45-64歳】

- 障がい者医療軽減制度に助けられています。ありがとうございます。【身体障がい,男性,65歳以上】

- 政府給付金の支払いが家族に課税の人がいると給付できないので生活に困っています。今まで1回だけは助かりましたが昨年今年と困っています。【男性,65歳以上】

- 生活できているのでありがたい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 精神手帳はお守りみたいなものです。わからない時は周りに聞きにくいし、きけない時福祉課で教えてもらったり、お願いしたりできるので助かっています。精神手帳、自立支援(てんかん)の更新通ればよいなど待っているところです。役所の人でもしっかりした人に聞いてもらわなくてはダメだと思いました。【精神障がい,女性,45-64歳】

- 昔は筑紫野、二日市は温泉もあり、賑やかな街でした。今は時代も代わり、大型ゆめタウン、イオンが周りにでき、二日市中央は寂しくなりました。街を今の時代に遅れないように守ってください。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 筑紫野に30年近くおりますが、右足が痛み不自由で歩行器を使って生活しています。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 筑紫野市には「障がい者・児を考える会」がありますが、会長のやり方等に賛同できず、会に入っていない人も大勢います。市教との話し合い、情報提供の場には会のメンバーでなければ参加できず発言権さえももらえません。会以外の障がいを持つ親でも参加し、発言できる場を市側でも体制作りをしてもらいたいです。また元会員でも考え方が合わず止めていった人もたくさんいます。NPOなので市は入れないのかもしれませんが、年度末の収支報告も言わないとももらえない。またもらっても内容不明な点も多いので一度こちらもしっかりとチェックしてもらいたいです。【精神障がい,女性,18歳未満】

- 筑紫野市は山が多いため、山中に施設を作る等、インフラ等が無策、考えてほしい。【男性,65歳以上】

- 町内会等の役員等、年齢制限を設けてほしい。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 年金で引かれる市民税と県民税が高く感じる。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 白血病が難病になると思います。【精神障がい,男性,45-64歳】

- 非常に便利で自然豊かな町ですね。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 病院へ入院中です(6年目)。寝たきりで胃ろうをしています。会話は出来ません。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 夫が仕事できず子ども2人、何も手当なく辛い。【身体障がい,男性,45-64歳】

- 偏食で給食が白飯以外美味しくない(食べられない)時が多く、苦痛と本人から聞きました。公園の遊具(一部分)が減らされたままで新しくならない(追加されない)。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 母です。2才上の兄はダウン症で日中は母親一人で2人と行動をするのですが、買い物などへ行く際、上の子は車を怖がり動けなくなる（慎重な特性のため）、下の子は手を繋いでいないとパッと飛び出す（多動性もあるため）など駐車場で困ることがよくあります。2人共、療育手帳B1なのでまごころ駐車場の利用はできません。小さい時だけかもしれませんが、今とても大変で外へ出る事（必要な買い物）がとても億劫です。まごころ駐車場の利用証を交付して頂きたいです。【知的障がい,男性,18歳未満】

- 北九州の下関で育って、名古屋に行ったので地域とのコミュニケーションが取りづらい。友達は宗教に入って安定している人が多くて付き合いづらい。独りぼっちで毎日過ごす。お金も足りなくて困る。相談する人もいない。

- 未来に対する希望ある社会をつくる。環境に優しい国、地方自治体であるよう。差別や偏見のない明るい未来。障がい者に優しいバリアフリーなど充実すればいいと思う。【知的障がい,男性,45-64歳】

- 民生委員の方にはお世話になりたくないです。私は嫌いです、おしゃべりなので。福祉委員の方は特に。【身体障がい,女性,65歳以上】

- 娘は働きたくても目が上がっていつもきつい姿しか見れず、悲しいですが、娘も頑張っているので私達が支えればよいと思っています。【重複障がい（身体・精神）,女性,18-44歳】

第4章 調査票

ちくしのししょう しやじったいちようさ 筑紫野市障がい者実態調査

きょうりよく ねが ご協力のお願い

ひごろ ちくしのしふくしぎょうせい りかい きょうりよく たまわ あつ れいもう あ
日頃より、筑紫野市福祉行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
ちくしのし れいわ ねんど かいしねんど だい きちくしのししょう しゃふくしちようきこうどう
さて、筑紫野市では令和6年度を開始年度とする「第4期筑紫野市障がい者福祉長期行動
けいかく さくてい よてい
計画」の策定を予定しております。
たび みなさま にちじようせいかつ じようきよう しようぼう うかが ちようさ じっし
この度、皆様の日常生活の状況やご要望などをお伺いするため、アンケート調査を実施
し、計画策定の基礎資料としたいと考えています。
ちようさ むきめい みなさま なまえ かいとうないよう がいぶ かいとう
調査は無記名であり、皆様の名前や回答内容が外部にもれることはありません。また、回答
しゅうし りかい ちようさ きょうりよく ねが もう あげ
していただいた内容は別の目的で使用することはありません。
趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。
れいわ ねん がつ ちくしのし
令和4年11月 筑紫野市

※このアンケートは、市内の身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者の
かた なか 3,000人 にん そうふ
方の中から3,000人に送付しています。

きにゆう ちゆうい ご記入にあたっての注意

- この調査票は、できる限りご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。質問文等でわからない
ひょうげん ことば ばあい てすう かぞく かたなど ほんにん そうだん ほんにん たちば
表現や言葉がある場合は、お手数ですが、ご家族の方等が、ご本人と相談したり、ご本人の立場に
なってお答えください。
- ご本人の回答や記入が難しい場合は、介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談した
り、ご本人の立場にたってお答えください。
- この調査は、無記名方法です（名前や住所を書く必要はありません）。
- この調査は、令和4年11月1日の状況でお答えください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答はあてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 答えたくない人やわからないことは、無理に答える必要はありません。
- この調査票を記入後は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに12月9日（金）までに
とうかん ねが
ポストに投函していただくようお願いいたします。

ちようさ かん と あ
【調査に関する問い合わせ】
ちくしのしけんこうふくしぎせいかつふくしかしろう しゃふくしたんとう でんわ
筑紫野市健康福祉部生活福祉課障がい者福祉担当 電話：923-1111(内線426~429) FAX：923-5230

この調査票の回答者についておたずねします。

◎この調査票はどなたが回答・記入しますか。(〇は1つだけ)

- 1 本人が回答または記入する
- 2 他の人が本人の意思を確認しながら記入する
- 3 本人の意思を確認するのは困難であり、他の人が回答・記入する
- 4 その他 ()

★この調査票で「あなた」とは封筒の「宛名の方」のことです。

あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの年齢は何歳ですか。
令和4年11月1日現在の満年齢

 歳

問2 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1 持っている | 2 持っていない -----> 問6へ |
|---------|---------------------|

<問3で「1」と回答した方におたずねします。>

→問4 あなたの身体障害者手帳の障害の等級はどれですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 1級 | 4 4級 |
| 2 2級 | 5 5級 |
| 3 3級 | 6 6級 |

<問3で「1」と回答した方におたずねします。>

→問5 あなたの身体障害者手帳に記載されている主な障害名はどれですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 視覚障がい | 4 肢体不自由 |
| 2 聴覚・平衡機能障がい | 5 内部障がい(心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこ) |
| 3 音声・言語・そしゃく機能障がい | う・直腸・小腸・肝臓・免疫機能障がい |

問6 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

1 持っている

2 持っていない -----> 問8へ

<問6で「1」と回答した方におたすねします。>

-> 問7 あなたの療育手帳の障害程度はどれですか。(○は1つだけ)

1 A1

4 B1

2 A2

5 B2

3 A3

問8 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

1 持っている

2 持っていない -----> 問16へ

<問8で「1」と回答した方におたすねします。>

-> 問9 あなたの精神障害者保健福祉手帳の障害の等級はどれですか。(○は1つだけ)

1 1級

2 2級

3 3級

<問8で「1」と回答した方におたすねします。>

-> 問10 あなたの主な診断名は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1 統合失調症

8 不安障がい

2 うつ病

9 摂食障がい

3 躁うつ病

10 認知症

4 てんかん

11 パーソナリティ障がい

5 精神発達遅滞

12 その他 ()

6 アルコール依存症

13 はっきりした診断名はわからない

7 その他の薬物依存

<問8で「1」と回答した方におたずねします。>

問11 あなたは、現在、精神科の病院に通院・入院していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|----------------------|
| 1 入院している | 2 通院している -----> 問14へ |
|----------|----------------------|

<問11で「1」と回答した方におたずねします。>

問12 あなたは今回で精神科への入院は何回目ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1 今回初めて | 3 3～5回目 | 5 11回目以上 |
| 2 2回目 | 4 6～10回目 | 6 わからない |

<問11で「1」と回答した方におたずねします。>

問13 あなたの通算の入院期間はどれくらいになりますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 1ヶ月未満 | 4 6ヶ月～1年未満 | 7 10～20年未満 |
| 2 1～3ヶ月未満 | 5 1～5年未満 | 8 20年以上 |
| 3 3～6ヶ月未満 | 6 5～10年未満 | 9 わからない |

⇒問16へ

<問11で「2」と回答した方におたずねします。>

問14 あなたの現在の通院回数ほどのくらいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-------------|---------|
| 1 週に2回以上 | 3 月に2～3回くらい | 5 年に数回 |
| 2 週に1回くらい | 4 月に1回くらい | 6 わからない |

<問11で「2」と回答した方におたずねします。>

問15 あなたはこれまでに精神科への入院経験はありますか。ある場合は最後に退院してどのくらいたちますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 入院したことがある⇒最後に入院してから(年 ヶ月)くらいたっている |
| 2 入院したことはない |

<すべての方におたずねします。>

問16 あなたが最初に障害により日常生活に支障を感じたのはいつごろですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 生まれたとき | 7 30歳代 |
| 2 0～5歳 | 8 40歳代 |
| 3 6～12歳 | 9 50歳代 |
| 4 13～15歳 | 10 60～64歳 |
| 5 16～19歳 | 11 65～74歳 |
| 6 20歳代 | 12 75歳以上 |

問17 あなたは、発達障がいに関する診断を受けていますか。(○は1つだけ)

『発達障がい』とは
 発達障害者支援法において、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、
 注意欠陥多動性障がい、その他これに類する脳機能障がいであってその症状が通常低年齢において発現す
 るもの」と定義されています。

- | | |
|------------|------------------------|
| 1 受けたことがある | 2 受けたことはない -----> 問19へ |
|------------|------------------------|

<問17で「1」と回答した方におたずねします。>

-> 問18 あなたはどのような診断を受けましたか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 注意欠陥多動性障がい (ADHD) | 4 自閉症 |
| 2 学習障がい (LD) | 5 広汎性発達障がい |
| 3 アスペルガー症候群 | 6 その他の発達障がい |

生活状況についておたずねします。

問19 あなたの現在のお住まいはどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 あなた自身又は家族の持家 | 4 寮・社宅 |
| 2 民間の借家・アパート | 5 グループホーム・施設、病院 |
| 3 公営住宅 | 6 その他 () |

問20 あなたはだれと一緒に住んでいますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1 夫または妻 | 7 兄弟姉妹 |
| 2 父 | 8 親戚 |
| 3 母 | 9 グループホーム・施設、病院での共同生活 |
| 4 子 | 10 その他 () |
| 5 孫 | 11 一人で住んでいる |
| 6 祖父母 | |

問21 あなたの介助(または、身のまわりのお世話)をしているのは主にどなたですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1 夫または妻 | 9 友人、知人、隣人 |
| 2 父 | 10 ボランティア |
| 3 母 | 11 ホームヘルパー |
| 4 子 | 12 グループホーム・施設、病院の職員 |
| 5 孫 | 13 人をやとっている |
| 6 祖父母 | 14 その他 () |
| 7 兄弟姉妹 | 15 必要だがいない |
| 8 親戚 | 16 必要ない |

問22 あなたは日常生活についてどれくらい支援が必要ですか。(それぞれ○は1つずつ)

※補装具を使用している方は使用した状態でお答えください。

	おおむね ひとりでできる	少し支援が必要	すべてに支援が必要
1 食事をするとき	1	2	3
2 トイレを使うとき	1	2	3
3 着替えをするとき	1	2	3
4 洗面のとき	1	2	3
5 歯みがきのとき	1	2	3
6 入浴するとき	1	2	3
7 家の中を移動するとき	1	2	3
8 車の乗り降りのとき	1	2	3
9 意思を伝えるとき	1	2	3
10 文字や書類を書くとき	1	2	3
11 掃除するとき	1	2	3
12 洗濯するとき	1	2	3
13 調理をするとき	1	2	3
14 買い物をするとき	1	2	3
15 屋外で移動するとき	1	2	3
16 お金の管理	1	2	3
17 服薬管理	1	2	3

問23 あなたの主な収入は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1 自分の年金や手当	4 家族の就労等による収入
2 自分の就労等による収入	5 生活保護
3 家族の年金や手当	6 その他 ()

がいしゅつじょうきょう
外出状況についておたずねします。

問24 あなたは日ごろ、どれくらい外出しますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1 ほとんど毎日 | 3 月に2～3回位 |
| 2 週に2～3回位 | 4 ほとんど外出しない・できない ---> 問27へ |

<問24で「1～3」と回答した方におたずねします。>

→問25 あなたが外出するときの交通手段は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 送迎車・送迎バス | 4 電車・バス |
| 2 自家用車 | 5 自転車・徒歩 |
| 3 タクシー | 6 その他 () |

<問24で「1～3」と回答した方におたずねします。>

→問26 あなたが外出するとき、だれか付き添いはありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 常時付き添う | 3 ほとんど付き添わない |
| 2 ときどき付き添う | 4 まったく付き添わない |

問27 あなたが外出する時に困ること(または外出しない・できない理由)はどのようなことですか。(〇は主なもの3つまで)

- | |
|--------------------------------|
| 1 付き添ってくれる人がいない |
| 2 外出先でコミュニケーションがとりにくい |
| 3 必要な時に、まわりの人の手助けや配慮が足りない |
| 4 周りの人の目が気になる |
| 5 歩道がない・狭い |
| 6 道路や建物等に階段・段差が多い |
| 7 建物入口や通路、駅の改札口などの幅が狭い |
| 8 放置自転車、看板などによる通行妨害 |
| 9 誰にでもわかりやすい信号や標識・案内板の設置 |
| 10 エレベーター・エスカレーター・スロープの設置 |
| 11 誰もが使いやすいトイレの設置 |
| 12 バスの低床化(乗降口の床を低くすること)やリフト付バス |
| 13 障がい者用駐車スペースの充実 |
| 14 点字ブロックの整備 |
| 15 その他 () |
| 16 ほとんど外出しないのでわからない |
| 17 不満や困難を感じることはない |

にっちゅう かつどう しごと しゅうがく じょうきょう
 日中の活動（仕事や就学）の状況についておたずねします。

問28 あなたは、次のうちどれに当てはまりますか。（○は1つだけ）

- 1 仕事をしている
- 2 就業経験はあるが、現在は仕事をしていない
- 3 仕事は過去からずっとしたことがない

問29 あなたは日中、主にどのように過ごしていますか。（○は1つだけ）

- 1 学校に通っている（就学前の方の保育園・幼稚園、通園施設等も含む）-----> 問37へ
 - 2 企業等で仕事をしている（自営業や家業手伝いを含む）
 - 3 事業所に通って仕事をしている（就労継続支援等）
 - 4 事業所に通って、将来、企業等で働くための訓練を受けている（就労移行支援等）
 - 5 施設に通って生活訓練や機能訓練等を受けている
 - 6 デイサービスや医療機関のデイケア等に通っている
 - 7 自宅で過ごしている
 - 8 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
 - 9 その他（ ）
- } 問33へ

<問29で「2～4」と回答した方におたずねします。>

問30 あなたは現在、どんなかたちで仕事をしていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1 自営業主 | 4 パート・アルバイト |
| 2 家の仕事（家業）の手伝い | 5 事業所に通ったり、将来、企業等で働くための訓練を受けている |
| 3 正社員（正規の社員） | 6 その他（ ） |

<問29で「2～4」と回答した方におたずねします。>

問31 あなたが1ヶ月の仕事で得る収入は、平均しておおよそいくらですか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 5千円未満 | 6 15万円～20万円未満 |
| 2 5千円～1万円未満 | 7 20万円～25万円未満 |
| 3 1万円～5万円未満 | 8 25万円～30万円未満 |
| 4 5万円～10万円未満 | 9 30万円～40万円未満 |
| 5 10万円～15万円未満 | 10 40万円以上 |

<問29で「2～4」と回答した方におたずねします。>

問32 あなたは仕事のことで悩んでいることや困っていることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 収入が少ない |
| 2 | 通院や病気・障害を理由に休みを取ることが難しい |
| 3 | 勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない |
| 4 | 仕事の内容が自分にあわない |
| 5 | 仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん |
| 6 | 職場でのコミュニケーションがうまくとれない |
| 7 | 障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい |
| 8 | 職場の設備が不十分で障害者にあっていないため使いにくい |
| 9 | 職場までの通勤がたいへん |
| 10 | 障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進等に差がある |
| 11 | その他 () |
| 12 | 特にない |

<問29で「5～9」と回答した方におたずねします。>

問33 あなたが仕事をしていない主な理由は何ですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|---|------------------|----|-----------|
| 1 | 障がいのため | 7 | リハビリ中のため |
| 2 | 高齢のため | 8 | 就業する必要がない |
| 3 | 通勤が困難なため | 9 | 働きたいと思わない |
| 4 | 働く場または適した仕事がないため | 10 | 雇用してもらえない |
| 5 | 他の病気のため | 11 | その他 () |
| 6 | 家事・子育てのため | | |

問34 あなたが働くためにどのような条件が必要ですか。(○は主なもの3つまで)

- 1 自分にあった職種、勤務時間や日数を選択できること
- 2 通勤手段が確保できること
- 3 通院のための休暇など、障がい者の特性に配慮してもらえること
- 4 自宅で仕事ができること
- 5 賃金が妥当であること
- 6 民間企業が積極的に採用すること
- 7 障がいにあった仕事であること
- 8 職業訓練などで就労のための技術を身につけること
- 9 勤務場所に障がい者用の設備・機器が整っていること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 職場により指導者や先輩がいること
- 12 就労の場が確保されていること
- 13 仕事に慣れるまで仕事の支援や職場環境を整えてくれる人(ジョブコーチ)がいること
- 14 その他 ()
- 15 特にない

問35 あなたは、今後、働きたい(働きたい)ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1 働きたい(働きたい) | 2 働きたくない -----> 問41へ |
|--------------|----------------------|

<問35で「1」と回答した方におたずねします。>

-> 問36 あなたは、どのような仕事をしたいですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 農林水産業 | 8 コンピュータ・情報処理関係 |
| 2 事務 | 9 運輸・通信・保安的業務 |
| 3 管理的業務 | 10 あんまマッサージ・はり・灸 |
| 4 販売業 | 11 専門的・技術的職業 |
| 5 サービス業 | 12 その他 () |
| 6 技能工・製造業 | 13 特にない |
| 7 建設・労務 | |

問37～問40は、問29で「1」と回答した18歳未満の保護者の方におたずねします。

【18歳以上の方は、問41へお進みください】

問37 お子さんは、現在、日中どのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

就学前(6歳以下)のお子さん	1 保育園	4 その他()
	2 幼稚園	5 どこにも通わず、自宅にいる
	3 通園施設	
就学後のお子さん	6 小・中学校(通常学級)	
	7 小・中学校(特別学級)	
	8 特別支援学校(小・中・高等部)・訪問教育	
	9 高等学校・専門学校	
	10 障がい児通所支援施設に通っている	
	11 仕事をしている	
	12 職業訓練を受けている	
	13 機能訓練を受けている	
	14 その他()	
	15 特に何もしていない	

＜お子さんが、保育園・幼稚園等や学校に通っている方におたずねします。＞

問38 次のような保育・教育に関する要望はありますか。(〇は主なもの3つまで)

1 就学や進学・就職の際の相談や支援を充実してほしい
2 能力や障がいの状況にあった支援をしてほしい
3 障がいの状況に配慮した施設や設備、教材等を充実してほしい
4 障がいの状況に応じた個別的な支援を充実してほしい
5 通常の学級等での学習や交流の機会を増やしてほしい
6 通常の学級等に在籍しつつ、個別に必要な支援を受けられるしくみを充実してほしい(通級等)
7 障がいに関する教職員や同級生等の理解を促進してほしい
8 専門知識を持った教職員を多く配置してほしい
9 訪問看護師を派遣してほしい
10 将来働くための教育を充実してほしい
11 その他()
12 特にない

とい 問39 お子さんのこれからの就業について、どのような希望をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 民間企業などへ一般就労してほしい
- 2 自営業をしてほしい(手伝ってほしい)
- 3 アルバイト・パート等の短時間労働をしてほしい
- 4 福祉的就労(就労継続支援等、社会適用訓練も含む)
- 5 在宅でできる仕事をしてほしい
- 6 仕事をしてほしくない、しなくてもいい
- 7 その他()
- 8 特にない

とい 問40 お子さんを育てるうえで困っていることや悩んでいることは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 家族・学校・周囲の人たちの理解不足 | 7 集団に適応できないこと |
| 2 就労など、将来への不安 | 8 日々の送迎 |
| 3 常時目が離せないこと | 9 精神的な負担が大きいこと |
| 4 家事などができないこと | 10 その他() |
| 5 きょうだい児の世話ができないこと | 11 特にない |
| 6 周囲から疎外されること | |

日中の活動（スポーツや文化活動等）の状況についておたずねします。

問41 あなたは普段、スポーツや文化活動等をしていきますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 スポーツ（ | 6 文化芸術活動 |
| 2 レクリエーション | 7 講座や講習会への参加 |
| 3 買い物 | 8 その他（ |
| 4 ボランティア活動 | 9 何もしていない・できない ----> 問43へ |
| 5 趣味等のサークル活動・生涯学習活動 | |

<問41で「1～8」と回答した方におたずねします。>

問42 あなたは普段のスポーツや文化活動等に支障や困っていることはありますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 自由に利用できる施設が少ない | 6 情報が少ない |
| 2 障がい者に配慮した指導が受けられない | 7 援助者がいない |
| 3 一緒に参加する仲間が少ない | 8 受け入れてくれるサークル等がない |
| 4 障がい者が参加できる企画が少ない | 9 その他（ |
| 5 施設の利用や活動に費用がかかる | 10 特になし |

<問41で「9」と回答した方におたずねします。>

問43 あなたが普段、スポーツや文化活動等をしていない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 時間にゆとりがない | 9 体力に自信がない |
| 2 経済的にゆとりがない | 10 障がいのため |
| 3 利用できる施設が少ない | 11 高齢のため |
| 4 参加できる活動が少ない | 12 周りの目が気になる |
| 5 外出が困難である | 13 興味が無い |
| 6 援助者がいない | 14 その他（ |
| 7 一緒に活動する仲間がいない | 15 特になし |
| 8 適切に教えてくれる指導者がいない | |

今後の生活についておたずねします。

問44 あなたは今後のように暮らしたいですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | | | |
|---|-------------|----|---------------|
| 1 | ひとりで暮らしたい | 6 | 友達と暮らしたい |
| 2 | 夫婦で暮らしたい | 7 | グループホームで暮らしたい |
| 3 | 親や祖父母と暮らしたい | 8 | 入所型の施設で暮らしたい |
| 4 | 子どもと暮らしたい | 9 | その他 () |
| 5 | 兄弟姉妹と暮らしたい | 10 | わからない |

問45 あなたの家族は今後のように暮らしてほしいと思っっていますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | | | |
|---|---------------|----|-----------------|
| 1 | ひとりで暮らしてほしい | 7 | グループホームで暮らしてほしい |
| 2 | 夫婦で暮らしてほしい | 8 | 入所型の施設で暮らしてほしい |
| 3 | 親や祖父母と暮らしてほしい | 9 | その他 () |
| 4 | 子どもと暮らしてほしい | 10 | わからない |
| 5 | 兄弟姉妹と暮らしてほしい | 11 | 家族はいない |
| 6 | 友達と暮らしてほしい | | |

問46 あなたの将来を考えたとき不安はありますか。(○は主なもの3つまで)

- | | |
|----|--------------------------|
| 1 | 自分で身のまわりのことができるか |
| 2 | 家の中の生活を援助してくれる人が確保できるか |
| 3 | 外出時に援助してくれる人を確保できるか |
| 4 | 通院や服薬管理ができるか |
| 5 | 住む場所が確保できるか |
| 6 | 生活費が足りるか |
| 7 | 規則的な日常生活を送ることができるか |
| 8 | 就労や日中活動の場が確保できるか |
| 9 | 金銭管理や安全面 |
| 10 | 結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるかどうか |
| 11 | 十分な福祉サービスを受けられるかどうか |
| 12 | 健康でいられるか |
| 13 | その他 () |
| 14 | 特にない |

とい
問47 あなたが今後やりたいことはありますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 興味のあることを勉強したい、学校に行きたい
- 2 家族の団らん
- 3 友人や隣近所と交流を深めたい
- 4 働いて、経済的に自立したい
- 5 スポーツや文化活動をしたい
- 6 娯楽・旅行などをしたい
- 7 地域活動やボランティア活動などに参加し、社会に貢献したい
- 8 自立のため訓練を受けたい
- 9 その他 ()
- 10 特にない

福祉サービスについておたずねします。

問48 次の1～18の福祉サービスや制度等についておたずねします。

①、③について、あなたにとってあてはまるものを1つずつ選んでください。また、①で「知っている」「知っているが内容はよく知らない」と回答した方のみ②をお答えください。

※各サービスの内容については19ページをご確認ください。

	①認知度			②利用の有無			③利用意向		
	知っている	知っているが内容はよく知らない	知らない	利用している	以前は利用していた	利用していない	利用したい	利用したいとは思わない	わからない
1 居宅介護 (ホームヘルプ)	1	2	3	1	2	3	1	2	3
2 重度訪問介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3
3 同行援護	1	2	3	1	2	3	1	2	3
4 行動援護	1	2	3	1	2	3	1	2	3
5 重度障害者等包括支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
6 短期入所 (ショートステイ)	1	2	3	1	2	3	1	2	3
7 療養介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3
8 生活介護	1	2	3	1	2	3	1	2	3
9 施設入所支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
10 共同生活援助 (グループホーム)	1	2	3	1	2	3	1	2	3
11 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	1	2	3	1	2	3	1	2	3
12 就労移行支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
13 就労継続支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
14 就労定着支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
15 自立生活援助	1	2	3	1	2	3	1	2	3
16 児童発達支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
17 放課後等デイサービス	1	2	3	1	2	3	1	2	3
18 保育所等訪問支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
19 移動支援 (ガイドヘルプ)	1	2	3	1	2	3	1	2	3
20 日中一時支援	1	2	3	1	2	3	1	2	3
21 地域活動支援センター	1	2	3	1	2	3	1	2	3

<サービス一覧>

① 居宅介護 [ホームヘルプ]	ホームヘルパー等が介護や日常生活への支援を行う
② 重度訪問介護	重度の肢体不自由者又は重度の知的障がい若しくは精神障がいにより、行動上著しい困難を有する人で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行う
③ 同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な情報の提供(代筆・代読を含む)、移動の援護等の外出支援を行う
④ 行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援や外出支援を行う
⑤ 重度障害者等包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行う
⑥ 短期入所 [ショートステイ]	施設への短期間の入所
⑦ 療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行う
⑧ 生活介護	常時介護を必要とする人に対して、施設で介護や訓練等を行う
⑨ 施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う
⑩ 共同生活援助 [グループホーム]	共同生活を行う住居で、介護や生活上の相談・援助等を行う
⑪ 自立訓練 [機能訓練・生活訓練]	自立して生活するために必要な訓練等を行う
⑫ 就労移行支援	一般企業等への就労を目指す人に、一定期間、就労に必要な訓練等を行う
⑬ 就労継続支援	一般企業等への就労が困難な人に、働く場所を提供する
⑭ 就労定着支援	一般企業等に就労した人が、就労先の環境や業務内容に順応し、働き続けられるように訓練を行う
⑮ 自立生活援助	居宅で生活する障がい者に、巡回訪問を行い、居宅における自立した日常生活を営むために必要な援助を行う
⑯ 児童発達支援	障がいのある児童を通所させて、日常生活における基本的動作の指導または集団生活への適応のための訓練を行う
⑰ 放課後等デイサービス	障がいのある児童が、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供する
⑱ 保育所等訪問支援	障がいのある児童が、保育所や幼稚園などで障がいのない子どもとの集団生活への適応のために専門的な支援を行う
⑲ 移動支援 [ガイドヘルプ]	外出が困難な人の外出時のつきそいや支援を行う
⑳ 日中一時支援	日中に介護者がいないときに、短時間の介護や支援を行う
㉑ 地域活動支援センター	創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う

地域とのかかわりの状況についておたずねします。

問49 あなたはさまざまな地域の活動に参加していますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------------|------|---------------|
| 1 よく参加している | 問51へ | 3 ほとんど参加していない |
| 2 ときどき参加している | | 4 参加したことがない |

<問49で「3・4」と回答した方におたずねします>

問50 あなたが地域活動に参加しない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 時間がないから
- 2 地域活動に関心がないから
- 3 活動内容に関心がないから
- 4 活動の内容や参加の仕方がわからないから
- 5 参加したいが、きっかけがないから
- 6 一人で参加することが難しいから
- 7 まわりの雰囲気などが気になるから
- 8 まわりから参加を断られるから
- 9 家族や友人などから参加しないように勧められるから
- 10 外出が難しいから
- 11 その他 ()

問51 あなたは近所の人とどのようなおつきあいをしていますか。(〇は1つだけ)

- 1 顔も知らない人がほとんど
- 2 会えばあいさつする程度
- 3 会えばよく世間話をする
- 4 特に用事がなくても親しく訪問しあう人がいる
- 5 困ったときに相談したり、助け合ったりできる人がいる
- 6 その他 ()

問52 あなたが地域に望むことは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 障がいのため自分ではできない家事等の支援 | 6 災害時等の援助体制 |
| 2 常に見守ってくれるような見守り体制 | 7 障がいがある人でも参加できる地域活動 |
| 3 通院のための外出支援 | 8 地域で相談できるような体制づくり |
| 4 通学・通勤のための外出支援 | 9 その他 () |
| 5 散歩や買い物などの日常的な外出支援 | 10 特にない |

問57 あなたが不安や悩みを相談する際に困ることは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 近くに相談窓口がない
- 2 どこに相談すればよいかわからない
- 3 相談時に親身になって話を聞いてくれない
- 4 相談してもらい回しにされる
- 5 相談する度に最初から説明を求められる
- 6 適切な助言が得られない
- 7 相談窓口に関する情報がない
- 8 相談窓口に関する情報を読めない(点字等の資料がないため)
- 9 その他()
- 10 困っていることはない

差別・虐待の状況についておたずねします。

問58 あなたはこれまでに障がいがあるために差別を受けたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1 よくある | 3 ほとんどない | } 問60へ |
| 2 ときどきある | 4 まったくない | |

＜問58で「1・2」と回答した方におたずねします。＞

→ 問59 あなたはどのような場所で差別を受けましたか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|------------|------------|
| 1 学校・職場 | 5 病院等の医療機関 |
| 2 外出先 | 6 仕事を探すとき |
| 3 住んでいる地域 | 7 その他() |
| 4 余暇を楽しむとき | |

問60 あなたはこれまでに障害があるために虐待を受けたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1 よくある | 3 ほとんどない | } 問62へ |
| 2 ときどきある | 4 まったくない | |

＜問60で「1・2」と回答した方におたずねします。＞

→ 問61 あなたはどのような人に虐待を受けましたか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 学校や園の教員・職員 | 6 ボランティア |
| 2 通園・スクールバスの運転手・添乗員 | 7 医療関係者 |
| 3 施設職員 | 8 家族 |
| 4 ホームヘルパー・ガイドヘルパー | 9 近所の人 |
| 5 勤務先の社員・上司・社長 | 10 その他() |

ぎょうせい
行政についておたずねします。

問63 あなたは行政に対して、今後どのようなことに力を入れて欲しいと思いますか。(〇は主なものの3つまで)

- 1 在宅福祉サービスの充実 (ホームヘルプなど)
- 2 入所施設の充実
- 3 通所施設の充実
- 4 日常生活用具給付等の拡充など各種福祉制度の充実
- 5 情報提供の充実
- 6 社会参加、地域活動参加への支援
- 7 障がいに対する啓発、広報活動、障がいのない人との交流の機会を増やす
- 8 ボランティア活動の育成、支援
- 9 相談、支援体制の充実 (何でも相談できる相談員の配置など)
- 10 保健、医療サービスの充実
- 11 保育・教育の充実
- 12 雇用・就業支援
- 13 経済的支援の充実
- 14 障がい者のためのスポーツ・文化・レクリエーション活動等の充実
- 15 住宅対策の充実 (障がい者用住宅の整備、住宅の家賃補助など)
- 16 道路や建物のバリアフリー化の促進
- 17 憩いの場 (公園等) や集う場の整備
- 18 利用しやすい交通機関・施設の改善、整備
- 19 防犯・防災対策の充実
- 20 その他 ()
- 21 特にない

筑紫野市障がい者実態調査報告書

令和 5年 2月

発 行	筑紫野市
企画・編集	福岡県筑紫野市石崎 1-1-1
電 話 番 号	092-923-1111 (代表)
ファクス番号	092-923-5230
